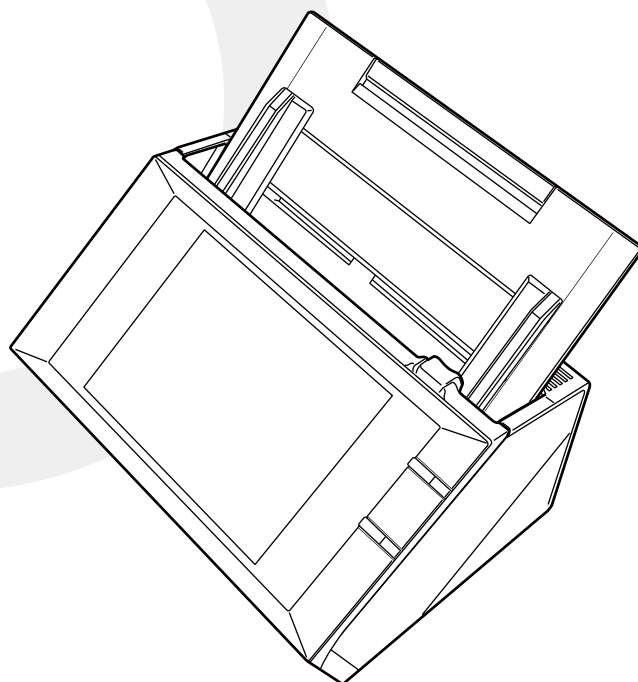


ScanSnap N1800 ネットワークスキャナ

オペレーターガイド



目次

コピーライト	15
はじめに	21
■ マニュアル	22
■ 本書の読み方	23
第 1 章 概要	28
1.1 スキャナの特長	29
■ 読み取った画像の簡単活用	29
■ 簡単設定・簡単管理	30
■ 高度なセキュリティ対策	31
1.2 各部の名称と働き	32
■ 前面	32
■ 背面	33
■ 取り外し可能部品	34
1.3 ログイン別操作一覧	35
1.3.1 管理者権限で行える操作.....	36
■ システム設定	36
■ ネットワーク設定	38
■ 保守	41
■ 装置診断	43
■ ジョブ設定	43
1.3.2 利用者が行える操作.....	44
1.4 動作環境	45
1.4.1 Admin Tool・User Editor の動作環境	45
1.4.2 連携するサーバの動作環境	47
1.4.3 使用するポート番号一覧.....	51

第 2 章	スキャナの基本的な使い方	53
2.1	電源の投入 / 切断	54
2.1.1	電源を投入します	54
2.1.2	電源を切断します	55
2.2	スキャナのボタンの使い方	56
	■ 電源ボタンの使い方	56
	■ Scan ボタンの使い方	58
2.3	タッチパネルの使い方	59
2.4	ソフトキーボードの使い方	60
	■ ソフトキーボードの表示 / 非表示の方法	60
	■ ソフトキーボードのキーの使い方	61
	■ 文字入力	61
第 3 章	管理者の操作（概要）	62
3.1	操作方法	63
3.2	機能別の設定項目	65
第 4 章	管理者の操作（タッチパネル・Admin Tool）	69
4.1	画面	70
4.1.1	タッチパネル（管理者）の画面	70
4.1.2	Admin Tool の画面	71
4.2	ログインします	73
4.2.1	管理者がスキャナからログインします	73
	■ 自動ログインしない場合	73
	■ 自動ログインする場合	74
4.2.2	Admin Tool でログインする場合の事前設定	75
	■ Web ブラウザのキャッシュを確認します	75
	■ Web ブラウザの信頼済みサイトを設定します	76
	■ Admin Tool をインストールします	77
	■ Admin Tool のアンインストール方法	81
4.2.3	管理者が Admin Tool からログインします	82

4.3	タッチパネルのインストールウィザードで環境設定を します	85
4.4	タッチパネルで操作するときの動作モードを設定します	87
4.5	システムを設定します	89
4.5.1	スキャナ名を設定します	89
4.5.2	タイムゾーンを設定します	91
4.5.3	日時を設定します	92
4.5.4	証明書を管理します	93
	■ 証明書をインポートします	93
	■ 証明書を削除します	94
4.6	読み取りに関する設定をします	95
4.6.1	マルチフィードの検出条件を設定します	95
4.6.2	読み取り開始位置を調整します (オフセット / 倍率)	98
4.6.3	スキャナの詳細設定をします	99
4.7	ログインに関する設定をします	100
4.7.1	ログイン設定をします	100
4.7.2	省電力モード・自動ログアウトを設定します	105
4.7.3	管理者パスワードを変更します	107
4.7.4	LAN Manager 認証レベルを設定します	108
4.8	ネットワークを設定します	109
4.8.1	IP アドレス /DHCP を設定します	109
4.8.2	DNS サーバを設定します	111
4.8.3	WINS サーバを設定します	112
4.8.4	NTP サーバを設定します	113
4.8.5	プロキシサーバを設定します	114
4.8.6	Ping でネットワークへの接続状態を確認します	115
4.8.7	ネットワークの動作状態を確認します	117
	■ ネットワーク状態を確認します	117
	■ Link Speed/Duplex Mode を設定します	118
	■ Wake On LAN を設定します	118
4.8.8	接続設定をします	119
4.8.9	Central Admin Server を設定します	121
4.9	LDAP に関する設定をします	124

4.9.1	ログインLDAPサーバを設定します	124
	■ LDAP 検索の対象	126
4.9.2	メールアドレスLDAPサーバを設定します	131
4.9.3	LDAP 検索条件を設定します	133
4.10	メールの設定をします	135
4.10.1	メールサーバを設定します	135
4.10.2	メール送信時の動作を設定します	137
4.10.3	添付ファイル名を設定します	138
4.11	FAX 送信サーバを設定します	140
4.12	保存先とするフォルダーを設定します	141
4.12.1	ネットワーク共有フォルダーを設定します	141
	■ ネットワーク共有フォルダーを登録します (ツリー選択)	142
	■ ネットワーク共有フォルダーを登録します (直接入力)	144
	■ ネットワーク共有フォルダー名を変更します	145
	■ ネットワーク共有フォルダーを削除します	145
	■ ネットワーク共有フォルダーの詳細情報を参照します	146
4.12.2	FTP フォルダーを設定します	147
	■ FTP フォルダーを登録します	148
	■ FTP フォルダーの設定を変更します	150
	■ FTP フォルダーを削除します	150
	■ FTP フォルダーの詳細情報を参照します	151
4.12.3	SharePoint フォルダーを設定します	152
	■ SharePoint フォルダーの表示名を変更します	153
	■ SharePoint フォルダーを削除します	154
4.12.4	保存ファイル名を設定します	155
4.13	ネットワーク共有プリンターを設定します	158
	■ プリンタードライバを確認します	159
	■ プリンターのプロパティを設定します	160
	■ ネットワーク共有プリンターを登録します (ツリー選択)	163
	■ ネットワーク共有プリンターを登録します (直接入力)	166
	■ ネットワーク共有プリンター名を変更します	167
	■ ネットワーク共有プリンターを削除します	168

■ ネットワーク共有プリンターの詳細情報を参照します	169
4.14 スキャナに関する情報を参照します	170
4.14.1 装置管理情報を参照します	170
4.14.2 消耗品統計情報を参照します	171
■ 消耗品の状態を参照します	171
■ カウンターをリセットします	171
4.14.3 オプション機能の適用状況を参照します	172
4.14.4 ユーザーログを管理します	173
■ ユーザーログの詳細情報を参照します	173
■ ユーザーログを CSV 形式でダウンロードします	174
■ ユーザーログをすべて削除します	174
4.14.5 システムログを管理します	175
■ システムログの詳細情報を参照します	175
■ システムログを CSV 形式でダウンロードします	176
■ システムログをすべて削除します	176
4.15 資源を管理します	177
4.15.1 ユーザー情報をメンテナンスします	177
■ ユーザー情報を退避します	179
■ ユーザー情報を復元します	180
■ ユーザー情報をすべて削除します	181
4.15.2 システム設定情報の保守を行います	182
■ システム設定情報を CSV 形式で保存します	182
■ システム設定情報を退避します	183
■ システム設定情報を復元します	184
■ 工場出荷時の状態に戻します	185
4.16 保守を行います	186
4.16.1 アップデートします	186
4.16.2 アップデートの公開をチェックします	188
■ 今すぐにアップデートの公開をチェックします	188
■ スキャナの起動時にアップデートの公開を チェックします	189
■ アップデートの公開を管理者にメール通知します	189
4.16.3 Add-in を管理します	190
■ Add-in をインストールします	190
■ Add-in をアンインストールします	191
■ Add-in 情報を参照します	191

■ Add-in 設定情報をアップロードします	192
■ Add-in 実行時のキーボードのアイコン表示を設定します	192
4.16.4 保守情報の採取レベルを設定します	193
4.16.5 保守情報を採取します	194
4.16.6 異常通知先を設定します	195
4.16.7 タッチパネルに表示されている画面を採取します	196
4.17 ジョブを設定します	199
4.17.1 ジョブ設定の流れ	201
4.17.2 ジョブを設定します	203
■ ジョブを追加します	203
■ ジョブを参照して追加します	209
■ ジョブを編集します	209
■ ジョブを削除します	210
■ ジョブを絞り込みます	210
■ LDAP 一覧を絞り込みます	211
4.17.3 ジョブメニューを設定します	212
■ ジョブメニューを追加します	212
■ ジョブメニューを参照して追加します	216
■ ジョブメニューを編集します	216
■ ジョブメニューを削除します	217
■ ジョブメニューの詳細設定を参照します	217
4.17.4 ジョブグループを設定します	218
■ ジョブグループを追加します	218
■ ジョブグループを編集します	222
■ ジョブグループを削除します	222
■ ジョブグループの詳細設定を参照します	223
■ ジョブグループに属していないユーザーに ジョブメニューを設定します	223
■ LDAP 一覧を絞り込みます	225
4.18 メッセージ一覧	226
4.18.1 管理者の画面のメッセージ	227
第 5 章 管理者の操作 (Scanner Central Admin)	228
5.1 Central Admin Server をダウンロードします	229
5.2 Central Admin Console をダウンロードします	231

5.3	スキャナ環境設定をします	233
第6章	利用者の操作	234
6.1	原稿をセットします	235
6.1.1	一般的な原稿をセットします	235
6.1.2	A3 キャリアシートを使用した原稿をセットします	238
6.2	タッチパネル（利用者）の画面	241
6.2.1	「メインメニュー」画面	241
6.2.2	「ジョブメニュー」画面	242
6.2.3	利用者ごとの設定	243
6.3	利用者モードでログインします	244
6.4	スキャン画像をメールで送信します	247
6.4.1	メールアドレス台帳を使ってメールアドレスを入力します	252
6.4.2	メールアドレス台帳にメールアドレスを追加します	256
6.4.3	メールアドレス台帳を編集します	260
6.4.4	メールアドレス台帳からメールアドレスを削除します	262
6.5	スキャン画像をFAXで送信します	264
6.5.1	FAX 番号台帳を使ってFAX 送信あて先を入力します	267
6.5.2	FAX 番号台帳にFAX 送信あて先を追加します	269
6.5.3	FAX 番号台帳を編集します	271
6.5.4	FAX 番号台帳からFAX 送信あて先を削除します	272
6.6	スキャン画像を印刷します	273
6.6.1	印刷比率を設定します	278
6.6.2	印刷位置を設定します	282
6.6.3	印刷面を設定します	284
6.7	スキャン画像をフォルダーに保存します	285
6.8	スキャン画像をSharePointフォルダーに保存します	289
6.9	読み取り設定をします	297
6.9.1	A3 キャリアシートを設定します	302
6.9.2	カラーモードを設定します	303

6.9.3	用紙サイズを設定します	304
	■ 長尺読み取り用紙サイズを設定します	305
6.9.4	出力する解像度を設定します	306
6.9.5	読み取り面を設定します	307
6.9.6	読み取る原稿のセット方向を設定します	308
6.9.7	ファイル形式を設定します	309
6.9.8	スキャン画像を文字が検索できる PDF ファイルにします	311
6.9.9	PDF ファイルにキーワードを設定します	313
6.9.10	パスワードロックを設定します	318
6.9.11	圧縮率を設定します	320
6.9.12	スキャン画像の明るさを調整します	323
6.9.13	スキャン画像のコントラストを調整します	324
6.9.14	スキャン画像の輪郭強調を調整します	325
6.9.15	スキャン画像の色情報を取り除きます	326
6.9.16	スキャン画像の裏写り除去レベルを調整します	327
6.9.17	スキャン画像から白紙ページを削除します	328
6.9.18	スキャン画像の向きを補正します	329
6.9.19	マルチフィードを検出します	331
6.9.20	スキャン画像の枠消し幅を調整します	332
6.10	「表示&編集」画面の表示を設定します	334
6.11	スキャン画像を「表示&編集」画面で確認します	337
6.11.1	スキャン画像を参照します	337
6.11.2	スキャン画像を回転します	338
6.11.3	ページを並べ替えます	338
6.11.4	原稿を追加して読み取ります	338
6.11.5	スキャン画像を削除します	339
6.11.6	キーワードとして設定するマーカー部分の文字列を 編集します	339
6.12	ユーザーログの詳細情報を参照します	340
6.13	メンテナンスします	341
6.14	ジョブを実行します	343
6.14.1	「ジョブメッセージ」画面の表示を設定します	346
6.14.2	メール送信 / ファイル保存するときのファイル名を 変更します	348
6.14.3	読み取る枚数を確認します	349

6.15 ユーザーのパスワードを変更します	352
第 7 章 スキャナのお手入れ	353
7.1 清掃用品および清掃が必要な場所	354
■ 清掃用品	354
■ 清掃箇所と清掃頻度	355
7.2 スキャナ外部を清掃します	356
■ スキャナ本体の清掃	356
■ タッチパネルの清掃	356
7.3 スキャナ内部を清掃します	357
7.4 A3 キャリアシートを清掃します	363
7.5 消耗品を交換します	364
7.5.1 消耗品の番号と交換周期.....	364
7.5.2 消耗品の状態を確認します	365
7.5.3 パッドユニットを交換します	366
7.5.4 ピックローラユニットを交換します.....	368
7.5.5 A3 キャリアシートを購入します	373
7.6 読み取りテストをします	374
■ 利用者の場合	374
■ 管理者の場合	376
7.7 タッチパネルを調整します	377
第 8 章 困ったときには	378
8.1 原稿づまりが発生したときは	379
8.2 ネットワーク通信ができないときには	382
8.2.1 ネットワーク動作テスト.....	382
■ Ping によるネットワークの基本動作確認	382
■ ネットワーク動作状態の確認	384
■ 時刻同期による NTP サーバ環境の確認	385
■ テストメールによるメールサーバ環境の確認	386

8.2.2	ネットワーク通信トラブル現象ごとの対処方法.....	387
	■ IP アドレス指定でスキャナから各サーバに ネットワーク通信ができない場合の対処方法	387
	■ ホスト名または FQDN 名指定で、スキャナから 各サーバにネットワーク通信ができない場合の 対処方法	389
	■ ドメインに参加できない、またはドメインへの ログインに失敗する場合の対処方法	389
	■ ネットワーク共有プリンターが追加できない場合の 対処方法	390
	■ ネットワーク共有プリンターから印刷できない場合の 対処方法	391
	■ ネットワーク共有フォルダーが追加できない場合の 対処方法	392
	■ ネットワーク共有フォルダーに保存できない場合の 対処方法	392
8.2.3	Web ブラウザ・Admin Tool・Central Admin Server から スキャナにアクセスできない場合の対処方法	393
8.3	スキャナの使用中にトラブルが発生したときには	396
	■ 電源が入らない	397
	■ スキャナが起動しない	397
	■ スキャナを初期状態に戻したい	398
	■ 読み取りがうまくできない	399
	■ 読み取り結果がおかしい	402
	■ ログインできない	403
	■ 操作がうまくできない	404
8.4	サービスセンターに連絡する前に	406
8.4.1	概要.....	406
8.4.2	エラー状況	407
	■ コンピュータ接続時の問題	407
	■ 搬送系の問題	407
	■ 原稿と出力結果の送付	408
8.5	ラベルの確認	409
8.6	スキャナを保守に出すときの処置	410
付録 A	読み取りできる原稿	411
A.1	原稿のサイズ	412

A.2	原稿の紙質	413
A.3	セットできる原稿の枚数	415
A.4	穴をあけてはいけない領域・原稿を貼り付けては いけない領域	416
A.5	マルチフィードの検出条件	417
A.6	A3 キャリアシートを使用する場合の条件	418
A.6.1	原稿のサイズ	418
A.6.2	原稿の紙質	418
付録 B	設定値と上限値	420
B.1	メールアドレスの設定値	421
B.2	設定項目の上限値	422
付録 C	接続性	424
C.1	ルート証明機関一覧	425
C.2	Web メールを使用する場合の SMTP サーバの設定	427
付録 D	本製品の仕様	428
D.1	設置諸元	429
D.2	スキャナ基本仕様	430
D.3	ソフトキーボードの入力方法の変更	431
D.3.1	キーの配列の変更	431
D.3.2	入力モードの変更	432
付録 E	User Editor で編集します	433
E.1	User Editor とは	434
E.2	事前設定	435

E.2.1	User Editor をインストールします	435
E.2.2	User Editor のアンインストール方法.....	438
E.3	User Editor の画面	439
E.4	User Editor を起動 / 終了します	441
	■ User Editor を起動します	441
	■ User Editor を終了します	441
E.5	メールアドレス台帳 / ローカルアカウントを開きます ...	442
	■ スキャナから開きます	442
	■ ファイルから開きます	443
	■ ファイルから開けるメールアドレス台帳のファイル形式	443
	■ ファイルから開けるローカルアカウントのファイル形式	444
E.6	メールアドレス台帳を編集します	445
E.6.1	グループを設定します	445
	■ グループを追加します	445
	■ グループ名を変更します	446
	■ グループを削除します	446
E.6.2	同報リストを設定します.....	447
	■ 同報リストを追加します	447
	■ 同報リストを変更します	448
	■ 同報リストを削除します	448
E.6.3	メールアドレスを設定します	449
	■ メールアドレスを追加します	449
	■ メールアドレスを変更します	450
	■ メールアドレスを削除します	450
E.7	ローカルアカウントを編集します	451
E.7.1	ローカルアカウントを追加します	451
E.7.2	ローカルアカウントを変更します	452
E.7.3	ローカルアカウントを削除します	452
E.8	編集内容を破棄します	453
E.9	メールアドレス台帳 / ローカルアカウントを保存します	454
	■ スキャナに保存します	454

■ ファイルに保存します	455
E.10 ユーザーログに表示される User Editor の詳細情報	456
E.11 システムログに表示される User Editor の詳細情報	457
付録 F 用語解説	458
修理・お問い合わせ	463
■ 契約サービス	463
■ スポットサービス	464
■ 消耗品 / 清掃用品の購入先	466
ScanAid の購入	467
索引	468

コピーライト

NetAdvantage

Copyright© 2000-2010 Infragistics, Inc.

LEADTOOLS for .NET

Copyright© 2005 LEAD Technologies, Inc.

WinPcap

Copyright© 1999 - 2005 NetGroup, Politecnico di Torino (Italy).
Copyright© 2005 - 2010 CACE Technologies, Davis (California).
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1) Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2) Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- 3) Neither the name of the Politecnico di Torino, CACE Technologies nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory and its contributors.

This product includes software developed by the Kungliga Tekniska Hogskolan and its contributors.

This product includes software developed by Yen Yen Lim and North Dakota State University.

Portions Copyright© 1990, 1991, 1992, 1993, 1994, 1995, 1996, 1997 The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1) Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2) Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- 3) All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors."
- 4) Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE INSTITUTE AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Portions Copyright© 1983 Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are duplicated in all such forms and that any documentation, advertising materials, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed by the University of California, Berkeley. The name of the University may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Portions Copyright© 1995, 1996, 1997 Kungliga Tekniska Hogskolan (Royal Institute of Technology, Stockholm, Sweden).
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

-
- 1) Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 - 2) Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
 - 3) All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes software developed by the Kungliga Tekniska Hogskolan and its contributors."
 - 4) Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE INSTITUTE AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE INSTITUTE OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Portions Copyright© 1997 Yen Yen Lim and North Dakota State University.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1) Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2) Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- 3) All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes software developed by Yen Yen Lim and North Dakota State University"
- 4) The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN

ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Portions Copyright© 1993 by Digital Equipment Corporation.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies, and that the name of Digital Equipment Corporation not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the document or software without specific, written prior permission.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND DIGITAL EQUIPMENT CORP. DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL DIGITAL EQUIPMENT CORPORATION BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Portions Copyright© 1995, 1996, 1997, 1998, and 1999 WIDE Project.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1) Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2) Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- 3) Neither the name of the project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE PROJECT AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE PROJECT OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Portions Copyright© 1996 Juniper Networks, Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that: (1)source code distributions retain the above copyright notice and this paragraph in its entirety, (2) distributions including binary code include the above copyright notice and this paragraph in its entirety in the documentation or other materials provided with the distribution.

The name of Juniper Networks may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Portions Copyright© 2001 Daniel Hartmeier
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Portions Copyright 1989 by Carnegie Mellon.

Permission to use, copy, modify, and distribute this program for any purpose and without fee is hereby granted, provided that this copyright and permission notice appear on all copies and supporting documentation, the name of Carnegie Mellon not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the program without specific prior permission, and notice be given in supporting documentation that copying and distribution is by permission of Carnegie Mellon and Stanford University. Carnegie Mellon makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

WinDump

Copyright© 1999 - 2005 NetGroup, Politecnico di Torino (Italy).
Copyright© 2005 - 2006 CACE Technologies, Davis (California).
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1) Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2) Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- 3) Neither the name of the Politecnico di Torino, CACE Technologies nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory and its contributors.

Secure iNetSuite

Copyright© 2008 Dart Communications

はじめに

このたびは、ScanSnap N1800 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ScanSnap N1800 は、ネットワーク接続型イメージスキャナです。ネットワークでつながるオフィスのワークグループで使用し、オフィス業務に最適なワークフローをやさしい操作性で実現します。

商標および登録商標

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、SharePoint、および Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、および Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

Intel は、米国およびその他の国における Intel Corporation の登録商標または商標です。

ABBYY™ FineReader™ Engine© ABBYY. OCR by ABBYY

ABBYY および FineReader は、ABBYY の商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Red Hat は米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の登録商標 または商標です。

Yahoo! JAPAN (<http://www.yahoo.co.jp/>) は、ヤフー株式会社が運営するインターネット上の総合情報サイトです。

ScanSnap および ScanSnap ロゴは、株式会社 PFU の日本における登録商標または商標です。

その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

開発・販売元

株式会社 PFU

〒212-8563

神奈川県川崎市幸区堀川町 580 番地（ソリッドスクエア東館）

TEL: 044-540-4538

© PFU LIMITED 2010-2013

■マニュアル

ScanSnap N1800 のマニュアルについて説明します。

マニュアルの種類

ScanSnap N1800 をご使用の際には、以下のマニュアルを必要に応じてお読みください。

マニュアル	内容
ScanSnap N1800 ネットワーク スキャナ スタートアップガイド (紙)	設置方法やケーブルの接続方法などを説明しています。 最初にお読みください。 本書では、「スタートアップガイド」と略記しています。
ScanSnap N1800 ネットワーク スキャナ オペレーターガイド (本書) (PDF)	スキャナの設定や管理、操作方法などを説明しています。 本書では、「オペレーターガイド」と略記しています。
ScanSnap N1800 ヘルプ (HTML)	画面の項目説明、およびメッセージの対処と意味について説明しています。必要に応じてお読みください。
Scanner Central Admin ユーザーズガイド (PDF)	スキャナの集中管理を行うための運用や設定方法などを説明しています。

マニュアルの参照方法

- マニュアルは、スキャナからダウンロードして参照できます。
- ヘルプは、操作中に表示される画面の [ヘルプ] ボタンが有効なときは、[ヘルプ] ボタンを押してヘルプを参照できます。

なお、タッチパネルの場合は、のヘルプボタンが表示されます。

■本書の読み方

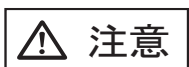
本書で使用している警告表示

本書では、使用者および周囲の方の身体や財産に損害を与えないために、警告表示を使用しています。警告表示は、警告レベルの記号と警告文で構成しています。以下に、警告レベルの記号とその意味について説明します。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

本書で使用している記号

本書では、警告表示とは別に、説明文中に以下の記号を使用しています。

<p>管理者</p>	<p>管理者を対象読者とした章であることを表しています。 さらに、操作方法を以下のように表しています。</p> <ul style="list-style-type: none">● タッチパネル 管理者がタッチパネルで行える操作です。● AdminTool 管理者がネットワーク経由でスキャナと接続して、Network Scanner Admin Tool で行える操作です。● Central Admin Console 管理者が Scanner Central Admin Console を使用して、ネットワーク経由で行える操作です。
<p>利用者</p>	<p>利用者を対象読者とした章であることを表しています。</p>

連続する操作の表記

本文中の操作手順で、連続する操作手順を「→」でつなげて記載しています。
例：「スタート」メニュー→「コンピュータ」を選択します。

本書に掲載している画面

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

画面は、改善のため予告なく変更することがあります。

本書では、Windows Vista の画面を例として説明しています。

オペレーティングシステムによって、表示される画面および操作が異なる場合があります。表示された画面が、本書に掲載されている画面と異なる場合は、実際の画面に従って操作してください。

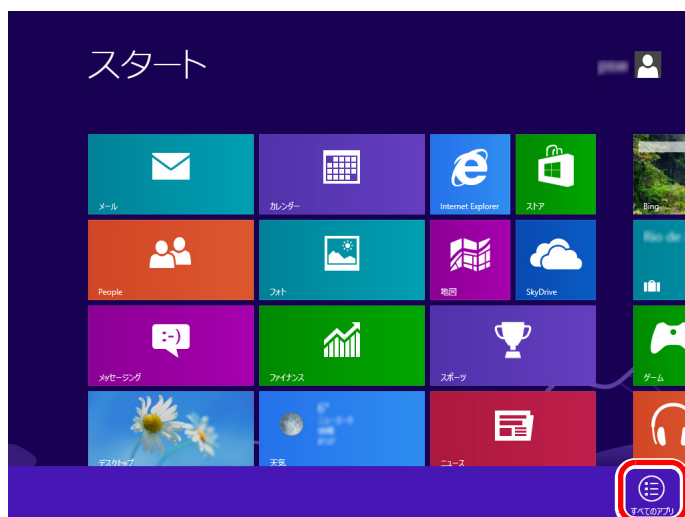
Windows Server 2012/Windows 8 をお使いの方へ

本製品の各アプリケーションの起動およびコントロールパネルの表示は、すべてのアプリ画面から行います。

すべてのアプリ画面は、以下の手順で表示できます。

- 1) スタート画面を右クリックします。
- 2) アプリバーから「すべてのアプリ」をクリックします。

例：Windows 8 の画面の場合



本書での略記

本書では、以下の名称について省略して記載しています。

本文中の表記	名称
Windows	Windows [®] operating system
Windows XP	Windows [®] XP Home Edition operating system Windows [®] XP Professional operating system Windows [®] XP Professional x64 Edition operating system
Windows Vista	Windows Vista [®] Home Basic operating system (32/64bit) Windows Vista [®] Home Premium operating system (32/64bit) Windows Vista [®] Business operating system (32/64bit) Windows Vista [®] Enterprise operating system (32/64bit) Windows Vista [®] Ultimate operating system (32/64bit)
Windows 7	Windows [®] 7 Starter operating system (32bit) Windows [®] 7 Home Premium operating system (32/64bit) Windows [®] 7 Professional operating system (32/64bit) Windows [®] 7 Enterprise operating system (32/64bit) Windows [®] 7 Ultimate operating system (32/64bit)
Windows 8	Windows [®] 8 operating system (32/64bit) Windows [®] 8 Pro operating system (32/64bit) Windows [®] 8 Enterprise operating system (32/64bit)
Windows Server 2003	Windows Server [®] 2003, Standard Edition Windows Server [®] 2003, Enterprise Edition Windows Server [®] 2003, Datacenter Edition Windows Server [®] 2003 R2, Standard Edition Windows Server [®] 2003 R2, Standard x64 Edition Windows Server [®] 2003 R2, Enterprise Edition Windows Server [®] 2003 R2, Enterprise x64 Edition Windows Server [®] 2003 R2, Datacenter Edition Windows Server [®] 2003 R2, Datacenter x64 Edition

本文中の表記	名称
Windows Server 2008	Windows Server [®] 2008 Standard (32/64bit) Windows Server [®] 2008 Enterprise (32/64bit) Windows Server [®] 2008 Datacenter (32/64bit) Windows Server [®] 2008 R2 Standard (64bit) Windows Server [®] 2008 R2 Enterprise (64bit)
Windows Server 2012	Windows Server [®] 2012 Standard (64bit)
Exchange	Microsoft [®] Exchange Server 2003 Microsoft [®] Exchange Server 2007 (64bit 版 OS でサポート) Microsoft [®] Exchange Server 2010 (64bit 版 OS でサポート)
.NET Framework	Microsoft [®] .NET Framework
SharePoint	Microsoft [®] Office SharePoint [®] Server 2007 Microsoft [®] SharePoint [®] Server 2010 (64bit 版 OS でサポート)
Solaris 10	Solaris 10 オペレーティングシステム
Red Hat Enterprise Linux	Red Hat [®] Enterprise Linux [®] 4 Red Hat [®] Enterprise Linux [®] 5
SUSE Linux Enterprise Server	SUSE [™] Linux Enterprise Server 10
Internet Explorer	Microsoft [®] Internet Explorer [®] Windows [®] Internet Explorer [®]
IIS	Microsoft [®] Internet Information Services
SQL Server 2005 Express Edition	Microsoft [®] SQL Server [™] 2005 Express Edition
Adobe Acrobat	Adobe [®] Acrobat [®]
Adobe Reader	Adobe [®] Reader [®]
RightFax	RightFax Business Server (バージョン 9.3)
スキャナ	ScanSnap N1800
A3 キャリアシート	ScanSnap A3 キャリアシート
Admin Tool	Network Scanner Admin Tool
User Editor	Network Scanner User Editor

本文中の表記	名称
Central Admin Console	Scanner Central Admin Console
Central Admin Server	Scanner Central Admin Server
Gmail	Gmail™ ウェブメール サービス
Yahoo! メール	YAHOO!® JAPAN メール
AOL メール	AOL® メール
Windows Live Hotmail	Microsoft® Windows Live™ Hotmail®
ネットワーク共有フォルダー	スキャン画像の保存先とするファイルサーバまたはFTPサーバのフォルダー
SharePoint フォルダー	スキャン画像の保存先とする SharePoint のフォルダー

第 1 章

概要

管理者

利用者

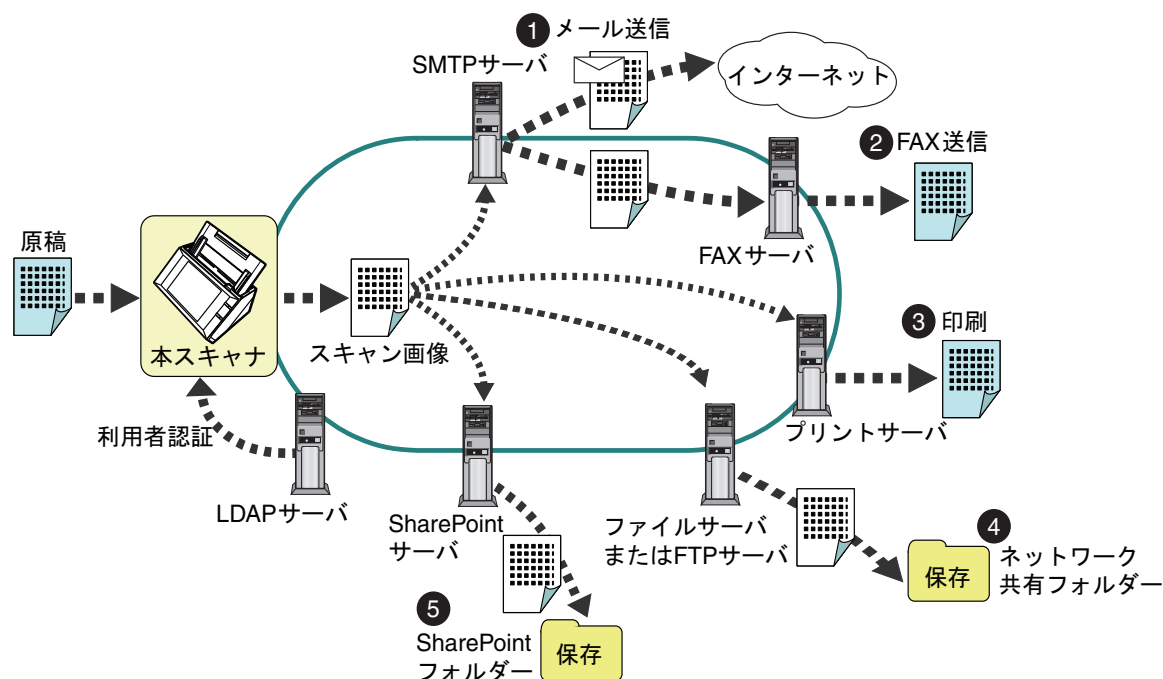
1.1 スキャナの特長.....	29
1.2 各部の名称と働き	32
1.3 ログイン別操作一覧.....	35
1.4 動作環境.....	45

1.1 スキャナの特長

■ 読み取った画像の簡単活用

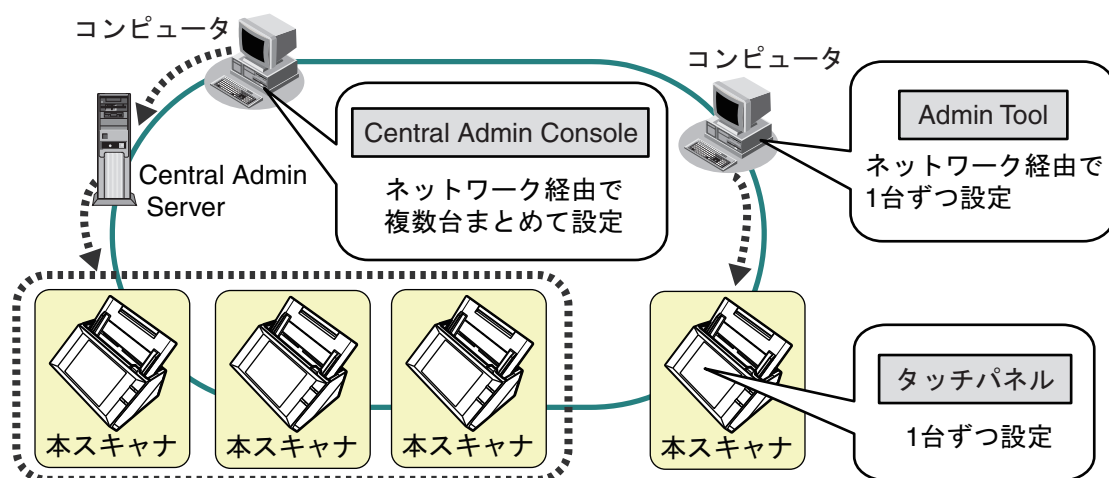
本スキャナは、読み取った画像（スキャン画像）を、簡単に活用できるネットワークスキャナです。

1. スキャン画像を添付してメール送信できます。
2. スキャン画像をFAX送信できます。
3. スキャン画像を印刷できます。
4. スキャン画像をネットワーク共有フォルダーに保存できます。
5. スキャン画像をSharePointフォルダーに保存できます。



■ 簡単設定・簡単管理

スキャナの実環境設定や管理は、スキャナの「タッチパネル」や、コンピュータにインストールした「Admin Tool」または「Central Admin Console」から簡単に行えます。



- Admin Tool
個々のスキャナに接続して、スキャナの動作環境を設定するアプリケーションです。
- Central Admin Console
複数台のスキャナの動作環境の設定や、稼働状況の監視を行うアプリケーションです。
複数台のスキャナを一元管理する Central Admin Server に接続して運用します。
Central Admin Console の詳細については、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

■ 高度なセキュリティ対策

スキャナは、以下のセキュリティ機能を備えています。

- 利用者認証機能により、利用者を限定できます。
- スキャン画像をパスワード付き PDF として出力できます。
- スキャン画像を保護できます。

複数の利用者がスキャナを共有して利用することが想定されることから、スキャン画像の保護は特に重要です。スキャナは、スキャン画像を保護するために、以下のセキュリティ対策を実施しています。

- 暗号化

スキャン画像は、メール送信 / FAX 送信 / 印刷 / フォルダ保存処理中には、一時的にスキャナに格納されます。ただし、必ず暗号化して格納されるため、万一、ディスクの内容が解析されたとしても、解読はできません。

- スキャン画像の削除

スキャン画像は、メール送信 / FAX 送信 / 印刷 / フォルダ保存処理が完了したあとに削除されます。スキャナには保存されません。万一、メール送信 / FAX 送信 / 印刷 / フォルダ保存処理中に、なんらかの異常でスキャン画像が滞留した場合でも、次回、スキャナを起動すると自動的に削除されます。

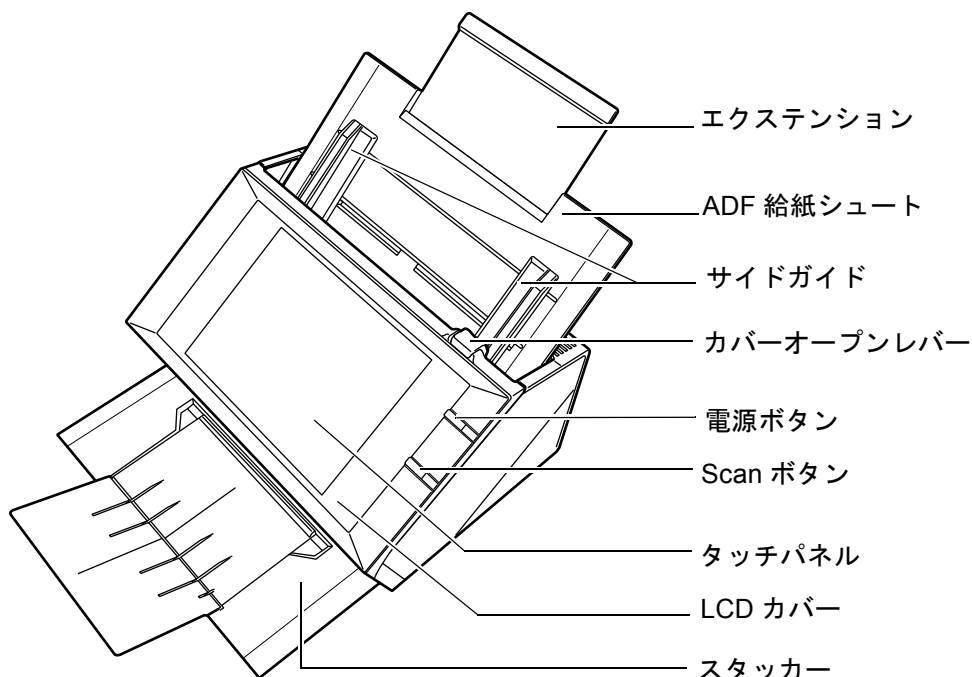
- 完全消去

スキャナ上のデータ初期化時に、意味のないランダムなデータで、空き領域を書き潰すことができます。また、スキャナ上のユーザー情報を削除する場合、暗号化で使用していた暗号鍵を変更しています。これにより、万一、ディスクの空き領域が解析されたとしても、解読はできません。

また、スキャナは、外部記憶媒体からのファイル流入経路はなく、ネットワーク経路による外部からのファイル流入経路は最低限に限定しています。さらに、万一のウイルス侵入に備え、セキュリティパッチを提供しています。これら対策により、ウイルス感染からも保護されています。

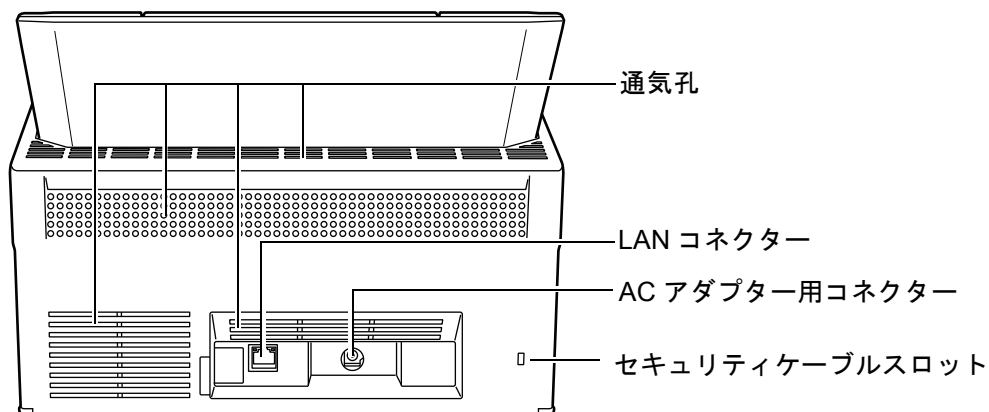
1.2 各部の名称と働き

■ 前面



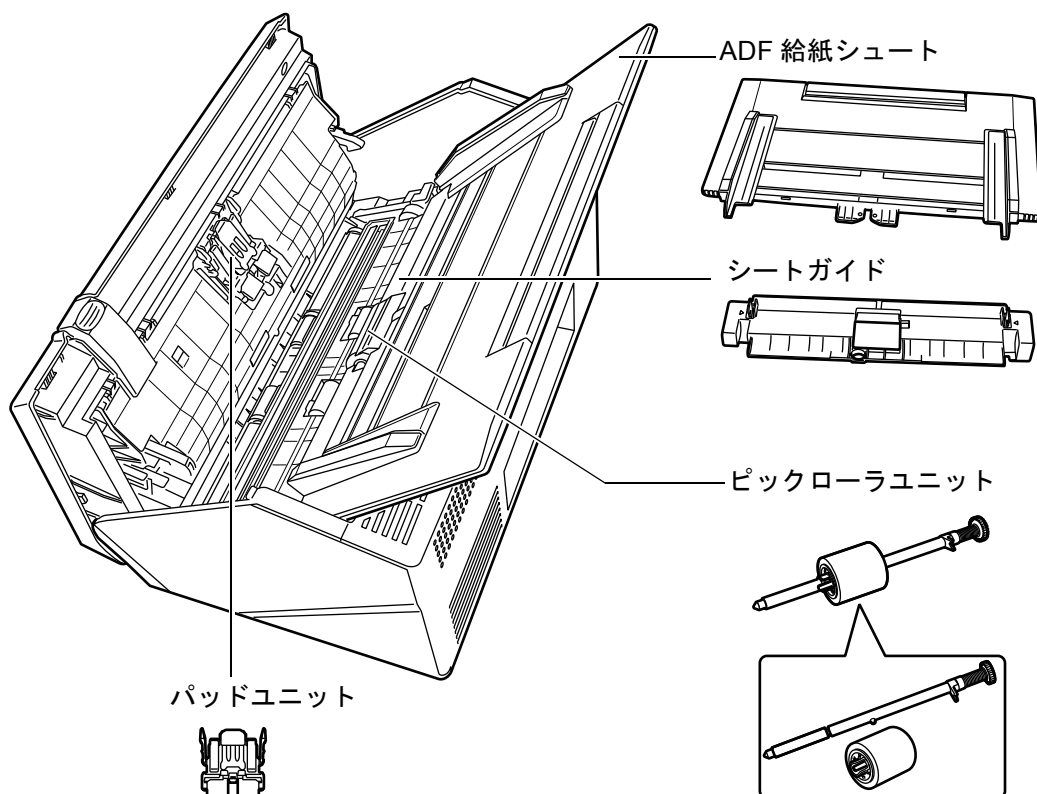
名称	機能
エクステンション	読み取る原稿の長さに合わせて、引き上げて使います。
ADF 給紙シュート	読み取る原稿をセットするための台です。
サイドガイド	原稿の幅に合わせて、ズレを防止します。
カバーオープンレバー	手前に引くと、LCD カバーが開きます。
電源ボタン	電源が入っていない状態または省電力モードの状態から、「ログイン」画面を呼び出します。使い方については、「 電源ボタンの使い方 」(56 ページ) を参照してください。
Scan ボタン	読み取りを開始します。使い方については、「 Scan ボタンの使い方 」(58 ページ) を参照してください。
タッチパネル	メニューが表示されます。触れて操作します。使い方については、「 2.3 タッチパネルの使い方 」(59 ページ) を参照してください。
LCD カバー	消耗品の交換や内部を清掃する場合に、カバーオープンレバーを手前に引きながら、LCD カバーの側面を持って開きます。
スタッカー	開いて使います。排出された原稿が積み重ねられます。

■ 背面



名称	機能
通気孔	スキャナ内部の熱を外部に逃すための開孔部です。
AC アダプター用コネクター	AC アダプターを接続します。
LAN コネクター	LAN ケーブルを接続します。
セキュリティケーブルスロット	市販のセキュリティケーブル（盗難防止用）を接続します。 推奨するセキュリティケーブルは以下のとおりです。 シリンダー部（最大）：直径 25mm、全長 50mm ケーブル振出し方向：ライトアングル （ストレートタイプの場合は、ケーブルの屈曲を含める）

■ 取り外し可能部品



名称	機能
ADF 給紙シュート	ADF 給紙シュートに置かれた原稿をスタッカーへ送ります。
シートガイド	
ピックアップユニット	
パッドユニット	

1.3 ログイン別操作一覧

スキャナを利用するときは、以下の操作権限を持つユーザーでスキャナにログインします。

- 利用者権限
利用者アカウントでログインしたときの操作権限です。
この権限でログインしたときは、スキャナの「利用者」となります。
利用者は、スキャナでの読み取り操作や、スキャン画像の送信、印刷、および保存といった操作を行えます。
- 管理者権限
管理者アカウントでログインしたときの操作権限です。
この権限でログインしたときは、スキャナの「管理者」となります。
管理者は、スキャナの実環境設定や管理を行えます。

なお、操作権限によって、スキャナへのログイン方法が以下のように異なります。

操作権限	ログイン方法		
	タッチパネル	Admin Tool	Central Admin Console
利用者権限	○	—	—
管理者権限	○	○	○

○：利用できます。 —：利用できません。

以降に、管理者および利用者が操作できる項目を一覧で示します。

1.3.1 管理者権限で行える操作

■ システム設定

項目	機能	タッチパネル		Admin Tool	Central Admin Console	参照先
		Basic モード	Advanced モード			
装置設定						
スキャナ情報移入	スキャナ情報を移入します	—	—	—	○	(*1)
スキャナ名	スキャナ名を設定します (*2)	○	○	○	—	89 ページ
タイムゾーン	タイムゾーンを設定します (*2)	○	○	○	○	91 ページ
日付 / 時刻	日時を設定します (*2)	○	○	○	○ (*3)	92 ページ
証明書管理	証明書を管理します	—	○ (*4)	○	○	93 ページ
スキャナ設定						
マルチフィード検出設定	マルチフィードの検出条件を設定します	—	○	○	○	95 ページ
スキャナ調整	スキャナの動作を設定します	—	○	○	—	98 ページ
スキャナ詳細設定	スキャナの詳細設定をします	—	○	○	○	99 ページ

項目	機能	タッチパネル		Admin Tool	Central Admin Console	参照先
		Basicモード	Advancedモード			
ログイン設定						
ログイン設定	ログイン設定をします (*2)	—	○	○	○	100 ページ
省電力モード・自動ログアウト	自動ログアウト、省電力モード、および電源切断時間を設定します	—	○	○	○	105 ページ
管理者パスワード	管理者パスワードを変更します (*2)	○	○	○	—	107 ページ
LAN Manager 認証レベル	LAN Manager 認証レベルを設定します	—	○	○	○	108 ページ

○：操作できます。 —：操作できません。

- (*1): 操作については、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。
- (*2): インストールウィザードでも操作できます。
- (*3): 日付時刻の設定および [現在時刻取得] ボタンの操作は行えません。
- (*4): 証明書のインポートはできません。

■ ネットワーク設定

項目	機能	タッチパネル		Admin Tool	Central Admin Console	参照先
		Basic モード	Advanced モード			
基本ネットワーク						
IP アドレス	IP アドレス / DHCP を設定します (*1)	○	○	○	—	109 ページ
DNS サーバ	DNS サーバを設定します (*1)	○	○	○	○	111 ページ
WINS サーバ	WINS サーバを設定します	○	○	○	○	112 ページ
NTP サーバ	NTP サーバを設定します	—	○	○	○ (*2)	113 ページ
プロキシサーバ	プロキシサーバを設定します	—	○	○	○	114 ページ
Ping	Ping でネットワークへの接続状態を確認します	○	○	○	—	115 ページ
ネットワーク状態	ネットワークの動作状態を確認します	○	○	○	—	117 ページ
ネットワーク管理						
接続設定	接続設定をします	○	○	○	○ (*3)	119 ページ
Scanner Central Admin Server	Central Admin Server を設定します (*1)	○	○	○	○ (*4)	121 ページ

項目	機能	タッチパネル		Admin Tool	Central Admin Console	参照先
		Basic モード	Advanced モード			
認証サーバ						
ログイン LDAP サーバ	ログイン LDAP サーバを設定します	—	○	○	○	124 ページ
メールアドレス LDAP サーバ	メールアドレス LDAP サーバを設定します	—	○	○	○	131 ページ
LDAP 検索条件	LDAP 検索条件を設定します	—	○	○	○	133 ページ
メール						
SMTP サーバ	メールサーバを設定します	○	○	○	○	135 ページ
メール送信設定	メール送信時の設定をします	—	○	○	○	137 ページ
添付ファイル名設定	添付ファイル名を設定します	—	○	○	○	138 ページ
FAX						
FAX サーバ	FAX 送信サーバを設定します	—	○	○	○	140 ページ
ネットワーク共有フォルダー						
ネットワーク共有フォルダー	ネットワーク共有フォルダーを設定します	○	○	○	○ (*5)	141 ページ
保存ファイル名設定	保存ファイル名を設定します	—	○	○	○	155 ページ
FTP フォルダ						
FTP フォルダ	FTP フォルダを設定します	—	○	○	○ (*5)	147 ページ
保存ファイル名設定	保存ファイル名を設定します	—	○	○	○	155 ページ

項目	機能	タッチパネル		Admin Tool	Central Admin Console	参照先
		Basic モード	Advanced モード			
SharePoint フォルダー						
SharePoint フォルダー	SharePoint フォルダーを設定します	—	—	○	○ (*5)	152 ページ
保存ファイル名設定	保存ファイル名を設定します	—	—	○	○	155 ページ
印刷						
ネットワーク共有プリンター	ネットワーク共有プリンターを設定します	○	○	○	○ (*5)	158 ページ

○：操作できます。 —：操作できません。

(*1): インストールウィザードでも操作できます。

(*2): 時刻同期は行えません。

(*3): SSL 証明書の内容は表示されません。

(*4): 「アドレス」および「ポート番号」は設定できません。

(*5): Central Admin Server からアクセスできるプリンター、フォルダー、SharePoint フォルダーを設定できます。

■ 保守

項目	機能	タッチパネル		Admin Tool	Central Admin Console	参照先
		Basic モード	Advanced モード			
情報表示						
装置情報	装置管理情報を参照します	○	○	○	○ (*1)	170 ページ
消耗品統計情報	消耗品統計情報を参照します	○	○	○	○ (*1)	171 ページ
オプション機能	オプション機能の適用状況を参照します	—	○	○	○ (*1)	172 ページ
ユーザーログ	ユーザーログを管理します	○	○	○	—	173 ページ
システムログ	システムログを管理します	○	○	○	—	175 ページ
資源操作						
ユーザー情報操作	ユーザー情報をメンテナンスします	—	○ (*2)	○	—	177 ページ
システム設定操作	システム設定情報の保守を行います	—	○ (*3)	○	—	182 ページ

項目	機能	タッチパネル		Admin Tool	Central Admin Console	参照先
		Basic モード	Advanced モード			
装置保守						
アップデート	アップデート / アップデートの公開をチェックします	—	○ (*5)	○	— (*4)	186 ページ
Add-in 管理	Add-in をインストール / アンインストールします	—	—	○	○ (*4)	190 ページ
	Add-in 情報を参照します	—	○	○	○ (*1)	191 ページ
	Add-in 実行時のキーボード表示を設定します	—	○	○	—	192 ページ
保守情報	保守情報の採取レベルを設定します	—	○	○	—	193 ページ
	保守情報を採取します	—	—	○	—	194 ページ
異常通知先	異常通知先を設定します	—	○	○	○	195 ページ

○：操作できます。 —：操作できません。

- (*1): Central Admin Console の「スキャナ詳細情報」画面で参照できます。
Central Admin Console の「システム環境設定」画面の [システム環境設定編集] ボタンを押すと表示される、システム環境設定編集画面からは参照できません。
- (*2): タッチパネルの場合、ユーザー情報の削除だけ操作できます。
- (*3): タッチパネルの場合、システム設定情報の初期化および完全消去だけ操作できます。
- (*4): Central Admin Console の「スキャナ操作」画面から操作できます。
Central Admin Console の「システム環境設定」画面の [システム環境設定編集] ボタンを押すと表示される、システム環境設定編集画面からは操作できません。
- (*5): タッチパネルの場合、アップデートの実行はできません。

■ 装置診断

項目	機能	タッチパネル		Admin Tool	Central Admin Console	参照先
		Basic モード	Advanced モード			
タッチパネル調整	タッチパネルを調整します	○	○	—	—	377 ページ
読み取りテスト	読み取りテストをします	○	○	—	—	374 ページ

○：操作できます。 —：操作できません。

■ ジョブ設定

項目	機能	タッチパネル		Admin Tool	Central Admin Console	参照先
		Basic モード	Advanced モード			
ジョブ設定	ジョブを設定します	—	—	○	○	203 ページ
ジョブメニュー設定	ジョブメニューを設定します	—	—	○	○	212 ページ
ジョブグループ設定	ジョブグループを設定します	—	—	○	○	218 ページ

○：操作できます。 —：操作できません

1.3.2 利用者が行える操作

項目	機能	参照先
メール	スキャン画像をメールで送信します	247 ページ
FAX	スキャン画像を FAX で送信します	264 ページ
印刷	スキャン画像を印刷します	273 ページ
保存	スキャン画像をフォルダーに保存します	285 ページ
SharePoint に保存	スキャン画像を SharePoint フォルダーに保存します	289 ページ
読み取り設定	読み取り設定をします	297 ページ
表示&編集	「表示&編集」画面の表示を設定します	334 ページ
メンテナンス		
メールアドレス編集	メールアドレス台帳を編集します	260 ページ
FAX 番号編集	FAX 番号台帳を編集します	271 ページ
ローラークリーニング	スキャナ内部を清掃します	357 ページ
読み取りテスト	読み取りテストをします	374 ページ
管理者ログイン	管理者でログインするための画面を表示します	74 ページ
パスワードの変更	利用者のパスワードを変更します	352 ページ
消耗品状態	消耗品の状態を確認します	364 ページ
ユーザーログ	ユーザーログの詳細情報を参照します	340 ページ
ジョブメニュー	ジョブを実行します	343 ページ

1.4 動作環境

1.4.1 Admin Tool・User Editor の動作環境

Admin Tool および User Editor の動作環境は、以下のとおりです。

ソフトウェア（日本語版）

- オペレーティングシステム
 - Windows XP（Service Pack 3 以降）
 - Windows Vista（Service Pack 1 以降）
 - Windows 7
 - Windows 8
 - Windows Server 2003（Service Pack 2 以降）
 - Windows Server 2008
 - Windows Server 2012
- .NET Framework
 使用する .NET Framework は、オペレーティングシステムによって異なります。

オペレーティングシステム	.NET Framework (*1)
Windows XP Windows Vista Windows 7 Windows Server 2003 Windows Server 2008	.NET Framework 2.0（Service Pack 2 以降） .NET Framework 3.0（Service Pack 2 以降） .NET Framework 3.5（Service Pack 1 以降）
Windows 8 Windows Server 2012	.NET Framework 4.5

- Web ブラウザ
 - Internet Explorer 6.0（Service Pack 2）以降 (*2)

(*1): .NET Framework がインストールされていない場合は、管理者にその旨を通知します。マイクロソフトの Web サイトからダウンロードしてインストールしてください。
 .NET Framework をインストールする場合、ハードディスク空き容量を確認してください。なお、.NET Framework 2.0 の場合は、約 500M バイトの空きディスク容量が必要です。

(*2): Admin Tool の場合、最新のセキュリティ更新プログラムを適用してください。適用していない場合、マニュアルなどのダウンロードができない場合があります。なお、Windows XP の場合は、Internet Explorer にセキュリティ更新プログラム「KB933566」の適用が必要です。

また、ダウンロードができない場合、Internet Explorer の「インターネットオプション」の「詳細設定」で、「暗号化されたページをディスクに保存しない」チェックボックスのチェックをはずして、再度実行してください。

Internet Explorer 10 の場合、Internet Explorer の「互換表示設定」で、指定する URL が互換表示となるように設定してください。

重要

Admin Tool および User Editor がインストールされたコンピュータとスキャナの言語設定は、同じにしてください。

ハードウェア

- サポートするソフトウェアが動作し、以下の要件を満たすコンピュータ
 - 32M バイト以上の空きメモリ容量
 - 64M バイト以上の空きディスク容量
- XGA 以上のモニタ
- LAN ケーブル
- ポインティングデバイス（マウスなど）

1.4.2 連携するサーバの動作環境

スキャナと連携できるサーバの動作環境は、以下のとおりです。
 なお、サポートする各オペレーティングシステムのバージョン、エディションについては、「[本書での略記](#)」(25 ページ)を参照してください。

サーバ	オペレーティングシステム	機能
LDAP サーバ	Windows Server 2003	Active Directory
	Windows Server 2008	
	Windows Server 2012	
	OpenSolaris	OpenLDAP
	Solaris10	
	Red Hat Enterprise Linux	
	SUSE Linux Enterprise Server	
SMTP サーバ	Windows Server 2003	SMTP,Exchange
	Windows Server 2008	
	Windows Server 2012	SMTP
ファイルサーバ	Windows Server 2003	Windows 共有フォルダー
	Windows Server 2008	
	Windows Server 2012	
	OpenSolaris	Samba
	Solaris10	
	Red Hat Enterprise Linux	
	SUSE Linux Enterprise Server	
SharePoint サーバ	Windows Server 2003	SharePoint
	Windows Server 2008	
FTP サーバ	Windows Server 2003	FTP
	Windows Server 2008	
	Windows Server 2012	
プリントサーバ	Windows Server 2003	Windows 共有プリンター (*)
	Windows Server 2008	
	Windows Server 2012	

サーバ	オペレーティングシステム	機能
DNS サーバ	Windows Server 2003	DNS
	Windows Server 2008	
	Windows Server 2012	
WINS サーバ	Windows Server 2003	WINS
	Windows Server 2008	
	Windows Server 2012	
DHCP サーバ	Windows Server 2003	DHCP
	Windows Server 2008	
	Windows Server 2012	
NTP サーバ	Windows Server 2003	NTP
	Windows Server 2008	
	Windows Server 2012	
	Red Hat Enterprise Linux	
FAX サーバ	Windows Server 2003	RightFax
	Windows Server 2008	

(*): ネットワーク共有プリンターとして、Windows XP クライアントに対応したプリンタードライバをインストールする必要があります。

LDAP サーバ

LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) とは、TCP/IP ネットワークで、ディレクトリデータベースにアクセスするためのプロトコルです。ネットワークを利用するユーザーのメールアドレスや環境に関する情報を管理できます。

暗号化通信 (SSL) で接続する場合は、「LDAPS サーバ」といいます。

この LDAP サーバを使用して、以下が行えます。

- ログイン時のユーザー認証
- メール送信時のメールアドレス台帳を使ったあて先検索および入力

SMTP サーバ

SMTP (Simple Mail Transfer Protocol) とは、メールを送信するためのプロトコルです。

この SMTP サーバを使用して、以下が行えます。

- スキャン画像のメール送信
- スキャン画像の FAX 送信

ファイルサーバ

ファイルサーバとは、サーバ上のディスクをネットワーク上のほかのコンピュータと共有し、外部から利用できるようにするサーバです。
このファイルサーバを使用して、スキャン画像をファイルサーバのネットワーク共有フォルダーに保存できます。

SharePoint サーバ

SharePoint とは、Microsoft が提供する、Web ブラウザベースでドキュメント管理などを行うプラットフォームの総称です。
この SharePoint サーバを使用して、スキャン画像を SharePoint サーバの SharePoint フォルダーに保存できます。

FTP サーバ

FTP (File Transfer Protocol) とは、TCP/IP に依拠したネットワーク上でホスト間でファイルをコピーするために使用される標準ネットワークプロトコルです。
暗号化通信 (SSL) で接続する場合は、「FTPS サーバ」といいます。
この FTP サーバを使用して、スキャン画像を FTP サーバのネットワーク共有フォルダーに保存できます。

プリントサーバ

プリントサーバとは、ネットワーク上のプリンターを複数のクライアントコンピュータから利用するとき使用するコンピュータや機器を指します。ネットワーク上のクライアントコンピュータから印刷要求を受信して、プリントサーバに接続されているプリンターに配信します。

重要

- Windows XP に対応したプリンタードライバを登録しておく必要があります。
- メモリやハードディスクを搭載しており、印刷データのプール機能を保持するプリンターを使用してください。プール機能を保持しているか不明の場合は、プリンターの販売元にお問い合わせください。
- プリンターの用紙切れや用紙づまりなどのエラー状態が確認できる、LCD 付きのプリンターの使用を推奨します。

DNS サーバ

DNS サーバとは、ホスト名または FQDN 名を IP アドレスに変換し名前解決を行うサーバです。

WINS サーバ

WINS サーバとは、WINS クライアントからの名前登録要求を処理して、その名前と IP アドレスをサーバデータベースに登録するサーバです。クライアントから出された NetBIOS 名クエリに回答して、照会された名前がサーバデータベースに一覧表示されている場合はその名前の IP アドレスを返します。

また、DNS による名前解決が失敗した際に、WINS サーバに問い合わせを転送することもできます。

DHCP サーバ

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) とは、IP ネットワークで使用される自動構成プロトコルです。DHCP サーバでは、スキャナをはじめコンピュータの IP アドレスを自動的に割り当てられるため、ネットワーク管理者の介入は不要となります。

NTP サーバ

NTP (Network Time Protocol) とは、ネットワーク上のコンピュータシステムの時刻を、正しい時刻に同期するためのプロトコルです。クライアントがネットワークを介して時刻を問い合わせるときに利用します。

FAX サーバ

FAX サーバとは、電話回線に接続された FAX モデムまたは専用の FAX 基盤が備わっているコンピュータを指します。FAX を送信するときに使用します。本製品がサポートする FAX サーバは、以下のとおりです。

- RightFax のメール連携

この FAX サーバを使用して、スキャン画像を FAX 送信できます。

1.4.3 使用するポート番号一覧

機能	接続方向	ポート番号	プロトコル番号
Admin Tool 接続	Admin Tool⇨ スキャナ	80 (HTTP) (*1)	6 (TCP)
		443 (HTTPS) (*1)	6 (TCP)
Central Admin Server 接続	Central Admin Server⇨ スキャナ	80 (HTTP) (*1)	6 (TCP)
		443 (HTTPS) (*1)	6 (TCP)
	スキャナ ⇨Central Admin Server	20444 (HTTP/HTTPS) (*1)	6 (TCP)
DHCP サーバ	スキャナ ⇨DHCP サー バ	67 (DHCP)	17 (UDP)
DNS サーバ	スキャナ ⇨DNS サーバ	53 (DNS)	17 (UDP)
WINS サーバ	スキャナ ⇨WINS サーバ	1512 (WINS)	17 (UDP)
時刻同期	スキャナ ⇨SNTP サーバ	123 (SNTP)	17 (UDP)
プロキシサー バ	スキャナ ⇨ プロキシ サーバ	任意	6 (TCP)
認証 / メール アドレス検索	スキャナ ⇨LDAP サーバ	389 (LDAP) (*1)	6 (TCP)
		636 (LDAPS) (*1)	6 (TCP)
		3268 (Active Directory Global Catalog) (*1)	6 (TCP)
		3269 (Active Directory Global Catalog over SSL) (*1)	6 (TCP)
メール送信	スキャナ ⇨SMTP サー バ	25 (SMTP) (*1)	6 (TCP)
		465 (SMTP over SSL) (*1)	6 (TCP)
		587 (SMTP over STARTTLS) (*1)	6 (TCP)
FAX 送信	スキャナ ⇨SMTP サー バ	25 (SMTP) (*1)	6 (TCP)
		465 (SMTP over SSL) (*1)	6 (TCP)
		587 (SMTP over STARTTLS) (*1)	6 (TCP)
印刷	スキャナ ⇨ プリント サーバ	137,138,139,445 (SMB)	6 (TCP) 17 (UDP)
SharePoint サーバ	スキャナ ⇨SharePoint サーバ	80 (HTTP) (*1)	6 (TCP)
		443 (HTTPS) (*1)	6 (TCP)

機能	接続方向	ポート番号	プロトコル番号
FTP サーバ	スキャナ ⇄ FTP サーバ	20,21 (FTP) (*1)	6 (TCP)
FTPS サーバ	スキャナ ⇄ FTPS サーバ	989,990 (FTPS) (*1)	6 (TCP)
フォルダー保存	スキャナ ⇄ ファイルサーバ	137,138,139,445 (SMB)	6 (TCP) 17 (UDP)
Ping	スキャナ ⇄ サーバまたはコンピュータ	—	1 (ICMP)
User Editor	User Editor ⇄ スキャナ	80 (HTTP) (*1)	6 (TCP)
		443 (HTTPS) (*1)	6 (TCP)

(*1): 変更が可能

第 2 章

スキャナの基本的な使い方

管理者

利用者

2.1 電源の投入 / 切断	54
2.2 スキャナのボタンの使い方	56
2.3 タッチパネルの使い方	59
2.4 ソフトキーボードの使い方	60

2.1 電源の投入 / 切断

2.1.1 電源を投入します



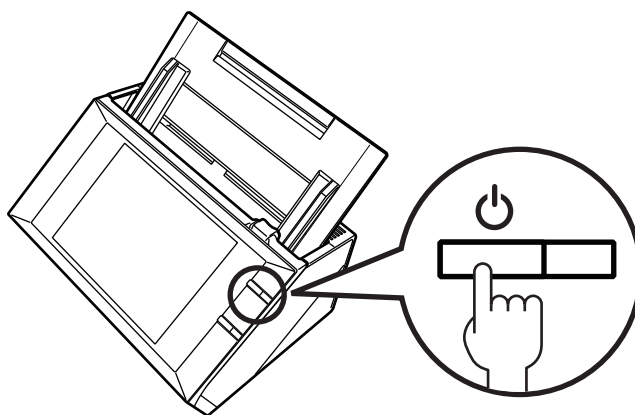
注意

電源を入れたまま持ち運んだり、衝撃や振動を与えたりしないでください。

スキャナ内部の部品が損傷し、データを消失する原因となります。



1. 電源ボタンを押します。



⇒ スキャナが起動され、「ログイン」画面が表示されます。

なお、設定によっては、インストールウィザードが表示される場合があります。

重要

電源を切断したあと、電源を入れる場合は、10 秒以上時間を空けてください。

2.1.2 電源を切断します

1. 「ログイン」画面の [電源切断] ボタンを押します。

重要

スキヤナの電源を切断する場合は、必ず [電源切断] ボタンを押してください。スキヤナの電源ボタンを4秒以上押して、強制的に電源を切断しないでください。スキヤナが正常に動作しなくなる可能性があります。



⇒ 電源を切断するかを確認する画面が表示されます。

2. [OK] ボタンを押します。

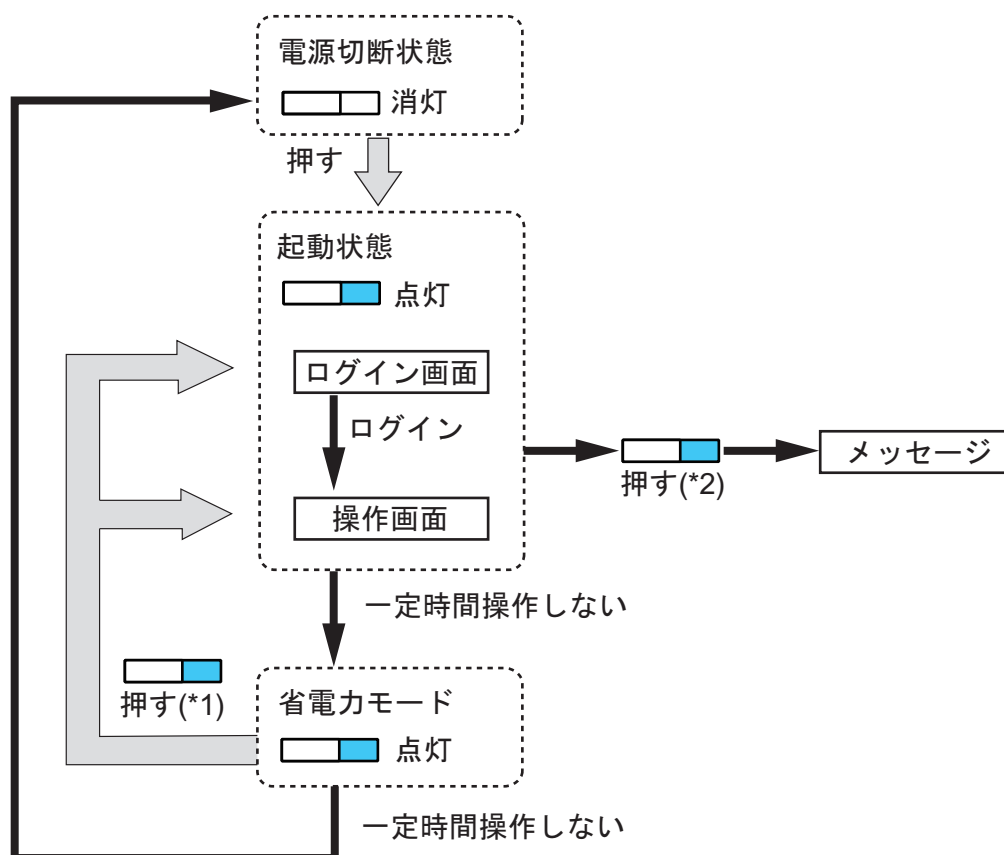
⇒ スキヤナの電源が切断されます。

2.2 スキャナのボタンの使い方

■ 電源ボタンの使い方

電源切断状態の場合または省電力モードの場合、電源ボタンを押すと、スキャナが起動して「ログイン」画面が表示されます。

起動状態の場合、電源ボタンを押すと、メッセージが表示されます。



(*1): 以下の操作でも、省電力モードから復帰します。

- ADF 給紙シュートに原稿をセットする。
- LCD カバーを閉める。
- 電源ボタンを押す。
- スキャンボタンを押す。
- タッチパネルをタッチする。

復帰後に表示される画面は、自動ログインの設定によって、以下のようになります。

- 自動的にログインする設定にした場合、操作画面が表示されます。
- 自動的にログインしない設定にした場合、「ログイン」画面が表示されます。

- (*2):
- [電源切断] ボタンが表示されている画面でスキャナの電源ボタンを押した場合、「電源ボタンから手を離してください。「電源切断」ボタンを選択すると電源を切断します。」のメッセージが表示されます。
 - [電源切断] ボタンが表示されていない画面でスキャナの電源ボタンを押した場合、「電源ボタンから手を離してください。システムが動作中のため電源切断できません。」のメッセージが表示されます。

重要


- 起動状態または省電力モードで、電源ボタンを4秒以上押さないでください。電源切断状態になります。その場合、スキャナ内に保存されている情報が利用できなくなる可能性があります。
万一、電源ボタンを4秒以上押して電源切断状態になった場合は、必ずACケーブルを抜き、一度電源を切断してください。
- 電源を切断したあと、電源を入れる場合は、10秒以上時間を空けてください。正常に電源を切断するには、画面上の[電源切断] ボタンを押してください。

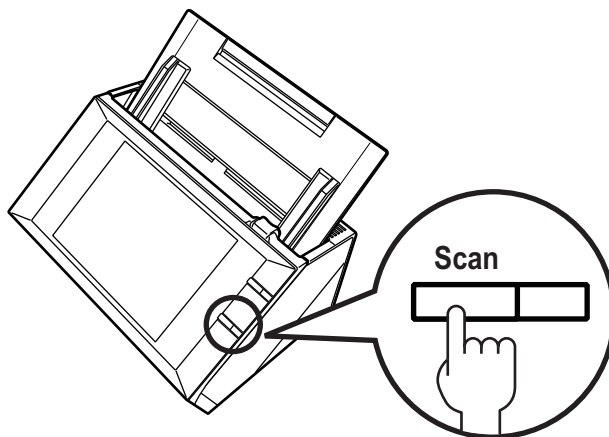
ヒント


- 省電力モードのまま一定時間操作せずに、電源切断時間が経過した場合、スキャナの電源が自動的に切断されます。スキャナの電源が切断されると、復帰に時間がかかります。
- 省電力モードへの移行時間および電源切断時間は変更できます。詳細については、「[4.7.2 省電力モード・自動ログアウトを設定します](#)」(105 ページ)を参照してください。
- 「ログイン」画面を表示せずに、自動的にログインするようになります。自動ログインの設定方法については、「[4.7.1 ログイン設定をします](#)」(100 ページ)を参照してください。
- 自動的にログインする設定にした場合、メインメニューまたはジョブメニューの表示中は、Admin Tool からログインできます。

■ Scan ボタンの使い方

Scan ボタンは、タッチパネルに  が付いたボタンが表示された場合に有効になります。

 が付いたボタンが表示されたときに、Scan ボタンを押すと、読み取りが開始されます。



なお、 が付いたボタンは以下のとおりです。

- [スキャン] ボタン
- [スキャン&送信] ボタン
- [スキャン&印刷] ボタン
- [スキャン&保存] ボタン
- [追加読み取り] ボタン

タッチパネルで、これらのボタンを押しても、読み取りを開始できます。

2.3 タッチパネルの使い方

選択するボタンに軽く触れて操作してください。

タッチパネルの画面については、以下を参照してください。

- [「4.1.1 タッチパネル（管理者）の画面」（70 ページ）](#)
- [「6.2 タッチパネル（利用者）の画面」（241 ページ）](#)

重要

- ペンなどの硬いもので、タッチパネルを操作しないでください。
タッチパネルが損傷する場合があります。
- タッチパネルの表面に付着したほこりや手アカなどは、タッチパネルが誤動作する原因となります。よごれが目立つ場合は清掃してください。
清掃方法は、[「タッチパネルの清掃」（356 ページ）](#)を参照してください。

2.4 ソフトキーボードの使い方

スキャナのタッチパネルでは、画面の入力域に文字列を入力するときは、ソフトキーボードを使用して、文字を入力します。
以下に、ソフトキーボードの使い方を示します。

■ ソフトキーボードの表示 / 非表示の方法

ソフトキーボードは、タッチパネルに表示されている以下のボタンを押して、表示 / 非表示します。

ボタン	説明
	<p>ボタンを押すと、ソフトキーボードが表示されます。 ソフトキーボードを使用して、文字が入力できます。</p> 
	<p>ソフトキーボードを表示しているときは、このボタンになります。 ボタンを押すと、ソフトキーボードが非表示になります。</p>
	<p>入力項目がない画面のときは、このボタンになります。 この状態のときは、ソフトキーボードを表示できません。</p>

なお、項目の入力域をタッチすると、ソフトキーボードが表示されます。
ログイン画面では、自動でソフトキーボードが表示されます。

ヒント

Add-in の場合、「Add-in 管理」画面で Add-in 実行時にソフトキーボードを表示しないように設定できます。

また、Add-in 実行時にソフトキーボードを表示する場合、ソフトキーボードを表示するためのボタンの表示位置を変更できます。

■ ソフトキーボードのキーの使い方

キー	機能
Tab	入力域にフォーカスします。
Enter	以下の動作と同じです。 <ul style="list-style-type: none">● ソフトキーボードの表示時に、ソフトキーボードを閉じます。● 画面の入力域に、複数行入力するときに改行します。● 「ログイン」画面の場合に、入力内容を確定します。

重要

- スキャナからログインした場合、メニューはソフトキーボードで選択できません。タッチパネルでメニューのボタンを押してください。
- タッチパネルの管理者画面で、文字入力域に日本語入力ができなくなった場合は、再度ログインしてください。

■ 文字入力

スキャナのソフトキーボードの英字は QWERTY 配列に準拠しています。キーを押すことで入力モードの状態を変更できます。詳細については、「[D.3 ソフトキーボードの入力方法の変更](#)」(431 ページ) を参照してください。

ヒント

スキャナには、文字変換用に人名、地名の辞書を搭載しているため、スムーズに漢字変換できます。

第 3 章

管理者の操作（概要）

管理者

3.1 操作方法.....	63
3.2 機能別の設定項目	65

3.1 操作方法

管理者がスキャナの実環境設定や管理を行うには、以下の操作方法があります。

- **タッチパネル**

スキャナのタッチパネルから環境設定や管理を行います。

動作モード

管理者がタッチパネルを使用するときは、以下の動作モードで操作できます。

- **Basic モード**

コンピュータに関する基本的な知識を持った管理者が操作するときのモードです。

スキャナを使用するために必要な基本的な設定が行えます。

- **Advanced モード**

ネットワークやサーバに関する技術的な知識を持つ管理者が操作するときのモードです。

認証サーバやサーバ環境の設定、読み取りに関する拡張機能など、Basic モードより高度な設定が行えます。

動作モードの設定については、「[4.4 タッチパネルで操作するときの動作モードを設定します](#)」(87 ページ)を参照してください。

また、タッチパネルでは、スキャナを導入するために必要な最小限の環境設定を、ウィザードで設定できます。ウィザードで設定する項目を絞り込むこともできます。ウィザードの操作方法については、「[4.3 タッチパネルのインストールウィザードで環境設定をします](#)」(85 ページ)を参照してください。

- **Admin Tool**

コンピュータにインストールした Admin Tool から、ネットワーク経由で、環境設定や管理、アップデートなどが行えます。

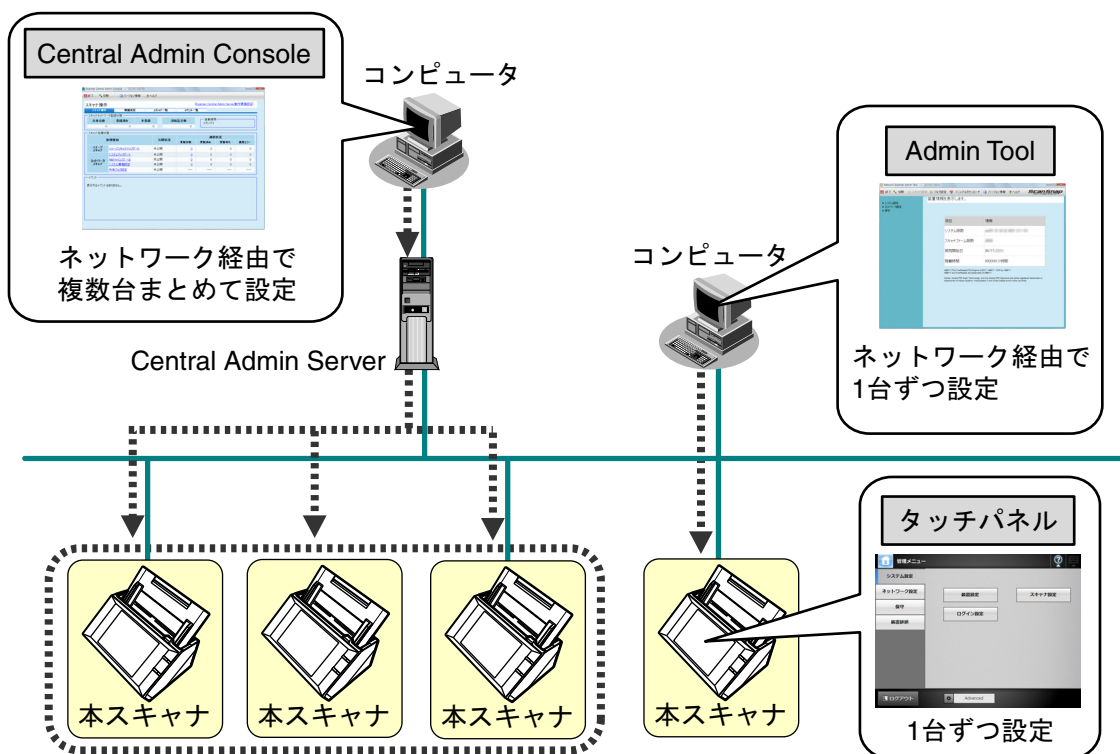
1 台ずつスキャナを設定できます。

- **Central Admin Console**

コンピュータにインストールした Central Admin Console から、ネットワーク経由で、複数台のスキャナに対して、まとめて環境設定や管理、アップデートなどが行えます。

なお、Central Admin Console で設定した内容は、Central Admin Server を経由してスキャナに適用されます。

Central Admin Console の詳細については、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。



3.2 機能別の設定項目

利用者が利用する機能によって、必要な環境設定が異なります。

管理者が設定した環境に応じて、以下のように、利用者の「メインメニュー」画面に機能ボタンが表示されます。

管理者が設定した環境に応じて、ボタンが表示される



以降に、利用する機能ごとに必要な環境設定を示します。

システム設定

メニュー	メール	FAX	印刷	保存	SharePoint に保存	参照
装置設定						
スキャナ情報移入	—	—	—	—	—	(*1)
スキャナ名	○	○	○	○	○	89 ページ
タイムゾーン	△	△	△	△	△	91 ページ
日付 / 時刻	△	△	△	△	△	92 ページ
証明書管理	—	—	—	—	—	93 ページ
スキャナ設定						
マルチフィード検出設定	—	—	—	—	—	95 ページ
スキャナ調整	—	—	—	—	—	98 ページ
スキャナ詳細設定	—	—	—	—	—	99 ページ
ログイン設定						
ログイン設定	—	—	—	—	—	100 ページ
省電力モード・自動ログアウト	—	—	—	—	—	105 ページ
管理者パスワード	△	△	△	△	△	107 ページ
LAN Manager 認証レベル	—	—	—	—	—	108 ページ

○：設定が必要 △：設定を推奨 —：設定必須ではない

(*1): 操作については、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

ネットワーク設定

メニュー	メール	FAX	印刷	保存	SharePoint に保存	参照
基本ネットワーク						
IP アドレス	○	○	○	○	○	109 ページ
DNS サーバ	△	△	△	△	△	111 ページ
WINS サーバ	△	△	△	△	△	112 ページ
NTP サーバ	△	△	△	△	△	113 ページ
プロキシサーバ	—	—	—	△	△	114 ページ
Ping	—	—	—	—	—	115 ページ
ネットワーク状態	—	—	—	—	—	117 ページ
ネットワーク管理						
接続設定	—	—	—	—	—	119 ページ
Scanner Central Admin Server	—	—	—	—	—	121 ページ
認証サーバ						
ログイン LDAP サーバ	△ (*1)	△ (*1)	△ (*1)	△ (*1)	△ (*1)	124 ページ
メールアドレス LDAP サーバ	—	—	—	—	—	131 ページ
LDAP 検索条件	—	—	—	—	—	133 ページ
メール						
SMTP サーバ	○	○	—	—	—	135 ページ
メール送信設定	△	—	—	—	—	137 ページ
添付ファイル名設 定	△	—	—	—	—	138 ページ
FAX						
FAX サーバ	—	○	—	—	—	140 ページ

メニュー	メール	FAX	印刷	保存	SharePoint に保存	参照
ネットワーク共有フォルダー						
ネットワーク共有 フォルダー	—	—	—	○	—	141 ページ
保存ファイル名設 定	—	—	—	△	—	155 ページ
FTP フォルダー						
FTP フォルダー	—	—	—	○	—	147 ページ
保存ファイル名設 定	—	—	—	△	—	155 ページ
SharePoint フォルダー						
SharePoint フォ ルダー	—	—	—	—	○	152 ページ
保存ファイル名設 定	—	—	—	—	△	155 ページ
印刷						
ネットワーク共有 プリンター	—	—	○	—	—	158 ページ

○：設定が必要 △：設定を推奨 —：設定必須ではない

(*1): LDAP サーバと連携する場合に必要です。

第 4 章

管理者の操作 (タッチパネル・Admin Tool)

管理者

管理者がタッチパネルまたは Admin Tool を使用して行うスキャナの環境設定や管理について説明しています。

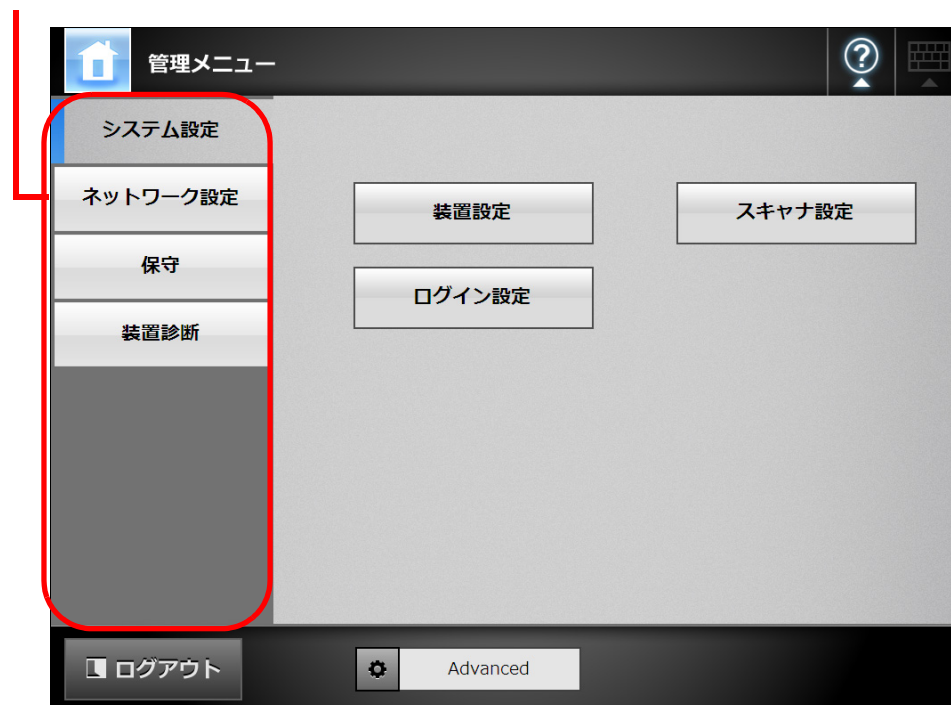
4.1 画面	70
4.2 ログインします	73
4.3 タッチパネルのインストールウィザードで環境設定をします	85
4.4 タッチパネルで操作するときの動作モードを設定します	87
4.5 システムを設定します	89
4.6 読み取りに関する設定をします	95
4.7 ログインに関する設定をします	100
4.8 ネットワークを設定します	109
4.9 LDAP に関する設定をします	124
4.10 メールの設定をします	135
4.11 FAX 送信サーバを設定します	140
4.12 保存先とするフォルダーを設定します	141
4.13 ネットワーク共有プリンターを設定します	158
4.14 スキャナに関する情報を参照します	170
4.15 資源を管理します	177
4.16 保守を行います	186
4.17 ジョブを設定します	199
4.18 メッセージ一覧	226

4.1 画面

4.1.1 タッチパネル（管理者）の画面

メニューを選択すると、下位のメニューが表示されます。
2階層目のメニューは、画面の右側の領域に表示されます。
最下位のメニューを選択すると、メニューに応じた設定画面が表示されます。

メニュー



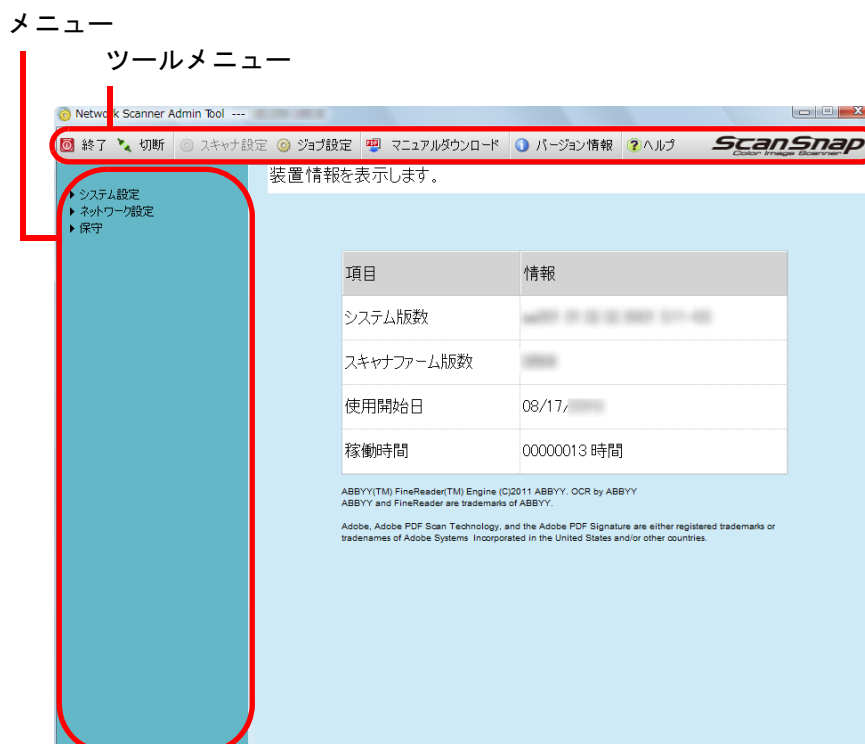
4.1.2 Admin Tool の画面

Admin Tool の画面には、以下の画面があります。

- [スキャナ設定] ボタンを押した場合の画面

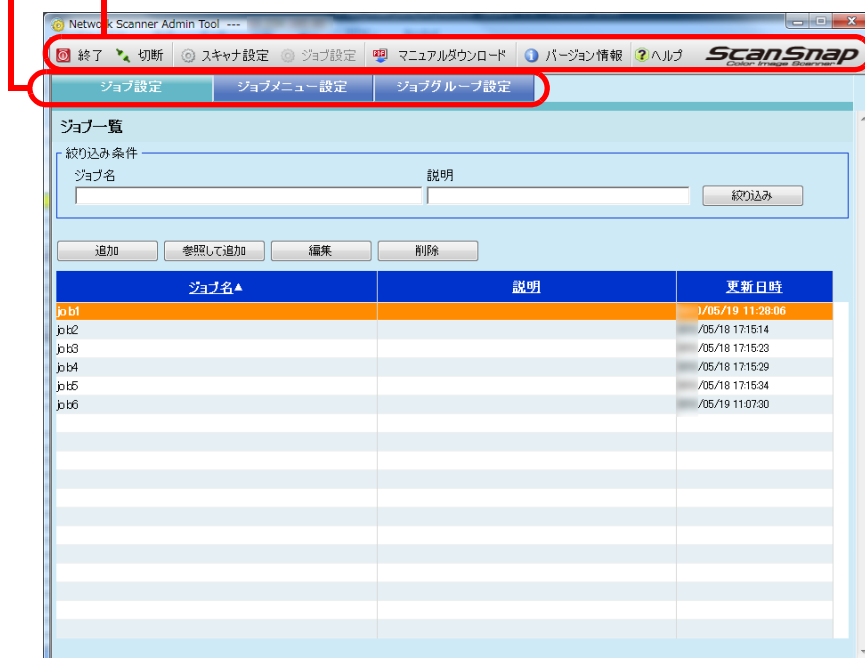
ツールメニューの [スキャナ設定] ボタンを押してからメニューを選択すると、下位のメニューが表示されます。

最下位のメニューを選択すると、メニューに応じた設定画面が表示されます。



- [ジョブ設定] ボタンを押した場合の画面
ツールメニューの [ジョブ設定] ボタンを押すと、ジョブを設定するための画面が表示されます。

ジョブ設定メニュー
ツールメニュー



4.2 ログインします

4.2.1 管理者がスキャナからログインします タッチパネル

■ 自動ログインしない場合

ヒント

- 管理者のユーザー名とパスワードの初期値は、以下のとおりです。
ユーザー名 : admin
パスワード : password
- スキャナの実環境設定を行えるのは常に 1 人です。

1. 管理者のユーザー名およびパスワードを入力します。



ヒント

ログイン LDAP サーバが Active Directory Global Catalog の場合、UPN サフィックスの入力域が表示されます。
UPN サフィックスは、管理者でログインする場合、入力する必要はありません。入力しても無効になります。

2. [ログイン] ボタンを押します。

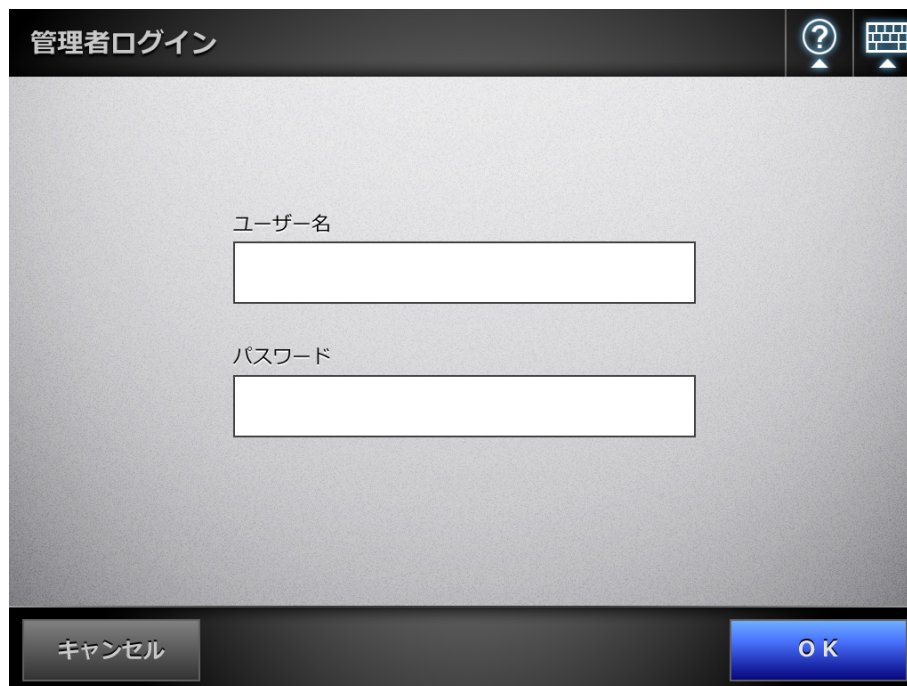
⇒ 認証されると、環境設定の画面が表示されます。

■ 自動ログインする場合

自動ログインをする設定になっている場合に、利用者の画面から、管理者の画面にログインします。

1. 「メンテナンス」画面を表示して、[管理者ログイン] ボタンを押します。

⇒ 「管理者ログイン」画面が表示されます



The screenshot shows a dialog box titled "管理者ログイン" (Administrator Login). The dialog has a dark header bar with the title and two icons: a question mark and a keyboard. The main area is light gray and contains two input fields. The first field is labeled "ユーザー名" (Username) and the second is labeled "パスワード" (Password). At the bottom, there are two buttons: "キャンセル" (Cancel) on the left and "OK" on the right.

2. 管理者のユーザー名およびパスワードを入力します。

3. [OK] ボタンを押します。

⇒ 認証されると、環境設定の画面が表示されます。

4.2.2 Admin Tool でログインする場合の事前設定

Admin Tool でログインする場合に、事前に行う必要がある設定について説明します。

ヒント

Admin Tool でログインして設定を行うには、事前に以下の設定が必要です。

- 「4.5.1 スキャナ名を設定します」(89 ページ)
- 「4.7.3 管理者パスワードを変更します」(107 ページ)
- 「4.8.1 IP アドレス /DHCP を設定します」(109 ページ)
- 「4.8.8 接続設定をします」(119 ページ)
- 「4.8.2 DNS サーバを設定します」(111 ページ)
- 「4.8.3 WINS サーバを設定します」(112 ページ)

■ Web ブラウザのキャッシュを確認します

Web ブラウザのキャッシュを確認します。

1. Web ブラウザの「ツール」メニュー → 「インターネットオプション」を選択します。
⇒ 「インターネットオプション」画面が表示されます。
2. 「全般」タブで「閲覧の履歴」の [設定] ボタンを押します。
⇒ 「インターネット一時ファイルと履歴の設定」画面が表示されます。
3. 「保存しているページの新しいバージョンの確認」で「自動的に確認する」を選択します。
4. 「使用するディスク領域」を 63M バイト以上にします。
5. [OK] ボタンを押します。

重要

- Web ブラウザの設定手順は、Web ブラウザのバージョンによって異なることがあります。
- プロキシサーバを使用しないネットワーク設定にしてください。

ヒント

Web ブラウザの提供元から障害修正ソフトウェア、Service Pack などが配信されている場合には、適応してから使用してください。

■ Web ブラウザの信頼済みサイトを設定します

Web ブラウザの信頼済みサイトに対象スキャナの URL を設定します。

設定していない場合、接続がブロックされたり、証明書のインストールができないことがあります。

1. Web ブラウザの「ツール」メニュー→「インターネットオプション」を選択します。

⇒「インターネットオプション」画面が表示されます。

2. 「セキュリティ」タブで「信頼済みサイト」を選択します。

3. [サイト] ボタンを押します。

⇒「信頼済みサイト」画面が表示されます。

4. 「このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする」のチェックを外します。

5. 「この Web サイトをゾーンに追加する」に対象スキャナの URL を入力して、[追加] ボタンを押します。

例 : http:// スキャナ名または IP アドレス /

重要

Web ブラウザの設定手順は、Web ブラウザのバージョンによって異なることがあります。

ヒント

Web ブラウザの提供元から障害修正ソフトウェア、Service Pack などが配信されている場合には、適応してから使用してください。

■ Admin Tool をインストールします

ネットワーク経由でスキャナの設定をするには、Admin Tool をコンピュータにインストールします。

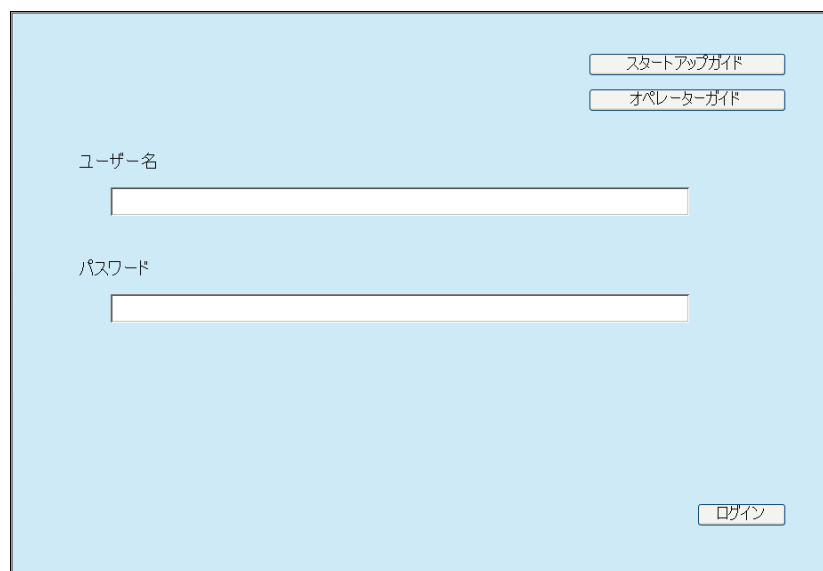
1. Web ブラウザから、スキャナ名を URL に指定してスキャナに接続します。

「4.8.8 接続設定をします」(119 ページ) での設定によって、指定する URL は以下のようになります。

- SSL 通信を「無効」、ポート番号変更なしの場合
http:// スキャナ名または IP アドレス /
- SSL 通信を「無効」、ポート番号変更ありの場合
http:// スキャナ名または IP アドレス : ポート番号 /
ポート番号には、変更したポート番号を入力してください。
- SSL 通信を「有効」、ポート番号変更なしの場合
https:// スキャナ名または IP アドレス /
- SSL 通信を「有効」、ポート番号変更ありの場合
https:// スキャナ名または IP アドレス : ポート番号 /
ポート番号には、変更したポート番号を入力してください。

なお、SSL 通信する場合、接続時に「セキュリティの警告」画面が表示されます。「セキュリティの警告」画面では [はい] ボタンを押してください。
⇒ 「ログイン」画面が表示されます。

2. 管理者のユーザー名およびパスワードを入力します。

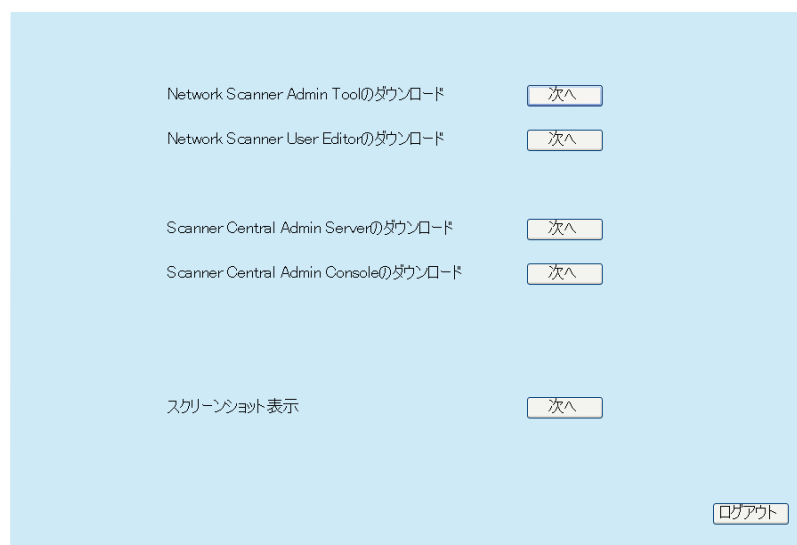


The image shows a login screen with a light blue background. At the top right, there are two buttons: 'スタートアップガイド' (Start-up Guide) and 'オペレーターガイド' (Operator Guide). Below these, there are two input fields: 'ユーザー名' (Username) and 'パスワード' (Password). At the bottom right, there is a 'ログイン' (Login) button.

3. [ログイン] ボタンを押します。

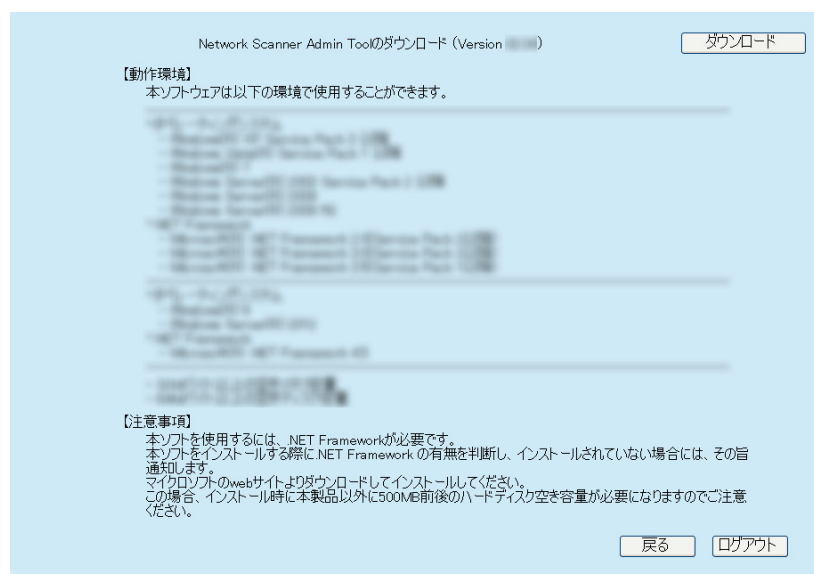
⇒ ダウンロード画面が表示されます。

4. 「Network Scanner Admin Toolのダウンロード」の[次へ]ボタンを押します。



⇒ Admin Tool のダウンロード画面が表示されます。

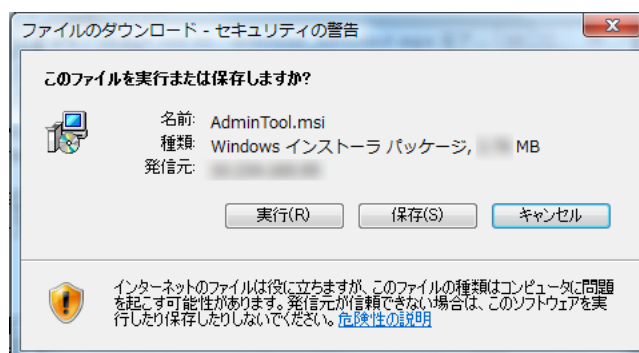
5. [ダウンロード] ボタンを押します。

**重要**

管理者または利用者がスキャナで操作中の場合、ダウンロードできません。

⇒ 「ファイルのダウンロード」画面が表示されます。

6. [実行] ボタンを押します。



⇒ Admin Tool のインストール画面が表示されます。

重要

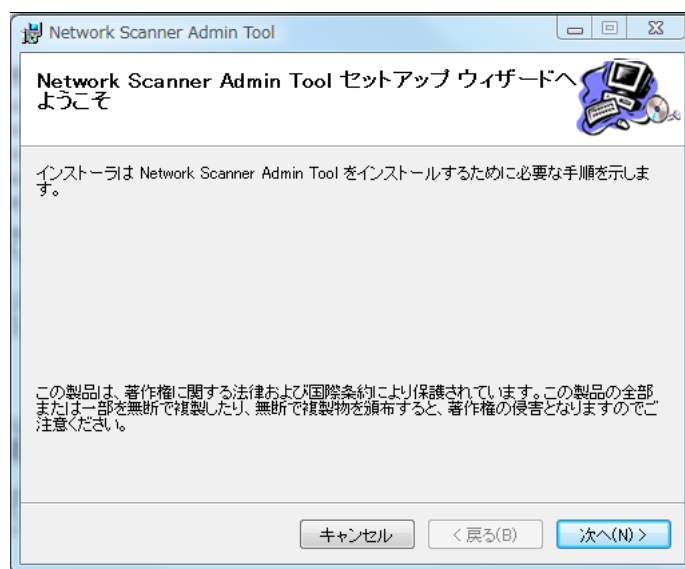
インストールが完了するまで、Web ブラウザを閉じたり、ログアウトしないでください。

ヒント

.NET Framework がインストールされていない場合は、Admin Tool をインストールする際に、Microsoft の Web サイトへアクセスします。

.NET Framework をインストール後、再度手順 1 から行ってください

7. [次へ] ボタンを押します。



⇒ 「インストールフォルダの選択」画面が表示されます。

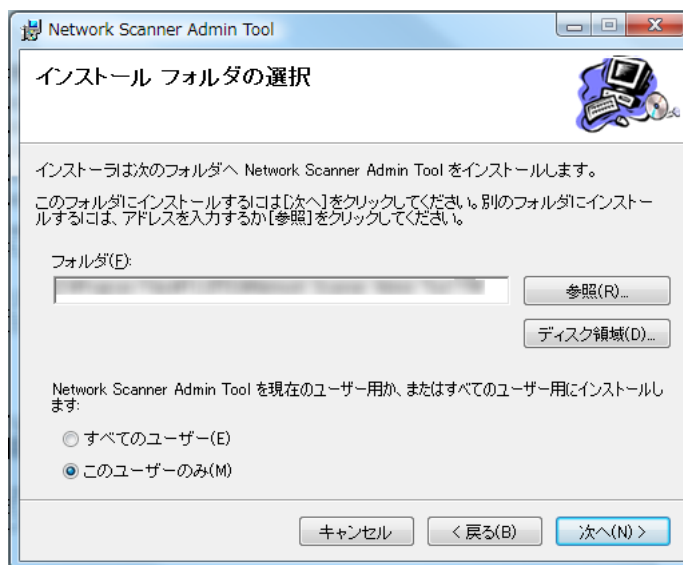
8. Admin Tool をインストールするフォルダー、およびインストールユーザーを選択します。

[参照] ボタンを押すとフォルダーを選択できます。

指定したフォルダーの空き領域が知りたい場合は [ディスク領域] ボタンを押してください。

重要

フォルダーのパス長がファイル名を含めて 259 文字以上の場合、正常にインストールできません。パス長が短くなるようインストールするフォルダーを指定してください。



9. [次へ] ボタンを押します。

⇒ 以降は、画面の指示に従って操作を進めてください。

「インストールが完了しました。」と表示されたらインストール終了です。[閉じる] ボタンを押してください。

⇒ インストール完了後、Web ブラウザ上でスキナからログアウトし、Web ブラウザを閉じてください。

⇒ インストールが完了すると、「スタート」メニュー → 「すべてのプログラム」 → 「Network Scanner」 → 「Network Scanner Admin Tool」 から Admin Tool を起動できます。

重要

- Admin Tool がすでにインストールされている場合は、「4.2.3 管理者が Admin Tool からログインします」(82 ページ) から操作してください。
- Web ブラウザの「ツール」メニュー → 「インターネットオプション」を選択して表示される「インターネットオプション」画面での設定について、以下の点に注意してください。
 - 「全般」タブの [ユーザー補助] ボタンを押して表示される「ユーザー補助」画面で、書式設定やユーザースタイルシートの各種設定をしないでください。Admin Tool の表示スタイルが崩れる場合があります。
 - 「全般」タブの [言語] ボタンを押して表示される「言語の優先順位」画面で、Central Admin Server のオペレーティングシステムと同じ言語を指定してください。異なる言語を指定した場合、Admin Tool における入力や表示に問題が発生する場合があります。
 - 「セキュリティ」タブの「このゾーンのセキュリティのレベル」を「高」にすると、一部 Admin Tool の画面項目が適切に表示されない場合があります。
この場合、「セキュリティ」タブでスキャナまたは Central Admin Server を信頼済みサイトに追加して [既定のレベル] ボタンを押す、または [レベルのカスタマイズ] ボタンを押して「バイナリ ビヘイビアとスクリプト ビヘイビア」を「有効にする」に設定してください。
- フォント サイズが大きい場合、一部の画面が正常に表示されないことがあります。この場合は、フォント サイズを小さくして使用してください。

■ Admin Tool のアンインストール方法

ここでは、Windows Vista の例で説明します。

Admin Tool のアンインストールは、インストールしたコンピュータの「コントロールパネル」から「プログラム」の「プログラムと機能」を選択して行います。

重要

アンインストールする前に、Admin Tool を終了してください。

Admin Tool を起動したままアンインストール処理を完了した場合、起動されている Admin Tool の動作は保証できません。

4.2.3 管理者が Admin Tool からログインします AdminTool

Admin Tool を使うと、管理者はコンピュータからネットワーク経由でスキヤナの設定が行えます。

Admin Tool でログインする方法について説明します。

管理者または利用者がスキヤナにログインしている場合は、Admin Tool からログインできません。

ただし、自動的にログインする設定にした場合は、メインメニューまたはジョブメニューの表示中は、Admin Tool からログインできます。

重要

- 画面が正常に表示されない場合（「×」マークなどが表示されるような場合）は、しばらく時間をおいてから、再度操作してください。それでも発生する場合は、スキヤナを購入された販売店 / 販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンターに連絡してください。
- 短時間にボタンを何度も押すと、「通信エラーが発生しました。」というメッセージが表示される場合があります。この場合、しばらく待ってから再度実行してください。

ヒント

- スキヤナの管理をコンピュータで行う場合の動作環境については、「[1.4.1 Admin Tool・User Editor の動作環境](#)」（45 ページ）を参照してください。
 - 管理者のユーザー名とパスワードの初期値は、以下のとおりです。
ユーザー名 : admin
パスワード : password
 - スキヤナ的环境設定を行えるのは常に 1 人です。
 - セッションタイムアウト時間は 20 分（固定）です。以下の操作でセッションタイムアウト時間をさらに 20 分延長します。
 - メニューのボタン操作
 - [設定] ボタンを押す操作
- なお、「システム設定操作」画面で「完全消去」を行った場合、「完全消去」の処理に 20 分以上かかるため、「完全消去」が完了するまでセッションタイムアウト時間が延長されません。

1. 「スタート」メニュー → の「すべてのプログラム」 → 「Network Scanner」 → 「Network Scanner Admin Tool」 を選択します。

⇒ Admin Tool が起動されます。

2. 「接続先」を指定します。

設定や管理をしたいスキャナの IP アドレス、スキャナ名、または FQDN 名を指定します。



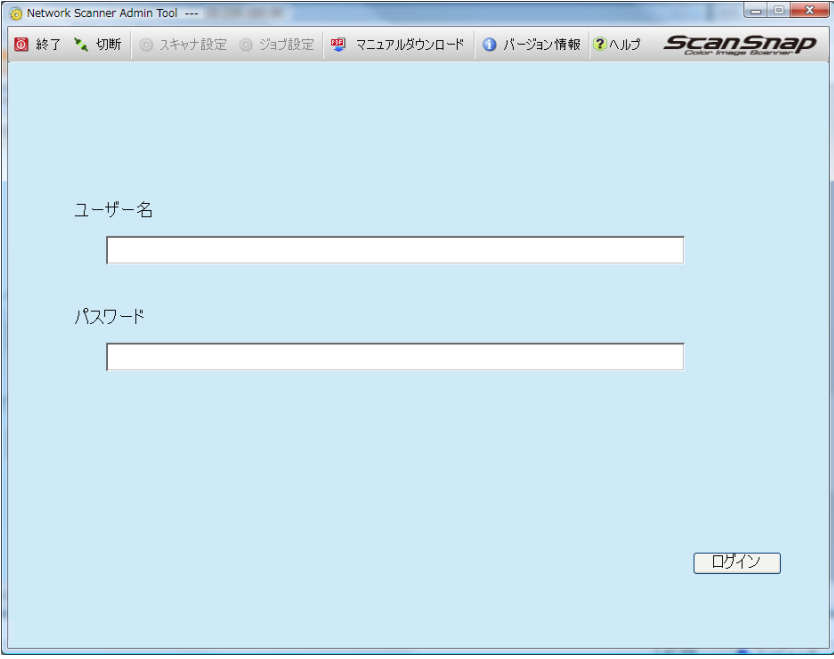
重要

- 「4.8.8 接続設定をします」(119 ページ) でポート番号を変更した場合、「接続先ポート番号」に変更したポート番号を入力してください。
- 設定されたポート番号以外で接続した場合、接続エラーとなるまでに 20 秒程度かかります。
- SSL 通信をする場合、「https」チェックボックスにチェックを付けてください。
- 空きメモリ容量がない状態で Admin Tool を起動するとスクリプトエラーが発生する場合があります。空きメモリ容量がある状態で再起動してください。

3. 「接続」ボタンを押します。

⇒ 「ログイン」画面が表示されます。

4. 「ユーザー名」および「パスワード」を入力します。



The screenshot shows the 'Network Scanner Admin Tool' window. The title bar includes 'Network Scanner Admin Tool' and standard window controls. The menu bar contains '終了' (Exit), '切断' (Disconnect), 'スキヤナ設定' (Scanner Settings), 'ジョブ設定' (Job Settings), 'マニュアルダウンロード' (Manual Download), 'バージョン情報' (Version Information), and 'ヘルプ' (Help). The main area has a light blue background with the 'ScanSnap' logo in the top right. Below the logo, there are two input fields: 'ユーザー名' (Username) and 'パスワード' (Password). A 'ログイン' (Login) button is located in the bottom right corner.

5. [ログイン] ボタンを押します。

⇒ 認証されると、環境設定の画面が表示されます。

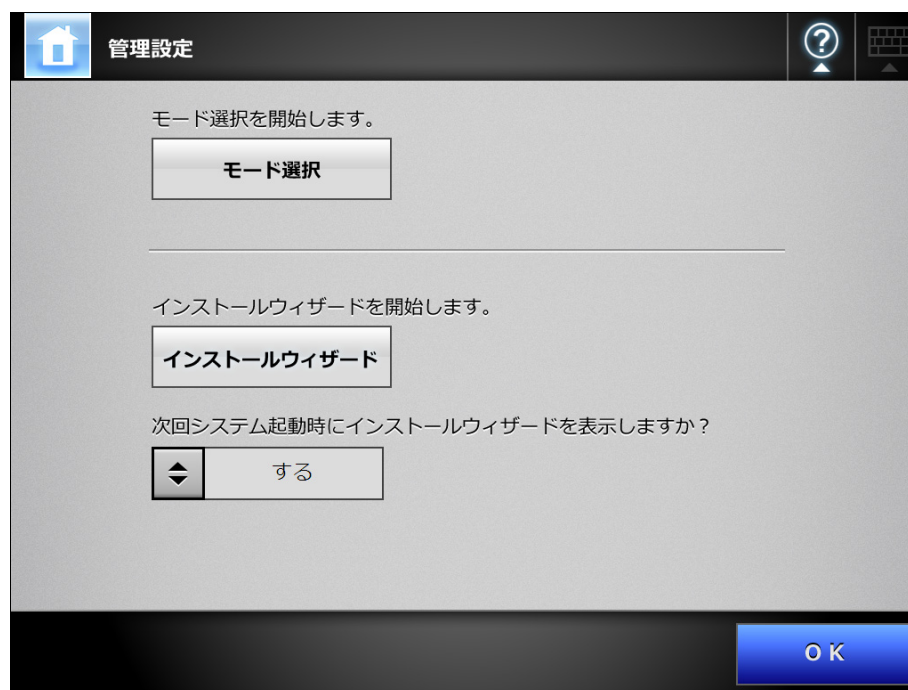
4.3 タッチパネルのインストールウィザードで環境設定をします

タッチパネルでは、インストールウィザードを使用して以下を設定できます。

- スキャナ名
- タイムゾーン
- 日付 / 時刻
- ログイン設定
- 管理者パスワード
- IP アドレス
- DNS サーバ
- Central Admin Server

1. 「管理メニュー」画面で、を押します。

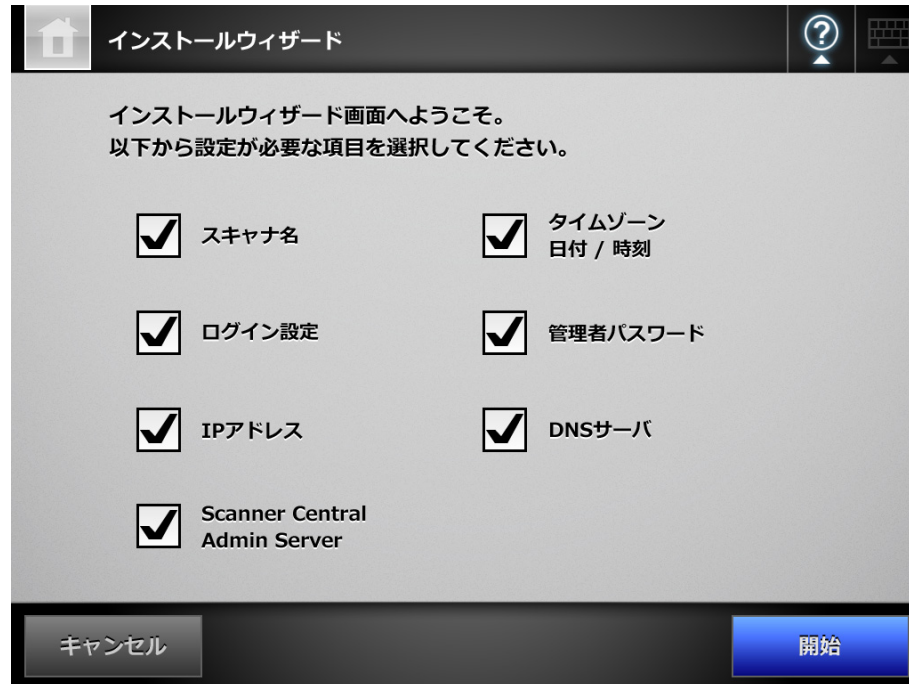
⇒ 「管理設定」画面が表示されます。



ヒント

「次回システム起動時にインストールウィザードを表示しますか？」で、次回スキャナを起動した直後にインストールウィザードを表示するかどうかを設定できます。

2. [インストールウィザード] ボタンを押します。
⇒「インストールウィザード」画面が表示されます。



3. インストールウィザードで設定する項目のチェックボックスにチェックを付けます。

ヒント

「タイムゾーン 日付 / 時刻」チェックボックスにチェックを付けると、タイムゾーンを設定する画面、および日付 / 時刻を設定する画面がそれぞれ表示されます。

4. [開始] ボタンを押します。
⇒ 選択した項目を設定するための画面が、インストールウィザードで順に表示されます。
5. ウィザードに従って、設定を進めます。
環境設定の手順については、スタートアップガイドを参照してください。

4.4 タッチパネルで操作するときの動作モードを設定します

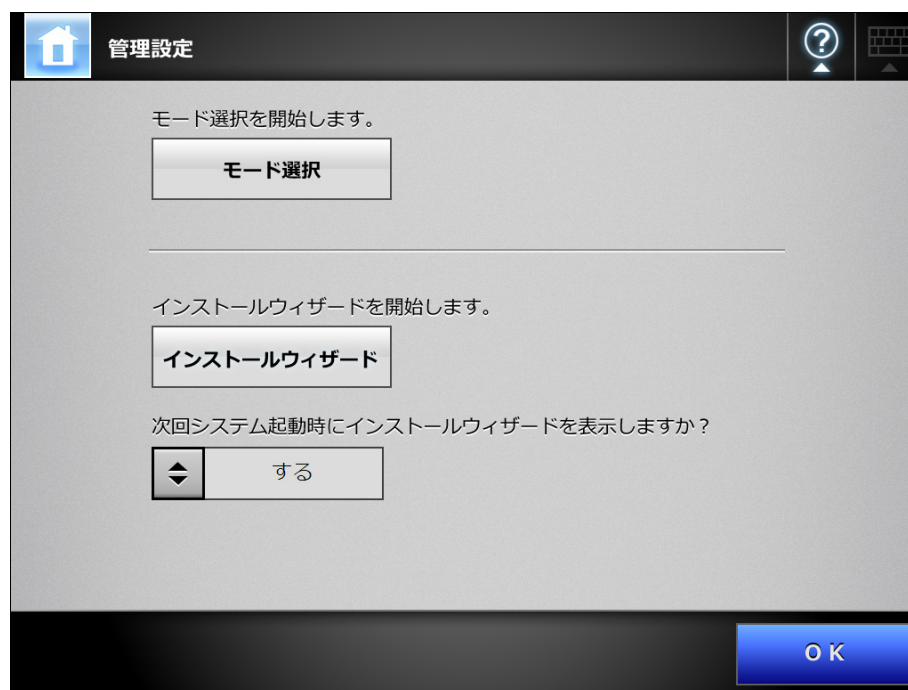
本体タッチパネルの管理者の画面で、環境設定や管理を行うときの動作モードを設定します。

動作モードについては、「[3.1 操作方法](#)」(63 ページ) を参照してください。

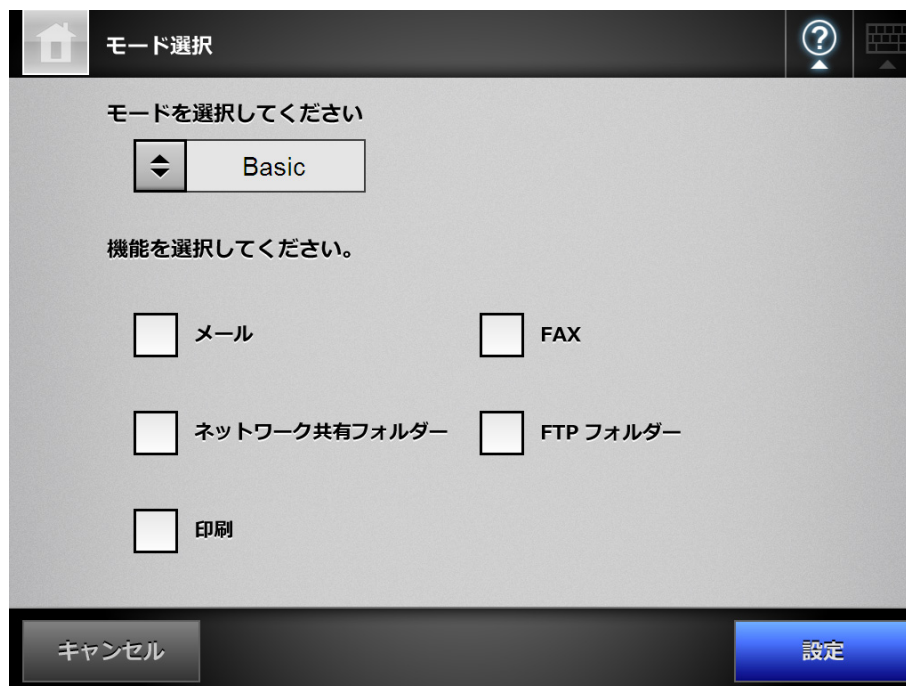
各動作モードで行える操作については、「[1.3.1 管理者権限で行える操作](#)」(36 ページ) を参照してください。


1. 「管理メニュー」画面で、 を押します。

⇒ 「管理設定」画面が表示されます。



2. [モード選択] ボタンを押します。
⇒ 「モード選択」画面が表示されます。



3.  を押して、動作モードを選択します。
4. 設定できるようにする機能のチェックボックスにチェックを付けます。
5. [設定] ボタンを押します。
⇒ 動作モードが設定されます。

4.5 システムを設定します

4.5.1 スキャナ名を設定します タッチパネル AdminTool

ネットワークの中でスキャナを識別するためのスキャナ名を設定します。

重要

同一ネットワーク内で名前が重複しないように設定してください。
重複した場合、ネットワーク接続時にエラーが表示されます。対処方法については、「[4.18.1 管理者の画面のメッセージ](#)」(227 ページ)を参照してください。

1. 「システム設定」→「装置設定」→「スキャナ名」を選択します。

⇒「スキャナ名」画面が表示されます。

The screenshot shows the 'Scanner Name' configuration screen. The title bar reads 'システム設定 > 装置設定'. On the left is a navigation menu with '装置設定' expanded, showing 'スキャナ名', 'タイムゾーン', '日付/時刻', and '証明書管理'. The main area contains the following settings:

- スキャナ名を設定します。
- 現在の設定
- スキャナ名: SSN1800
- ネットワークへの参加
- ワークグループ: WORKGROUP
- ドメイン: (empty)

At the bottom are three buttons: '戻る', 'キャンセル', and '設定'.

2. 「スキャナ名」を入力します。

3. 「ネットワークへの参加」で、ネットワークへの参加方法を選択します。

4. 入力域には、ワークグループ名またはドメイン名を入力します。

5. [設定] ボタンを押します。

⇒再起動の確認画面が表示されます。

ヒント

以下の場合、認証画面が表示されます。

- ドメインへ参加する場合
- ドメインに参加している状態でスキャナ名を変更する場合

スキャナをドメインに参加させるときに必要な認証情報をネットワーク管理者に確認して、有効なユーザー名とパスワードを入力してください。

ユーザー名の最大文字数は 256 文字です。

パスワードの最大文字数は半角 256 文字です。なお、英大文字と英小文字は区別されます。

認証されると、再起動の確認画面が表示されます。

6. [すぐに] ボタンを押します。

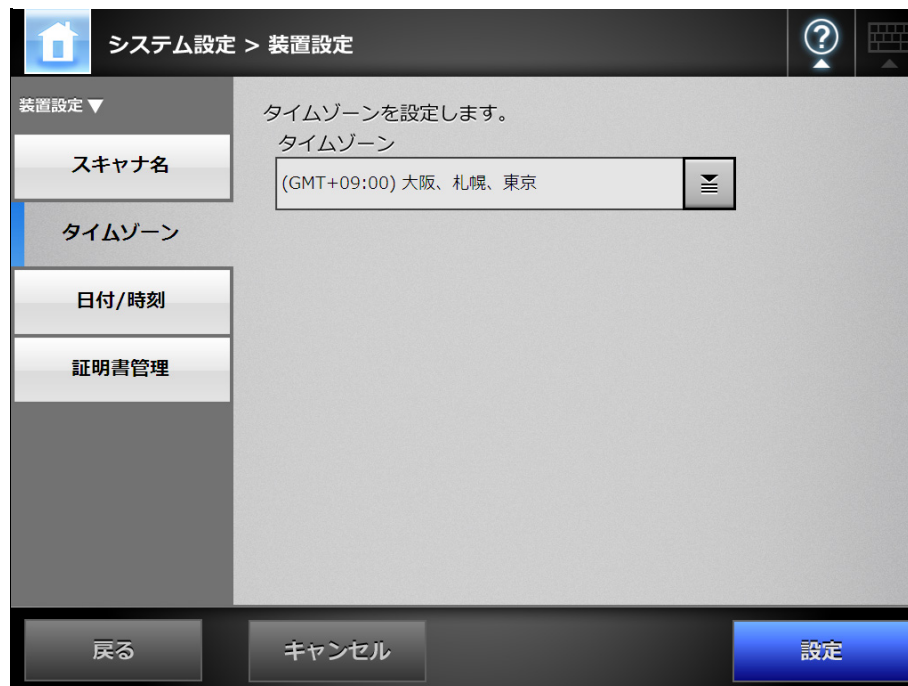
⇒ スキャナが再起動されます。

ヒント

- ネットワークの状態によっては、スキャナ名が重複する可能性があります。スキャナ名が重複した場合、正しく通信できません。その場合は、以下の対処を行ってください。
 1. LAN ケーブルを抜きます。
 2. タッチパネルの [電源切断] ボタンを押して、スキャナの電源を切断します。
 3. LAN ケーブルを抜いたままの状態、電源ボタンを押してスキャナを起動します。
 4. 重複しないスキャナ名を設定します。
 5. スキャナを再起動します。
 6. LAN ケーブルを接続します。
- Admin Tool からスキャナ名を変更した場合、接続が切れます。設定を継続して行うには、スキャナの起動後、時間をおいてから Admin Tool で再接続してください。

4.5.2 タイムゾーンを設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

1. 「システム設定」 → 「装置設定」 → 「タイムゾーン」 を選択します。
⇒ 「タイムゾーン」 画面が表示されます。



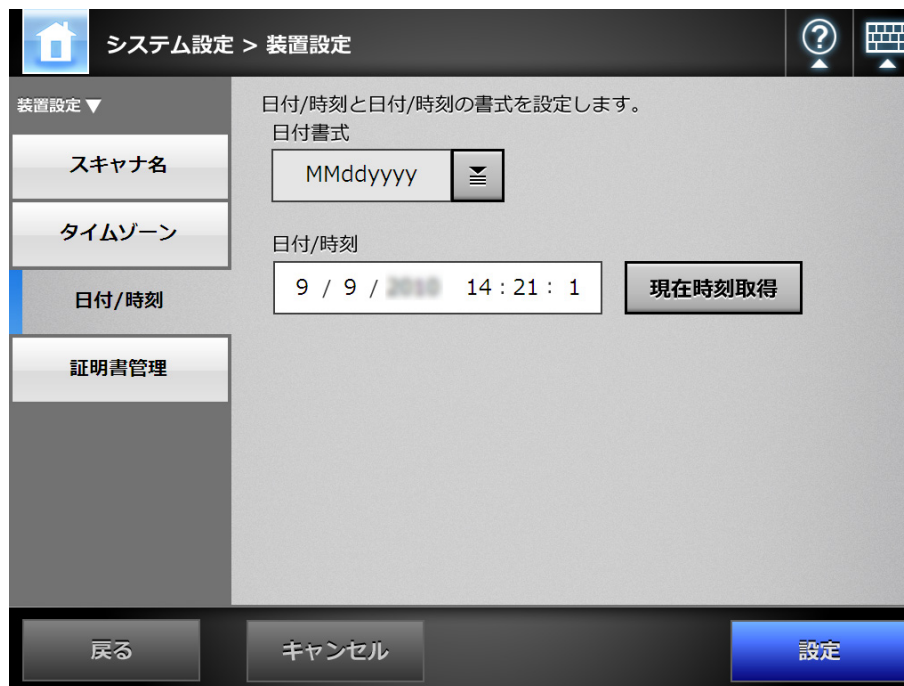
2. タイムゾーンを選択します。
3. サマータイムを適用できるタイムゾーンを選択した場合は、「サマータイム」を適用するかどうかを選択します。
4. [設定] ボタンを押します。
⇒ タイムゾーンが設定されます。

ヒント

サマータイムを適用した場合、サマータイムと通常時間は自動的に切り替わります。

4.5.3 日時を設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

1. 「システム設定」 → 「装置設定」 → 「日付 / 時刻」 を選択します。
⇒ 「日付 / 時刻」 画面が表示されます。

**重要**

Central Admin Console の場合、「日付 / 時刻」 および [現在時刻取得] ボタンの操作は行えません。

2. 日付書式を選択します。
3. 「日付 / 時刻」 に、現在の日時を数字で入力します。
[現在時刻取得] ボタンを押すと、スキャナに内蔵されているシステムの日付 / 時刻を、自動で入力できます。
4. [設定] ボタンを押します。
⇒ 日時が設定されます。

ヒント

Admin Tool の場合、時刻変更により、20 分以上時刻を進めると、セッションタイムアウトのためログアウトします。ただし、設定した日時は反映されます。

4.5.4 証明書を管理します

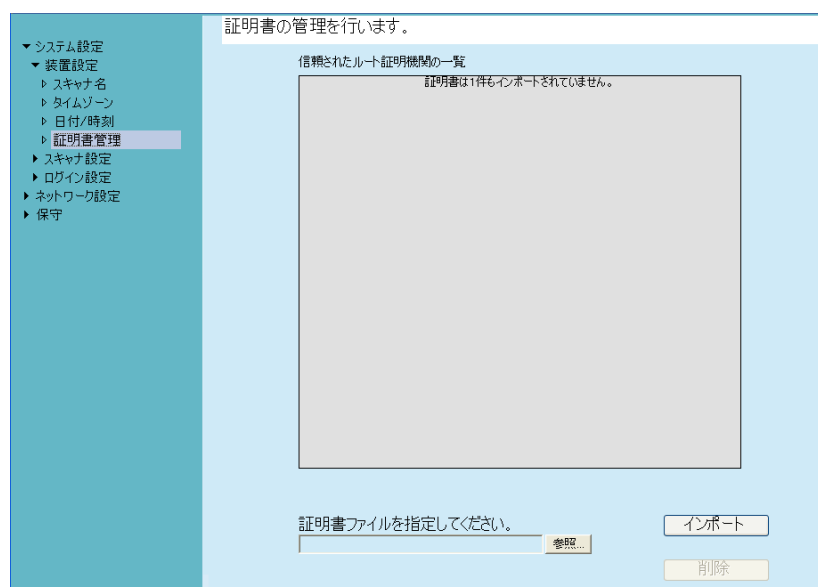
SSL 通信時のサーバ証明書の検証に使用する証明書をインポートしたり、削除したりします。

■ 証明書をインポートします AdminTool Central Admin Console

インポートできる証明書は、X.509 証明書 (*.cer, *.crt) です。
証明書は、最大 100 個までインポートできます。

1. 「システム設定」→「装置設定」→「証明書管理」選択します。

⇒ 「証明書管理」画面が表示されます。



2. インポートする証明書を指定します。

⇒ [参照] ボタンで証明書の指定ができます。

3. [インポート] ボタンを押します。

⇒ 証明書がインポートされます。

インポートされた証明書は、信頼されたルート証明機関ストアへ保存されます。

重要

Central Admin Server から証明書を配付した場合、すでにインポートされているスキャナの証明書は削除されて、新規に設定されます。

■ 証明書を削除します   

1. 「システム設定」→「装置設定」→「証明書管理」を選択します。
⇒ 「証明書管理」画面が表示されます。
2. 削除する証明書を選択して [削除] ボタンを押します。
⇒ 削除確認の画面が表示されます。
3. [はい] ボタンを押します。
⇒ 証明書が削除されます。

4.6 読み取りに関する設定をします

4.6.1 マルチフィードの検出条件を設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

「マルチフィード」とは、一度に2枚以上の原稿が重なってADFに送り込まれてしまう現象のことです。長さによる違いを検出した場合も、マルチフィードと呼びます。通常のマルチフィード検出は、原稿の中央部（原稿の中心線から両側に幅25mm）に対して、重なりがないかを監視します。

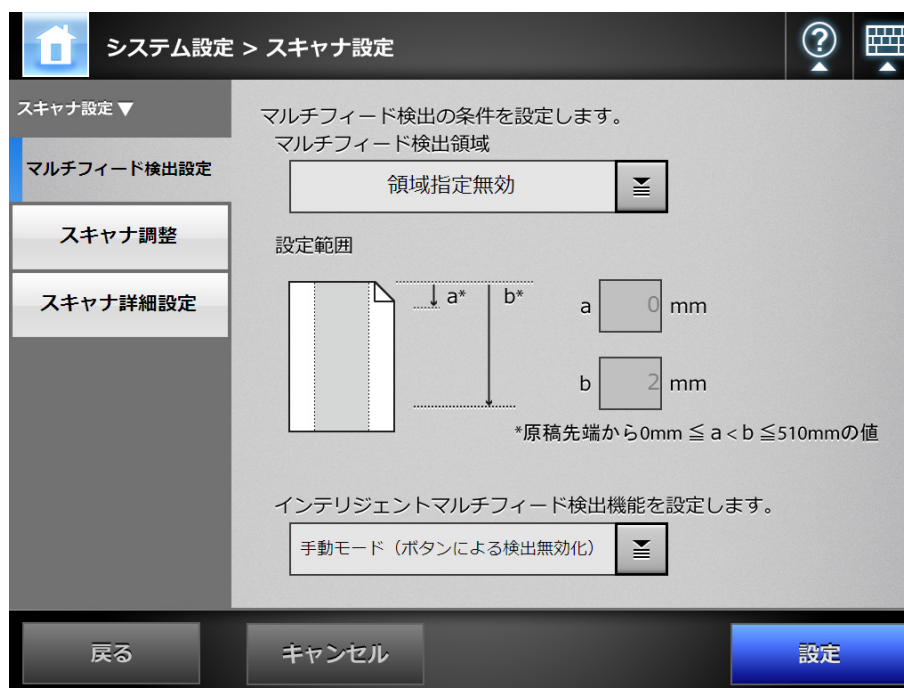
原稿に、付箋紙、伝票、または写真など（以降「貼り付け紙片」と呼びます）が貼られている場合、その部分を原稿の重なりと判断され、マルチフィードと誤検出されることがあります。このような原稿を読み取る場合は、原稿の重なりをチェックする領域を指定して、検出範囲を絞ることで、誤検出を防げます。

また、「インテリジェントマルチフィード検出機能」を使用すると、貼り付け紙片の長さや位置をスキャナに記憶させることができ、次の読み取りからマルチフィードを検出しないようにできます。

マルチフィードの検出を正しく行うための原稿の条件については、「[A.5 マルチフィードの検出条件](#)」（417 ページ）を参照してください。

1. 「システム設定」→「スキャナ設定」→「マルチフィード検出設定」を選択します。

⇒ 「マルチフィード検出設定」画面が表示されます。



2. 「マルチフィードの検出領域」を指定します。

原稿の長さ方向に対して、指定した部分だけを対象にしてマルチフィードを検出します。

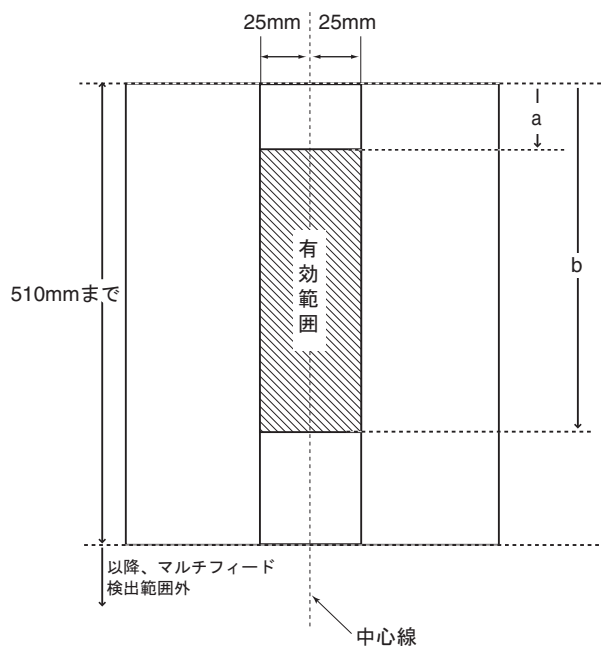
重要

原稿の上下 30mm は、マルチフィード検出できない場合があります。

3. **手順 2** で「有効範囲選択」または「無効範囲選択」を選択した場合は、「a」と「b」を指定します。

● 有効範囲選択

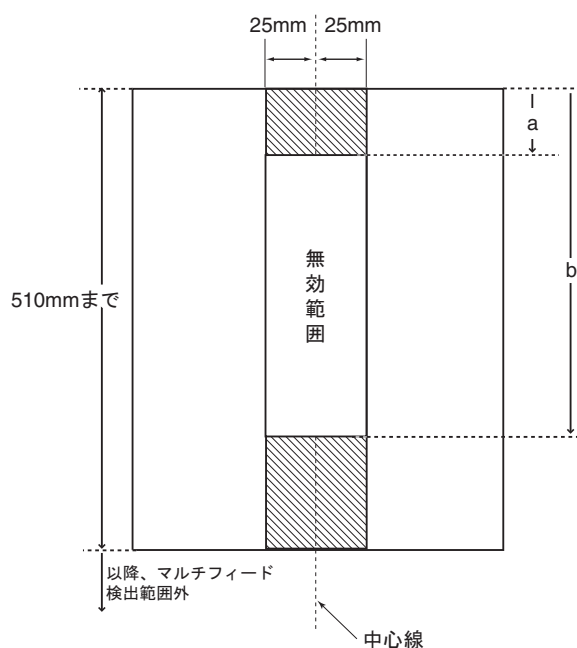
「a」から「b」までを検出有効範囲とします。



● 無効範囲選択

「a」から「b」までを検出無効範囲とします。

ページ先頭から「a」までと、「b」からページ終端までが検出対象となります。



重要

- マルチフィードを検出するには、5mm 以上の長さが必要となります。
有効範囲を指定する場合、「b」には「a」より 6mm 以上になるように設定してください。
- 「b」は最大 510mm までです。用紙サイズで長尺帳票指定を設定して 510mm 以上の長い原稿を読み取った場合、510mm 以降はマルチフィード検出できません。
- 「有効範囲選択」選択時に、「a」より原稿が短い場合はマルチフィード検出できません。また、「無効範囲選択」選択時に、「b」より原稿が短い場合は、「b」より下の部分はマルチフィード検出できません。
- 用紙サイズを超えた位置に「a」と「b」を設定した場合、マルチフィード検出できません。

4. 「インテリジェントマルチフィード検出機能を設定します。」で、貼り付け紙片があるときのマルチフィードの検出モードを選択します。
5. [設定] ボタンを押します。
⇒ マルチフィード検出条件が設定されます。

4.6.2 読み取り開始位置を調整します (オフセット / 倍率) タッチパネル AdminTool

通常、設定変更する必要はありません。

以下の設定をします。

- 読み取り画像のオフセット
読み取り結果の画像位置が原稿と比べて偏っている場合に、オフセットを調整します。
- 読み取り画像の倍率
読み取り結果の画像サイズが、読み取り指定サイズと比較して、伸びたり縮んだりしている場合に、副走査方向の倍率を調整します。

1. 「システム設定」→「スキャナ設定」→「スキャナ調整」を選択します。

⇒「スキャナ調整」画面が表示されます。



2. 「倍率調整 (長さ方向)」に、副走査 (長さ) 方向の倍率を入力します。

3. 「主走査」に、主走査 (幅) 方向のオフセットを入力します。
「副走査」に、副走査 (長さ) 方向のオフセットを入力します。

4. 「設定」ボタンを押します。

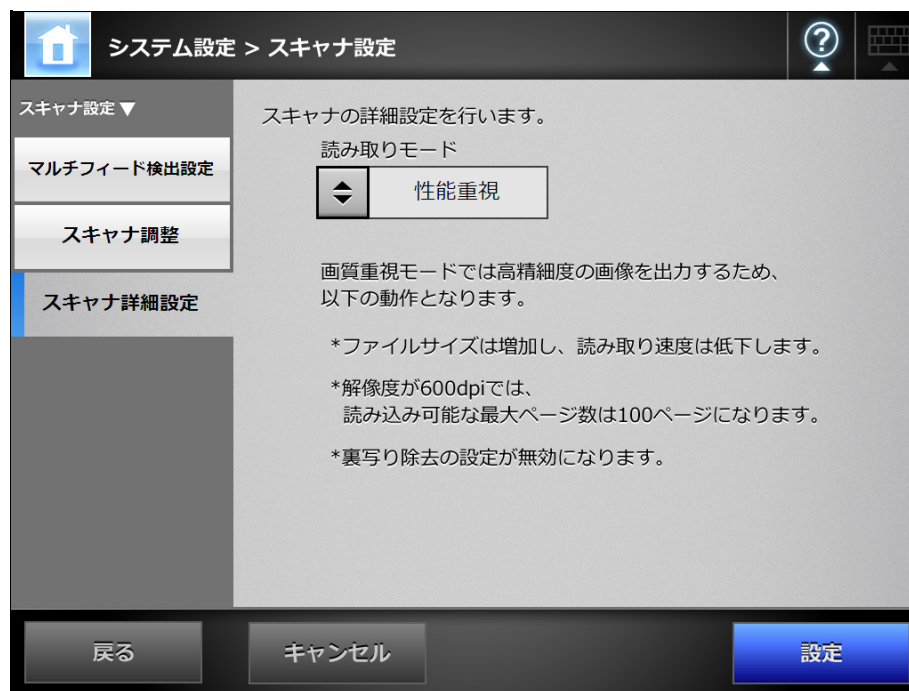
⇒ オフセットおよび倍率補正の値が設定されます。

4.6.3 スキャナの詳細設定をします タッチパネル AdminTool Central Admin Console

通常、設定変更する必要はありません。
原稿を読み取る時の読み取りモードを設定します。

1. 「システム設定」→「スキャナ設定」→「スキャナ詳細設定」を選択します。

⇒「スキャナ詳細設定」画面が表示されます。



2. 原稿を読み取る時の読み取りモードを設定します。

重要

「画質重視」の場合は、高精細度の画像を出力するために、以下の動作となります。

- ファイルサイズは増加し、読み取り速度は低下します。
- 解像度が 600dpi では、読み取り可能な最大ページ数は 100 ページになります。
- 裏写り除去の設定が無効になります。

3. [設定] ボタンを押します。

⇒ 入力内容が設定されます。

4.7 ログインに関する設定をします

4.7.1 ログイン設定をします

ログイン設定をします。

- 認証方法の設定

ログイン時の認証処理で、LDAP サーバまたはスキャナに保持しているローカルアカウントのどちらを使用するかを設定します。両方とも使用する場合は、認証情報の検索順序を設定できます。

ヒント

認証方式に LDAP を含める場合は、LDAP サーバでアカウントを追加してください。認証方式にローカルアカウントを含める場合は、User Editor でアカウントを追加してください。

- 自動ログインの設定

電源投入時および再起動時、「ログイン」画面を表示せずに、自動的にログインします。

自動的にログインするように設定した場合、ここで設定したユーザー名、パスワードを使用して自動的にログインします。

- guest アカウントの有効無効

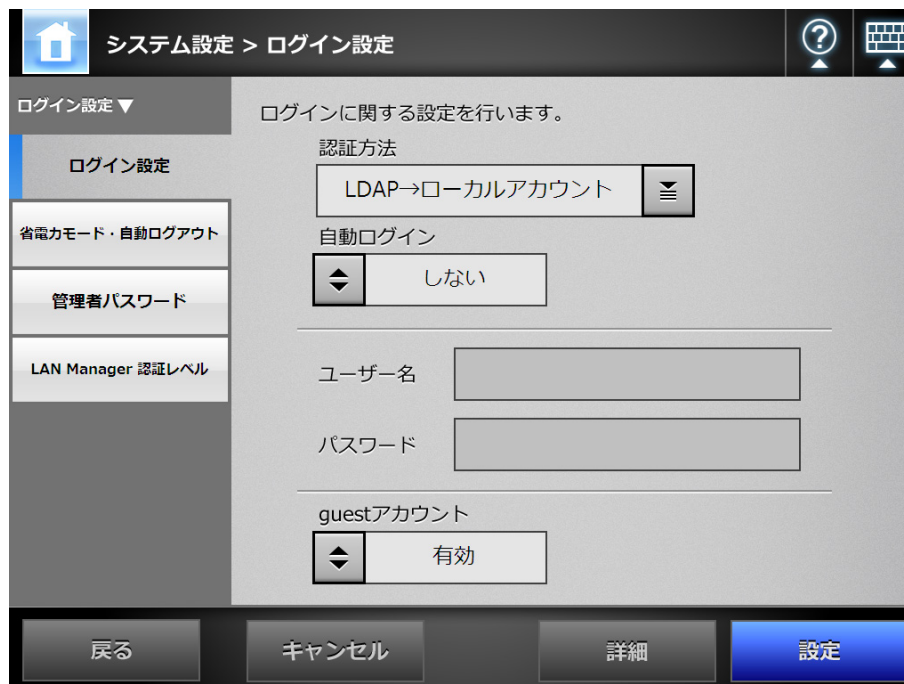
guest アカウントでログインできるようにするかどうかを設定します。

- 管理者アカウントの変更

管理者アカウントとして、工場出荷時の管理者アカウント (admin) を使用するか、別のアカウントを使用するかを設定できます。

1. 「システム設定」→「ログイン設定」→「ログイン設定」を選択します。

⇒「ログイン設定」画面が表示されます。



2. 「認証方法」で、認証方法を選択します。

LDAP サーバおよびローカルアカウントから認証情報を検索する場合、認証情報を検索する順序を選択できます。

重要

「LDAP → ローカルアカウント」または「ローカルアカウント → LDAP」を選択した場合、以下の動作となります。

- 最初の認証先でパスワードエラーになった場合、次の認証先で認証処理が行われます。
- 最初の認証先および次の認証先で認証エラーが発生した場合、最初の認証先で発生したエラーの内容が通知されます。

ヒント

管理者として別名アカウントが設定されている場合に、別名アカウントと同一名の、ローカルアカウントまたは LDAP ユーザーが設定されているときは、管理者のアカウントとしてログイン処理が行われます。このとき、パスワードエラーが発生しても、ローカルアカウントまたは LDAP ユーザーとしてのログイン処理は行われません。

ログインにおける認証先の優先度は、以下のとおりです。

1. 別名アカウント
2. 「認証方法」で指定した順序

3. 「自動ログイン」で、自動ログインするかどうかを選択します。

重要

- 自動ログインの設定は、管理者がログアウトしたあと、すぐに適用されます。自動ログインが有効な場合に設定を変更するときは、「メンテナンス」画面から管理者ログインを行うか、または Admin Tool からログインして、操作してください。
- 自動ログインを有効にしたスキャナで集中管理を有効にした場合、スキャナの起動時または省電力モードからの復帰時に、自動ログインより優先して Central Admin Server にシステム、Add-in、またはシステム環境設定が公開されていないか問い合わせられます。
システム、Add-in、またはシステム環境設定が公開されている場合、スキャナへの適用が開始されます。ただし、適用時に Central Admin Server に同時に接続できるスキャナの最大数（スキャナ通信多重度）を超えている場合、適用は一時中断され自動ログインが優先されます。
スキャナへの適用は、「管理者ログイン」画面からのログアウト時、次のスキャナ起動時、または省電力モードからの復帰時に行われます。

4. 「自動ログイン」を「する」にした場合、「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。

スキャナは、指定されたユーザー名に応じて、以下のように認証処理されます。

- LDAP サーバに登録されているユーザーの場合
 - LDAP サーバのサーバ種別が「Active Directory」または「Active Directory Global Catalog」の場合

分類	認証処理
SAM アカウント名 「@」を含まないユーザー名が指定された場合	ユーザーログイン名（sAMAccountName）で認証処理が行われます。 例：user
ユーザープリンシパル名 「@」を含むユーザー名が指定された場合	ユーザーログイン名（userPrincipalName）で認証処理が行われます。 例：user@example.com

ヒント

SAM アカウント名にドメイン名を指定する場合は、「ドメイン名¥SAM アカウント名」と記述します。

- LDAP サーバのサーバ種別が「その他の LDAP サーバ」の場合

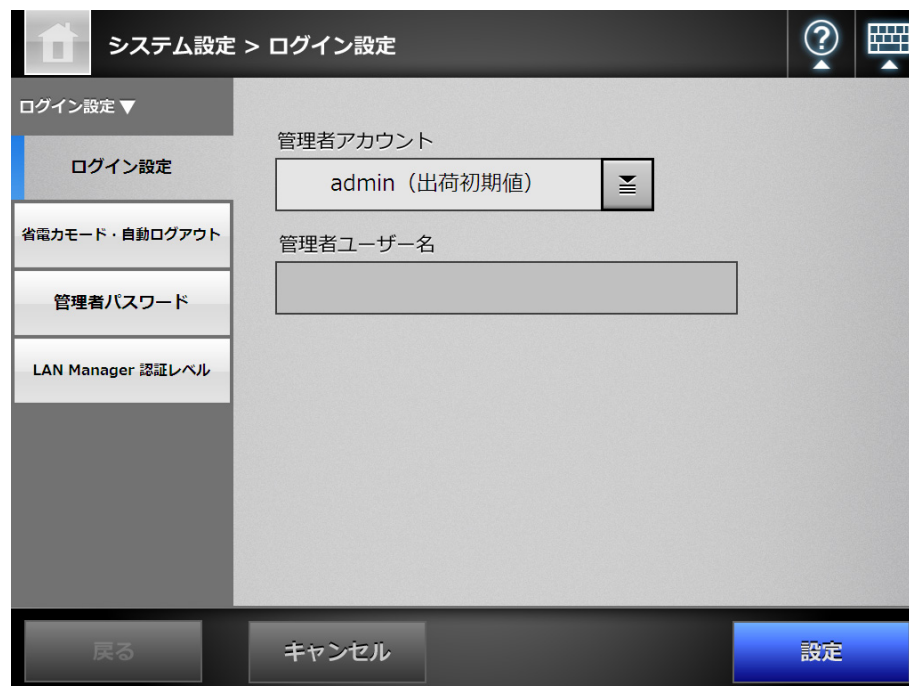
分類	認証処理
uid	ユーザーログイン名 (uid) で認証処理が行われます。 例：user
cn	ユーザーログイン名 (cn) で認証処理が行われます。 例：user

- ローカルアカウントに登録されているユーザーの場合
スキャナに保持しているローカルアカウントに対して、指定されたユーザーログイン名で認証処理が行われます。

ヒント


自動的にログインするように設定した場合、UPN サフィックスは無効になります。入力しても適用されません。

5. 「guest アカウント」で、guest アカウントでログインできるようにするかどうかを選択します。
6. 「詳細」 ボタンを押します。
⇒ 管理者アカウントを設定するための画面が表示されます。



ヒント

Admin Tool の場合、[詳細] ボタンはありません。同一画面上で管理者アカウントやユーザー名を設定できます。

7.  を押します。
⇒ 「管理者アカウント」画面が表示されます。



8. 管理者アカウントとして使用するアカウントを選択します。

重要

「別名アカウント」を選択すると、初期値の管理者アカウント（admin）は使用できなくなります。

⇒ 管理者アカウントを設定するための画面に戻ります。

9. 管理者アカウントを「別名アカウント」にした場合、「管理者ユーザー名」に管理者アカウントのユーザー名を入力します。

ヒント

「別名アカウント」のパスワードは、「管理者パスワード」画面で変更できます。

10. [設定] ボタンを押します。
⇒ 元の画面に戻ります。
11. [設定] ボタンを押します。
⇒ 入力内容が設定されます。

4.7.2 省電力モード・自動ログアウトを設定します

タッチパネル

AdminTool

Central Admin
Console

自動ログアウト、省電力モード、およびスキヤナの電源切断への移行時間を設定します。

- 「自動ログアウト」とは、利用者でログインしたあとの画面で一定時間操作が行われなかった場合に、自動的にログアウトして「ログイン」画面へ移行する機能です。

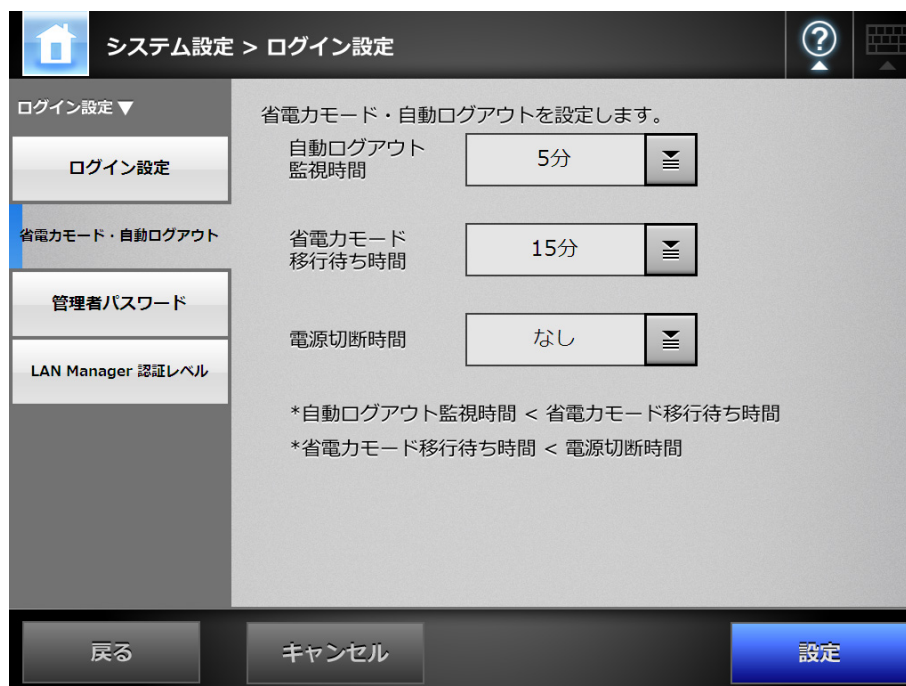
ヒント

以下の動作中は自動ログアウトされません。

- 読み取り処理中
 - メール送信中
 - FAX 送信中
 - ネットワーク共有プリンターへ送信中
 - フォルダ保存中
 - 日本語入力の変換中
 - 自動ログインを「する」に設定
- 「省電力モード」とは、「ログイン」画面または利用者でログインしたあとの画面で一定時間操作しなかった場合に、省電力状態へ自動的に移行する機能です。省電力モードに移行すると、タッチパネルは消灯します。電源ボタンを押すと、省電力モードから復帰します。復帰後に表示される画面は、自動ログインの設定によって、以下のようになります。
 - 自動的にログインする設定にした場合、操作画面が表示されます。
 - 自動的にログインしない設定にした場合、「ログイン」画面が表示されます。画面遷移については、「[電源ボタンの使い方](#)」(56 ページ)を参照してください。省電力モード移行待ち時間は、自動ログアウト監視時間を含めて設定します。
 - 「電源切断時間」とは、スキヤナの電源を投入したまま長時間使用していない場合に、スキヤナの電源を自動的に切断する機能です。省電力モードに移行したあと、さらに一定時間操作しなかった場合に、スキヤナの電源が自動的に切断されます。電源切断時間は、省電力モードに移行するまでの時間を含めて設定します。

1. 「システム設定」→「ログイン設定」→「省電力モード・自動ログアウト」を選択します。

⇒「省電力モード・自動ログアウト」画面が表示されます。



2. 「自動ログアウト監視時間」で、自動ログアウトに移行するまでの待ち時間を選択します。
3. 「省電力モード移行待ち時間」で、省電力モードに移行するまでの待ち時間を選択します。

重要

- 「自動ログアウト監視時間」で「無制限」を選択した場合、「省電力モード移行待ち時間」で選択した時間で省電力モードへ移行します。
- 「自動ログアウト監視時間」で「無制限」以外を選択した場合、「省電力モード移行待ち時間」は、「自動ログアウト監視時間」より長い時間を設定してください。

4. 「電源切断時間」で、スキャナの電源を自動的に切断するまでの待ち時間を選択します。

重要

「なし」以外を選択する場合、「省電力モード移行待ち時間」より長い時間を設定してください。

5. 「設定」ボタンを押します。

⇒ 自動ログアウト、省電力モード、および電源切断への移行時間が設定されます。

4.7.3 管理者パスワードを変更します タッチパネル AdminTool**重要**

パスワードを紛失すると、ログインできなくなります。

パスワードの管理はしっかり行ってください。

万一、パスワードを紛失した場合は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

1. 「システム設定」 → 「ログイン設定」 → 「管理者パスワード」 を選択します。
⇒ 「管理者パスワード」画面が表示されます。

The screenshot shows the 'Admin Password Change' screen in the AdminTool interface. The title bar reads 'システム設定 > ログイン設定'. The left sidebar contains a menu with 'ログイン設定' (selected), '省電力モード・自動ログアウト', '管理者パスワード', and 'LAN Manager 認証レベル'. The main content area is titled '管理者パスワードを変更します。' and contains three input fields: '現パスワード', '新パスワード', and '確認パスワード'. Below the fields, a warning message states: 'パスワードを紛失すると、ログインできなくなります。変更したパスワードは安全な場所に保管してください。' At the bottom, there are three buttons: '戻る', 'キャンセル', and '設定'.

2. 現在のパスワードおよび新しいパスワードを入力します。
3. [設定] ボタンを押します。
⇒ 管理者パスワードが変更されます。

4.7.4 LAN Manager 認証レベルを設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

サーバとスキャナを接続するときの LAN Manager 認証レベルを設定します。

LAN Manager 認証レベルの設定内容は、以下の場合に有効となります。

- ログイン LDAP サーバのサーバ種別が「Active Directory」または「Active Directory Global Catalog」で、スキャナにログインするとき、Active Directory サーバとスキャナを接続する
- スキャン画像をネットワーク共有フォルダーに保存するとき、ファイルサーバとスキャナを接続する
- スキャン画像を印刷するとき、プリントサーバとスキャナを接続する

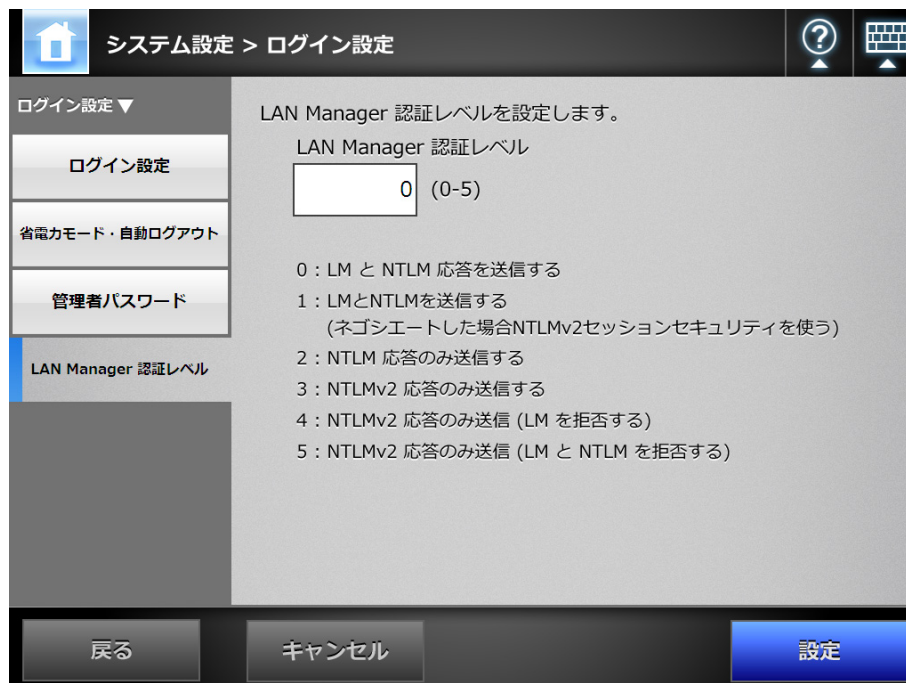
LAN Manager 認証レベルの詳細については、連携するサーバのマニュアルを参照してください。

重要

- LAN Manager 認証レベルは、サーバ側の設定に合わせることを推奨します。
- サーバ側で設定されている LAN Manager 認証レベルをサーバの管理者に確認してから、変更してください。サーバ側と異なるレベルを設定すると、スキャナへのログイン、ネットワーク共有フォルダーに保存、および印刷ができなくなることがあります。

1. 「システム設定」→「ログイン設定」→「LAN Manager 認証レベル」を選択します。

⇒ 「LAN Manager 認証レベル」画面が表示されます。



2. LAN Manager 認証レベルを入力します。

3. [設定] ボタンを押します。

⇒ LAN Manager 認証レベルが設定されます。

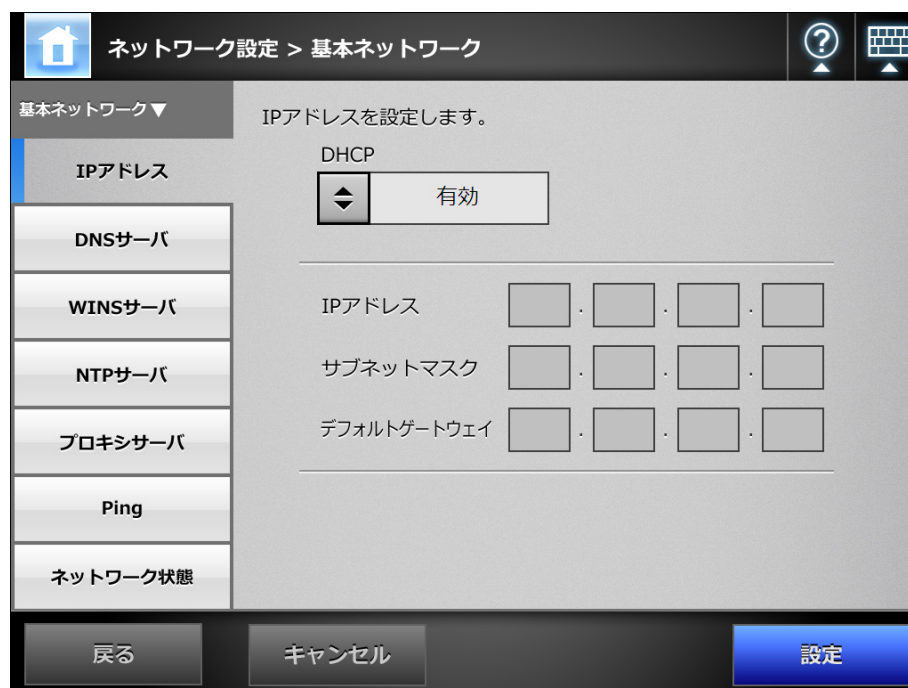
4.8 ネットワークを設定します

4.8.1 IP アドレス /DHCP を設定します タッチパネル AdminTool

ネットワークに接続するためにスキヤナの IP アドレスを指定します。

1. 「ネットワーク設定」→「基本ネットワーク」→「IP アドレス」を選択します。

⇒ 「IP アドレス」画面が表示されます。



2. DHCP を使用するかどうかを選択します。
3. 「無効」にした場合、以下を数字で入力します。
 - IP アドレス
 - サブネットマスク
 - デフォルトゲートウェイ
4. [設定] ボタンを押します。

⇒ 入力内容が設定されます。

ヒント

- IP アドレスが重複した場合、正しく通信できません。その場合は以下の対処を行ってください。
 1. LAN ケーブルを抜きます。
 2. タッチパネルの [電源切断] ボタンを押して、スキャナの電源を切断します。
 3. LAN ケーブルを抜いたままの状態、電源ボタンを押してスキャナを起動します。
 4. 重複しない IP アドレスを設定します。
 5. LAN ケーブルを接続します。
 - DHCP を使用する場合、反映される設定は以下のとおりです。
 - IP アドレス
 - サブネットマスク
 - デフォルトゲートウェイ
 - DNS サーバ
 - WINS サーバ
 - ドメインサフィックス
- また、スキャナで DNS サーバ、WINS サーバを設定した場合は、スキャナで設定した値が優先されます。
- Admin Tool から IP アドレスを変更した場合、接続が切れます。設定を継続して行うには、Admin Tool で再接続してください。IP アドレスで再接続する場合は、新たに設定した IP アドレスで接続してください。

4.8.2 DNS サーバを設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

優先 DNS および代替 DNS を指定します。

1. 「ネットワーク設定」→「基本ネットワーク」→「DNS サーバ」を選択します。

⇒ 「DNS サーバ」画面が表示されます。

ネットワーク設定 > 基本ネットワーク

基本ネットワーク▼

IPアドレス

DNSサーバ

WINSサーバ

NTPサーバ

プロキシサーバ

Ping

ネットワーク状態

DNSサーバを設定します。

優先DNS . . .

代替DNS . . .

DNS動的更新

◆

DNSサフィックス

完全修飾ドメイン名

戻る キャンセル 設定

2. 以下を数字で入力します。

- 優先 DNS
- 代替 DNS

3. 「DNS 動的更新」で、DNS を動的に更新するかどうかを選択します。

4. 「DNS サフィックス」を入力します。

5. [設定] ボタンを押します。

⇒ 入力内容が設定されます。

4.8.3 WINS サーバを設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

優先 WINS および代替 WINS を指定します。

1. 「ネットワーク設定」→「基本ネットワーク」→「WINS サーバ」を選択します。

⇒ 「WINS サーバ」画面が表示されます。

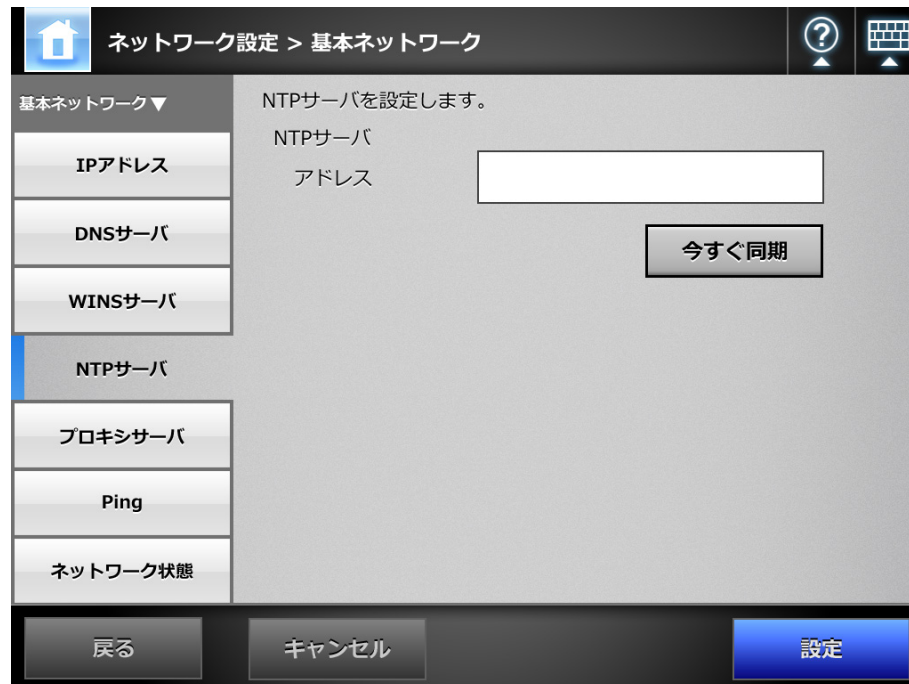
The screenshot shows the 'WINSサーバ' (WINS Server) configuration screen. The title bar reads 'ネットワーク設定 > 基本ネットワーク'. On the left, a sidebar menu lists '基本ネットワーク' (Basic Network) with sub-items: 'IPアドレス', 'DNSサーバ', 'WINSサーバ' (selected), 'NTPサーバ', 'プロキシサーバ', 'Ping', and 'ネットワーク状態'. The main area is titled 'WINSサーバを設定します。' (Set WINS server). It contains two rows of IP address input fields: '優先WINS' (Priority WINS) and '代替WINS' (Alternate WINS). Each row has four input boxes, each containing the number '0'. At the bottom, there are three buttons: '戻る' (Back), 'キャンセル' (Cancel), and '設定' (Set).

2. 以下を数字で入力します。
 - 優先 WINS
 - 代替 WINS
3. [設定] ボタンを押します。
 - ⇒ 入力内容が設定されます。

4.8.4 NTP サーバを設定します タッチパネル Admin Tool Central Admin Console

NTP サーバを設定します。

1. 「ネットワーク設定」→「基本ネットワーク」→「NTP サーバ」を選択します。
⇒ 「NTP サーバ」画面が表示されます。



重要

Central Admin Console の場合、時刻同期は行えません。

2. NTP サーバの IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名を入力します。
NTP サーバの指定が不要な場合は、何も入力しないでください。
3. [今すぐ同期] ボタンを押します。
⇒ 指定した NTP サーバと時刻同期が行われ、結果が表示されます。
正常に時刻同期が行われることを確認してください。
4. 時刻同期のメッセージ画面で [OK] ボタンを押します。
5. [設定] ボタンを押します。
⇒ NTP サーバが設定されます。

ヒント

- スキャナでは、指定された NTP サーバと 6 時間ごとに、時刻同期が行われます。
- 設定を変更すると、即時に時刻同期が行われます。
- Admin Tool の場合、時刻同期によって 20 分以上時刻が進むと、セッションタイムアウトのためログアウトされます。

4.8.5 プロキシサーバを設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

FTP サーバまたは SharePoint サーバと連携する場合に、プロキシサーバを使用するかどうかを設定します。

また、アップデートチェックを行うときにプロキシサーバを使用する場合は、HTTP プロキシサーバの設定が必要です。

1. 「ネットワーク設定」→「基本ネットワーク」→「プロキシサーバ」を選択します。

⇒「プロキシサーバ」画面が表示されます。

ネットワーク設定 > 基本ネットワーク

基本ネットワーク▼

- IPアドレス
- DNSサーバ
- WINSサーバ
- NTPサーバ
- プロキシサーバ**
- Ping
- ネットワーク状態

プロキシサーバを設定します。

FTP プロキシサーバ *ネットワーク共有フォルダーのFTP入力で使用します。

アドレス

ポート番号 (1-65535)

HTTPプロキシサーバ *SharePointフォルダーの設定およびアップデートチェックで使用します。

アドレス

ポート番号 (1-65535)

例外

*次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない。

*セミコロン (;) を使用してエントリーを分けてください。

2. 「FTP プロキシサーバ」で、FTP サーバと連携する場合に、プロキシサーバを使用するかどうかを選択します。

重要

FTP フォルダーごとにプロキシサーバの設定を有効にする場合は、「有効」にしてください。

「無効」にした場合、FTP フォルダーの設定画面で FTP フォルダーごとにプロキシサーバを設定できなくなったり、FTP フォルダーにアクセスできなくなったりします。

3. プロキシサーバを使用する場合、アドレスおよびポート番号を設定します。

重要

本スキャナでは、プロキシを経由して FTP フォルダーに保存する場合、FTP over HTTP を使用します。FTP プロキシサーバのアドレスに、HTTP プロキシサーバのアドレスを設定してください。

4. 「HTTP プロキシサーバ」で、SharePoint サーバと連携する場合、またはアップデートチェックを行う場合に、プロキシサーバを使用するかどうかを選択します。
5. プロキシサーバを使用する場合、アドレス、ポート番号、および例外を設定します。
6. 「設定」ボタンを押します。
⇒ 入力内容が設定されます。

4.8.6 Ping でネットワークへの接続状態を確認します タッチパネル AdminTool

Ping を使って、ネットワークへの接続ができているかを確認します。

1. 「ネットワーク設定」→「基本ネットワーク」→「Ping」を選択します。
⇒ 「Ping」画面が表示されます。



2. 「アドレス」に、接続状態を確認するサーバの IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名を入力します。

3. [Ping] ボタンを押します。

⇒ Ping が実行され、結果が表示されます。

結果の内容については、「[Ping によるネットワークの基本動作確認](#)」(382 ページ) を参照してください。



4.8.7 ネットワークの動作状態を確認します タッチパネル AdminTool

■ ネットワーク状態を確認します

ネットワークの動作状態を参照できます。

表示される項目は以下のとおりです。値が表示されていない場合は、ネットワークが正常に動作していません。「8.2 ネットワーク通信ができないときには」(382 ページ)を参照して、設定を確認してください。

- MAC アドレス
- IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ
- DNS サーバ
- WINS サーバ

1. 「ネットワーク設定」 → 「基本ネットワーク」 → 「ネットワーク状態」 を選択します。

⇒ 「ネットワーク状態」画面に、現在動作しているネットワーク状態が表示されま
す。



ヒント

- LDAP サーバなどに接続できない場合は、以下の対処を行ってください。
 1. LAN ケーブルを抜きます。
 2. タッチパネルの [電源切断] ボタンを押して、スキャナの電源を切断します。
 3. LAN ケーブルを抜いたままの状態、電源ボタンを押してスキャナを起動します。
 4. 重複しない IP アドレスを設定します。
 5. LAN ケーブルを接続します。
- DHCP を「有効」に設定している際に、DHCP サーバと接続できない場合は、IP アドレスには「169.254.X.X」が設定されます (X は 0 ~ 255 までの任意の数字)。

■ Link Speed/Duplex Mode を設定します

ネットワーク動作状態が正しく表示されていても、ネットワーク通信が正しく行われな
い場合は、Link Speed/Duplex Mode の設定を変更します。

1. 「ネットワーク状態」画面の「Link Speed/Duplex Mode」で、固定の Link Speed/Duplex Mode を選択します。
2. [設定] ボタンを押します。
⇒ Link Speed/Duplex Mode の設定が変更されます。

■ Wake On LAN を設定します

Wake On LAN を使用して、ネットワーク経由でスキャナの電源を投入 / 切断するかを設定
します。

1. 「ネットワーク状態」画面の「Wake On LAN」で、Wake On LAN を有効にするかどうかを選択します。
2. [設定] ボタンを押します。
⇒ Wake On LAN が設定されます。

4.8.8 接続設定をします タッチパネル AdminTool Central Admin Console

Admin Tool および Central Admin Server からスキャナへ接続する際の動作環境を設定します。

1. 「ネットワーク設定」→「ネットワーク管理」→「接続設定」を選択します。

⇒「接続設定」画面が表示されます。



重要

Central Admin Console の場合、SSL 証明書の内容は表示されません。

2. 「SSL 通信」で、SSL 通信をするかどうかを選択します。

3. 「ポート番号」に、スキャナが Admin Tool および Central Admin Server との通信に使用するスキャナ側のポート番号を入力します。

重要

- 135、139、445、および 1025 ~ 1124 の範囲は、スキャナの予約済みポート番号であるため指定できません。
- HTTP「80」、HTTPS「443」以外のポート番号を指定する場合は、5000 番以上のポート番号にすることを推奨します。5000 番未満のポート番号を指定する場合は、事前に Admin Tool と接続検証してから使用してください。

4. 「設定」ボタンを押します。

⇒ 入力内容が設定されます。

重要

- Admin Tool で接続設定を変更した場合、接続が切れます。
設定を継続して行う場合は、接続を切断してから、変更した接続設定の内容で再度接続を行ってください。
- SSL 通信を有効にした場合、Central Admin Server とスキャナとの通信でも SSL が使用されます。集中管理を有効にしている場合は、Central Admin Console の「Scanner Central Admin サーバ動作環境設定」画面の設定も変更してください。
- 以下の組み合わせの設定はできません。
 - ポート番号に「80」、SSL 通信に「有効」を設定する組み合わせ
 - ポート番号に「443」、SSL 通信に「無効」を設定する組み合わせ

4.8.9 Central Admin Server を設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

スキャナを集中管理の対象とするかどうかを設定します。
「集中管理」を有効にすると、スキャナが集中管理の対象となり、Central Admin Server に登録されます。

1. 「ネットワーク設定」→「ネットワーク管理」→
「Scanner Central Admin Server」を選択します。

⇒ 「Scanner Central Admin Server」画面が表示されます。

重要

Central Admin Console の場合、「アドレス」および「ポート番号」は設定できません。

2. 「集中管理」で、集中管理を行うかどうかを選択します。

ヒント

Central Admin Server への登録が成功すると、「Scanner Central Admin Server への登録状態」が「未登録」から「登録済み」になります。
なお、設定値が正しくても、ネットワークが繋がっていなかったり、Central Admin Server が停止している場合は、登録に失敗します。この場合、「集中管理」が「有効」になっていれば、次の電源オンまたは省電力モードからの復帰時に、Central Admin Server への登録が行われます。

3. 集中管理する場合、アドレスおよびポート番号を入力します。

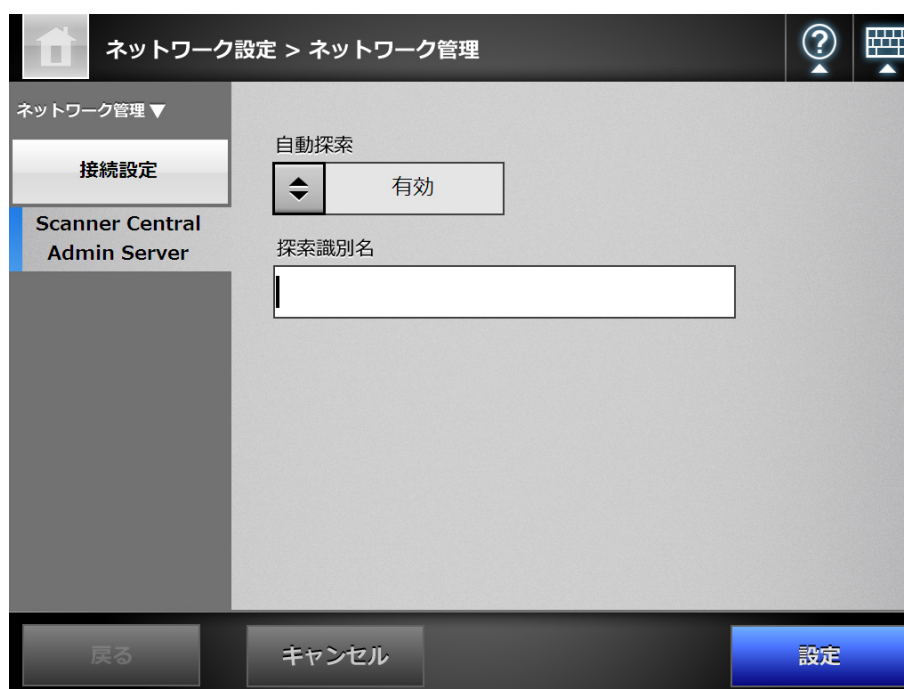
- 「アドレス」に、Central Admin Server の IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名を入力します。
- 「ポート番号」に、スキャナから Central Admin Server への通信に使用するポート番号を入力します。

4. 「ユーザー情報共有」で、ユーザー情報を共有するかどうかを選択します。
5. 「ジョブ設定共有」で、ジョブ設定を共有するかどうかを選択します。
6. 「自動アップデートスケジュール」で、スキャナのシステム（セキュリティ、オプション機能を含む）、システム環境設定、および Add-in を、自動でアップデートするかどうかを設定します。
「有効」にした場合、自動でアップデートする日時を「適用日時」に入力します。

ヒント

- スキャナが省電力モードの状態、または電源が入っていてユーザーがログインしていない状態のときに、自動でアップデートが行われます。
また、Central Admin Server からの配信通知や、Wake On LAN が使用できない環境でも、指定した日時にアップデートが行えます。
- 設定した適用日時にユーザーがスキャナにログインしていた場合、ログアウト時にアップデートされます。
- Central Admin Server で自動アップデートスケジュールの適用日時を設定した場合、Central Admin Server からスキャナへ設定が配信されてから自動アップデートまでの時間が 10 分未満だったときは、適用日時は設定されません。
配信通知が行えない環境でシステム環境設定を適用するには、スキャナの再起動やログアウト操作が必要です。これらの操作でソフトウェアアップデートが行われないようにするには、ソフトウェアアップデート時間帯制限の機能を使用してください。アップデートが制限された時間帯でも、システム環境設定の更新が適用されます。詳細については、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。
- 自動でアップデートする時間を Admin Tool または Central Admin Console でも設定した場合、最後に設定して適用した方の値が有効になります。

7. [詳細] ボタンを押します。
⇒ 自動探索を設定するための画面が表示されます。



ヒント

Admin Tool の場合、[詳細] ボタンはありません。同一画面上で自動探索や探索識別名を設定できます。

8. 「自動探索」で、スキャナを **Central Admin Server** の自動探索の対象とすることがどうかを選択します。
スキャナを自動探索の対象にする場合、スキャナの登録先とする Central Admin Server の探索識別名を、「探索識別名」に入力します。
9. [設定] ボタンを押します。
⇒ 「Scanner Central Admin Server」画面が表示されます。
10. [設定] ボタンを押します。
⇒ 入力内容が設定されます。
⇒ 「集中管理」を有効にした場合、スキャナ情報が Central Admin Server に通知されます。
通知に成功すると、「Scanner Central Admin Server への登録状態」の表示が「登録済み」に変更されます。

ヒント

- Central Admin Server とスキャナとの間の通信で SSL を使用するための設定については、「[4.8.8 接続設定をします](#)」(119 ページ) を参照してください。
- ユーザー情報共有またはジョブ設定共有が有効になっている状態で、ログイン時に Central Admin Server と通信できない場合、確認画面が表示されます。この画面で [OK] ボタンを押して続行した場合は、スキャナに保存されている設定情報で動作します。[キャンセル] ボタンを押した場合は、「ログイン」画面に戻ります。

4.9 LDAP に関する設定をします

4.9.1 ログイン LDAP サーバを設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

ログイン LDAP サーバを設定すると、ユーザーごとの認証が行えます。

1. 「ネットワーク設定」→「認証サーバ」→「ログイン LDAP サーバ」を選択します。
⇒ 「ログイン LDAP サーバ」画面が表示されます。

The screenshot shows the 'Login LDAP Server' configuration page. The left sidebar has a menu with 'ログインLDAPサーバ' selected. The main area contains the following fields and controls:

- Header: ネットワーク設定 > 認証サーバ
- Section: ログインLDAPサーバ
- Message: ログインLDAPサーバを設定します。
- Server Type: 無効 (dropdown menu)
- SSL Communication: 無効 (dropdown menu)
- Address: (text input field)
- Port Number: 389 (1-65535) (text input field)
- Search Base (DN): (例: cn=Users, dc=example, dc=com) (text input field)
- Search Timeout: 60秒 (dropdown menu)
- Login User Attribute: uid (dropdown menu)
- LDAP Server Access Authentication Information:
 - Authentication User (DN) *: (例: cn=root, dc=example, dc=com) (text input field)
 - Password: (text input field)
- Footer: 戻る, キャンセル, 設定 buttons.

2. 「サーバ種別」で、ログイン用 LDAP サーバとの接続方法を選択します。
「無効」を選択した場合、LDAP サーバを使用しない設定になります。以降の入力はできません。[設定] ボタンを押して、設定を確定してください。
3. 「SSL 通信」で、SSL 通信をするかどうかを選択します。
4. 「アドレス」に LDAP サーバの IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名を入力します。
5. 「ポート番号」に、スキャナと LDAP サーバとの通信に使用するポート番号を入力します。
6. 「検索ベース (DN)」に、LDAP 検索時の基点になる文字列を入力します。
ここで入力した文字列の配下にある LDAP のエントリーが検索対象になります。入力する文字列と LDAP 検索対象の関係については、「LDAP 検索の対象」(126 ページ) を参照してください。

7. 「検索タイムアウト時間」で、LDAP 検索時のタイムアウト時間を選択します。
⇒ 「検索タイムアウト時間」に選択した値が表示されます。
8. 「ログインユーザー属性」で、ログインユーザー属性を選択します。
「サーバ種別」で「その他の LDAP サーバ」を選択した場合に、ログインするユーザーを、LDAP スキーマ名の uid または cn のどちらで検索するかを選択します。
9. 「サーバ種別」を「その他の LDAP サーバ」にした場合、「LDAP サーバアクセス用認証情報」で、LDAP サーバにログインするユーザーを検索するときの認証情報を入力します。
⇒ 認証ユーザー（DN）を入力した場合、パスワードは省略できません。必ずパスワードを指定してください。
10. LDAP サーバと正しく接続できるかどうかをテストする場合、[接続テスト] ボタンを押します。
⇒ サーバ種別が「Active Directory」または「Active Directory Global Catalog」の場合、「認証」画面が表示されます。LDAP サーバへの接続を確認するための認証情報を入力して、[OK] ボタンを押します。

A screenshot of a software dialog box titled "認証" (Authentication). The dialog has a dark header bar with a question mark icon and a keyboard icon. The main area is light gray and contains two text input fields. The first field is labeled "ユーザー名" (Username) and the second is labeled "パスワード" (Password). At the bottom, there are two buttons: "キャンセル" (Cancel) on the left and "OK" on the right.

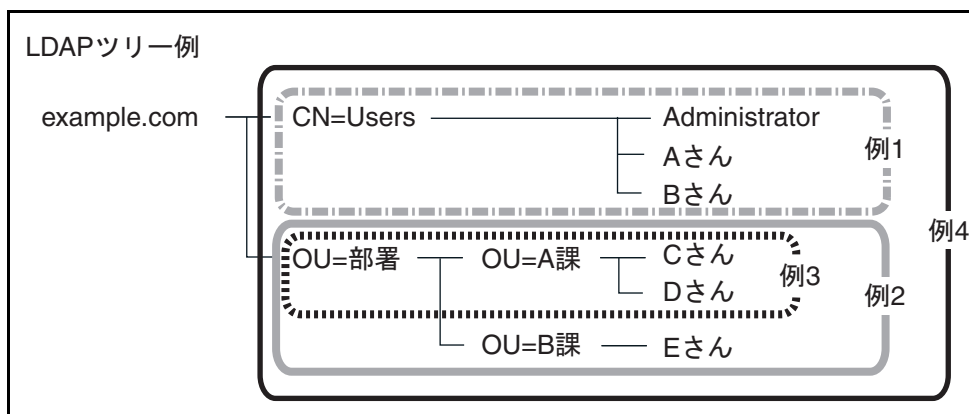
- ユーザー名には、半角の英大文字、英小文字、数字、および記号が使用できます。
 - パスワードには、大文字、小文字、数字、および記号が使用できます。なお、大文字と小文字は区別されます。
- ⇒ サーバ種別が「その他の LDAP サーバ」の場合、「LDAP サーバアクセス用認証情報」で入力した認証情報で認証が行われます。
- ⇒ 認証されて接続に成功すると、「ログイン LDAP サーバ」画面が表示されます。
11. [設定] ボタンを押します。
⇒ 入力内容が設定されます。

■ LDAP 検索の対象

LDAP サーバとの接続方法および検索ベース (DN) の設定 (「4.9.1 ログイン LDAP サーバを設定します」(124 ページ) の手順 2 および手順 6 の設定) によって、LDAP サーバ上での検索範囲および検索方法が異なります。

それぞれの設定と LDAP 検索対象の関係について説明します。

- LDAP サーバと接続する場合 (手順 2 で「Active Directory」または「その他の LDAP サーバ」を選択した場合)
手順 6 で入力する「検索ベース (DN)」の入力例 (ドメイン名が *example.com* の場合) を、以下に示します。斜体は可変文字列です。

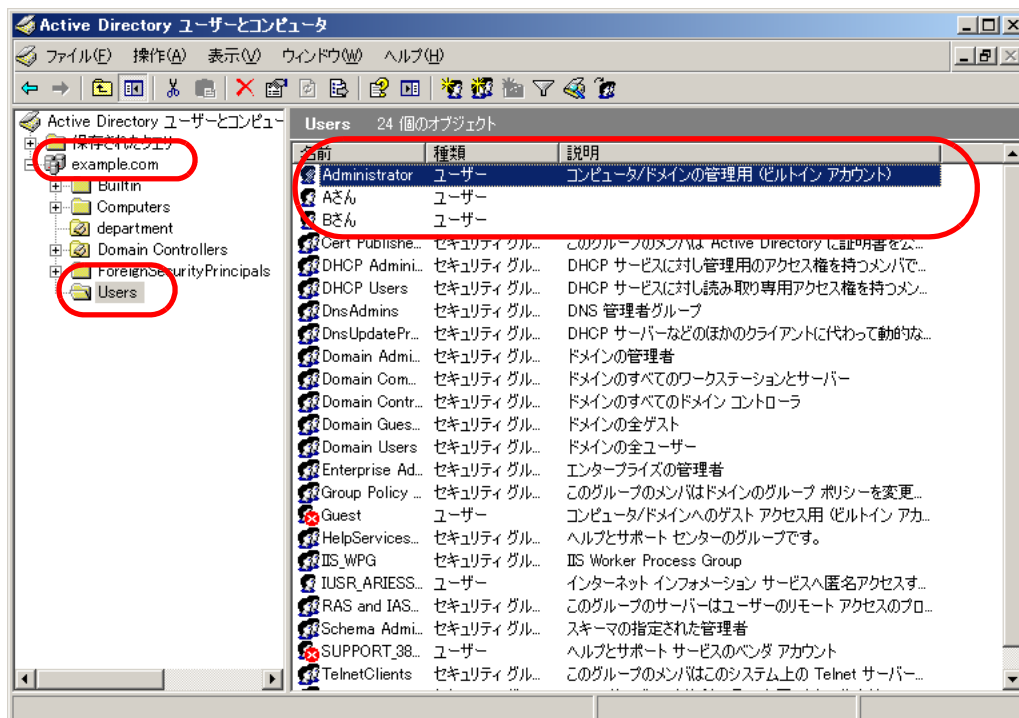


以降では、Active Directory の場合を例にして、検索対象について説明します。

例 1 : (Administrator、A さん、B さん) を検索対象にする場合

`CN=Users,DC=example,DC=com`

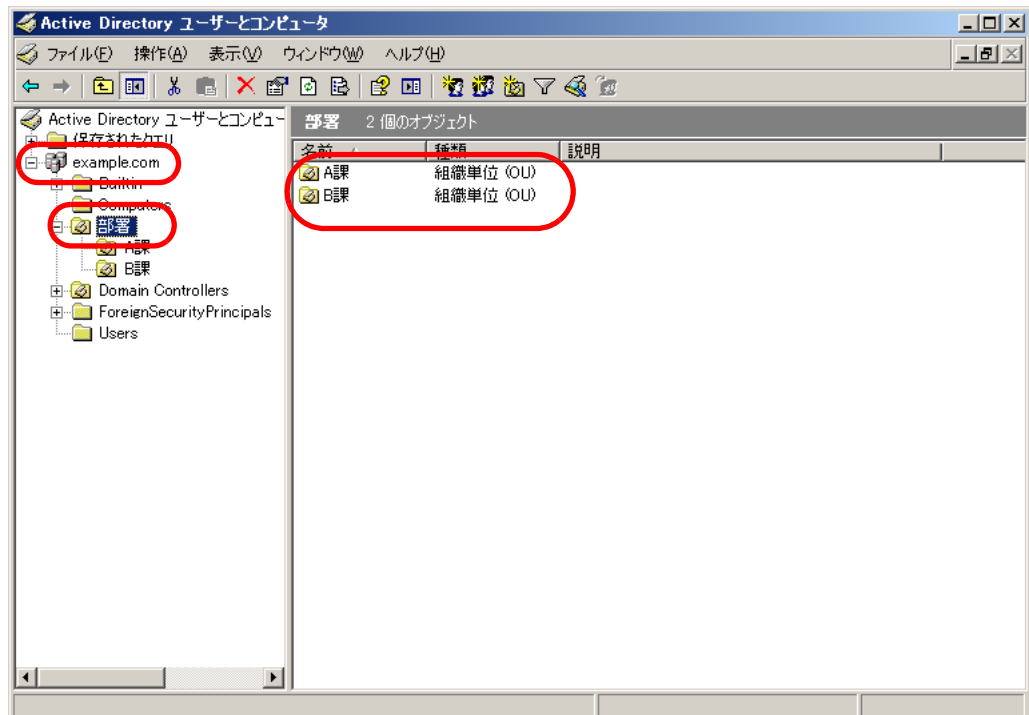
なお、Active Directory 構成は以下のようになります。



例 2 : (C さん、D さん、E さん) を検索対象にする場合

OU= 部署 ,DC=example,DC=com

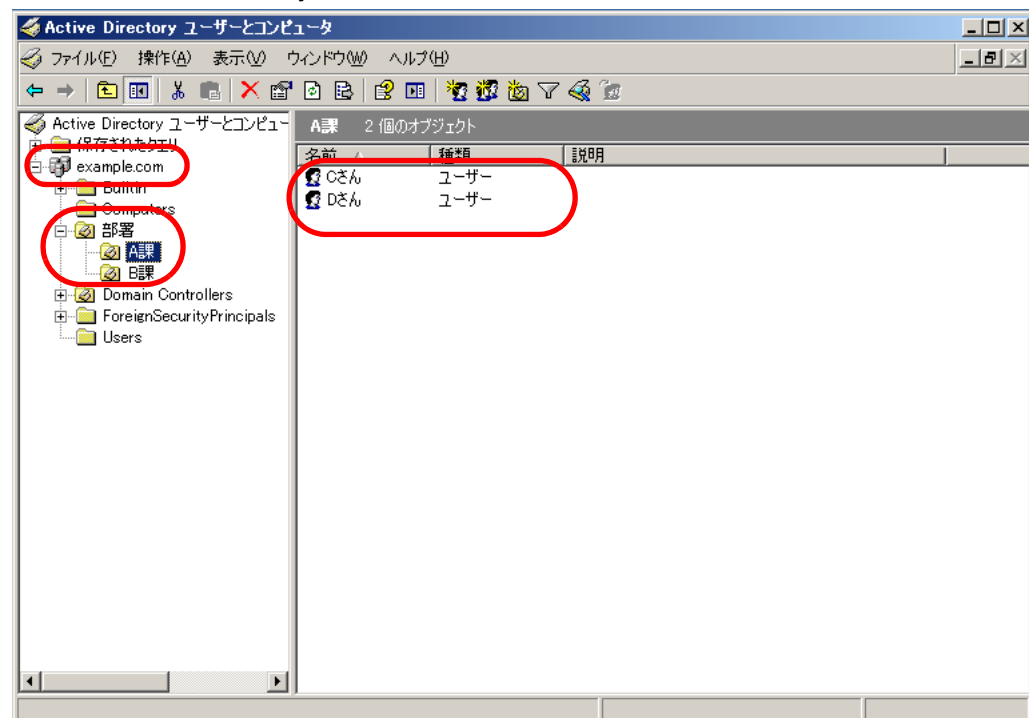
なお、Active Directory 構成は以下ようになります。



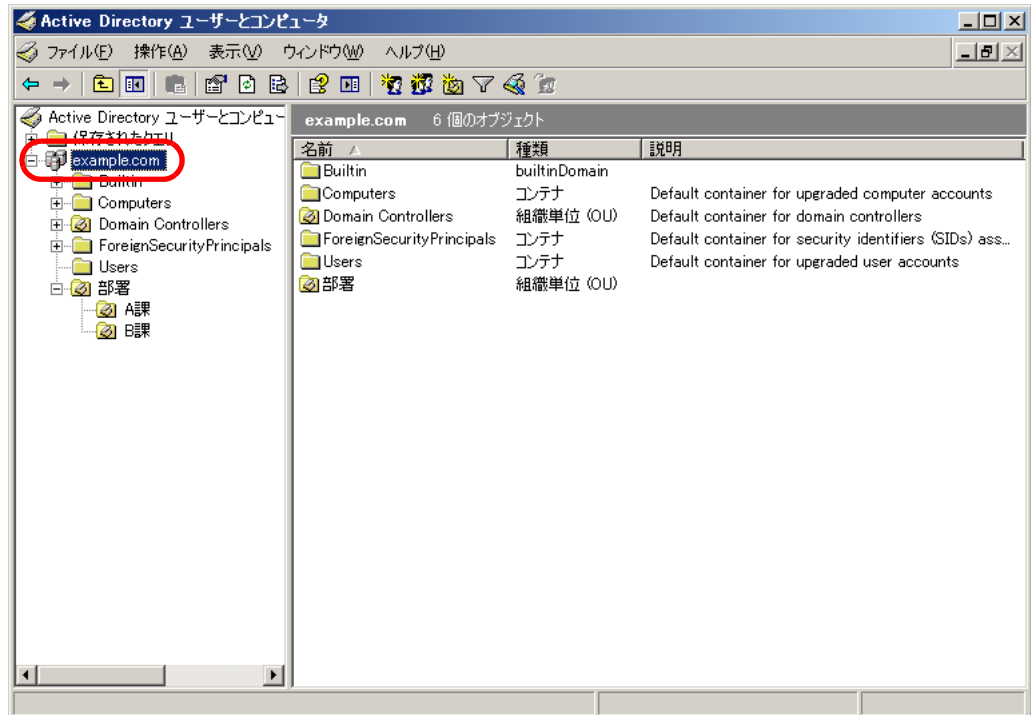
例 3 : (C さん、D さん) を検索対象にする場合

OU=A 課 ,OU= 部署 ,DC=example,DC=com

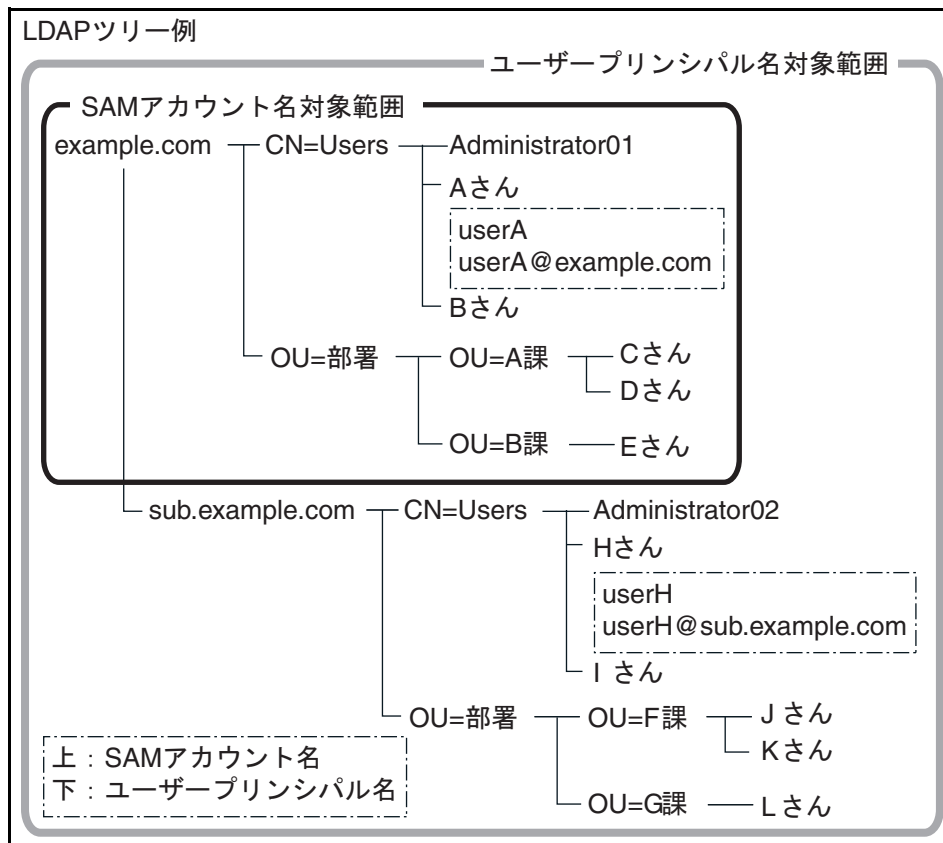
なお、Active Directory 構成は以下ようになります。



例 4 : (全員) を検索対象にする場合
省略または DC=example,DC=com



- グローバルカタログサーバと接続する場合（手順 2 で「Active Directory Global Catalog」を選択した場合）
 手順 6 で入力する「検索ベース（DN）」の入力例（親ドメイン名が *example.com*、サブドメイン名が *sub.example.com* の場合）を、以下に示します。斜体は可変文字列です。



例（ドメイン全体）を検索対象にする場合

省略または *DC=example,DC=com*

なお、同じ利用者でもログイン名が SAM アカウント名かユーザープリンシパル名かによって、ログインの可否は以下ようになります。

利用者	ログイン名	ログインの可否
	上：SAM アカウント名 下：ユーザープリンシパル名	
A さん	userA	○
	userA@example.com	○
H さん	userH	—
	userH@sub.example.com	○

○：ログイン可能 —：ログイン不可

SAM アカウント名は、Active Directory のユーザーログイン名 (sAMAccountName) のことです。

ヒント

SAM アカウント名にドメイン名を指定する場合は、「ドメイン名¥SAM アカウント名」と記述します。

ユーザープリンシパル名は、Active Directory のユーザーログイン名 (userPrincipalName) のことです。

4.9.2 メールアドレス LDAP サーバを設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

メールアドレス LDAP サーバを設定すると、「メールアドレス台帳」画面の LDAP List の検索が行えます。

1. 「ネットワーク設定」→「認証サーバ」→「メールアドレス LDAP サーバ」を選択します。

⇒「メールアドレス LDAP サーバ」画面が表示されます。

2. 「サーバ種別」で、メールアドレス用 LDAP サーバとの接続方法を選択します。
「ログイン LDAP と同じ」を選択した場合、ログイン LDAP サーバの設定と同じ設定内容になります。以降の入力はできません。[設定] ボタンを押して、設定を確定してください。
3. 「4.9.1 ログイン LDAP サーバを設定します」(124 ページ) の手順 5 ~ 手順 10 (手順 8 を除く) までの操作をします。
4. 「最大表示件数」で、メールアドレス LDAP 検索時の最大表示件数を選択します。
⇒「最大表示件数」に選択した値が表示されます。

5. 「サーバ種別」で「その他の LDAP サーバ」を選択した場合、[スキーマ] ボタンを押します。
 ⇨ LDAP 検索時の検索項目と LDAP サーバのスキーマを関連付ける画面が表示されます。

名	説明
givenName	description
姓	事務所
sn	physicalDeliveryOfficeName
共通名	電話番号
cn	telephoneNumber
表示名	メールアドレス
displayName	mail
イニシャル	Webページ
initials	WWWHomePage

6. 検索項目とスキーマを関連付けたら、[設定] ボタンを押します。
 ⇨ 「メールアドレス LDAP サーバ」画面に戻ります。
7. [設定] ボタンを押します。
 ⇨ メールアドレス LDAP サーバが設定されます。

重要

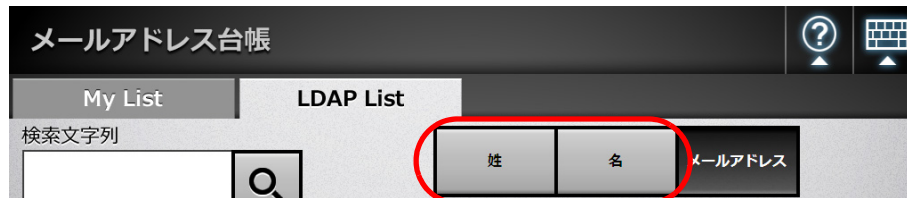
メールアドレス LDAP サーバを利用する際には、ログインユーザーのアカウントを使用します。ログイン LDAP サーバとメールアドレス LDAP サーバに異なるサーバを指定する場合、構成するドメインの環境やログイン名の形式によって、メールアドレス LDAP サーバを利用できない場合があります。詳細については、「LDAP 検索の対象」(126 ページ) を参照してください。

4.9.3 LDAP 検索条件を設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

LDAP 検索条件を設定します。

LDAP 検索条件とは、「メールアドレス台帳」画面の LDAP List に表示される検索条件のボタン（左ボタンおよび中央ボタン）のことで、

例えば、以下の画面の場合、[姓] ボタンおよび [名] ボタンを指します。

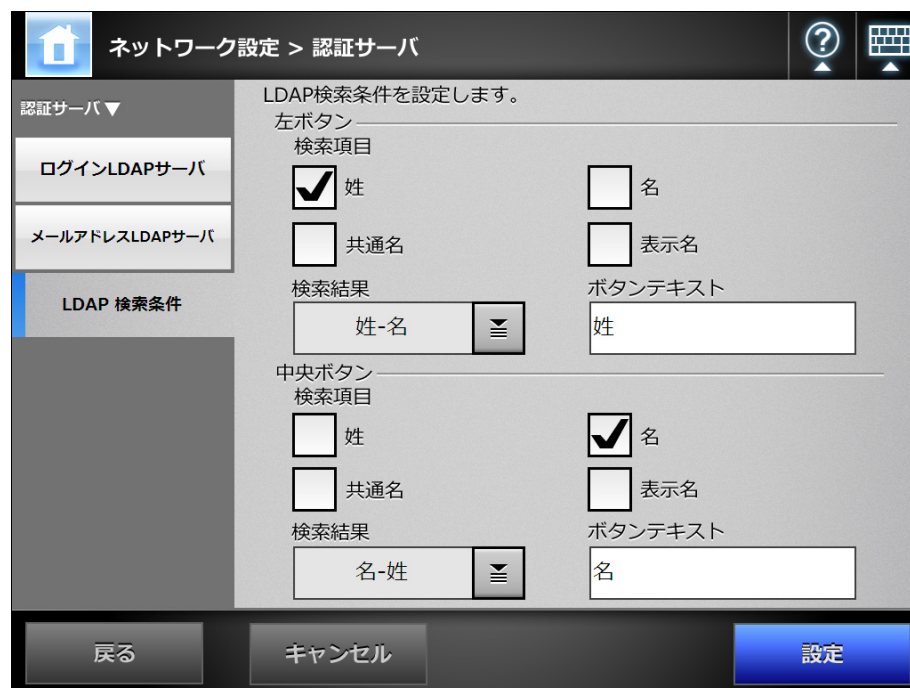


検索条件のボタンを押すと、ボタンに設定されている検索条件に従って、メールアドレス台帳に登録されているメールアドレスの並び順を変更できます。

「メールアドレス台帳」画面の LDAP List については、「[6.4.1 メールアドレス台帳を使ってメールアドレスを入力します](#)」(252 ページ) を参照してください。

1. 「ネットワーク設定」→「認証サーバ」→「LDAP 検索条件」を選択します。

⇒ 「LDAP 検索条件」画面が表示されます。

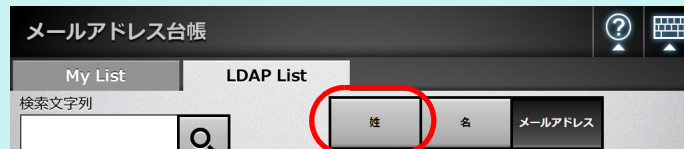


ヒント

「LDAP 検索条件」画面での設定と、「メールアドレス台帳」画面の LDAP List の検索条件ボタンとの対応について、以下に示します。

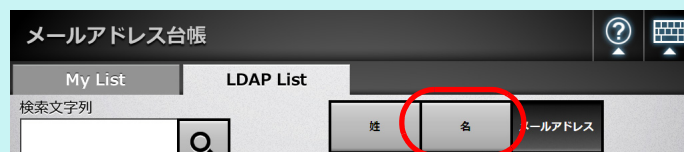
● 左ボタン

「メールアドレス台帳」画面の LDAP List の検索条件の左側にあるボタンに対応します。



● 中央ボタン

「メールアドレス台帳」画面の LDAP List の検索条件の中央にあるボタンに対応します。



2. 左ボタンまたは中央ボタンに設定する検索項目を選択します。

検索項目は複数選択できます。

複数選択した場合は、検索時には、選択した項目のどれかを含んでいる情報が検索されます。

ヒント

- 検索項目が1つも選択されていない場合は、「メールアドレス台帳」画面の LDAP List の対応する検索条件ボタンは、選択できない状態になります。

- 「表示名」チェックボックスにチェックを付けた場合、LDAP 検索結果の表示形式に「姓 - 名」または「名 - 姓」を指定して検索すると、姓または名が登録されていなくても、検索結果は「-」で表示されます。

例：LDAP 検索結果の表示形式が「姓 - 名」で、名が登録されていない場合、「姓—」となります。

3. 「検索結果」で、LDAP 検索結果の表示形式を選択します。

4. 「ボタンテキスト」に、ボタン名にする文字列を入力します。

ここで入力した文字列が、「メールアドレス台帳」画面の LDAP List に表示される検索条件のボタン名になります。

重要

ボタン名を変更する場合、「メールアドレス台帳」画面の LDAP List で、検索条件ボタンの表示イメージを確認してください。

入力する文字列によっては、すべて表示しきれない場合があります。

5. [設定] ボタンを押します。

⇒ LDAP 検索条件が設定されます。

4.10 メールの設定をします

4.10.1 メールサーバを設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

1. 「ネットワーク設定」 → 「メール」 → 「SMTP サーバ」 を選択します。
⇒ 「SMTP サーバ」 画面が表示されます。

2. 「アドレス」に、SMTP サーバの IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名を入力します。
3. 「SSL 通信」で、SMTP サーバとの通信で、SSL 通信をするかどうか、および SSL 通信方式を選択します。
4. 「ポート番号」に、スキャナと SMTP サーバとの通信に使用するポート番号を入力します。
5. 「接続タイムアウト監視」で、接続タイムアウト時間を指定するかどうかを選択します。
「有効」を選択した場合、「接続タイムアウト時間」で、SMTP サーバへの接続タイムアウト時間を入力します。
「無効」を選択した場合、接続タイムアウト時間は、常に 30 秒となります。
6. 「メール分割」で、メールを分割して送信するかどうかを設定します。
7. 「メール分割サイズ」に、メールを分割するときの最大サイズを入力します。

8. 「添付ファイル最大サイズ」に、メール添付するファイルの最大サイズ（メール送信時の総合計データサイズ）を入力します。

重要

SMTP サーバに設定されているメッセージサイズの制限値を超えないように設定してください。

9. 「警告アドレス数」に、誤送信を防止するために、メールのあて先に何件以上のアドレスが指定されたら警告表示するかを入力します。

10. [拡張] ボタンを押します。

⇒ SMTP 認証などを設定するための画面が表示されます。

The screenshot shows the 'SMTP 認証' (SMTP Authentication) settings screen. The breadcrumb is 'ネットワーク設定 > メール'. The left sidebar has 'メール' expanded, with 'SMTPサーバ', 'メール送信設定', and '添付ファイル名設定' visible. The main content area includes: 'SMTP認証' set to '無効'; '認証方式' with radio buttons for 'AUTH CRAM-MD5', 'AUTH LOGIN', and 'AUTH PLAIN'; '認証ユーザー' dropdown set to 'ログインユーザー'; a 'guest' label; and input fields for 'メールアドレス', 'ユーザー名', and 'パスワード'. At the bottom are buttons for '戻る', 'キャンセル', and '設定'.

ヒント

Admin Tool の場合、[拡張] ボタンはありません。同一画面上で SMTP 認証をするかどうかや認証時に使用するユーザーなどを設定してください。

11. SMTP 認証をするかどうか、認証時に使用するユーザー、認証方式、guest アカウントでログインしたときのメールアドレスなどを設定します。

12. [設定] ボタンを押します。

⇒ 元の画面に戻ります。

13. [設定] ボタンを押します。

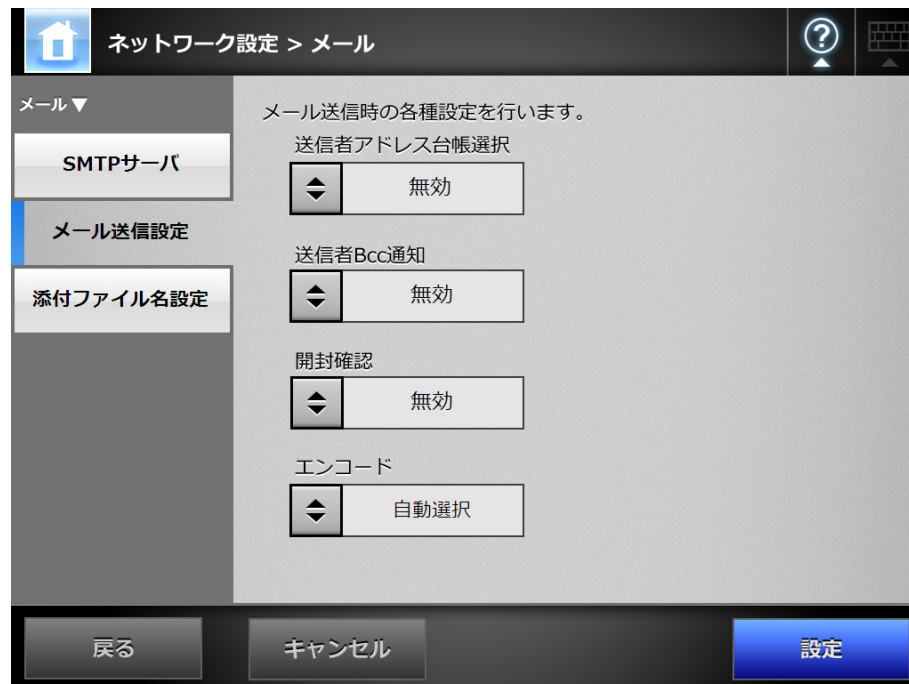
⇒ SMTP サーバが設定されます。

4.10.2 メール送信時の動作を設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

利用者がスキャン画像をメール送信するとき使用する「メール送信」画面の動作を設定します。また、メール送信時のエンコード方法を設定します。

1. 「ネットワーク設定」→「メール」→「メール送信設定」を選択します。

⇒「メール送信設定」画面が表示されます。



2. 「送信者アドレス台帳選択」で、利用者が guest アカウントでログインした場合、「メール送信」画面の「送信者」を、メールアドレス台帳から入力できるようにするかどうかを選択します。
3. 「送信者 Bcc 通知」で、「メール送信」画面に、送信者にも同じメールを送信するための設定項目を、表示するかどうかを選択します。
4. 「開封確認」で、「メール送信」画面に、送信したメールが開封されたことを通知するための設定項目を、表示するかどうかを選択します。
5. 「エンコード」で、メールのエンコード方法を選択します。
6. [設定] ボタンを押します。
⇒ メール送信時の動作が設定されます。

4.10.3 添付ファイル名を設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

スキャン画像をメールで送信するときのファイル名の形式を設定します。
ここで設定したファイル名は、「メール送信」画面の「添付ファイル名」の入力域に初期値として表示されます。

重要

- 以下のファイル名は設定できません。また、これらのファイル名になるような設定をしないでください。
 - CON
 - PRN
 - AUX
 - CLOCK\$
 - NUL
 - COM0 ~ COM9
 - LPT0 ~ LPT9
- ファイル名に、以下の文字は使用できません。
¥ / : * ? " < > |

1. 「ネットワーク設定」→「メール」→「添付ファイル名設定」を選択します。

⇒「添付ファイル名設定」画面が表示されます。

ネットワーク設定 > メール

メール ▼

- SMTPサーバ
- メール送信設定
- 添付ファイル名設定

添付ファイル名の形式を指定します。

再表示 [スキャナ名]MMdyyyyhhmmss

ファイル名形式

1.文字列 無効

2.スキャナ名 有効

3.ユーザー名 無効

4.日付 有効

5.時刻 有効

日付書式 MMdyyyy

区切り文字 なし

戻る キャンセル 設定

2. 「ファイル名形式」を設定します。

ヒント

複数のファイル名を選択した場合、以下の順序でファイル名が作成されます。

- 文字列
- スキャナ名
- ユーザー名
- 日付
- 時刻

日付の書式は「日付書式」、区切り文字は「区切り文字」で選択した内容に従います。

例えば、文字列「file」、スキャナ名「Scanner」、ユーザー名「user」、日付

「20121231」、時刻「12:00:30」、区切り文字「_」の場合、

「file_Scanner_user_20121231_120030」となります。

3. 「日付書式」で、日付書式を選択します。

4. 「区切り文字」で、区切り文字を選択します。

5. [再表示] ボタンを押します。

⇒ [再表示] ボタンの右側にある表示域にファイル名の形式が表示されます。

6. ファイル名の形式を確認します。

7. [設定] ボタンを押します。

⇒ ファイル名が設定されます。

4.11 FAX 送信サーバを設定します

タッチパネル

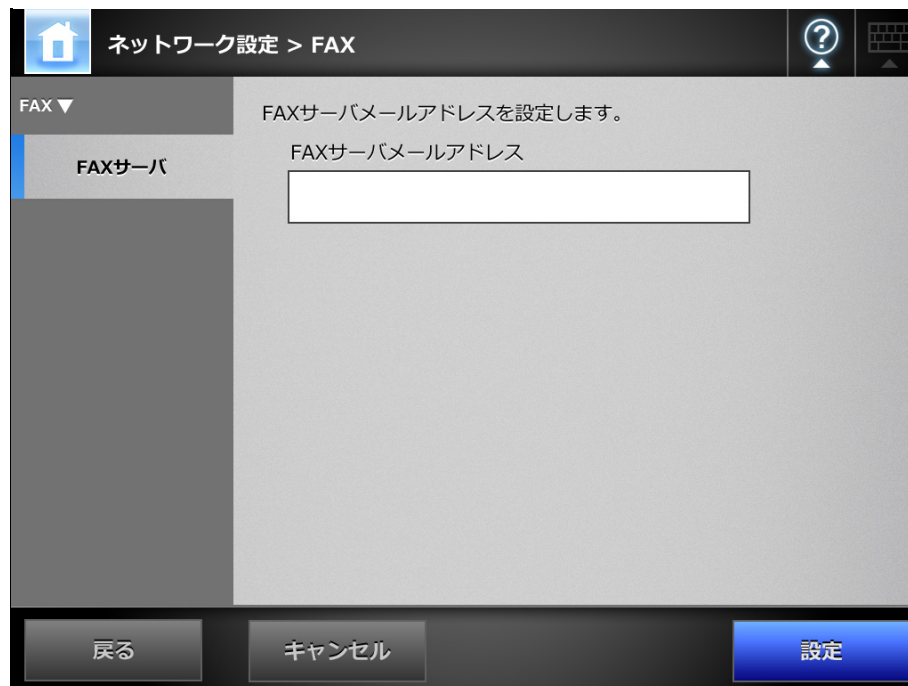
AdminTool

Central Admin
Console

FAX 送信サーバ (RightFax) を設定します。

1. 「ネットワーク設定」 → 「FAX」 → 「FAX サーバ」 を選択します。

⇒ 「FAX サーバ」 画面が表示されます。



2. FAX サーバ (RightFax) が監視しているメールアドレスを入力します。

FAX サーバの指定が不要な場合は、何も入力しないでください。

メールアドレスの設定値については、「[B.1 メールアドレスの設定値](#)」(421 ページ) を参照してください。

3. 「設定」 ボタンを押します。

⇒ FAX サーバが設定されます。

4.12 保存先とするフォルダーを設定します

以下のフォルダーを、スキャン画像の保存先として設定できます。

- ネットワーク共有フォルダー
- FTP フォルダー
- SharePoint フォルダー

4.12.1 ネットワーク共有フォルダーを設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

スキャン画像の保存先とするネットワーク共有フォルダーを設定します。ファイルサーバの共有フォルダーを、ネットワーク共有フォルダーとして設定できます。ネットワーク共有フォルダーの最大登録数は、FTP フォルダーと併せて 100 件です。FTP フォルダーの設定については、「[4.12.2 FTP フォルダーを設定します](#)」(147 ページ) を参照してください。

ネットワーク共有フォルダーを登録するには、以下の方法があります。

- ツリー選択
ネットワーク共有フォルダーをネットワークツリーから選択します。
詳細については、「[ネットワーク共有フォルダーを登録します \(ツリー選択\)](#)」(142 ページ) を参照してください。
- 直接入力 (ネットワークパス)
ファイルサーバのネットワーク共有フォルダーのパス名を、直接入力で指定します。
詳細については、「[ネットワーク共有フォルダーを登録します \(直接入力\)](#)」(144 ページ) を参照してください。

ネットワーク共有フォルダーにスキャン画像を保存するときのファイル名の設定については、「[4.12.4 保存ファイル名を設定します](#)」(155 ページ) を参照してください。

重要

ネットワーク共有フォルダーを登録する場合、以下の点に注意してください。

- 登録したネットワーク共有フォルダーのパスは、ネットワークパスです。ネットワーク共有フォルダーを共有設定している端末で、実際のフルパス長と、保存するスキャン画像ファイル名の合計が半角 259 文字を超える場合は、保存したデータファイルを参照できません。ネットワーク共有フォルダーの登録前に実際のフルパス長と、保存するスキャン画像ファイル名の合計文字数を確認してください。
- 選択するフォルダーが、当画面を閲覧しているオペレーティングシステムの言語とは異なる言語で作成されている場合は、ネットワーク共有フォルダーの登録ができません。認識できないコードが含まれるため、ネットワーク共有フォルダー名が正しく表示されません。
- 表示するフォルダーが多い場合、フォルダーが表示されるまでに時間がかかる場合があります。

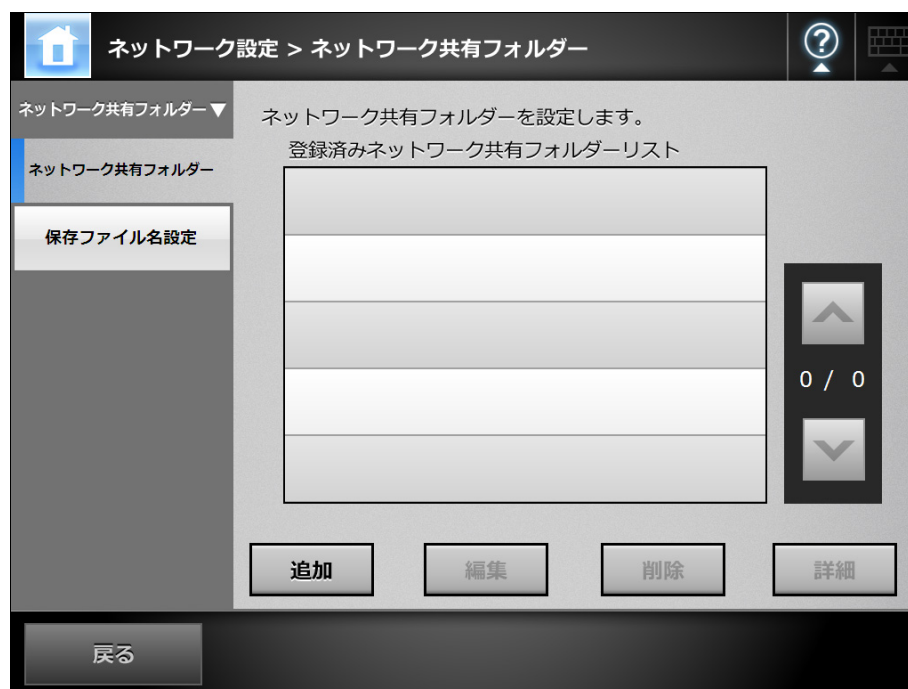
ヒント

ネットワーク共有フォルダーは、読み込みおよび書き込みができるフォルダーを設定してください。

■ ネットワーク共有フォルダーを登録します（ツリー選択）

1. 「ネットワーク設定」→「ネットワーク共有フォルダー」→「ネットワーク共有フォルダー」を選択します。

⇒「ネットワーク共有フォルダー」画面が表示されます。



2. [追加] ボタンを押します。

⇒ ネットワーク共有フォルダーの選択画面が表示されます。

重要

ネットワーク共有フォルダーの選択画面で、ドメイン一覧で期待するドメインが表示されない場合があります。そのような場合は、直接入力で指定するか、しばらく待ってから再度ネットワーク共有フォルダーの選択画面を表示してください。

3.  ドメイン  を選択します。



⇒ ネットワークツリーが展開され、配下のコンピュータ名が表示されます。

認証画面が表示された場合は、ユーザー名とパスワードを入力します。認証されると、配下のコンピュータ名が表示されます。

4.  コンピュータ  を選択します。

⇒ ネットワークツリーが展開され、配下のネットワーク共有フォルダー名が表示されます。

認証画面が表示された場合は、ユーザー名とパスワードを入力します。認証されると、配下のネットワーク共有フォルダー名が表示されます。

5.  ネットワーク共有フォルダー  を選択します。

配下のフォルダーも表示され、ドメインを含めて7階層まで選択できます。

6. [設定] ボタンを押します。

⇒ 「ネットワーク共有フォルダー」画面に戻り、登録済みネットワーク共有フォルダーリストに追加されます。

ヒント

ネットワーク共有フォルダー名は、ネットワークツリーで選択したフォルダー名になります。名称を変更する場合は、「[ネットワーク共有フォルダー名を変更します](#)」(145ページ)を参照してください。

■ ネットワーク共有フォルダーを登録します（直接入力）

1. 「ネットワーク設定」→「ネットワーク共有フォルダー」→「ネットワーク共有フォルダー」を選択します。
⇒「ネットワーク共有フォルダー」画面が表示されます。
2. [追加] ボタンを押します。
⇒ ネットワーク共有フォルダーの選択画面が表示されます。
3. [直接入力] ボタンを押します。
⇒ ネットワーク共有フォルダーの直接入力画面が表示されます。

ネットワーク設定 > ネットワーク共有フォルダー

ネットワーク共有フォルダー ▼ ネットワーク共有フォルダーを追加します。

ネットワーク共有フォルダー名
*省略した場合は共有名がネットワーク共有フォルダー名になります。

ネットワーク共有フォルダーのパス名
(例：%%Domain%Computer%FolderName)

戻る キャンセル ツリー選択 設定

4. ネットワーク共有フォルダーの表示名、およびパスを入力します。
5. [設定] ボタンを押します。
⇒「ネットワーク共有フォルダー」画面に戻り、登録済みネットワーク共有フォルダーリストに追加されます。

ヒント

- ネットワーク共有フォルダー名は、直接入力で指定したフォルダー名になります。名称を変更する場合は、「[ネットワーク共有フォルダー名を変更します](#)」(145 ページ)を参照してください。
- 認証画面が表示されることがあります。

■ ネットワーク共有フォルダー名を変更します

1. 「ネットワーク設定」→「ネットワーク共有フォルダー」→「ネットワーク共有フォルダー」を選択します。
⇒「ネットワーク共有フォルダー」画面が表示されます。
2. 名前を変更するネットワーク共有フォルダーを選択します。
3. [編集] ボタンを押します。
⇒ ネットワーク共有フォルダーの編集画面が表示されます。
4. ネットワーク共有フォルダー名を入力します。
5. [設定] ボタンを押します。
⇒ ネットワーク共有フォルダー名が変更されます。

■ ネットワーク共有フォルダーを削除します

1. 「ネットワーク設定」→「ネットワーク共有フォルダー」→「ネットワーク共有フォルダー」を選択します。
⇒「ネットワーク共有フォルダー」画面が表示されます。
2. 削除するネットワーク共有フォルダーを選択します。
3. [削除] ボタンを押します。
⇒ ネットワーク共有フォルダーの削除画面が表示されます。
4. 削除するネットワーク共有フォルダーの情報を確認して [はい] ボタンを押します。
⇒ ネットワーク共有フォルダーが削除されます。

■ ネットワーク共有フォルダーの詳細情報を参照します

1. 「ネットワーク設定」→「ネットワーク共有フォルダー」→「ネットワーク共有フォルダー」を選択します。
⇒「ネットワーク共有フォルダー」画面が表示されます。
2. 詳細情報を表示するネットワーク共有フォルダーを選択します。
3. [詳細] ボタンを押します。
⇒ ネットワーク共有フォルダーの詳細情報が表示されます。



4.12.2 FTP フォルダーを設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

スキャン画像の保存先とする FTP フォルダーを設定します。

FTP サーバの共有フォルダーを、FTP フォルダーとして設定できます。

FTP フォルダーの最大登録数は、ネットワーク共有フォルダーと併せて 100 件です。

ネットワーク共有フォルダーの設定については、「[4.12.1 ネットワーク共有フォルダーを設定します](#)」(141 ページ) を参照してください。

FTP フォルダーにスキャン画像を保存するときのファイル名の設定については、「[4.12.4 保存ファイル名を設定します](#)」(155 ページ) を参照してください。

重要

FTP フォルダーを登録する場合、以下の点に注意してください。

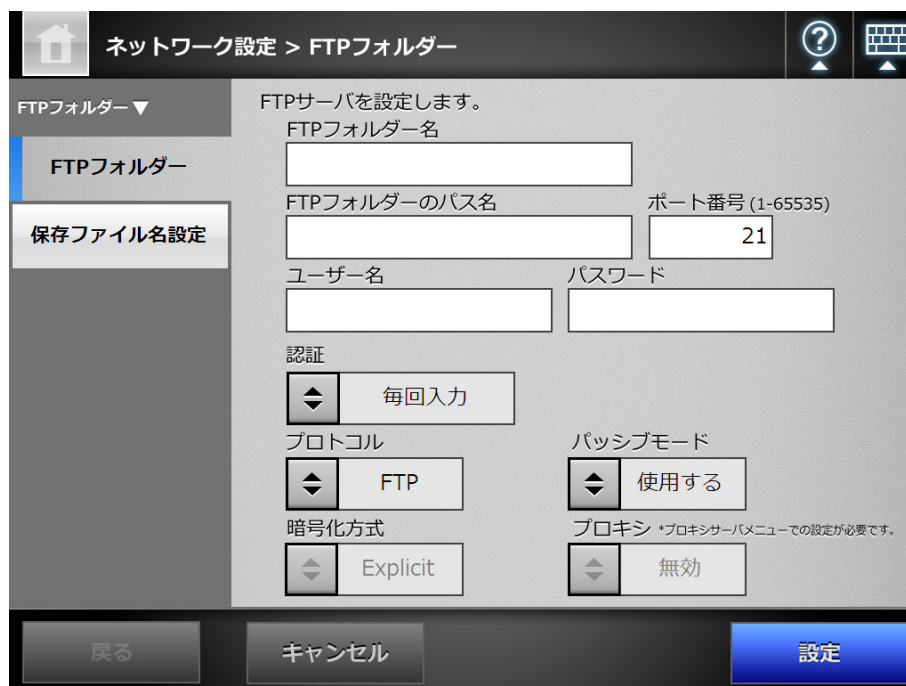
- 登録した FTP フォルダーのパスは、ネットワークパスです。FTP フォルダーを共有設定している端末で、実際のフルパス長と、保存するスキャン画像ファイル名の合計が半角 259 文字を超える場合は、保存したデータファイルを参照できません。FTP フォルダーの登録前に実際のフルパス長と、保存するスキャン画像ファイル名の合計文字数を確認してください。
- 選択するフォルダーが、当画面を閲覧しているオペレーティングシステムの言語とは異なる言語で作成されている場合は、FTP フォルダーの登録ができません。
認識できないコードが含まれるため、FTP フォルダー名が正しく表示されません。
- FTP フォルダーのパス名やユーザー名、パスワードには、半角英数字、および【¥/:;*?"<>|#&%】を除く記号が使用できます。

■ FTP フォルダーを登録します

1. 「ネットワーク設定」→「FTP フォルダー」→「FTP フォルダー」を選択します。
⇒ 「FTP フォルダー」画面が表示されます。



2. 「追加」ボタンを押します。
⇒ FTP フォルダーの設定画面が表示されます。



3. 「FTP フォルダー名」に、FTP フォルダーの表示名を入力します。
4. 「FTP フォルダーのパス名」に、保存先とする FTP フォルダーのパス名を入力します。
5. 「ポート番号」に、FTP サーバの接続先ポート番号を入力します。
6. 「ユーザー名」および「パスワード」に、FTP サーバにログインするための認証情報を入力します。
7. 「認証」で、ユーザー名およびパスワードを保存するかどうかを選択します。
8. 「プロトコル」で、FTP サーバとの接続方法を選択します。
9. 「パッシブモード」で、パッシブモードで接続するかどうかを選択します。

重要

Central Admin Console で、ファイアウォールが有効となっている Central Admin Server を使用する場合、「パッシブモード」を「使用する」に設定してください。

10. 「暗号化方式」で、暗号化の方法を選択します。
11. 「プロキシ」で、プロキシサーバを使用するかどうかを選択します。
「プロキシサーバ」画面で、プロキシサーバを設定していない場合、本設定はできません。プロキシサーバの設定方法については、「[4.8.5 プロキシサーバを設定します](#)」(114 ページ)を参照してください。
12. [設定] ボタンを押します。
⇒ FTP サーバへの認証確認が行われます。認証されると、「FTP フォルダー」画面に戻り、FTP フォルダーが設定されます。

ヒント

FTP フォルダーは、読み込みおよび書き込みができるフォルダーを設定してください。

■ FTP フォルダーの設定を変更します

1. 「ネットワーク設定」→「FTP フォルダー」→「FTP フォルダー」を選択します。
⇒ 「FTP フォルダー」画面が表示されます。
2. 変更する FTP フォルダーを選択します。
3. [編集] ボタンを押します。
⇒ FTP フォルダーの編集画面が表示されます。
4. 設定を変更します。

ヒント

「FTP フォルダーのパス名」は変更できません。

5. [設定] ボタンを押します。
⇒ 変更した設定内容が適用されます。

■ FTP フォルダーを削除します

1. 「ネットワーク設定」→「FTP フォルダー」→「FTP フォルダー」を選択します。
⇒ 「FTP フォルダー」画面が表示されます。
2. 削除する FTP フォルダーを選択します。
3. [削除] ボタンを押します。
⇒ FTP フォルダーの削除画面が表示されます。
4. 削除する FTP フォルダーの情報を確認して [はい] ボタンを押します。
⇒ FTP フォルダーが削除されます。

■ FTP フォルダーの詳細情報を参照します

1. 「ネットワーク設定」→「FTP フォルダー」→「FTP フォルダー」を選択します。
⇒ 「FTP フォルダー」画面が表示されます。
2. 詳細情報を表示する FTP フォルダーを選択します。
3. 「詳細」ボタンを押します。
⇒ FTP フォルダーの詳細情報が表示されます。

The screenshot shows a configuration window titled "ネットワーク設定 > FTPフォルダー". On the left, there is a sidebar with three options: "FTPフォルダー" (selected), "FTPフォルダー", and "保存ファイル名設定". The main area displays "FTPフォルダー情報です。" and several input fields and dropdown menus:

- FTPフォルダー名: Folder01FTP
- FTPフォルダーのパス名: [Redacted]
- ポート番号 (1-65535): 21
- ユーザー名: [Redacted]
- パスワード: [Redacted]
- 認証: 毎回入力
- プロトコル: FTP
- 暗号化方式: Explicit
- パッシブモード: 使用する
- プロキシ: 無効

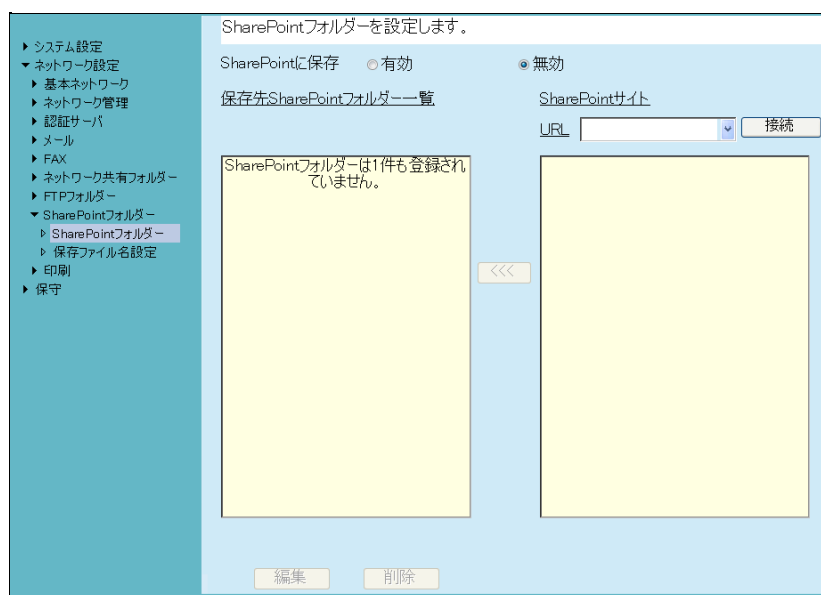
At the bottom, there are two buttons: "戻る" (Back) and "OK".

4.12.3 SharePoint フォルダーを設定します AdminTool Central Admin Console

スキャン画像の保存先とする SharePoint フォルダーを設定します。
SharePoint フォルダーにスキャン画像を保存するときのファイル名の設定については、[「4.12.4 保存ファイル名を設定します」](#) (155 ページ) を参照してください。

1. 「ネットワーク設定」→「SharePoint フォルダー」→「SharePoint フォルダー」を選択します。

⇒ 「SharePoint フォルダー」画面が表示されます。



2. 「SharePoint に保存」で、SharePoint フォルダーにスキャン画像を保存できるようにするかを選択します。

3. 「URL」に、SharePoint サーバの URL を指定します。

リストボタンを押して、過去に設定した URL から選択することもできます。

4. [接続] ボタンを押します。

⇒ 「サインイン」画面が表示されます。

SharePoint サーバにサインインするときのユーザー名、パスワード、ドメイン名を入力して、[OK] ボタンを押します。

- ユーザー名の最大文字数は 256 文字です。
- パスワードの最大文字数は半角 256 文字です。なお、英大文字と英小文字は区別されます。
- ドメイン名の最大文字数は半角 64 文字です。

⇒ サインインに成功すると、SharePoint サーバのサイトおよびフォルダーが「SharePoint サイト」の一覧に表示されます。

5. 保存先とするフォルダーを「SharePoint サイト」の一覧から選択して、[<<<] ボタンを押します。

⇒「保存先 SharePoint フォルダー一覧」に追加され、保存先として選択できるようになります。

重要

- Central Admin Server から SharePoint フォルダーを設定する場合、Central Admin Server に .NET Framework 3.0 Service Pack 1 以降をインストールして、再起動する必要があります。
- Central Admin Server に .NET Framework 3.0 Service Pack 1 以降がインストールされていない場合、Central Admin Server から SharePoint フォルダーを設定できません。
- SharePoint 2010 にアクセスするとき、サーバ名をフルドメインで指定するとサイトの下に同じサイトが表示されループすることがあります。
この現象が発生した場合、以下の手順で SharePoint サーバの設定を変更してください。
 1. 「サーバーの全体管理」を開きます。
 2. 「サーバー構成の管理」にある「代替アクセス マッピング」を選択します。
 3. 「パブリック URL の編集」を選択します。
 4. パブリック URL の「規定」に表示されている URL を、フルドメインに変更します。
 5. 「保存」を選択します。

ヒント

- SharePoint サーバのライブラリタイプが「スライドライブラリ」などの、画像ファイルを格納できないフォルダーは設定しないでください。
- サイトおよびフォルダーの URL パスが 184 文字を超える場合は、設定できません。
- 「保存先 SharePoint フォルダー一覧」にフォルダーを追加したときに、すでに同一のフォルダー名が存在した場合、追加したフォルダー名のあとに連番が 2 から順に () で囲まれて付加されます。

■ SharePoint フォルダーの表示名を変更します

1. 「ネットワーク設定」→「SharePoint フォルダー」→「SharePoint フォルダー」を選択します。

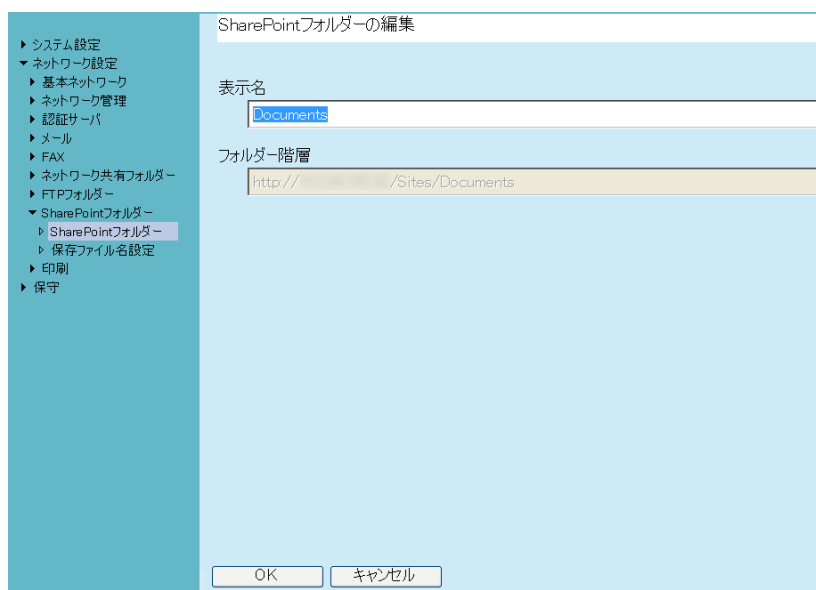
⇒「SharePoint フォルダー」画面が表示されます。

2. 表示名を変更する SharePoint フォルダーを「保存先 SharePoint フォルダー一覧」から選択します。

3. [編集] ボタンを押します。

⇒「SharePoint フォルダーの編集」画面が表示されます。

4. 表示名を入力します。



5. [OK] ボタンを押します。

⇒ 表示名が変更されます。

■ SharePoint フォルダーを削除します

1. 「ネットワーク設定」→「SharePoint フォルダー」→「SharePoint フォルダー」を選択します。

⇒ 「SharePoint フォルダー」画面が表示されます。

2. 削除する SharePoint フォルダーを「保存先 SharePoint フォルダ一覧」から選択します。

3. [削除] ボタンを押します。

⇒ フォルダーの削除画面が表示されます。

4. 削除するフォルダーの情報を確認して [はい] ボタンを押します。

⇒ フォルダーが削除されます。

4.12.4 保存ファイル名を設定します

タッチパネル

AdminTool

Central Admin Console

スキャン画像をネットワーク共有フォルダー、FTP フォルダー、または SharePoint フォルダーに保存するときのファイル名の形式を設定します。ここで設定したファイル名は、利用者の画面の「保存」画面および「SharePoint に保存」画面の「ファイル名」の入力域に、初期値として表示されます。

重要

- 以下のファイル名は設定できません。また、これらのファイル名になるような設定をしないでください。
 - CON
 - PRN
 - AUX
 - CLOCK\$
 - NUL
 - COM0 ~ COM9
 - LPT0 ~ LPT9
- ファイル名に、以下の文字は使用できません。
¥ / : * ? " < > |
なお、SharePoint フォルダーに保存する場合、以下の文字は使用できません。
~ " # % & * : < > ? { | }
- SharePoint フォルダーに保存するときのファイル名は、タッチパネルでは設定できません。Admin Tool または Central Admin Console で設定してください。

1. 以下のどれかの操作をします。

- ネットワーク共有フォルダーの場合
「ネットワーク設定」→「ネットワーク共有フォルダー」→「保存ファイル名設定」を選択します。
- FTP フォルダーの場合
「ネットワーク設定」→「FTP フォルダー」→「保存ファイル名設定」を選択します。
- SharePoint フォルダーの場合
「ネットワーク設定」→「SharePoint フォルダー」→「保存ファイル名設定」を選択します。

⇒「保存ファイル名設定」画面が表示されます。

ここでは、ネットワーク共有フォルダーの場合を例にします。

ネットワーク設定 > ネットワーク共有フォルダー

保存ファイル名の形式を指定します。

再表示 [スキャナ名]MMddyyyyhhmmss001

フォルダー名形式

1.スキャナ名 2.ユーザー名 3.日付

無効 無効 無効

ファイル名形式

1.文字列

無効

2.スキャナ名 3.ユーザー名 4.日付

有効 無効 有効

5.時刻 6.連番

有効 3 (最小桁数)

日付書式 区切り文字

MMddyyyy なし

戻る キャンセル 設定

2. 「フォルダー名形式」で、スキャン画像を保存するフォルダーを設定します。

- ネットワーク共有フォルダー、FTP フォルダー、または SharePoint フォルダの直下にスキャン画像を保存する場合、フォルダー名形式は選択しないでください。
- ネットワーク共有フォルダー、FTP フォルダー、または SharePoint フォルダの配下のフォルダーにスキャン画像を保存する場合、保存先とするフォルダー名形式を選択します。
選択したフォルダー名が存在しない場合、フォルダーが作成されます。

ヒント

複数のフォルダー名を選択した場合、以下の順序でフォルダー名が作成されます。

- スキャナ名
- ユーザー名
- 日付

区切り文字は「区切り文字」で選択した内容に従います。

例：スキャナ名「Scanner」、ユーザー名「user」、日付「20121231」、区切り文字「_」の場合、「Scanner_user_20121231」となります。

3. 「ファイル名形式」を設定します。

ヒント

複数のファイル名を選択した場合、以下の順序でファイル名が作成されます。

- 文字列
- スキャナ名
- ユーザー名
- 日付
- 時刻

区切り文字は「区切り文字」で選択した内容に従います。

例：文字列「file」、スキャナ名「Scanner」、ユーザー名「user」、日付「20121231」、時刻「12:00:30」、区切り文字「_」の場合、「file_Scanner_user_20121231_120030」となります。

4. 「連番」で、連番の付け方を選択します。

重要

連番の最大値を超えるファイル名が、保存先のフォルダーにすでに存在する場合、連番は正しく付加されません。

ヒント

連番は、以下のように付加されます。

- 連番は 1 から開始します。連番付きのファイル名がすでに存在する場合、実在する最大の値の次の値から、連番が付加されます。
例：ファイル名が A で、連番の桁数が 3 桁の場合、「A001.pdf」「A004.pdf」がすでに存在するときは、以下のようになります。
「A005.pdf」「A006.pdf」「A007.pdf」「A008.pdf」…
実在しない最小の値である「A002.pdf」「A003.pdf」のファイル名は付けられません。
- 選択した連番の桁数が上回った場合、次の桁の値を使用して、連番が付加されます。
例：ファイル名が A で、連番の桁数が 3 桁の場合、「A001.pdf」～「A998.pdf」がすでに存在するときは、以下のようになります。
「A999.pdf」「A1000.pdf」「A1001.pdf」「A1002.pdf」…
- 連番の最大値は 4294967295 です。連番の最大値を超えた場合は、実在しない最小の値を使用して、連番が付加されます。
例：ファイル名が A で、連番の桁数が 3 桁の場合、「A001.pdf」「A003.pdf」「A4294967295.pdf」がすでに存在するときは、以下のようになります。
「A002.pdf」「A004.pdf」「A005.pdf」「A006.pdf」…

5. 「日付書式」で、日付書式を選択します。

6. 「区切り文字」で、区切り文字を選択します。

7. [再表示] ボタンを押します。

⇒ [再表示] ボタンの右側にある表示域にファイル名の形式が表示されます。

8. ファイル名の形式を確認します。

9. [設定] ボタンを押します。

⇒ ファイル名が設定されます。

4.13 ネットワーク共有プリンターを設定します



プリントサーバに接続されたネットワークプリンターをネットワーク共有プリンターとして設定します。
ネットワーク共有プリンターの設定の流れは、以下のようになります。

1. プリンタードライバを確認します。

詳細については、「[プリンタードライバを確認します](#)」(159 ページ) を参照してください。

2. プリンターのプロパティを設定します。

詳細については、「[プリンターのプロパティを設定します](#)」(160 ページ) を参照してください。

3. ネットワーク共有プリンターを登録します。

ネットワーク共有プリンターの最大登録数は、100 件です。

ネットワーク共有プリンターを登録するには、以下の方法があります。

- ツリー選択
ネットワーク共有プリンターをネットワークツリーから選択します。
詳細については、「[ネットワーク共有プリンターを登録します \(ツリー選択\)](#)」(163 ページ) を参照してください。
- 直接入力
ネットワーク共有プリンターのパス名を直接入力で指定します。
詳細については、「[ネットワーク共有プリンターを登録します \(直接入力\)](#)」(166 ページ) を参照してください。

重要

- プリンターの設定方法、ネットワーク共有プリンターの追加方法や留意事項が書かれているプリンターのマニュアルを事前によくお読みください。
- プrintサーバのスプールフォルダーが存在するドライブには事前に空き容量を十分確保してください。
- 仮想プリンターは設定しないでください。
- 異なるプリントサーバに接続されている同じプリンター機種をネットワーク共有プリンターとして複数登録する場合は、プリントサーバ上のプリンタードライバのソフトウェアを同一バージョンに合わせる必要があります。
プリンタードライバのソフトウェアが同一バージョンではない場合、正しく印刷ができないなどの問題が発生する可能性があります。
- プリンターの共有名に「|」(パイプ) 文字が使用されている場合、ネットワーク共有プリンターとして登録できません。

■ プリンタードライバを確認します

プリントサーバには、Windows XP に対応したドライバがインストールされている必要があります。

プリントサーバに、Windows XP に対応したドライバがインストールされているかどうかは、以下の手順で確認できます。

1. プリントサーバの「スタート」メニュー → 「コントロールパネル」 → 「プリンターと FAX」 を選択します。

⇒ 「プリンターと FAX」 画面が表示されます。

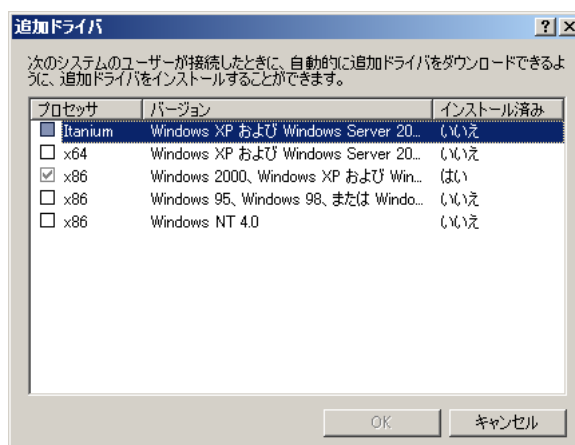
2. プリンターを右クリックし、「プロパティ」 を選択します。

⇒ プリンターのプロパティが表示されます。

3. 「共有」 タブの [追加ドライバ] ボタンを押します。

⇒ 「追加ドライバ」 画面が表示されます。

4. プロセッサが「x86」 (または Intel) で、「Windows XP」 を含むバージョンが「はい」 (インストール済み) になっているか確認します。



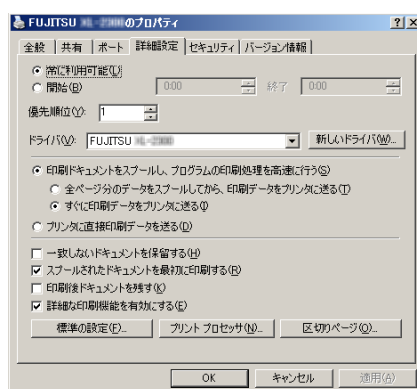
- 「はい」 の場合はインストールされているのでネットワーク共有プリンターとして使用できます。[キャンセル] ボタンを押してください。
- 「いいえ」 になっている場合は、「Windows XP」 を含むバージョンを選択して [OK] ボタンを押します。

⇒ Windows XP に対応したドライバがインストールされます。

■ プリンターのプロパティを設定します

プリンターの設定は、以下の手順で行います。

1. プリントサーバの「スタート」メニュー → 「コントロールパネル」 → 「プリンタと FAX」 を選択します。
⇒ 「プリンタと FAX」 画面が表示されます。
2. プリンターを右クリックし、「プロパティ」 を選択します。
⇒ プリンターのプロパティが表示されます。
3. 「詳細設定」 タブの [標準の設定] ボタンを押します。



⇒ プリンターの標準の設定画面が表示されます。

4. 設定内容を変更し、[OK] ボタンを押します。

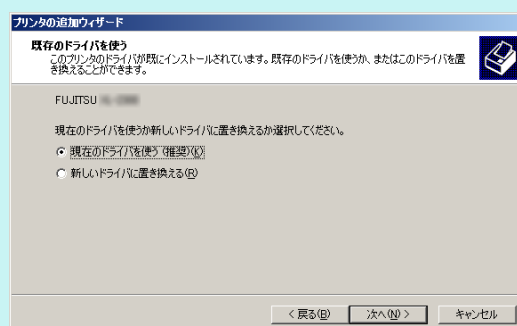


⇒ プリンターのプロパティが設定されます。

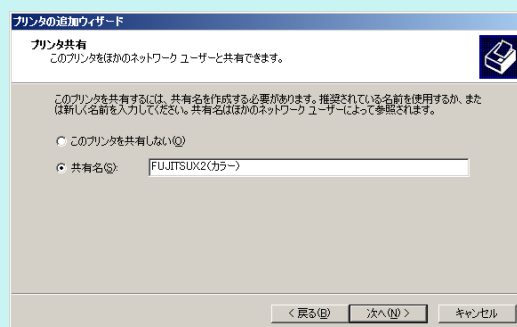
ヒント

プロパティを設定するごとに、プリントサーバにプリンターを追加することを推奨します。例えば、使うプリンターが1台であっても、プリントサーバでプリンターの追加を行い、「カラー印刷用」、「白黒印刷用」など、用途によってプロパティを設定します。ここでは、「カラー印刷用」のプリンターを追加する手順を例に説明します。

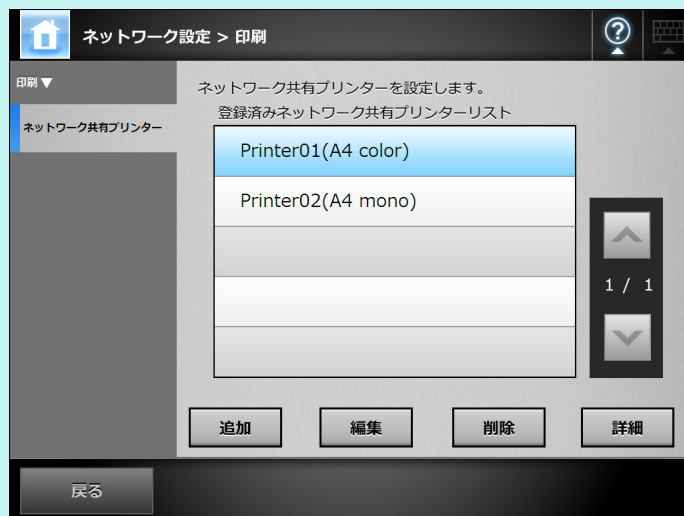
1. プリントサーバの「スタート」メニュー → から「コントロールパネル」→「プリンタとFAX」を選択します。
⇒「プリンタとFAX」画面が表示されます。
2. 「プリンタの追加」をダブルクリックします。
⇒「プリンタの追加ウィザード」画面が表示されます。
3. 「既存のドライバを使う」が表示されるまで、画面の指示に従って操作を進めます。
4. 「現在のドライバを使う（推奨）」を選択して、[次へ] ボタンを押します。



5. 「プリンタ共有」が表示されるまで、画面の指示に従って操作を進めます。
6. 共有名を指定します。
ここでは、「カラー印刷用」のプリンターのため、「FUJITSUX.2(カラー)」と指定します。



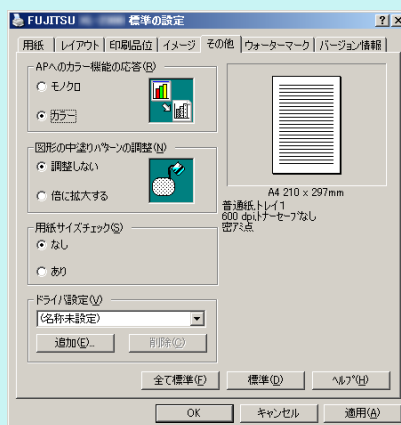
共有名はスキャナで表示されるため、以下のようにプリンター名とプロパティの設定内容がわかる名前を付けることを推奨します。



⇒ 以降は、画面に従って操作を進めてください。「プリンターの追加ウィザードの完了」と表示されればプリンターの追加終了です。[完了] ボタンを押してください。

⇒ プリンターの追加が完了すると、「プリンターとFAX」画面にプリンターが追加されます。

7. 追加したプリンターを右クリックし、「プロパティ」を選択します。
⇒ プリンターのプロパティが表示されます。
8. 「詳細設定」タブの [標準の設定] ボタンを押します。
⇒ プリンターの標準の設定画面が表示されます。
9. 「その他」タブの「カラー」を選択して、[OK] ボタンを押します。



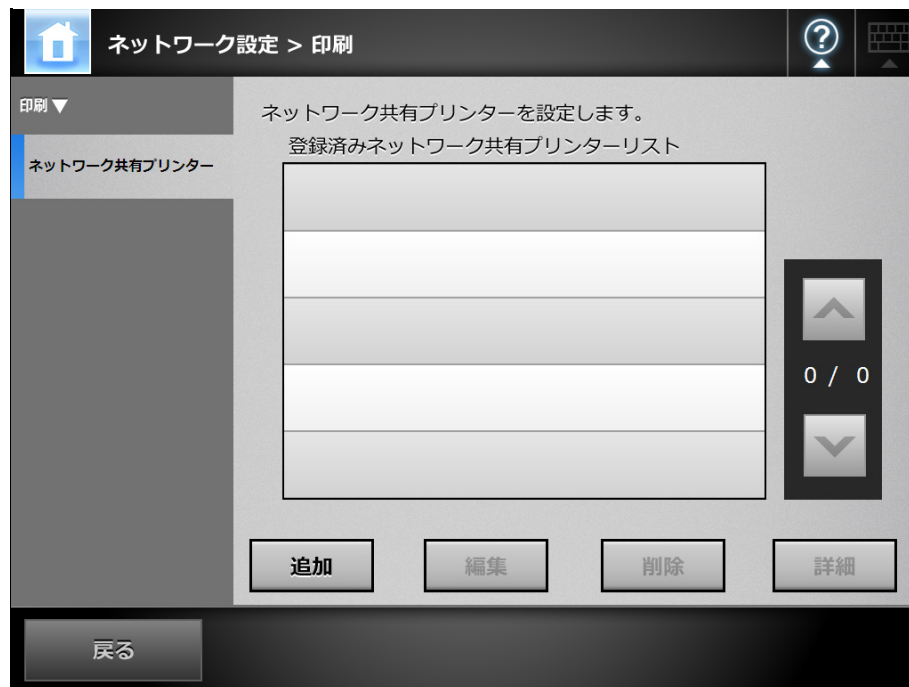
⇒ 「カラー」に設定されます。

その後、プリントサーバで設定した「カラープリンタ印刷用」のプリンターをスキャナに追加すると、利用者がカラー印刷したい場合に、カラーの設定が行われているプリンターを指定できます。

スキャナにプリンターを追加する方法については、「ネットワーク共有プリンターを登録します（ツリー選択）」（163 ページ）または「ネットワーク共有プリンターを登録します（直接入力）」（166 ページ）を参照してください。

■ ネットワーク共有プリンターを登録します（ツリー選択）

1. 「ネットワーク設定」→「印刷」→「ネットワーク共有プリンター」を選択します。
⇒ 「ネットワーク共有プリンター」画面が表示されます。



2. [追加] ボタンを押します。
⇒ ネットワーク共有プリンターの選択画面が表示されます。

重要

ネットワーク共有プリンターの選択画面で、ドメイン一覧ですべてのドメインが表示されない場合があります。そのような場合は、直接入力で指定するか、しばらく待ってから再度ネットワーク共有プリンターの選択画面を表示してください。

3. ドメイン  を選択します。



- ⇒ ネットワークツリーが展開され、配下のコンピュータ名が表示されます。
認証画面が表示された場合は、ユーザー名とパスワードを入力します。認証されると、配下のコンピュータ名が表示されます。

4. コンピュータ  を選択します。

- ⇒ ネットワークツリーが展開され、配下のネットワーク共有プリンター名が表示されます。
認証画面が表示された場合は、ユーザー名とパスワードを入力します。認証されると、配下のネットワーク共有プリンター名が表示されます。

5. ネットワーク共有プリンター  を選択します。

重要

すでに登録されているネットワーク共有プリンターは追加できません。

6. **〔設定〕** ボタンを押します。

⇒「ネットワーク共有プリンター」画面に戻り、登録済みネットワーク共有プリンターリストに追加されます。

重要

- 登録済みネットワーク共有プリンターは、プリントサーバ上で共有名 / プリンター名は変更しないでください。
- 共有名、プリンター名を変更する場合は、一度登録済みネットワーク共有プリンターを削除したあとに、共有名 / プリンター名を変更してください。

ヒント

ネットワーク共有プリンター名は、ネットワークツリーで選択したネットワーク共有プリンター名になります。名称を変更する場合は、「[ネットワーク共有プリンター名を変更します](#)」(167 ページ) を参照してください。

■ ネットワーク共有プリンターを登録します（直接入力）

1. 「ネットワーク設定」→「印刷」→「ネットワーク共有プリンター」を選択します。
⇒ 「ネットワーク共有プリンター」画面が表示されます。
2. [追加] ボタンを押します。
⇒ ネットワーク共有プリンターの選択画面が表示されます。
3. [直接入力] ボタンを押します。
⇒ ネットワーク共有プリンターの直接入力画面が表示されます。

ネットワーク設定 > 印刷

印刷 ▼

ネットワーク共有プリンター

ネットワーク共有プリンターを追加します。

ネットワーク共有プリンター名
*省略した場合は共有名がネットワーク共有プリンター名になります。

ネットワーク共有プリンターのパス名
(例: ¥¥Domain¥Computer¥PrinterName)

戻る キャンセル ツリー選択 設定

ヒント

[ツリー選択] ボタンを押すと、ネットワークツリーで選択する画面に戻ります。

4. ネットワーク共有プリンターの表示名、およびパスを入力します。
5. [設定] ボタンを押します。
⇒ 「ネットワーク共有プリンター」画面に戻り、登録済みネットワーク共有プリンターリストに追加されます。

重要

- すでに登録されているネットワーク共有プリンターは追加できません。
- 登録済みネットワーク共有プリンターは、プリントサーバ上で共有名、プリンター名を変更しないでください。
- 共有名、プリンター名を変更する場合は、登録済みのネットワーク共有プリンターを削除したあとで、名称を変更して再登録してください。

ヒント

- ネットワーク共有プリンター名は、直接入力で指定したネットワーク共有プリンター名になります。あとから名称を変更する場合は、「[ネットワーク共有プリンター名を変更します](#)」(167 ページ)を参照してください。
- 認証画面が表示されることがあります。

■ ネットワーク共有プリンター名を変更します

1. 「ネットワーク設定」→「印刷」→「ネットワーク共有プリンター」を選択します。
⇒ 「ネットワーク共有プリンター」画面が表示されます。
2. 変名するネットワーク共有プリンターを選択します。
3. [編集] ボタンを押します。
⇒ ネットワーク共有プリンター名の編集画面が表示されます。
4. ネットワーク共有プリンター名を入力します。

ネットワーク設定 > 印刷

印刷 ▼

ネットワーク共有プリンター

ネットワーク共有プリンター名を指定します。

ネットワーク共有プリンター名
*省略した場合は共有名がネットワーク共有プリンター名になります。

Printer01(A4 color)

ネットワーク共有プリンターのパス名

¥¥ 001144231-ETH00125LRF4Puphu DL 12

戻る キャンセル 設定

5. [設定] ボタンを押します。
⇒ ネットワーク共有プリンター名が変更されます。

■ ネットワーク共有プリンターを削除します

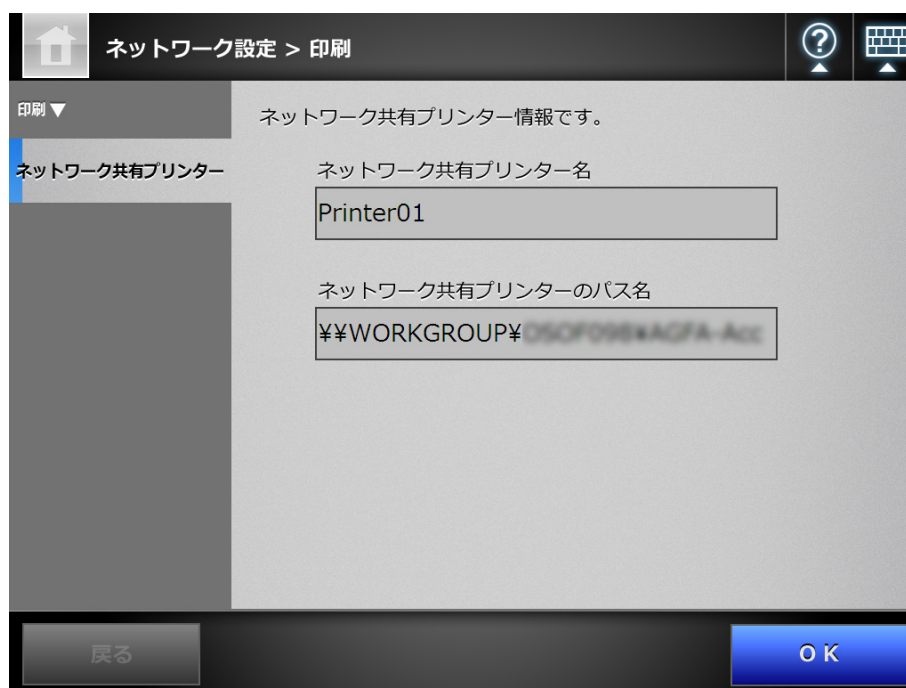
1. 「ネットワーク設定」→「印刷」→「ネットワーク共有プリンター」を選択します。
⇒ 「ネットワーク共有プリンター」画面が表示されます。
2. 削除するネットワーク共有プリンターを選択します。
3. [削除] ボタンを押します。
⇒ ネットワーク共有プリンターの削除画面が表示されます。
4. 削除するネットワーク共有プリンターの情報を確認して [はい] ボタンを押します。
⇒ ネットワーク共有プリンターが削除されます。

重要

ネットワークに接続されていない場合、ネットワーク共有プリンターを削除すると、「削除中 ...」画面の状態に止まる場合があります。ネットワークが正常に動作していることを確認してから、ネットワーク共有プリンターの削除を行ってください。

■ ネットワーク共有プリンターの詳細情報を参照します

1. 「ネットワーク設定」→「印刷」→「ネットワーク共有プリンター」を選択します。
⇒ 「ネットワーク共有プリンター」画面が表示されます。
2. 詳細情報を表示するネットワーク共有プリンターを選択します。
3. 「詳細」ボタンを押します。
⇒ ネットワーク共有プリンターの詳細情報が表示されます。



4.14 スキャナに関する情報を参照します

4.14.1 装置管理情報を参照します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

1. 「保守」 → 「情報表示」 → 「装置情報」 を選択します。

⇒ 「装置情報」 画面が表示されます。



保守 > 情報表示

情報表示 ▼

装置情報

消耗品統計情報

オプション機能

ユーザーログ

システムログ

装置情報を表示します。

項目	情報
システム版数	40001 01.02.01.0006 111-03
スキャナファーム版数	18008
使用開始日	08/17/2010
稼働時間	00000269 時間

ABBYY(TM) FineReader(TM) Engine (C)2011 ABBYY. OCR by ABBYY.
ABBYY and FineReader are trademarks of ABBYY.

Adobe, Adobe PDF Scan Technology, and the Adobe PDF Signature are either registered trademarks or tradenames of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.

戻る

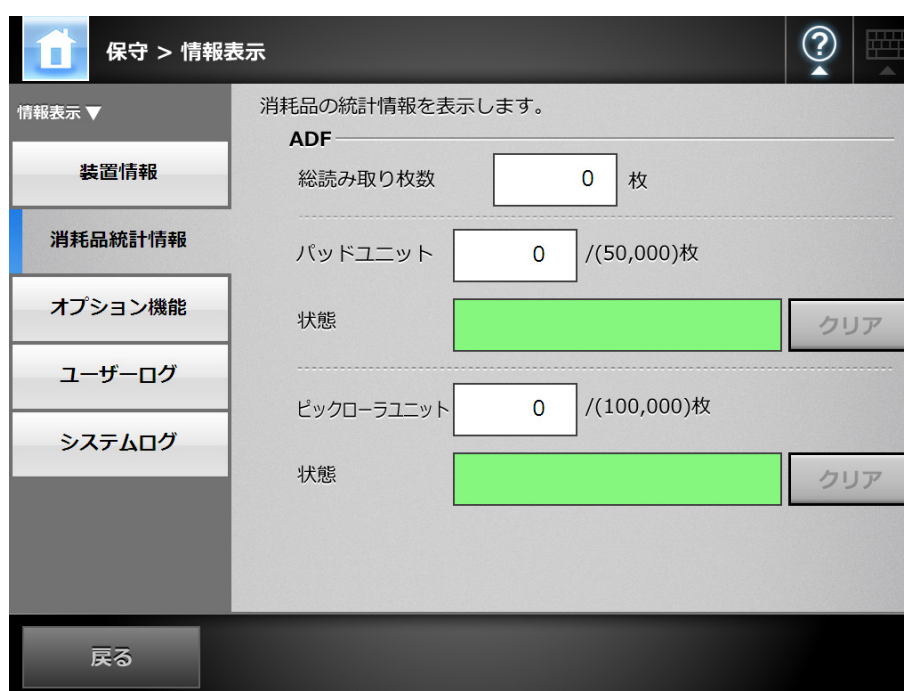
4.14.2 消耗品統計情報を参照します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

スキャナが読み取った原稿の枚数と消耗品（パッドユニットおよびピックアップユニット）の交換時期が表示されます。消耗品の交換については、「7.5 消耗品を交換します」（364 ページ）を参照してください。

■ 消耗品の状態を参照します

1. 「保守」→「情報表示」→「消耗品統計情報」を選択します。

⇒「消耗品統計情報」画面が表示されます。



■ カウンターをリセットします

消耗品を交換したら、カウンターをリセットして正常状態に戻します。

1. 「保守」→「情報表示」→「消耗品統計情報」を選択します。

⇒「消耗品統計情報」画面が表示されます。

2. 交換した消耗品の [クリア] ボタンを押します。

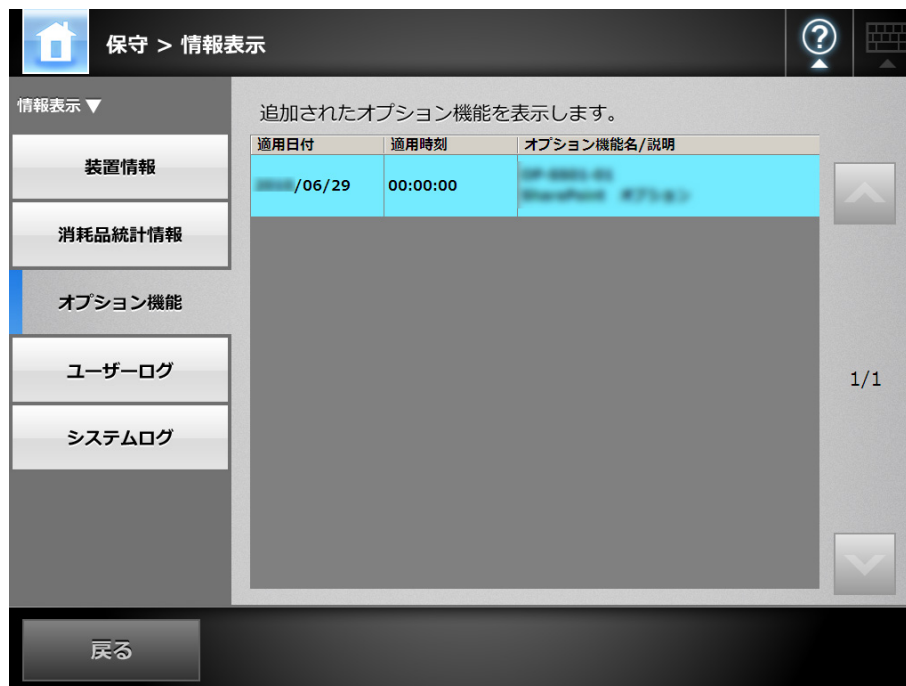
⇒ カウンターのリセットを確認する画面が表示されます。

3. [OK] ボタンを押します。

⇒ カウンターが0になり、「状態」が緑色になります。

4.14.3 オプション機能の適用状況を参照します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

1. 「保守」 → 「情報表示」 → 「オプション機能」 を選択します。
⇒ 「オプション機能」 画面が表示されます。



4.14.4 ユーザーログを管理します

スキャナのユーザーログ（最新の 1,000 件）がスキャナに保存されます。

重要

- ユーザーログにはメール送信先や FAX 番号などの個人情報のデータが含まれます。取り扱いには十分注意してください。
- 万一、スキャナ運用中にログファイルの異常を検出した場合、ログファイルは初期化され、「エラー 81001004 ユーザーログが壊れていたため削除しました。」のシステムログが記録されます。

■ ユーザーログの詳細情報を参照します タッチパネル AdminTool

ユーザーログ一覧は操作順に表示されます。「タイムゾーン」画面や「日付／時刻」画面で設定を変更しても、表示順は変わりません。

1. 「保守」→「情報表示」→「ユーザーログ」を選択します。

⇒ 「ユーザーログ」画面が表示されます。

すべてのユーザーログを表示します。

日付	時刻	ユーザー名	状態	コード	操作
07/07/	15:43:40	guest	正常終了	00000000	保存
07/07/	15:41:56	1@nss1.com	正常終了	00000000	印刷
07/07/	15:40:56	1@nss1.com	正常終了	00000000	保存
07/07/	15:40:04	1@nss1.com	エラー	100D0001	メール

ダウンロード 全削除 更新 詳細

2. 詳細を参照するユーザーログを選択します。

⇒ 詳細情報が表示されます。

[確認] ボタンを押すと、「ユーザーログ」画面に戻ります。

ヒント

「日付」の表示形式は、「日付／時刻」画面で設定した形式です。詳細については、「[4.5.3 日時を設定します](#)」(92 ページ)を参照してください。

■ ユーザーログを CSV 形式でダウンロードします AdminTool

ユーザーログ情報を CSV 形式でコンピュータにダウンロードします。

CSV 形式のユーザーログ情報は、以下の形式で保存されます。

"日付","時刻","ユーザー名","状態","コード","操作","ページ","詳細情報"
ファイル名の初期値は「OperationLog.csv」です。

1. 「保守」 → 「情報表示」 → 「ユーザーログ」 を選択します。

⇒ 「ユーザーログ」画面が表示されます。

2. [ダウンロード] ボタンを押します。

⇒ 「ファイルのダウンロード」画面が表示されます。

3. [保存] ボタンを押します。

ヒント

保存先のディスクに十分な空き容量があることを確認してから [保存] ボタンを押してください。十分な空き容量がない場合は、不完全なファイルが保存される場合があります。

⇒ 「名前を付けて保存」画面が表示されます。

4. ファイル名および保存先を指定します。

ファイルの保存形式は CSV です。

5. [保存] ボタンを押します。

⇒ ファイルが保存されます。

■ ユーザーログをすべて削除します タッチパネル AdminTool

1. 「保守」 → 「情報表示」 → 「ユーザーログ」 を選択します。

⇒ 「ユーザーログ」画面が表示されます。

2. [全削除] ボタンを押します。

⇒ 削除確認画面が表示されます。

3. [はい] ボタンを押します。

⇒ ユーザーログが削除されます。

4.14.5 システムログを管理します

システム起動や電源切断など、システムで発生したこと（最新の 1,000 件）がスキャナに保存されます。

重要

- システムログにはメール送信先や FAX 番号などの個人情報のデータが含まれます。取り扱いには十分注意してください。
- 万一、スキャナ運用中にログファイルの異常を検出した場合、ログファイルは初期化され、「エラー 81001003 システムログが壊れていたため削除しました。」のシステムログが記録されます。

■ システムログの詳細情報を参照します タッチパネル AdminTool

システムログは操作順に表示されます。「タイムゾーン」画面や「日付／時刻」画面で設定を変更しても、表示順は変わりません。

1. 「保守」→「情報表示」→「システムログ」を選択します。

⇒「システムログ」画面が表示されます。

システムログを表示します。

日付	時刻	種別	メッセージ
08/08/	05:07:02	情報	01 001 01 4 装置監視制御が開始しました。装置監視制御の開始時刻=0...
08/08/	05:06:45	情報	01 121 001 システムが起動されました。
08/08/	05:05:54	情報	01 131 001 システムの電源が切断されます。
08/08/	05:05:44	情報	01 000009 アップデートを実施しました。 補足情報: オプション機能 OP...
08/08/	05:04:39	警告	82001 001 スキャナユニットからデータを収集...
08/08/	04:53:20	警告	82001 001 スキャナユニットからデータを収集...
08/08/	04:49:36	情報	01 000001 (FTPフォルダー) (追加) 設定を... 補足情報: フォルダ別名 = F...
08/08/	04:46:59	情報	01 000001 (FTPフォルダー) (削除) 設定を... 補足情報: フォルダ別名 = F...

ダウンロード 全削除 更新 詳細

2. 詳細を参照するシステムログを選択します。

⇒ 詳細情報が表示されます。

[確認] ボタンを押すと、「システムログ」画面に戻ります。

ヒント

- 「日付」の表示形式は、「日付／時刻」画面で設定した形式です。詳細については、「4.5.3 日時を設定します」(92 ページ) を参照してください。
- 「種別」の「エラー」および「警告」の内容は、「4.16.6 異常通知先を設定します」(195 ページ) で設定したメールアドレスに通知されます。

■ システムログを CSV 形式でダウンロードします AdminTool

システムログを CSV 形式でコンピュータにダウンロードします。
CSV 形式のシステムログは、以下の形式で保存されます。

" 日付 "," 時刻 "," 種別 "," メッセージ "

ファイル名の初期値は「SystemLog.csv」です。

1. 「保守」 → 「情報表示」 → 「システムログ」 を選択します。

⇒ 「システムログ」画面が表示されます。

2. [ダウンロード] ボタンを押します。

⇒ 「ファイルのダウンロード」画面が表示されます。

3. [保存] ボタンを押します。

ヒント

保存先のディスクに十分な空き容量があることを確認してから [保存] ボタンを押してください。十分な空き容量がない場合は、不完全なファイルが保存される場合があります。

⇒ 「名前を付けて保存」画面が表示されます。

4. ファイル名および保存先を指定します。

ファイルの保存形式は CSV です。

5. [保存] ボタンを押します。

⇒ ファイルが保存されます。

■ システムログをすべて削除します タッチパネル AdminTool

1. 「保守」 → 「情報表示」 → 「システムログ」 を選択します。

⇒ 「システムログ」画面が表示されます。

2. [全削除] ボタンを押します。

⇒ 削除確認画面が表示されます。

3. [はい] ボタンを押します。

⇒ システムログが削除されます。

4.15 資源を管理します

4.15.1 ユーザー情報をメンテナンスします

ユーザー情報の退避、復元、削除ができます。

ユーザー情報とは以下のとおりです。

- メールアドレス台帳 (My List)
- 読み取り設定
- ユーザーログ
- FAX 番号台帳
- 選択ネットワーク共有プリンター
- 選択ネットワーク共有フォルダー
- 選択 SharePoint フォルダー
- ローカルアカウント

LDAP サーバに登録されたユーザー名でスキャナにログインすると、自動的に 1 件のユーザー情報としてスキャナに登録されます (同一ユーザー名はまとめて 1 件とします)。

ユーザー情報の最大登録数は 1,000 件です。

重要

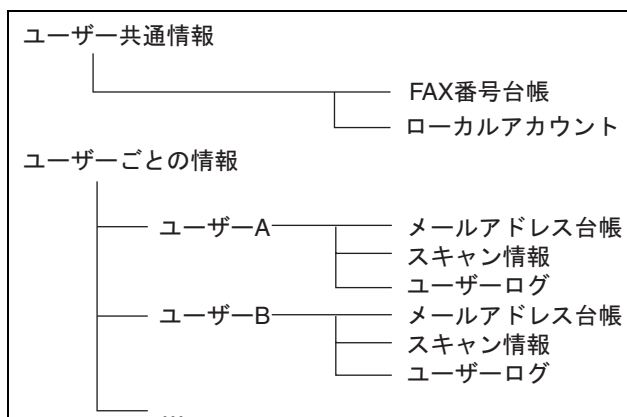
- ユーザー情報が 1,000 件に達した場合、ユーザー情報を削除するまで、ほかのユーザー名でログインできません。
ユーザー情報を削除する前に、退避することを推奨します。退避の方法については、「[ユーザー情報を退避します](#)」(179 ページ) を、削除の方法については、「[ユーザー情報をすべて削除します](#)」(181 ページ) を参照してください。
- ユーザーごとの資源は、退避したときに存在したユーザー名と同名のユーザー資源がすべて上書きで復元されます。なお、ユーザー情報を復元することで、ユーザー情報が 1,000 件を超える場合、復元できません。この場合はユーザー情報をすべて削除してから復元してください。
- ユーザー情報を復元すると、FAX 番号台帳およびローカルアカウントは、上書きで復元されます。

以下の場合、ユーザー情報が 1,000 件を超えることになります。

1. 100 ユーザー (A001 ~ A100) でログインした場合
2. 100 ユーザー分 (A001 ~ A100) のユーザー情報を退避した場合
3. 100 ユーザー分 (A001 ~ A100) のユーザー情報を削除した場合
4. 新たに 960 ユーザー (A001 ~ A050 と B001 ~ B910) でログインした場合
5. さらに 2. で退避した 100 ユーザー分 (A001 ~ A100) を復元した場合

⇒ 復元する A001 ~ A100 のうち、既存ユーザー A001 ~ A050 のユーザー情報が上書き対象になり、ユーザー A051 ~ A100 の 50 件のユーザー情報が追加対象になります。しかし、現時点で 960 ユーザー分保持しているため、「 $960+50=1010$ 」となり、1,000 を超えるため A051 ~ A100 の 50 ユーザー分の情報は復元できず、A001 ~ A100 の上書きや復元はできません。

ユーザー情報は、以下の情報で構成されます。

**重要**

ユーザー情報には、メール送信先や FAX 番号などの個人情報のデータが含まれます。取り扱いには、十分注意してください。

■ ユーザー情報を退避します AdminTool

万一に備え、定期的にユーザー情報を退避してください。
ファイル名の初期値は「restored_data」です。

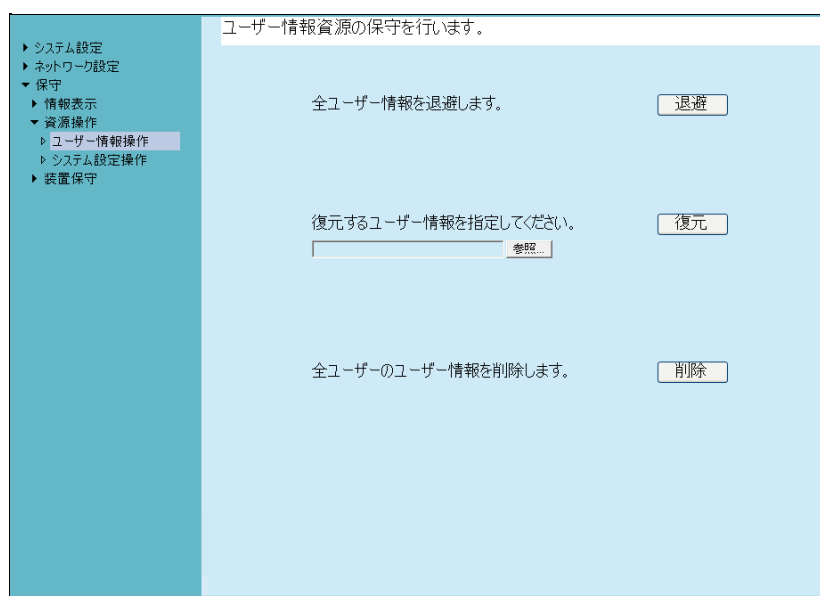
ヒント

ユーザーログは退避されません。

1. 「保守」 → 「資源操作」 → 「ユーザー情報操作」 を選択します。

⇒ 「ユーザー情報操作」画面が表示されます。

2. [退避] ボタンを押します。



⇒ 「ファイルのダウンロード」画面が表示されます。

3. 保存先のディスクに十分な空き容量があることを確認して、[保存] ボタンを押します。

ヒント

十分な空き容量がない場合は、不完全なファイルが保存される場合があります。

⇒ 「名前を付けて保存」画面が表示されます。

4. ファイル名および保存先を指定します。

退避した日付やスキャナ名がわかるファイル名にすることを推奨します。

5. [保存] ボタンを押します。

⇒ ユーザー情報が退避されます。

重要

ユーザー情報の退避ファイルは、内容を変更しないでください。
退避ファイルの内容を変更した場合、ファイルが壊れる可能性があります。壊れたファイルを復元した場合、スキャナが正常に動作しなくなります。

■ ユーザー情報を復元します AdminTool

退避したユーザー情報ファイルをスキャナに戻して、ユーザー情報を復元します。

重要

- ユーザー情報を復元すると、復元したときに存在したユーザー情報がすべて上書きされ、退避時点のメールアドレス台帳、FAX 番号台帳、および読み取り設定に戻ります。
- ユーザー情報の復元中に、電源ボタンを 4 秒以上押さないでください。スキャナが正常に動作しなくなる可能性があります。

ヒント

ユーザーログは復元されません。

1. 「保守」 → 「資源操作」 → 「ユーザー情報操作」 を選択します。

⇒ 「ユーザー情報操作」画面が表示されます。

2. 復元するユーザー情報のバックアップファイルを指定します。

[参照] ボタンでファイルの指定ができます。

3. [復元] ボタンを押します。

⇒ ユーザー情報を上書きする旨の確認メッセージが表示されます。

4. [はい] ボタンを押します。

⇒ ユーザー情報が復元され、復元が完了した旨のメッセージが表示されます。

5. [OK] ボタンを押します。

■ ユーザー情報をすべて削除します タッチパネル AdminTool

重要

- ユーザー情報を削除すると元に戻りません。
- ユーザー情報を削除しても、ローカルアカウントは削除されません。ローカルアカウントは、User Editor を使用して削除します。ローカルアカウントの編集方法については、「[E.7 ローカルアカウントを編集します 451](#)」(433 ページ) を参照してください。

1. 「保守」 → 「資源操作」 → 「ユーザー情報操作」 を選択します。
⇒ 「ユーザー情報操作」 画面が表示されます。
2. [削除] ボタンを押します。
⇒ 削除確認の画面が表示されます。
3. [はい] ボタンを押します。
⇒ ユーザー情報が削除されます。

4.15.2 システム設定情報の保守を行います

管理者が設定したスキャナのシステム設定情報を CSV 形式で保存したり、退避、復元、および初期値に戻せます。

システム設定情報とは、管理者が各画面で設定した情報を指します。ただし、管理者がインストールしたシステムアップデート、オプション、Add-in は含まれません。

■ システム設定情報を CSV 形式で保存します AdminTool

CSV 形式で保存したシステム設定情報は、設定を表計算ソフトなどで参照できます。CSV 形式のシステム設定情報は、以下の形式で保存されます。

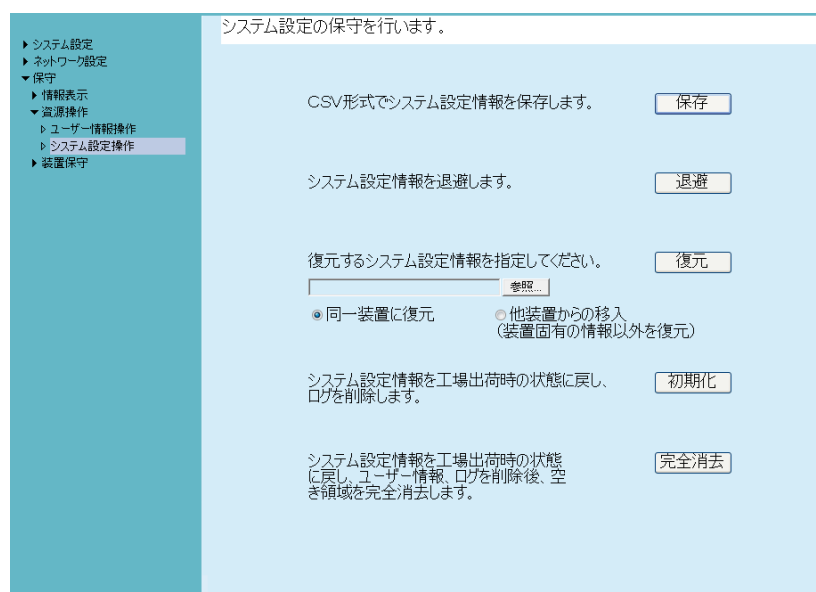
" 機能名 "," 設定項目名 "," 設定値 "

ファイル名の初期値は「Coffiguration_download.csv」です。

1. 「保守」→「資源操作」→「システム設定操作」を選択します。

⇒「システム設定操作」画面が表示されます。

2. [保存] ボタンを押します。



⇒「ファイルのダウンロード」画面が表示されます。

3. 保存先のディスクに十分な空き容量があることを確認して、[保存] ボタンを押します。

ヒント

十分な空き容量がない場合は、不完全なファイルが保存される場合があります。

⇒「名前を付けて保存」画面が表示されます。

4. 保存場所とファイル名を指定します。
ファイルの保存形式は CSV です。
5. [保存] ボタンを押します。
⇒ スキャナのシステム設定情報がダウンロードされます。

■ システム設定情報を退避します AdminTool

管理者が設定したスキャナのシステム設定情報を退避します。
退避したファイルを使って、システム設定情報を復元できます。万一に備え、定期的に退避を行ってください。
ファイル名の初期値は「SystemSettingsFile」です。

ヒント

退避したデータは、Central Admin Console のシステム環境設定編集画面の「スキャナ情報移入」で使用できます。操作については、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

1. 「保守」 → 「資源操作」 → 「システム設定操作」を選択します。
⇒ 「システム設定操作」画面が表示されます。
2. [退避] ボタンを押します。
⇒ 「ファイルのダウンロード」画面が表示されます。
3. 保存先のディスクに十分な空き容量があることを確認して、[保存] ボタンを押します。

ヒント

十分な空き容量がない場合は、不完全なファイルが保存される場合があります。

⇒ 「名前を付けて保存」画面が表示されます。

4. 保存場所とファイル名を指定します。
ファイル名は、退避した日付やスキャナ名がわかるファイル名にすることを推奨します。
5. [保存] ボタンを押します。
⇒ スキャナのシステム設定情報が退避されます。

重要

システム設定情報の退避ファイルは、内容を変更しないでください。退避ファイルの内容を変更して復元した場合は、スキャナが正常に動作しなくなる可能性があります。

■ システム設定情報を復元します AdminTool

退避したシステム設定情報を復元します。

以下の方法で、システム設定情報を復元できます。

- 退避したシステム設定情報を同ースキャナに戻して復元する
- ほかのスキャナで退避したシステム設定情報を移入して、復元する

1. 「保守」 → 「資源操作」 → 「システム設定操作」を選択します。

⇒ 「システム設定操作」画面が表示されます。

2. 復元するシステム設定情報のバックアップファイルを指定します。

[参照] ボタンでファイルの指定ができます。

3. 以下のどちらかの操作をします。

- 退避したシステム設定情報を同ースキャナに戻して復元する場合、「同一装置に復元」を選択します。
- ほかのスキャナで退避したシステム設定情報を移入して、復元する場合、「他装置からの移入」を選択します。

4. [復元] ボタンを押します。

⇒ システム設定情報の復元確認メッセージが表示されます。

5. [はい] ボタンを押します。

⇒ システム設定情報が復元されます。システム設定情報の復元完了後、スキャナが再起動されます。

重要

システム設定情報の復元中に電源ボタンを4秒以上押さないでください。スキャナが正常に動作しなくなる可能性があります。

ヒント

システム設定情報が復元されるとスキャナは再起動されるため、Admin Tool の接続が切れます。設定を継続して行うには、スキャナ起動後、時間をおいてから Admin Tool で再接続してください。

退避時の IP アドレスおよびスキャナ名と、復元する直前の IP アドレスおよびスキャナ名が違う場合は、スキャナで設定内容確認して、Admin Tool で再接続してください。

■ 工場出荷時の状態に戻します タッチパネル AdminTool

管理者が各画面で設定したシステム設定情報およびシステムログを初期化して、工場出荷時の状態に戻します。

1. 「保守」→「資源操作」→「システム設定操作」を選択します。

⇒「システム設定操作」画面が表示されます。

2. 以下のどちらかの操作をします。

- システム設定情報を工場出荷時の状態に戻す場合、「システム設定情報を工場出荷時の状態に戻し、ログを削除します。」の[初期化] ボタンを押します。
- システム設定情報を工場出荷時の状態に戻して、ユーザー情報およびログを削除して、空き領域を完全に消去する場合、「システム設定情報を工場出荷時の状態に戻し、ユーザー情報、ログを削除後、空き領域を完全消去します。」の[完全消去] ボタンを押します。

⇒ 確認の画面が表示されます。

3. [はい] ボタンを押します。

⇒ [初期化] ボタンを押した場合、システム設定情報が工場出荷時の状態に戻り、Add-in およびログが削除されます。

[完全消去] ボタンを押した場合、システム設定情報、ユーザー情報、Add-in、およびログが初期化されます。

⇒ 工場出荷時の状態に戻ったあと、スキャナが再起動されます。

重要

工場出荷時の状態に戻している間、電源ボタンを4秒以上押さないでください。スキャナが正常に動作しなくなる可能性があります。

ヒント

工場出荷時の状態に戻ることで、IPアドレスやスキャナ名などの設定が必要になります。「システムを設定します」(89 ページ) 以降を参照して再設定を行ってください。

4.16 保守を行います

4.16.1 アップデートします (AdminTool)

スキャナのシステム、セキュリティ、およびオプション機能をアップデートします。

1. 「保守」→「装置保守」→「アップデート」を選択します。

⇒「アップデート」画面が表示されます。

システムをアップデートします。

システム版数

現システム版数

アップデート実施日付 07/30/

アップデート実行

アップデートファイルを指定してください。

アップデートチェック

起動時にアップデートチェックを行う。

最新バージョンが公開されている場合、メール通知する。

2. アップデート用のファイルを指定します。

[参照] ボタンでファイルの指定ができます。

3. [アップロード] ボタンを押します。

⇒ 「現システム版数」と「新システム版数」が表示されます。

ヒント

オプション機能のアップデート、またはオプション機能を含むシステムのアップデートの場合、以下のような画面が表示されます。

4. [実行] ボタンを押します。

⇒ アップデートが開始されます。

アップデート完了後、スキャナが再起動されます。

重要

- アップデート中は操作しないでください。
- アップデート中に電源ボタンを4秒以上押さないでください。スキャナが正常に動作しなくなる可能性があります。

ヒント

Admin Tool からアップデートを行った場合、接続が切れます。設定を継続して行うには、スキャナ起動後、時間をおいてから Admin Tool で再接続してください。

4.16.2 アップデートの公開をチェックします タッチパネル AdminTool

スキャナのシステム、セキュリティ、およびオプション機能のアップデートが、アップデート公開サーバから公開されているかどうかをチェックします。

また、アップデートが公開されていた場合に、管理者にメールで通知するかどうかを設定します。

ヒント

アップデートの公開をチェックするときにプロキシサーバを使用する場合、必要に応じて HTTP プロキシサーバを設定します。設定については、「[4.8.5 プロキシサーバを設定します](#)」(114 ページ) を参照してください。

■ 今すぐにアップデートの公開をチェックします

1. 「保守」 → 「装置保守」 → 「アップデート」 を選択します。

⇒ 「アップデート」 画面が表示されます。

2. [アップデートチェック] ボタンを押します。

⇒ アップデートチェックが行われます。

適用する必要があるアップデートがあった場合は、メッセージが表示されます。必要に応じて、アップデートを適用してください。

■ スキャナの起動時にアップデートの公開をチェックします

スキャナを起動するたびに、アップデートをチェックするように設定します。

1. 「保守」 → 「装置保守」 → 「アップデート」を選択します。
⇒ 「アップデート」画面が表示されます。
2. 「起動時にアップデートチェックを行う。」チェックボックスにチェックを付けます。

ヒント

スキャナが省電力モードに入るときも、アップデートの公開チェックが行われます。

■ アップデートの公開を管理者にメール通知します

最新のアップデートが公開されたら、管理者にメールで通知されるように設定します。

1. 「保守」 → 「装置保守」 → 「アップデート」を選択します。
⇒ 「アップデート」画面が表示されます。
2. 「起動時にアップデートチェックを行う。」チェックボックスにチェックを付けます。
3. 「最新バージョンが公開されている場合、メール通知する。」チェックボックスにチェックを付けます。
⇒ 最新のアップデートが公開されると、「ScanSnap N1800 スキャナ名からのイベント通知」というタイトルのメールが、「異常通知先」画面で設定したメールアドレスに送信されるようになります。通知先のメールアドレスの設定については、「[4.16.6 異常通知先を設定します](#)」(195 ページ)を参照してください。

4.16.3 Add-in を管理します

「Add-in」とは、ScanSnap N1800 SDK（開発キット）を使用して作成したアプリケーションです。

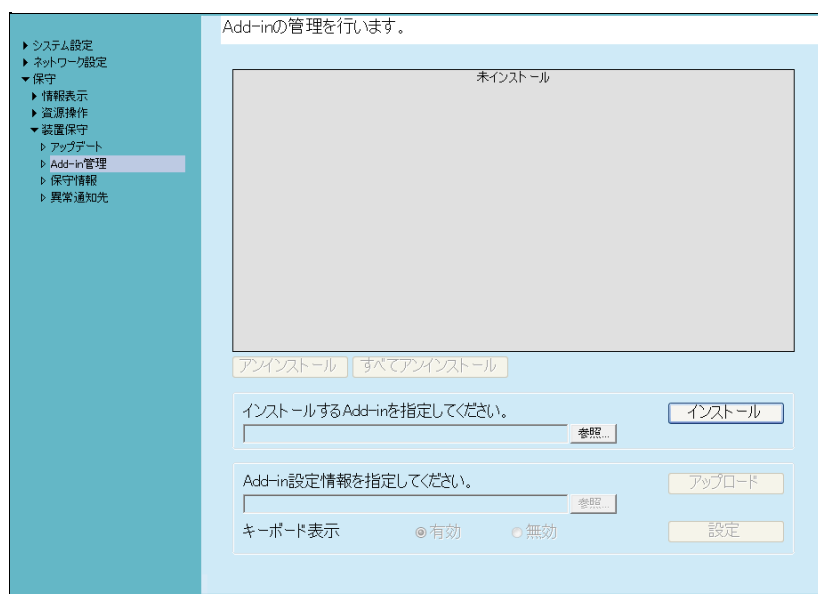
Add-in をインストール / アンインストールする方法、Add-in の情報を参照する方法、Add-in 設定情報をアップロードする方法、および Add-in 実行時のキーボードのアイコンの表示を設定する方法を説明します。

■ Add-in をインストールします AdminTool

Add-in は、最大 6 個までインストールできます。

1. 「保守」 → 「装置保守」 → 「Add-in 管理」を選択します。

⇒ 「Add-in 管理」画面が表示されます。



2. 「インストールする Add-in を指定してください。」の [参照] ボタンを押して、Add-in インストール用のファイルを指定します。

3. [インストール] ボタンを押します。

⇒ Add-in がインストールされて、一覧に Add-in 名が表示されます。

■ Add-in をアンインストールします AdminTool

1. 「保守」 → 「装置保守」 → 「Add-in 管理」を選択します。

⇒ 「Add-in 管理」画面が表示されます。

2. 以下のどちらかの操作をします。

- 1つの Add-in をアンインストールする場合、一覧から Add-in を選択して、[アンインストール] ボタンを押します。
- 一覧に表示されている Add-in をすべてアンインストールする場合、[すべてアンインストール] ボタンを押します。

⇒ アンインストール確認の画面が表示されます。

3. [はい] ボタンを押します。

⇒ Add-in がアンインストールされて、一覧から Add-in 名が削除されます。

■ Add-in 情報を参照します タッチパネル AdminTool

Add-in がインストールされている場合に、Add-in 情報を参照できます。

1. 「保守」 → 「装置保守」 → 「Add-in 管理」を選択します。

⇒ 「Add-in 管理」画面が表示されます。



■ Add-in 設定情報をアップロードします

1. 「保守」 → 「装置保守」 → 「Add-in 管理」を選択します。
⇒ 「Add-in 管理」画面が表示されます。
2. 複数の Add-in がインストールされている場合、対象とする Add-in を一覧から選択します。
3. 「Add-in 設定情報を指定してください。」の [参照] ボタンを押して、アップロードする Add-in 設定情報を指定します。
4. [アップロード] ボタンを押します。
⇒ Add-in 設定情報が、スキャナのアドイン管理用のフォルダーに格納されます。

■ Add-in 実行時のキーボードのアイコン表示を設定します

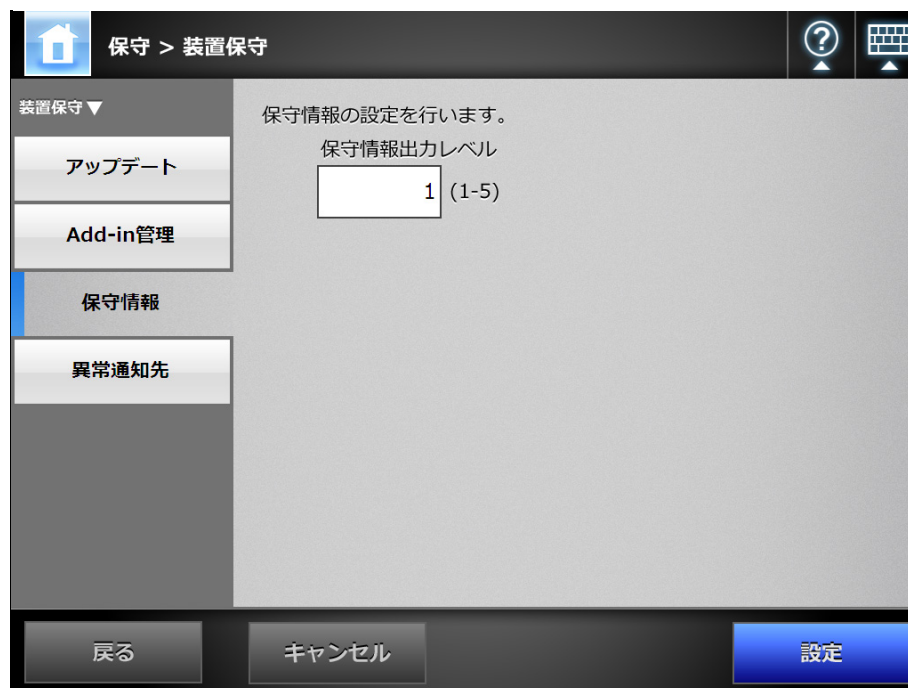
タッチパネルの画面の右上には、キーボードのアイコンが表示されます。Add-in を実行したときに、このアイコンを画面に表示するかどうかを設定します。

1. 「保守」 → 「装置保守」 → 「Add-in 管理」を選択します。
⇒ 「Add-in 管理」画面が表示されます。
2. 複数の Add-in がインストールされている場合、対象とする Add-in を一覧から選択します。
3. 「キーボード表示」で、Add-in の実行時にソフトキーボードを表示するかどうかを選択します。
4. [設定] ボタンを押します。
⇒ Add-in の一覧に、設定内容が反映されます。

4.16.4 保守情報の採取レベルを設定します タッチパネル AdminTool

1. 「保守」 → 「装置保守」 → 「保守情報」 を選択します。

⇒ 「保守情報」 画面が表示されます。



2. 保守情報として出力するレベルを入力します。

値の変更は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンターの指示に従ってください。

3. [設定] ボタンを押します。

⇒ 保守情報のレベルが設定されます。

重要

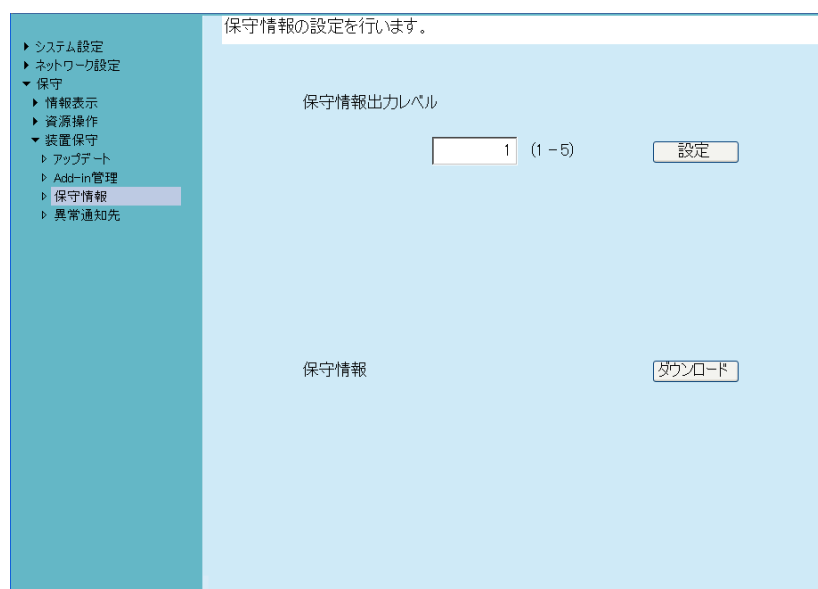
「保守情報出力レベル」を「5」にした場合、メール送信先などの個人情報のデータが含まれます。取り扱いには十分注意してください。

4.16.5 保守情報を採取します AdminTool

スキャナをはじめて導入するときや、運用中になんらかのトラブルが発生したときに、原因を究明するために、スキャナが保持している保守情報を採取できます。採取した保守情報は、スキャナを修理に出す際に、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンターと一緒に送ります。

1. 「保守」 → 「装置保守」 → 「保守情報」を選択します。

⇒ 「保守情報」画面が表示されます。



2. [ダウンロード] ボタンを押します。

⇒ 「ファイルのダウンロード」画面が表示されます。

3. [保存] ボタンを押します。

ヒント

保存先のディスクに十分な空き容量があることを確認してから [保存] ボタンを押してください。十分な空き容量がない場合は、不完全なファイルが保存される場合があります。

⇒ 「名前を付けて保存」画面が表示されます。

4. 保存場所とファイル名を指定します。

5. [保存] ボタンを押します。

⇒ 保守情報が採取されます。

4.16.6 異常通知先を設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

スキャナに異常が起こった場合に、異常通知をメールで送信できます。ここでは、異常通知の送信先とするメールアドレスを設定します。

異常通知先のメールアドレスを設定しておく、異常発生時には、装置監視メッセージが「ネットワークスキャナ XXXX からのエラー通知」のタイトルで送信されます。

なお、異常通知を行うには、事前に SMTP サーバの設定が必要です。SMTP サーバの設定方法については、「[4.10.1 メールサーバを設定します](#)」（135 ページ）を参照してください。

また、ここで設定したメールアドレスは、アップデートチェックを行ったときに、アップデートの公開を通知するときの通知先となります。アップデートチェックの詳細については、「[4.16.2 アップデートの公開をチェックします](#)」（188 ページ）を参照してください。

1. 「保守」→「装置保守」→「異常通知先」を選択します。

⇒「異常通知先」画面が表示されます。

保守 > 装置保守

装置保守 ▼

- アップデート
- Add-in管理
- 保守情報
- 異常通知先

異常通知先のメールアドレスを設定します。
送信先メールアドレス

送信元

メールアドレス

SMTPサーバ認証情報

ユーザー名

パスワード

戻る キャンセル 設定

2. メールの送信先および送信元とするメールアドレスを入力します。

送信先のメールアドレスは複数指定できます。

メールアドレスの設定値については、「[B.1 メールアドレスの設定値](#)」（421 ページ）を参照してください。

3. 入力したメールアドレスが正しいか確認する場合は、[テスト送信] ボタンを押します。

入力したメールアドレスで、テストメールが正しく受信できたかを確認してください。

- SMTP 認証をする場合、「SMTP サーバ認証情報」で、メールを送信するためのユーザー認証情報を設定します。

重要

SMTP 認証をするには、「SMTP サーバ」画面で SMTP 認証を有効にして、認証を行うための設定が必要となります。詳細については、「[4.10.1 メールサーバを設定します](#)」(135 ページ)を参照してください。

- 「設定」ボタンを押します。
⇒ 異常通知先が設定されます。

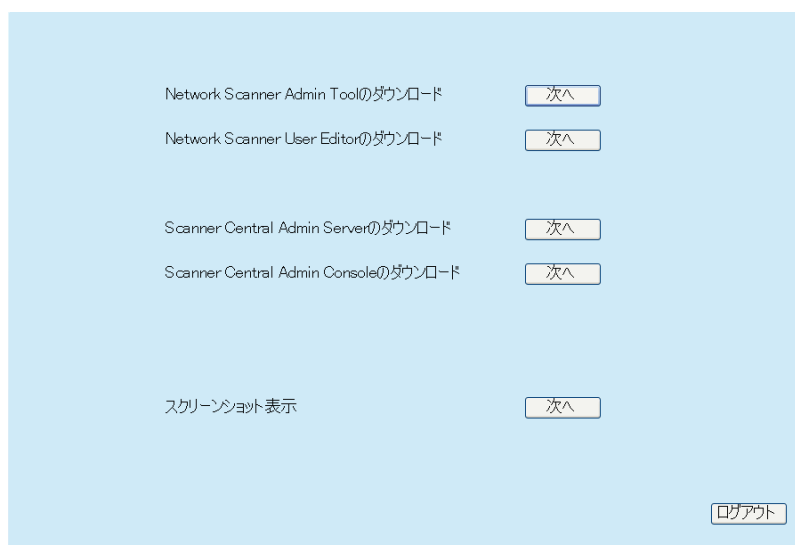
4.16.7 タッチパネルに表示されている画面を採取します

タッチパネルに表示されている画面をネットワーク経由で取得して、BMP または JPEG の形式で保存します。

- Web ブラウザから、スキャナ名を URL に指定して接続し、ダウンロード画面を表示します。

ダウンロード画面を表示するまでの操作については、「[Admin Tool をインストールします](#)」(77 ページ)の[手順 1](#)～[手順 3](#)を参照してください。

- ダウンロード画面の「スクリーンショット表示」の「次へ」ボタンを押します。



⇒ タッチパネルに表示されている画面を採取するための画面が表示されます。

3. [取得] ボタンを押します。

⇒ タッチパネルに表示されている画面が取得されて、表示されます。



4. 画面を保存するときのファイル形式（BMP または JPEG）を選択します。

5. 日付 / 時刻、接続先、および説明を使用して保存時のファイル名を付ける場合、それぞれの入力域にファイル名にする文字列を入力します。

半角英数字、および【¥/!;*?"<>|#&%】を除く記号が使用できます。
言語固有の文字などを使用したい場合は、「名前を付けて保存」画面で入力できます。

ヒント

「日付 / 時刻」、「接続先」、および「説明」を入力した場合、以下の順序でファイル名が作成されます。

- 説明
- 接続先
- 日付 / 時刻

- 初期値は、以下のとおりです。

日付 / 時刻：スクリーンショットを取得した日付 / 時刻

接続先：スキャナ名

説明：空白

- 画面を保存するときのファイル名の初期値は、以下のどちらかです。

- 説明_接続先_日付/時刻.bmp

- 説明_接続先_日付/時刻.jpg

なお、「説明」を省略すると、「iSScreenShot」になります。

- iSScreenShot_接続先_日付/時刻.bmp

- iSScreenShot_接続先_日付/時刻.jpg

6. [保存] ボタンを押します。

⇒ 「ファイルのダウンロード」画面が表示されます。

7. **〔保存〕 ボタンを押します。**
⇒ 「名前を付けて保存」画面が表示されます。
8. **ファイル名および保存先を指定します。**
9. **〔保存〕 ボタンを押します。**
⇒ 画面が指定したファイル形式で保存されます。

ヒント

接続中のスキャナの電源を切断する場合は〔電源切断〕ボタンを押します。

接続中のスキャナを再起動する場合は〔再起動〕ボタンを押します。

なお、接続中のスキャナに利用者または管理者がログインしている場合、電源切断および再起動はできません。ただし、自動ログインしている場合に、「メインメニュー」画面または「ジョブメニュー」画面を表示しているときは、電源切断および再起動はできます。

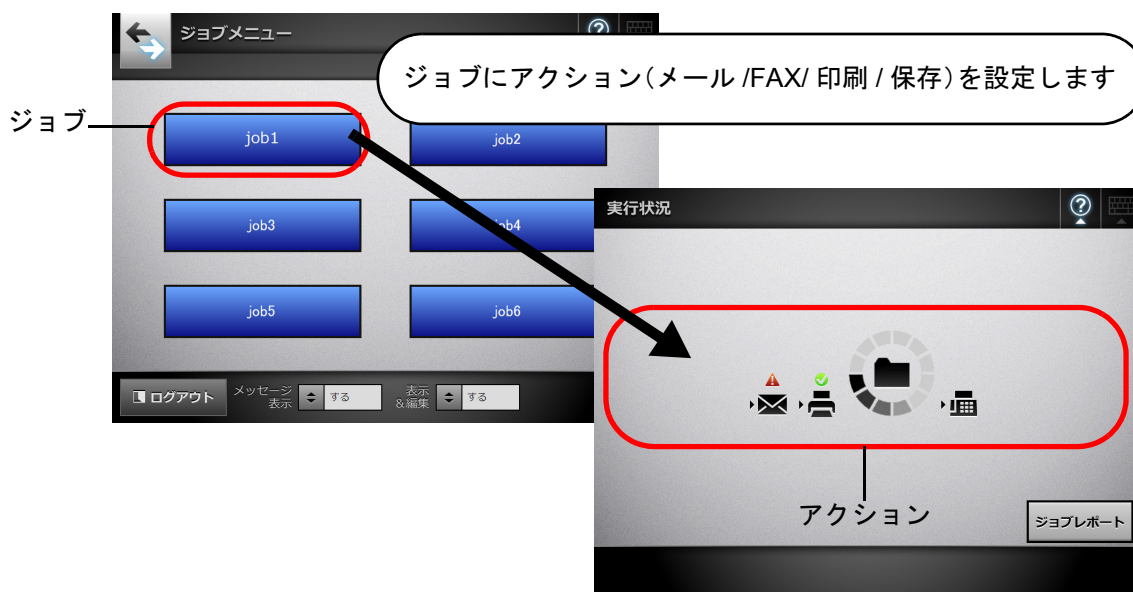
4.17 ジョブを設定します

ジョブ設定メニューで、ジョブ設定、ジョブメニュー設定、ジョブグループ設定を行うことで、利用者がログインしたときに、各自に割り当てられたジョブメニューが表示され、ジョブを実行できます。

1. ジョブ設定

ジョブとは、読み取り時の設定やアクション（メール / FAX / 印刷 / 保存）などの一連の動作を設定したものです。

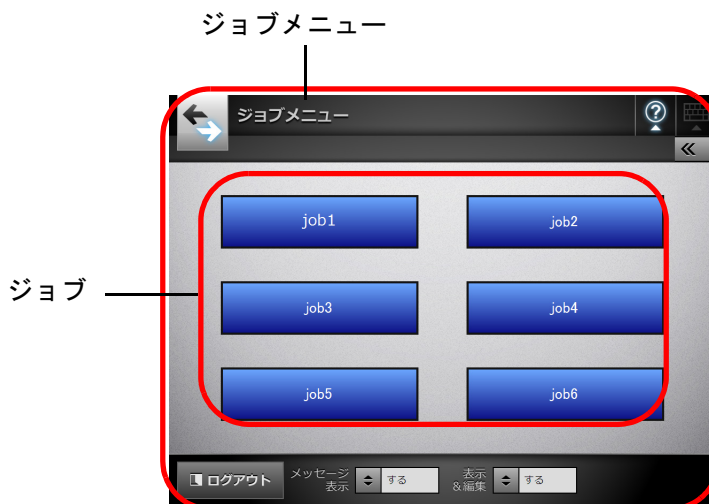
例えば、スキャン画像をメールで送信してフォルダーに保存する動作を、1つのジョブとして設定できます。



2. ジョブメニュー設定

ジョブメニューとは、設定したジョブをメニューに配置したものです。

例えば、スキャン画像をメールで送信してフォルダーに保存するジョブをジョブボタンに割り当てて、ジョブメニューとして設定できます。

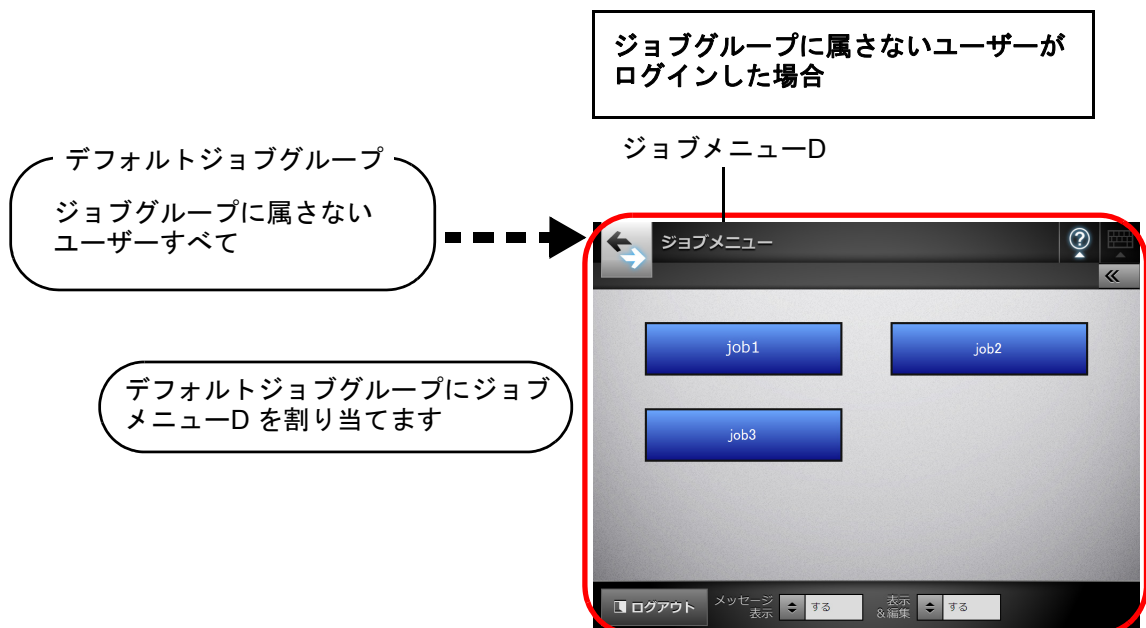
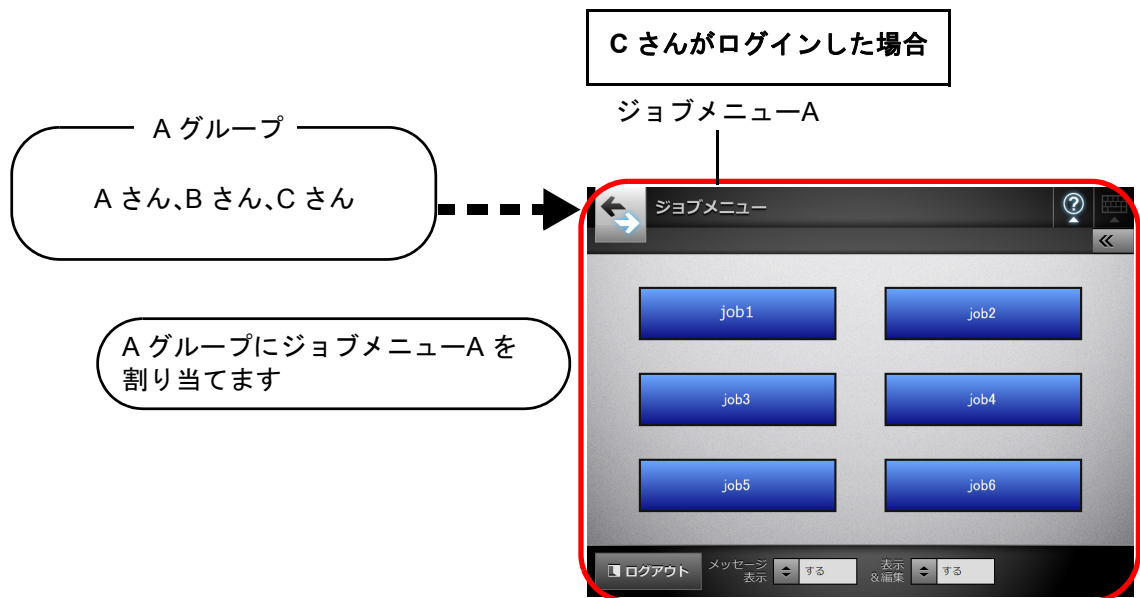


3. ジョブグループ設定

ジョブグループとは、同じジョブメニューを使用するユーザーの集まりのことです。

ジョブグループに属しているユーザーが共通で使用できるジョブメニューを設定します。どのジョブグループにも属さないユーザーが使うジョブメニューはデフォルトジョブグループに設定します。

例えば、AグループにジョブメニューAを割り当て、デフォルトジョブグループにジョブメニューDを割り当てます。Aグループに属しているCさんはジョブメニューAを使用できるようになります。ジョブグループに属さないユーザーはジョブメニューDを使用できるようになります。



4.17.1 ジョブ設定の流れ

ジョブを利用する場合に管理者が行うジョブ設定の流れは、以下のようになります。

ジョブ設定

ジョブ一覧

ジョブの一覧表示、追加、編集を行います。

ジョブ詳細設定

ジョブ一覧で選択したジョブの読み取り設定、メッセージ画面設定、読み取り後に実行するアクション設定を行います。

詳細については
「[4.17.2 ジョブを設定します](#)」(203 ページ)
を参照してください。

ジョブメニュー設定

ジョブメニュー一覧

ジョブメニューの一覧表示、追加、編集を行います。

ジョブメニュー詳細設定

ジョブメニュー一覧で選択したジョブメニューのジョブボタン設定を行います。

詳細については
「[4.17.3 ジョブメニューを設定します](#)」
(212 ページ) を参照
してください。

ジョブグループ設定

ジョブグループ一覧

ジョブグループの一覧表示、追加、編集を行います。

ジョブグループ詳細設定

ジョブグループ一覧で選択したジョブグループに割り当てるジョブメニュー、メインメニュー表示、ジョブグループメンバー設定を行います。

詳細については
「[4.17.4 ジョブグループを設定します](#)」
(218 ページ) を参照
してください。

ジョブ実行

- 「ネットワーク設定」 → 「ネットワーク管理」の「Scanner Central Admin Server」画面で「ジョブ設定共有」を有効にして、Central Admin Consoleの「共有ジョブ設定」画面で共有ジョブ設定を公開すると、Central Admin Consoleのジョブ設定編集画面で設定した共有ジョブが実行されます。
- 「ネットワーク設定」 → 「ネットワーク管理」の「Scanner Central Admin Server」画面で「ジョブ設定共有」を無効にすると、Admin Toolのジョブ設定メニューで設定したジョブが実行されます。

詳細については
[「6.14 ジョブを実行します」](#) (343 ページ)
を参照してください。

4.17.2 ジョブを設定します AdminTool Central Admin Console

読み取り時の設定やアクション（メール / FAX / 印刷 / 保存）などの一連の動作をジョブとして設定します。

ジョブは最大 1,000 個まで設定できます。

ヒント

Central Admin Console から操作する場合、ジョブを設定するための画面を表示する方法については、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。


■ ジョブを追加します


ジョブを追加する方法について説明します。

1. ツールメニューの [ジョブ設定] ボタンを押します。
2. 「ジョブ設定」タブを押します。
⇒ 「ジョブ一覧」画面が表示されます。

The screenshot displays the 'Job List' (ジョブ一覧) interface. At the top, there are three tabs: 'Job Setting' (ジョブ設定), 'Job Menu Setting' (ジョブメニュー設定), and 'Job Group Setting' (ジョブグループ設定). Below the tabs, there is a search section with '絞り込み条件' (Filtering Conditions) and two input fields for 'ジョブ名' (Job Name) and '説明' (Description), along with a '絞り込み' (Filter) button. Below the search section are four buttons: '追加' (Add), '参照して追加' (Add Reference), '編集' (Edit), and '削除' (Delete). The main area contains a table with the following columns: 'ジョブ名' (Job Name), '説明' (Description), and '更新日時' (Update Date). The table is currently empty.

3. [追加] ボタンを押します。
⇒ 「ジョブ詳細設定」画面が表示されます。
4. 「ジョブ名」、「説明」を設定します。

5. 「共通設定」の左側にある  を押して、ジョブを実行したときの動作を設定します。



重要

メッセージ画面設定で表示されるメッセージのレイアウトと、スキヤナの「ジョブメッセージ」画面に表示されるレイアウトは異なる場合があります。スキヤナでレイアウトを確認してメッセージを設定してください。

ヒント

「共有ファイル名」は、[設定] ボタンを押して、「共通ファイル名設定」画面から指定します。

「フォルダー」の設定は、スキャン画像をフォルダーに保存する場合に有効となります。設定値の詳細については、「[保存ファイル名を設定します](#)」(155 ページ) を参照してください。

6. 「読み取り設定」の左側にある を押して、読み取り設定をします。

A3 キャリアシート、カラーモード、用紙サイズなど読み取りに関する設定をします。

設定値の詳細については、「[6.9 読み取り設定をします](#)」(297 ページ) を参照してください。

読み取り設定			
ファイル	出力ファイル形式	<input checked="" type="radio"/> PDF <input type="radio"/> TIFF <input type="radio"/> MTIFF <input type="radio"/> JPEG <small>* FAXでは「TIFF」が使用されます。 * 印刷では「JPEG」が使用されます。</small>	
	テキスト認識	検索可能なPDF出力	<input checked="" type="radio"/> しない <input type="radio"/> する
		マーカールインデックス出力	しない
		マーカール文字列編集	<input checked="" type="radio"/> しない <input type="radio"/> する
		テキスト認識する言語	日本語
PDFパスワードロック	<input type="radio"/> しない <input type="radio"/> する PDFパスワード パスワード 確認パスワード		
圧縮	推奨		
基本	A3 キャリアシート	<input checked="" type="radio"/> しない <input type="radio"/> A3 <input type="radio"/> B4 <input type="radio"/> 11 × 17 インチ	
	カラーモード	<input checked="" type="radio"/> 自動 <input type="radio"/> カラー <input type="radio"/> グレースケール <input type="radio"/> 白黒 <small>* FAXでは「白黒」が使用されます。</small>	
	用紙サイズ	カスタム用紙サイズ	自動
		幅	2 inch 50.8 mm
		長さ	2.91 inch 74 mm
	解像度	200dpi	
読み取り面	<input type="radio"/> 片面 <input checked="" type="radio"/> 両面		
原稿セット方向	<input checked="" type="radio"/> 下向き <input type="radio"/> 上向き		
画質	明るさ	推奨	
	コントラスト	推奨	
	シャープネス	しない	
	ドロップアウトカラー	しない	
	裏写り除去	中間	
拡張	白紙ページ削除	<input type="radio"/> しない <input checked="" type="radio"/> する	
	原稿向き補正	<input checked="" type="radio"/> 長辺とじ <input type="radio"/> 短辺とじ <small>* 印刷では「しない」が使用されます。</small>	
	マルチフィード検出	<input type="radio"/> しない <input checked="" type="radio"/> 重なり検出 <input type="radio"/> 長さ検出 <input type="radio"/> 重なりと長さ検出	
	枠削し	<input checked="" type="radio"/> しない <input type="radio"/> する 枠削し幅 上下 0 mm (0 - 50) 左右 0 mm (0 - 50)	

7. アクションを設定します。

「アクション設定」では、以下のアクションを選択できます。

- メール
- FAX
- 印刷
- 保存

アクション設定	
1	<input type="text"/> <input type="button" value="削除"/> <input type="button" value="挿入"/>

ヒント

アクションは最大 10 個まで設定できます。

8. 手順 7 でアクションに「メール」を選択した場合、メール送信に関する設定をします。

設定値の詳細については、「[4.6 スキャン画像をメールで送信します](#)」(247 ページ)を参照してください。

ヒント

- メールアドレスは、[参照] ボタンを押して、「LDAP 一覧」画面から指定できます。

LDAP 一覧を絞り込みたい場合、「[LDAP 一覧を絞り込みます](#)」(211 ページ)を参照してください。

- 添付ファイル名は、[設定] ボタンを押して、「添付ファイル名設定」画面から指定します。設定値の詳細については、「[4.10.3 添付ファイル名を設定します](#)」(138 ページ)を参照してください。

9. **手順 7** でアクションに「FAX」を選択した場合、FAX 送信に関する設定をします。

設定値の詳細については、「6.5 スキャン画像を FAX で送信します」(264 ページ)を参照してください。

ヒント

メールアドレスは、[参照] ボタンを押して、「LDAP 一覧」画面から指定します。

LDAP 一覧を絞り込みたい場合、「LDAP 一覧を絞り込みます」(211 ページ)を参照してください。

10. **手順 7** でアクションに「印刷」を選択した場合、印刷に関する設定をします。

設定値の詳細については、「6.6 スキャン画像を印刷します」(273 ページ)を参照してください。

ヒント

ネットワーク共有プリンターは、[参照] ボタンを押して、「プリンター一覧」画面から指定します。

11. 手順 7 でアクションに「保存」を選択した場合、フォルダー保存に関する設定をします。

「処理結果ファイル」以外の設定値の詳細については、「6.7 スキャン画像をフォルダーに保存します」(285 ページ) を参照してください。

処理結果ファイルの詳細は、以下のとおりです。

- ファイルの形式は、XML 形式です。
- 文字コードは UTF-8 です。
- 処理結果ファイルの内容は、以下のとおりです。

項目名	出力内容
ResultFileVersion	V1.0
ScannerName	スキャナ名
User	ユーザー名
Date	保存完了日付
Time	保存完了時刻
Result	保存処理結果
ResultCode	結果コード
ResultDescription	結果詳細
Pages	保存ページ数
SheetCount_Job	ジョブで指定された読み取り枚数
SheetCount_User	ユーザーが指定した読み取り枚数
SheetCount_Scan	実際に読み取った用紙の枚数
FileName	保存ファイル名 (複数ファイルあり)
Path	保存ファイルパス名

ヒント

- ネットワーク共有フォルダーは、[参照] ボタンを押して、「フォルダー一覧」画面から指定します。
- ファイル名は、[設定] ボタンを押して、「保存ファイル名設定」画面から指定します。
- 設定値の詳細については、「保存ファイル名を設定します」(155 ページ) を参照してください。

12. [OK] ボタンを押します。

⇒ 「ジョブ一覧」画面にジョブが追加されます。

■ ジョブを参照して追加します

ジョブを参照して追加する方法について説明します。

1. ツールメニューの [ジョブ設定] ボタンを押します。**2. 「ジョブ設定」タブを押します。**

⇒ 「ジョブ一覧」画面が表示されます。

3. 参照するジョブを選択します。**4. [参照して追加] ボタンを押します。**

⇒ 「ジョブ詳細設定」画面が表示されます。

5. ジョブ詳細設定の内容を参照して設定します。**6. [OK] ボタンを押します。**

⇒ 「ジョブ一覧」画面にジョブが追加されます。

■ ジョブを編集します

ジョブを編集する方法について説明します。

1. ツールメニューの [ジョブ設定] ボタンを押します。**2. 「ジョブ設定」タブを押します。**

⇒ 「ジョブ一覧」画面が表示されます。

3. 変更するジョブを選択します。**4. [編集] ボタンを押します。**

⇒ 「ジョブ詳細設定」画面が表示されます。

5. ジョブ詳細設定の内容を変更します。

6. [OK] ボタンを押します。
⇒ ジョブの内容が変更されます。

■ ジョブを削除します

ジョブを削除する方法について説明します。

1. ツールメニューの [ジョブ設定] ボタンを押します。
2. 「ジョブ設定」 タブを押します。
⇒ 「ジョブ一覧」 画面が表示されます。
3. 削除するジョブを選択します。
4. [削除] ボタンを押します。
⇒ 削除確認画面が表示されます。
5. [OK] ボタンを押します。
⇒ ジョブが削除されます。

■ ジョブを絞り込みます

ジョブを絞り込む方法について説明します。

1. ツールメニューの [ジョブ設定] ボタンを押します。
2. 「ジョブ設定」 タブを押します。
⇒ 「ジョブ一覧」 画面が表示されます。
3. 「ジョブ名」と「説明」を入力します。
絞り込むジョブの「ジョブ名」と「説明」の一部またはすべてを入力します。
4. [絞り込み] ボタンを押します。
⇒ 絞り込み結果が表示されます。

ヒント

絞り込み結果の表示を解除したい場合、「ジョブ名」と「説明」をすべて削除して [絞り込み] ボタンを押してください。

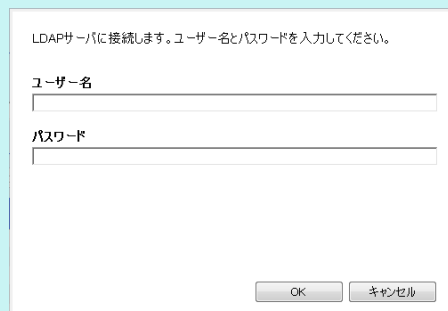
■ LDAP 一覧を絞り込みます

「LDAP 一覧」画面で、LDAP 一覧を絞り込む方法について説明します。

1. 「ユーザー名」で、ユーザー名・メールアドレスの一覧に表示するユーザー名の表示形式を選択します。
2. 「検索ベース」に LDAP サーバと LDAP 検索時の基点になる文字列を入力します。
ここで入力した文字列の配下にある LDAP のエントリーが検索対象になります。
3. 「絞り込み方法」で、絞り込み方法を選択します。
4. 「ユーザー名」、「メールアドレス」に、絞り込み文字列を入力します。
ユーザー名とメールアドレスのどちらも入力した場合は、どちらも含んでいる情報が検索されます。
5. 絞り込み対象を選択します。
複数選択した場合は、選択した対象のどれかを含んでいる情報が検索されます。
6. [絞り込み] ボタンを押します。
⇒ 絞り込み結果が表示されます。

ヒント

- [絞り込み] ボタンを押すと、認証画面が表示されます。
「ユーザー名」と「パスワード」を入力して、[OK] ボタンを押します。
ユーザー名の最大文字数は 129 文字です。
パスワードの最大文字数は半角 256 文字です。なお、英大文字と英小文字は区別されます。



LDAPサーバに接続します。ユーザー名とパスワードを入力してください。

ユーザー名
パスワード

OK キャンセル

- 絞り込み結果の表示を解除したい場合、絞り込み文字列をすべて削除して [絞り込み] ボタンを押してください。

4.17.3 ジョブメニューを設定します AdminTool Central Admin Console

「4.17.2 ジョブを設定します」(203 ページ) で設定したジョブをジョブボタンに割り当て、ジョブボタンをジョブメニューに配置します。
ジョブメニューは最大 100 個まで設定できます。

ヒント

Central Admin Console から操作する場合、ジョブを設定するための画面を表示する方法については、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

■ ジョブメニューを追加します

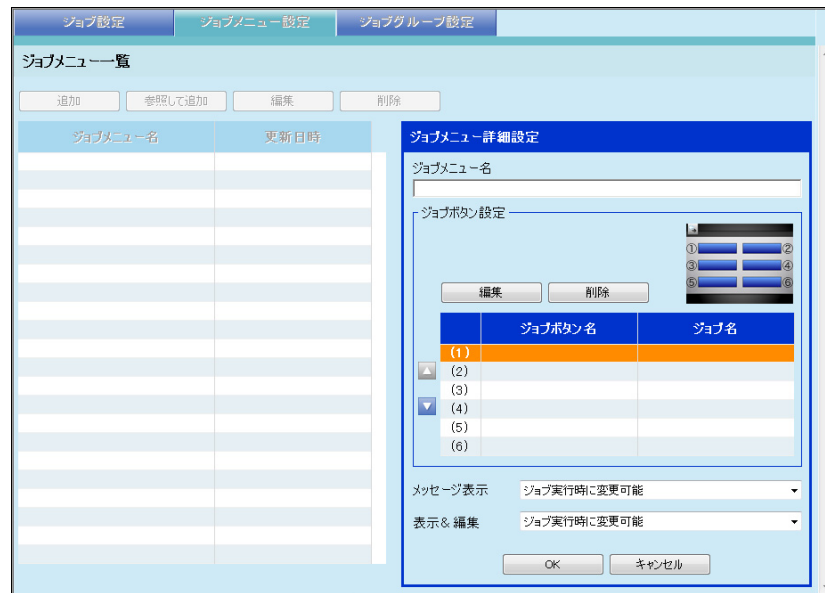
ジョブメニューを追加する方法について説明します。

1. ツールメニューの [ジョブ設定] ボタンを押します。
2. 「ジョブメニュー設定」タブを押します。
⇒ 「ジョブメニュー一覧」画面が表示されます。

The screenshot displays the 'Job Menu List' (ジョブメニュー一覧) interface. At the top, there are tabs for 'Job Setting' (ジョブ設定), 'Job Menu Setting' (ジョブメニュー設定), and 'Job Group Setting' (ジョブグループ設定). The 'Job Menu Setting' tab is active. Below the tabs, there are buttons for 'Add' (追加), 'Add Reference' (参照して追加), 'Edit' (編集), and 'Delete' (削除). The main area is divided into two sections: 'Job Menu List' and 'Job Menu Detailed Setting' (ジョブメニュー詳細設定). The 'Job Menu List' section contains a table with columns for 'Job Menu Name' (ジョブメニュー名) and 'Update Time' (更新日時). The 'Job Menu Detailed Setting' section includes a text input for 'Job Menu Name' (ジョブメニュー名), a 'Job Button Setting' (ジョブボタン設定) area with a list of buttons (1-6) and 'Edit' (編集) and 'Delete' (削除) buttons, and two dropdown menus for 'Message Display' (メッセージ表示) and 'Display & Edit' (表示 & 編集), both set to 'Changeable at Job Execution' (ジョブ実行時に変更可能). At the bottom, there are 'OK' and 'Cancel' (キャンセル) buttons.

3. [追加] ボタンを押します。

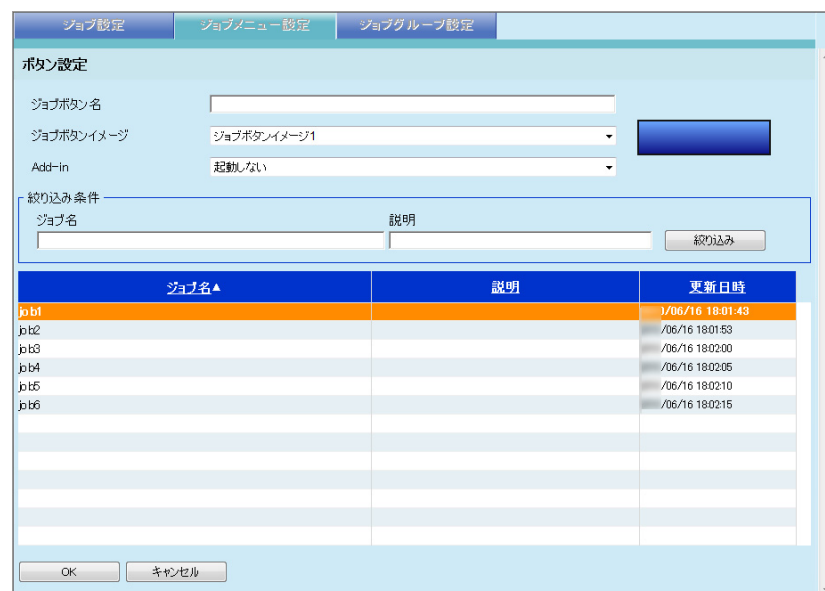
⇒「ジョブメニュー詳細設定」画面が追加用のモードに切り替わります。



4. ジョブメニュー名を入力します。

5. (1)～(6)のジョブボタンの位置に対応する行を一覧から選択して、[編集] ボタンを押します。

⇒「ボタン設定」画面が表示されます。



6. ジョブボタン名を入力します。

7. 「ジョブボタンイメージ」で、ジョブボタンイメージを選択します。

ジョブボタンイメージを選択すると、選択域右側に選択したジョブボタンのイメージが表示されます。

8. ジョブボタンを押したときに Add-in を起動させる場合、起動する Add-in を「Add-in」から選択します。

重要

Add-in をインストールしていない場合、選択できません。

9. ジョブボタンに設定するジョブを選択します。

ヒント

ジョブを絞り込みたい場合、「ジョブ名」と「説明」の一部またはすべてを入力して、[絞り込み] ボタンを押します。

10. [OK] ボタンを押します。

⇒「ジョブメニュー詳細設定」画面にジョブボタンが設定されます。

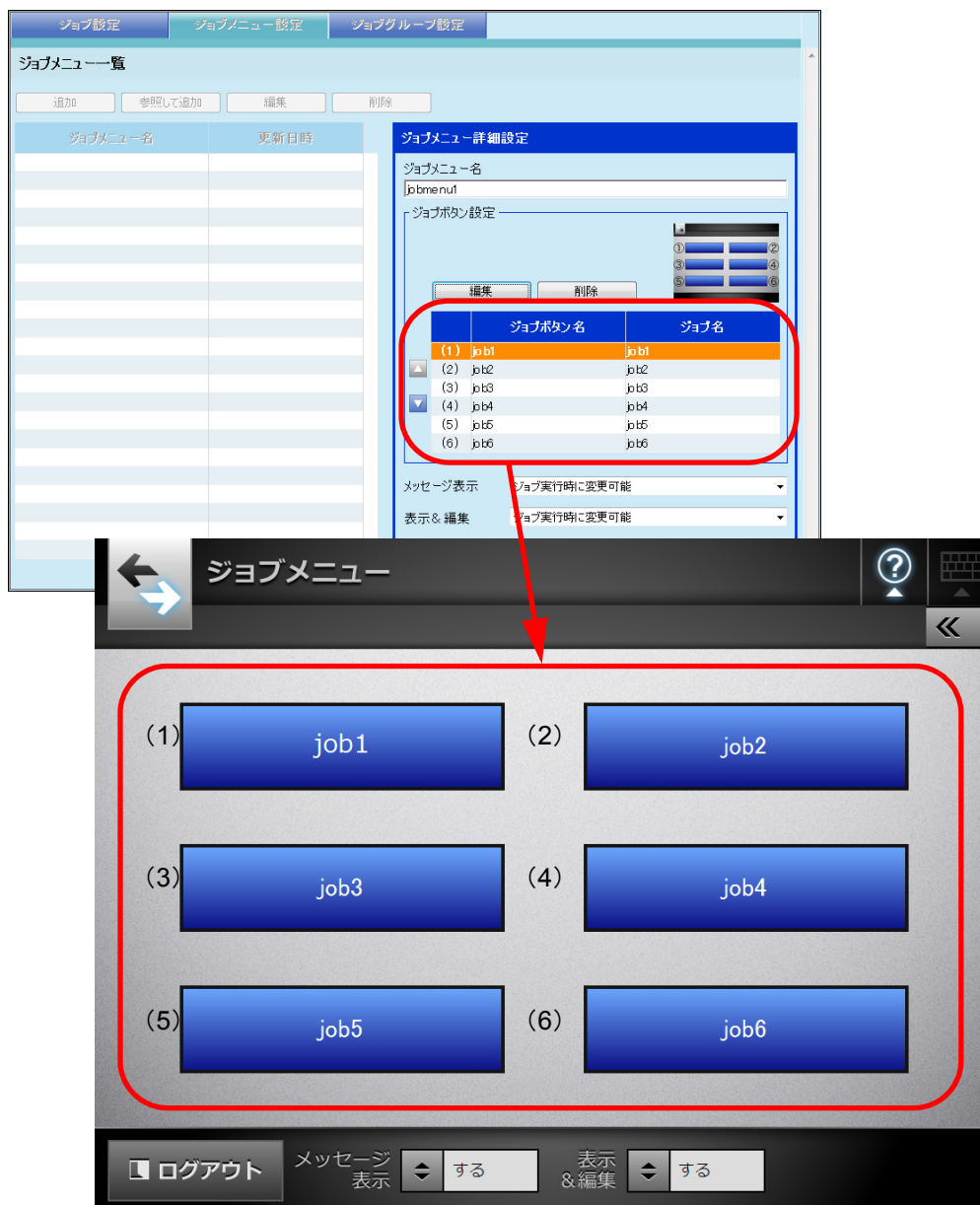
11. 設定するジョブボタンの数に応じて、**手順 5**～**手順 10**までの操作を繰り返します。

ヒント

- ジョブボタンは最大 6 個まで設定できます。
- ジョブボタンを削除したい場合、削除したいジョブボタンを選択して [削除] ボタンを押してください。

12. 必要に応じて、ボタン位置を変更します。

移動したいジョブボタンを選択して、▲または▼を押して、移動してください。「ジョブメニュー詳細設定」画面のジョブボタンの順番と「ジョブメニュー」画面のボタン配置との対応を以下に示します。



13. 「メッセージ表示」で、「ジョブメニュー」画面の「メッセージ表示」の動作を設定します。

14. 「表示&編集」で、「ジョブメニュー」画面の「表示&編集」の動作を設定します。

15. [OK] ボタンを押します。

⇒ 「ジョブメニュー一覧」画面にジョブメニューが追加されます。

■ ジョブメニューを参照して追加します

ジョブメニューを参照して追加する方法について説明します。

1. ツールメニューの [ジョブ設定] ボタンを押します。
2. 「ジョブメニュー設定」タブを押します。
⇒ 「ジョブメニュー一覧」画面が表示されます。
3. 参照するジョブメニューを選択します。
4. [参照して追加] ボタンを押します。
⇒ 「ジョブメニュー詳細設定」画面が参照追加用のモードに切り替わります。
5. ジョブメニュー詳細設定の内容を参照して設定します。
6. [OK] ボタンを押します。
⇒ 「ジョブメニュー一覧」画面にジョブメニューが追加されます。

■ ジョブメニューを編集します

ジョブメニューを編集する方法について説明します。

1. ツールメニューの [ジョブ設定] ボタンを押します。
2. 「ジョブメニュー設定」タブを押します。
⇒ 「ジョブメニュー一覧」画面が表示されます。
3. 変更するジョブメニューを選択します。
4. [編集] ボタンを押します。
⇒ 「ジョブメニュー詳細設定」画面が編集用のモードに切り替わります。
5. ジョブメニュー詳細設定の内容を変更します。
6. [OK] ボタンを押します。
⇒ ジョブメニューの内容が変更されます。

■ ジョブメニューを削除します

ジョブメニューを削除する方法について説明します。

1. ツールメニューの [ジョブ設定] ボタンを押します。
2. 「ジョブメニュー設定」タブを押します。
⇒ 「ジョブメニュー一覧」画面が表示されます。
3. 削除するジョブメニューを選択します。
4. [削除] ボタンを押します。
⇒ 削除確認画面が表示されます。
5. [OK] ボタンを押します。
⇒ ジョブメニューが削除されます。

■ ジョブメニューの詳細設定を参照します

ジョブメニューの詳細設定を参照する方法について説明します。

1. ツールメニューの [ジョブ設定] ボタンを押します。
2. 「ジョブメニュー設定」タブを押します。
⇒ 「ジョブメニュー一覧」画面が表示されます。
3. 参照するジョブメニューを選択します。
⇒ 「ジョブメニュー詳細設定」画面に参照用のモードでジョブメニューの詳細が表示されます。

重要

「ジョブメニュー詳細設定」画面が参照用のモードの場合、ジョブメニュー詳細設定の内容は編集できません。編集する場合は、編集するジョブメニューを選択して、[編集] ボタンを押してください。

4.17.4 ジョブグループを設定します AdminTool Central Admin Console

「4.17.3 ジョブメニューを設定します」(212 ページ) で設定したジョブメニューをジョブグループに割り当てます。ジョブグループに属しているユーザーは、割り当てられたジョブメニューを使用できるようになります。また、ユーザーを複数のジョブグループに属させると、ユーザーは複数のジョブメニューを使用できるようになります。ジョブグループは最大 100 個まで設定できます。

ヒント

Central Admin Console から操作する場合、ジョブを設定するための画面を表示する方法については、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

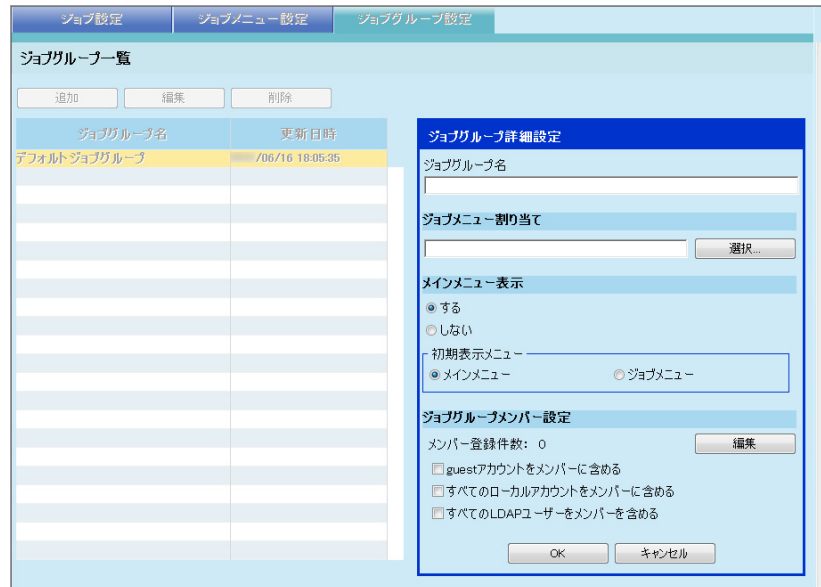
■ ジョブグループを追加します

ジョブグループを追加する方法について説明します。

1. ツールメニューの [ジョブ設定] ボタンを押します。
2. 「ジョブグループ設定」タブを押します。
⇒ 「ジョブグループ一覧」画面が表示されます。

3. [追加] ボタンを押します。

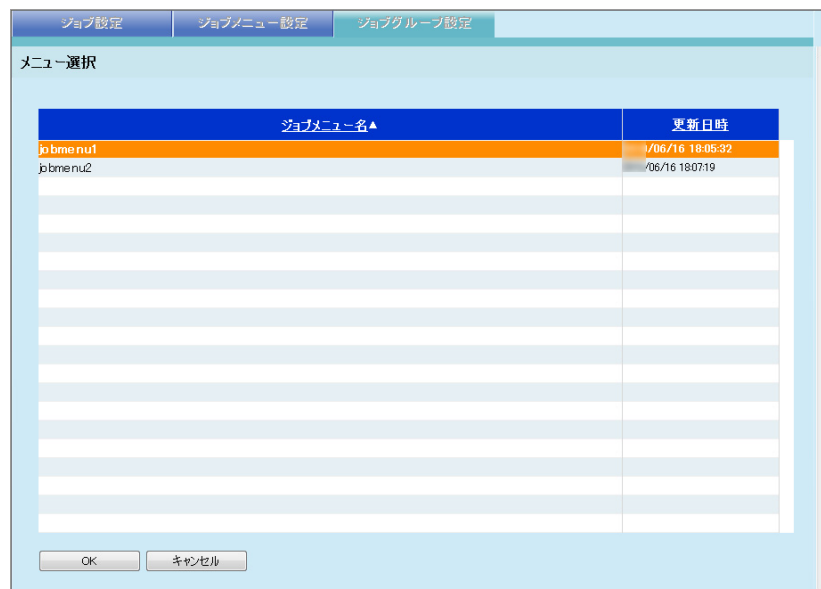
⇒「ジョブグループ詳細設定」画面が追加用のモードに切り替わります。



4. 「ジョブグループ名」に、ジョブグループ名を入力します。

5. [選択] ボタンを押します。

⇒「メニュー選択」画面が表示されます。



6. ジョブメニューを選択します。

7. [OK] ボタンを押します。

⇒「ジョブグループ詳細設定」画面にジョブメニューが設定されます。

8. メインメニューを表示するかどうかを設定します。

ヒント

同一ユーザーが複数のジョブグループに属する場合、そのユーザーが属するジョブグループのうち、「ジョブグループ一覧」画面の「ジョブグループ名」に最初に表示されるジョブグループの「メインメニュー表示」の設定が適用されます。例えば、ジョブグループ名の一覧の上から3番目と5番目に属している場合、3番目の設定が適用されます。

このため、どのジョブグループでも動作が同じになるように、「メインメニュー表示」の設定は統一してください。

9. [編集] ボタンを押します。

⇒「ジョブグループメンバー設定」画面が表示されます。

10. 「メンバー名の表示形式」で、メンバー名の表示形式を選択します。

選択した表示形式に従って、「ジョブグループメンバー一覧」および「メンバー検索」の「メンバー名」が表示されます。

11. 「検索ベース」に、LDAP サーバと LDAP 検索時の基点になる文字列を入力します。

12. 「メンバー検索」の「メンバー名」の一覧で、ジョブグループに登録したいユーザー、Active Directory グループ、またはローカルアカウントのチェックボックスにチェックを付けます。

ヒント

- ユーザー、Active Directory グループ、またはローカルアカウントの詳細情報を参照する場合、「メンバー名」または「詳細」のリンクを押します。「メンバー詳細」画面が表示され、詳細情報を参照できます。
- LDAP 一覧を絞り込みたい場合、「LDAP 一覧を絞り込みます」(225 ページ) を参照してください。

13. [<<<] ボタンを押します。

⇒ 「ジョブグループメンバー一覧」にユーザー、Active Directory グループ、またはローカルアカウントが登録されます。

ヒント

- ジョブグループメンバーには、メンバーを最大 1,000 件まで登録できます。
- 「ジョブグループメンバー一覧」に登録したメンバーを削除する場合、「メンバー名」の一覧でチェックボックスにチェックを付けて [>>>] ボタンを押します。
- ジョブグループメンバーを絞り込む場合、「メンバー名」および「詳細」の一部またはすべてを入力して、[絞り込み] ボタンを押します。
絞り込み結果の表示を解除する場合、「メンバー名」と「詳細」をすべて削除して [絞り込み] ボタンを押します。
- ログイン LDAP サーバのサーバ種別が変更された場合、変更前のサーバ種別のジョブグループメンバーは、ジョブグループメンバーの編集時に自動的に削除されます。

14. [OK] ボタンを押します。

⇒ 「ジョブグループ詳細設定」画面の「メンバー登録件数」にジョブグループメンバーに登録した件数が表示されます。

15. guest アカウントをジョブグループメンバーに含める場合、「guest アカウントをメンバーに含める」チェックボックスにチェックを付けます。**16. guest アカウント以外のローカルアカウントをジョブグループメンバーに含める場合、「すべてのローカルアカウントをメンバーに含める」チェックボックスにチェックを付けます。****17. すべての LDAP ユーザーをジョブグループメンバーに含める場合、「すべての LDAP ユーザーをメンバーに含める」チェックボックスにチェックを付けます。****ヒント**

チェックボックスにチェックを付けると、「ジョブグループメンバー一覧」の設定に関わらず、すべての LDAP ユーザーが対象となります。

18. [OK] ボタンを押します。

⇒ 「ジョブグループ一覧」画面にジョブグループが追加されます。

■ ジョブグループを編集します

ジョブグループを編集する方法について説明します。

1. ツールメニューの [ジョブ設定] ボタンを押します。
2. 「ジョブグループ設定」タブを押します。
⇒ 「ジョブグループ一覧」画面が表示されます。
3. 変更するジョブグループを選択します。
4. [編集] ボタンを押します。
⇒ 「ジョブグループ詳細設定」画面が編集用のモードに切り替わります。
5. ジョブグループ詳細設定の内容を変更します。
6. [OK] ボタンを押します。
⇒ ジョブグループの内容が変更されます。

■ ジョブグループを削除します

ジョブグループを削除する方法について説明します。

1. ツールメニューの [ジョブ設定] ボタンを押します。
2. 「ジョブグループ設定」タブを押します。
⇒ 「ジョブグループ一覧」画面が表示されます。
3. 削除するジョブグループを選択します。
4. [削除] ボタンを押します。
⇒ 削除確認画面が表示されます。
5. [OK] ボタンを押します。
⇒ ジョブグループが削除されます。

■ ジョブグループの詳細設定を参照します

ジョブグループの詳細設定を参照する方法について説明します。

1. ツールメニューの [ジョブ設定] ボタンを押します。
2. 「ジョブグループ設定」タブを押します。
⇒「ジョブグループ一覧」画面が表示されます。
3. 参照するジョブグループを選択します。
⇒「ジョブグループ詳細設定」画面に参照用のモードでジョブグループの詳細が表示されます。

重要

「ジョブグループ詳細設定」画面が参照用のモードの場合、ジョブグループ詳細設定の内容は編集できません。編集する場合は、編集するジョブグループを選択して、[編集] ボタンを押してください。

■ ジョブグループに属していないユーザーにジョブメニューを設定します

どのジョブグループにも属していないユーザーは、デフォルトジョブグループに属していることとなります。

これらのユーザーにジョブメニューを割り当てる方法について説明します。

1. ツールメニューの [ジョブ設定] ボタンを押します。
2. 「ジョブグループ設定」タブを押します。
⇒「ジョブグループ一覧」画面が表示されます。

3. デフォルトジョブグループを選択します。
4. **[編集]** ボタンを押します。
⇒ 「ジョブグループ詳細設定」画面が編集用のモードに切り替わります。



5. **[選択]** ボタンを押します。
⇒ 「メニュー選択」画面が表示されます。
6. ジョブメニューを選択します。
7. **[OK]** ボタンを押します。
⇒ 「ジョブグループ詳細設定」画面にジョブメニューが設定されます。
8. 「メインメニュー表示」で、メインメニューを表示するかどうかを設定します。
9. **[OK]** ボタンを押します。
⇒ ジョブグループに属していないユーザーにジョブメニューが設定されます。

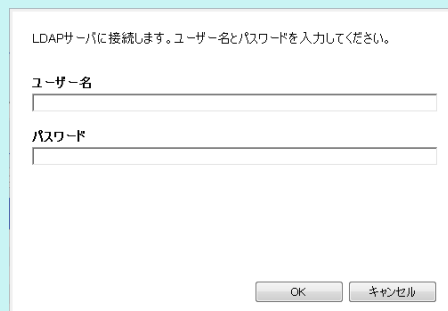
■ LDAP 一覧を絞り込みます

「ジョブグループメンバー設定」画面で、LDAP 一覧を絞り込む方法について説明します。

1. LDAP 一覧の「絞り込み条件」で、絞り込み方法を選択します。
2. 絞り込み文字列を入力します。
3. 絞り込み対象を選択します。
複数選択した場合は、選択した対象のどれかを含んでいる情報が検索されます。
4. [絞り込み] ボタンを押します。
⇒ 絞り込み結果が表示されます。

ヒント

- ログイン LDAP サーバのサーバ種別が「Active Directory」または「Active Directory Global Catalog」の場合、[絞り込み] ボタンを押すと、認証画面が表示されます。「ユーザー名」と「パスワード」を入力して、[OK] ボタンを押します。ユーザー名の最大文字数は 129 文字です。パスワードの最大文字数は半角 256 文字です。なお、英大文字と英小文字は区別されます。

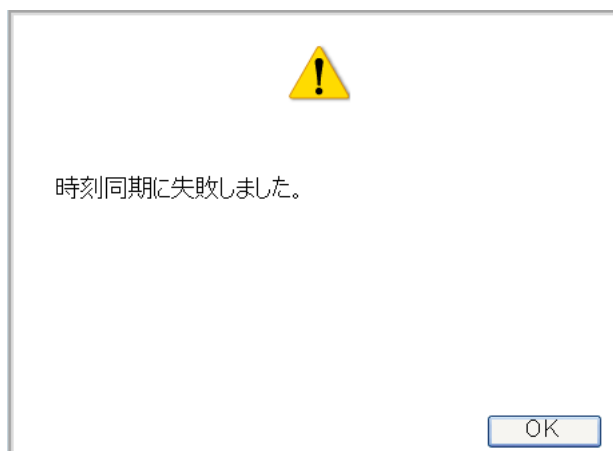


The image shows a dialog box for LDAP authentication. The title bar is not visible. The main text reads: "LDAPサーバに接続します。ユーザー名とパスワードを入力してください。" (Connect to LDAP server. Please enter the username and password.) Below this, there are two input fields: "ユーザー名" (Username) and "パスワード" (Password). At the bottom right, there are two buttons: "OK" and "キャンセル" (Cancel).





- 絞り込み結果の表示を解除する場合、絞り込み文字列をすべて削除して [絞り込み] ボタンを押します。
- 「LDAP 一覧」画面の絞り込み結果やジョブグループメンバーへの登録件数が多数（最大 1,000 件）の場合、「ジョブグループメンバー設定」画面の表示に数十秒程度時間がかかることがあります。このような場合、以下のような操作で表示件数を減らしてください。
 - 指定する絞り込み条件を追加する
 - 「メールアドレス LDAP サーバ」画面で設定する「最大表示件数」を少なくする
 - ジョブグループを分割する
 - Active Directory グループを指定する

4.18 メッセージ一覧 AdminTool

管理者が操作を行っているときに表示されるメッセージは、以下のような画面です。



メッセージの画面に表示されるマークの意味は、以下のとおりです。

マーク	意味
	警告メッセージです。入力値が違う場合にも表示されます。 内容を確認して [OK] ボタンを押してください。
	エラーメッセージです。 内容を確認して [OK] ボタンを押してください。
	情報メッセージです。対処の必要はありません。 <ul style="list-style-type: none"> ● [OK] ボタンが画面に表示されている場合、内容を確認してから [OK] ボタンを押して、メッセージの画面を閉じてください。 ● [OK] ボタンが画面に表示されていない場合、メッセージの画面は自動で閉じます。
	問い合わせメッセージです。 内容を確認してボタンを選択し、押してください。

4.18.1 管理者の画面のメッセージ

下表以外のメッセージやシステムログについてはヘルプを参照してください。

機能名	メッセージ	対処
Admin Tool	通信エラーが発生しました。	対処の詳細については、「 8.2.3 Web ブラウザ・Admin Tool・Central Admin Server からスキャナにアクセスできない場合の対処方法 」(393 ページ)を参照してください。
	接続可能なシステムバージョンではありません。	スキャナから Admin Tool をインストールして再度接続を実行してください。

第 5 章

管理者の操作 (Scanner Central Admin)

管理者

Central Admin Console で複数台のスキヤナの環境設定や管理をするには、Central Admin Server および Central Admin Console をコンピュータにインストールする必要があります。

ここでは、Central Admin Server および Central Admin Console のダウンロード方法を説明します。

Central Admin Server および Central Admin Console のインストールおよび操作については、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

5.1 Central Admin Server をダウンロードします	229
5.2 Central Admin Console をダウンロードします	231
5.3 スキヤナの環境設定をします	233

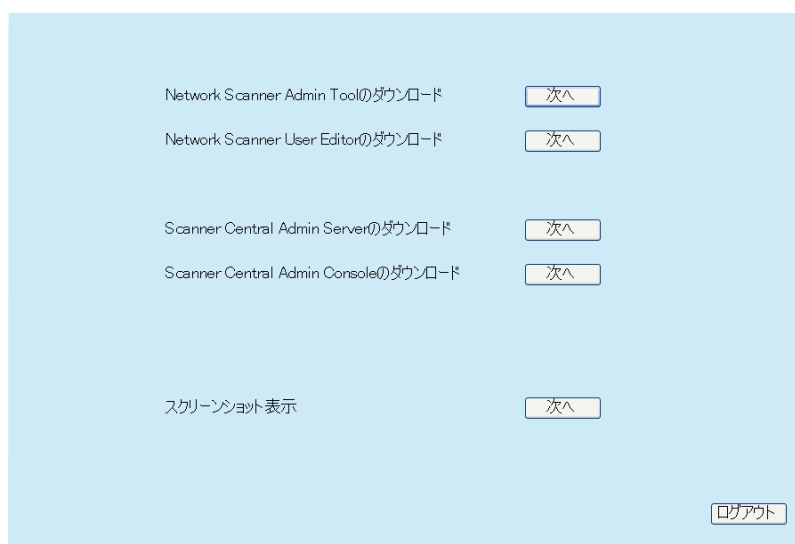
5.1 Central Admin Server をダウンロードします

Central Admin Server をコンピュータにダウンロードしてインストールします。

ヒント

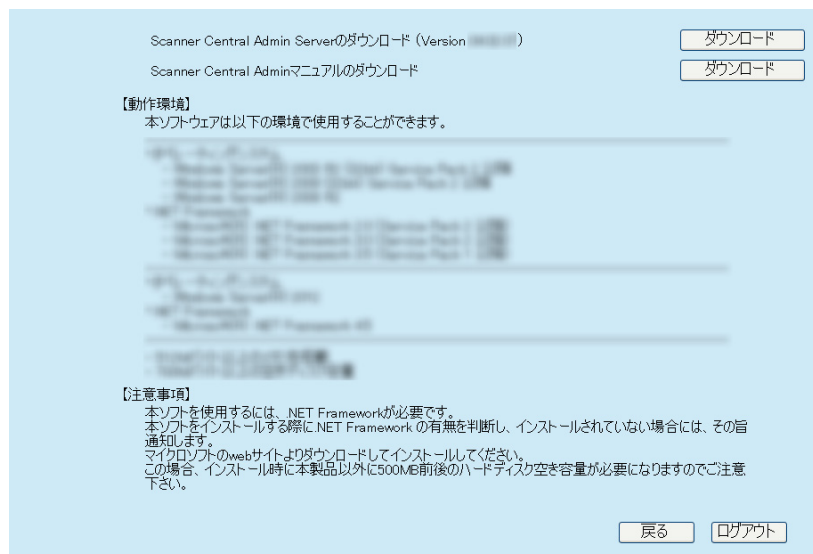
- Central Admin Server をインストールする場合の動作環境については、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。
- Central Admin Server をインストールするには、事前に Admin Tool でログインする場合の事前設定と同様の設定が必要です。詳細については、「[4.2.2 Admin Tool でログインする場合の事前設定](#)」(75 ページ) を参照してください。

1. 「[Admin Tool をインストールします](#)」(77 ページ) の手順 1 ~ 手順 3 までの操作をします。
⇒ ダウンロード画面が表示されます。
2. 「[Scanner Central Admin Server のダウンロード](#)」の [次へ] ボタンを押します。



⇒ Central Admin Server のダウンロード画面が表示されます。

3. 「Scanner Central Admin Server のダウンロード」の [ダウンロード] ボタンを押します。



重要

- 管理者または利用者がスキャナで操作中の場合、ダウンロードできません。
- インストールが完了するまで、Web ブラウザを閉じたり、ログアウトしないでください。
- 動作環境として必要となる 700M バイト以上の空きディスク容量には、SQL Server 2005 Express Edition をインストールする際に必要な空きディスク容量 200M バイトが含まれています。

ヒント

Central Admin Server のバージョンが 4.0 以降の場合、Scanner Central Admin のマニュアルをダウンロードするための [ダウンロード] ボタンが表示されます。

⇒ 以降は、画面の指示に従って操作を進めてください。

インストール方法の詳細については、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

5.2 Central Admin Console をダウンロードします

Central Admin Console をコンピュータにダウンロードしてインストールします。

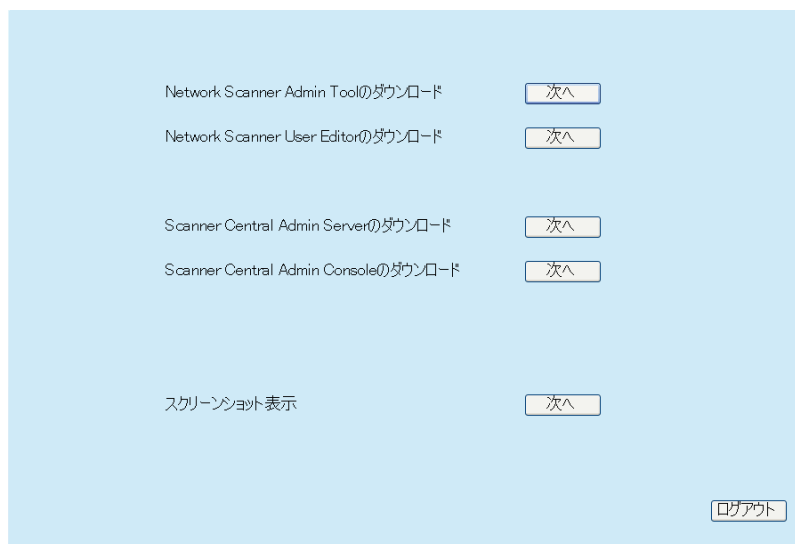
ヒント

- Central Admin Console をインストールする場合の動作環境については、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。
- Central Admin Console をインストールするには、事前に Admin Tool でログインする場合の事前設定と同様の設定が必要です。詳細については、「4.2.2 Admin Tool でログインする場合の事前設定」(75 ページ)を参照してください。

1. 「Admin Tool をインストールします」(77 ページ)の手順 1 ~ 手順 3 までの操作をします。

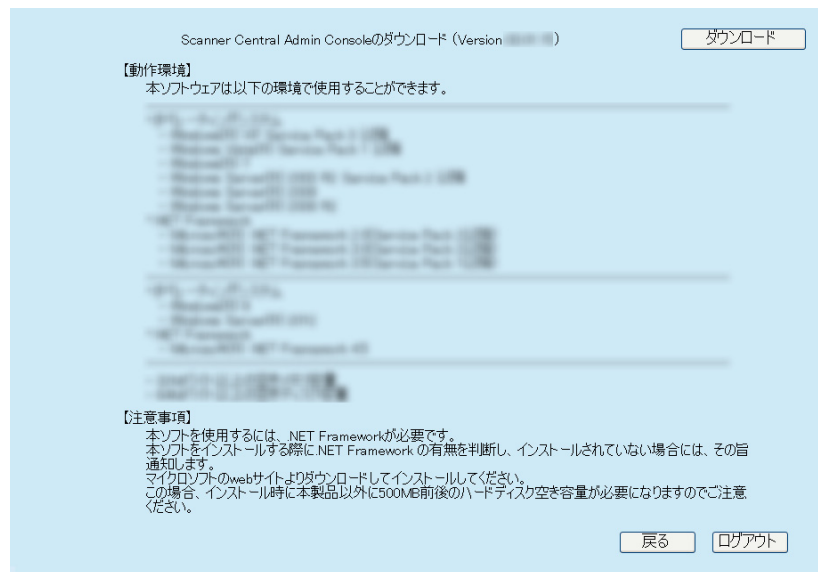
⇒ ダウンロード画面が表示されます。

2. 「Scanner Central Admin Console のダウンロード」の [次へ] ボタンを押します。



⇒ Central Admin Console のダウンロード画面が表示されます。

3. [ダウンロード] ボタンを押します。



重要

- 管理者または利用者がスキャナで操作中の場合、ダウンロードできません。
- インストールが完了するまで、Web ブラウザを閉じたり、ログアウトしないでください。

⇒ 以降は、画面の指示に従って操作を進めてください。

インストール方法の詳細については、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

5.3 スキャナの環境設定をします

スキャナの環境設定について説明します。

Central Admin Console で管理するためには、以下の Admin Tool の画面で、スキャナと Central Admin Server を接続できるように設定する必要があります。

- 「接続設定」画面
詳細については、[「4.8.8 接続設定をします」](#)（119 ページ）を参照してください。
- 「Scanner Central Admin Server」画面
詳細については、[「4.8.9 Central Admin Server を設定します」](#)（121 ページ）を参照してください。

第 6 章

利用者の操作

利用者

スキャナを利用して読み取ったスキャン画像をメール送信、FAX 送信、印刷、およびフォルダーに保存します。

本章での操作を行う場合、事前にスキャナの環境設定を行う必要があります。

スキャナの環境設定方法については、「[第 4 章 管理者の操作（タッチパネル・Admin Tool）](#)」（69 ページ）を参照してください。

6.1 原稿をセットします	235
6.2 タッチパネル（利用者）の画面	241
6.3 利用者モードでログインします	244
6.4 スキャン画像をメールで送信します	247
6.5 スキャン画像を FAX で送信します	264
6.6 スキャン画像を印刷します	273
6.7 スキャン画像をフォルダーに保存します	285
6.8 スキャン画像を SharePoint フォルダーに保存します	289
6.9 読み取り設定をします	297
6.10 「表示&編集」画面の表示を設定します	334
6.11 スキャン画像を「表示&編集」画面で確認します	337
6.12 ユーザーログの詳細情報を参照します	340
6.13 メンテナンスします	341
6.14 ジョブを実行します	343
6.15 ユーザーのパスワードを変更します	352

6.1 原稿をセットします

原稿をスキャナにセットする方法について説明します。

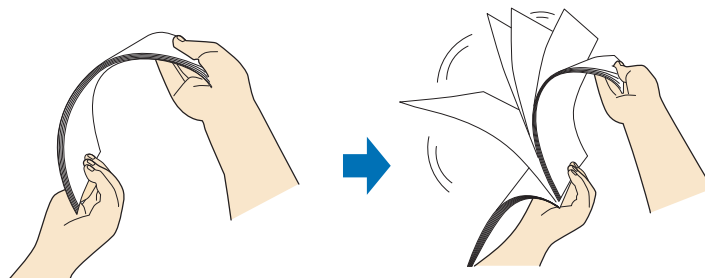
6.1.1 一般的な原稿をセットします

1. 原稿枚数を確認します。

原稿枚数の目安については「[A.3 セットできる原稿の枚数](#)」(415 ページ) を参照してください。

2. 複数枚の原稿をセットする場合は、原稿をさばきます。

1. 両手で原稿の両端を軽くつかみ、2～3回さばきます。

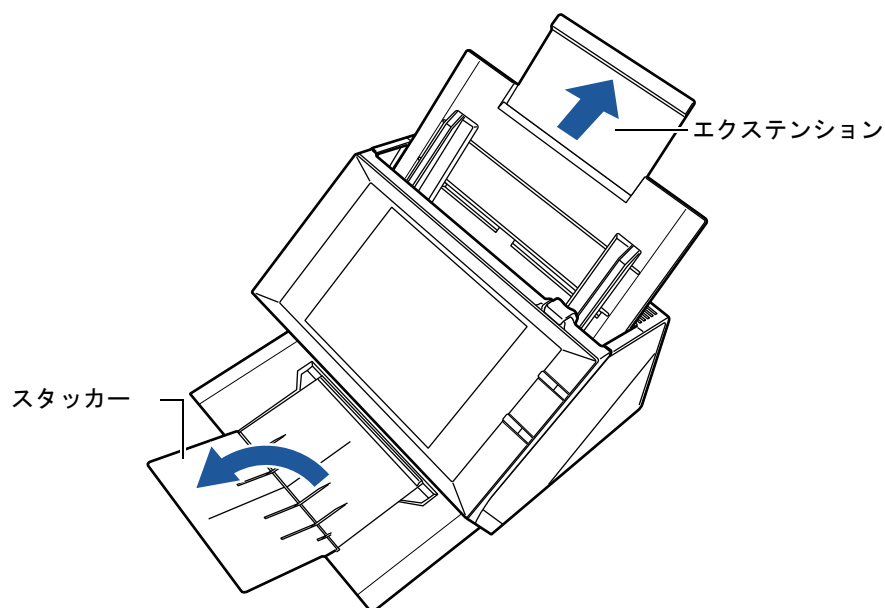


2. 原稿の向きを 90 度回転し、同じようにさばきます。

3. 原稿の両端をそろえます。

3. 原稿の長さに合わせて、エクステンションを引き上げて、スタッカーを起こします。

スタッカーは、手前に引き出して、スタッカーのくぼみに指をかけ、手前に起こします。

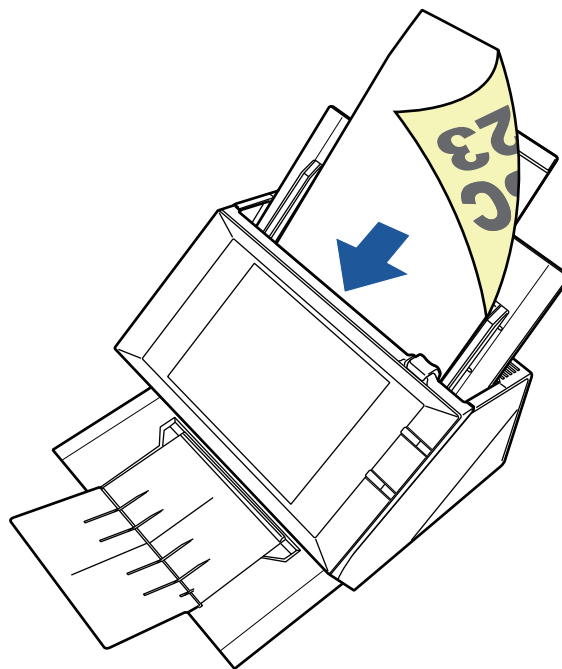


ヒント

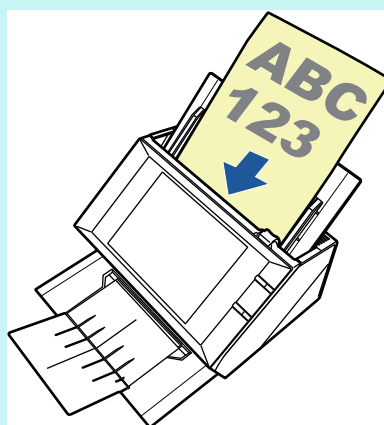
スタッカーを使うと、読み取りが終了した原稿がバラバラにならず、便利です。原稿の大きさに合わせて、引き出せます。

4. ADF 給紙シュートに原稿をセットします。

原稿の裏面（複数枚ある場合は最終ページ）を手前、上端を下向きにしてセットします。

**ヒント**

「原稿セット方向」画面で「上向き」を選択した場合は、原稿の表面を手前側、上端を上向きにしてセットします。

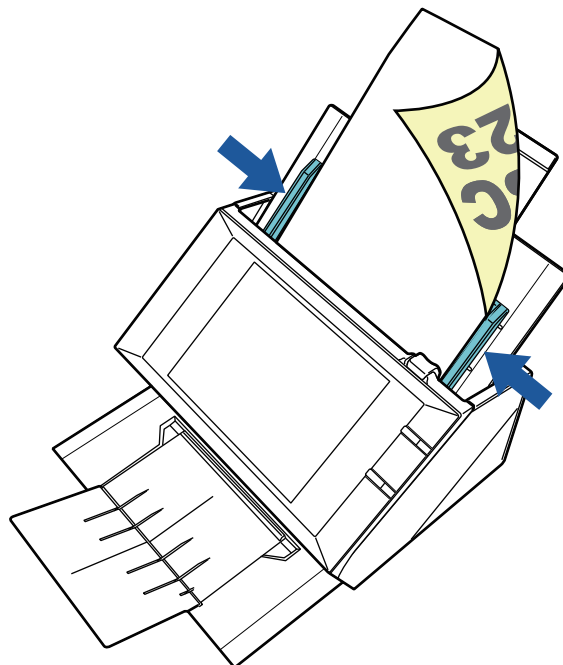


原稿のセット方法の設定については、「[6.9.6 読み取る原稿のセット方向を設定します](#)」(308 ページ) を参照してください。

5. 原稿の幅に合わせて、サイドガイドを移動します。

サイドガイドを動かして、サイドガイドと原稿の間に隙間ができないようにします。

サイドガイドと原稿の間に隙間があると、原稿が斜めに読み込まれることがあります。



6.1.2 A3 キャリアシートを使用した原稿をセットします

オプションの A3 キャリアシートを使用すると、A3 や B4 のような A4 サイズより大きい原稿を読み取れます。原稿を 2 つ折りにして両面を片面ずつ連続で読み取り、1 つのスキャン画像につなぎ合わせて保存します。

A4 サイズより大きい原稿を読み取る場合は、以下の手順で設定を変更します。

重要

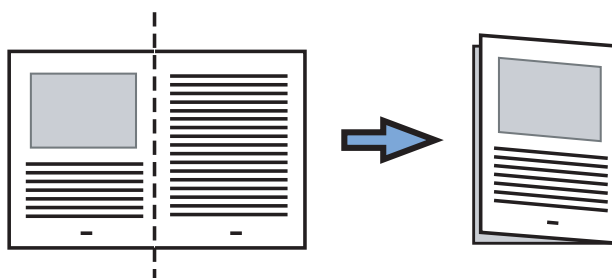
- A3 キャリアシートを使用する場合は、読み取った原稿を出力する用紙サイズを設定してください。設定方法については、「6.9.1 A3 キャリアシートを設定します」(302 ページ)を参照してください。
- A3 キャリアシートを使用する場合は、1 枚ずつセットして読み取ってください。複数枚の原稿をセットして、連続で読み取れません。

ヒント

A4 サイズ以下の両面印刷された原稿を読み取って、両面を 1 つのスキャン画像につなぎ合わせることもできます。

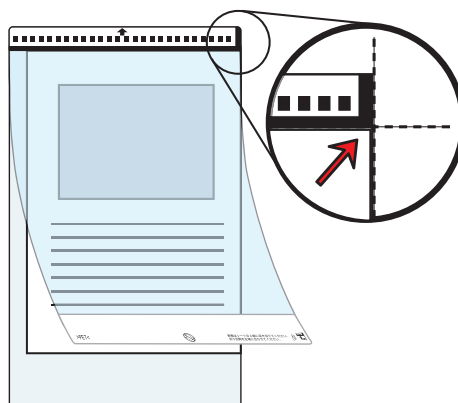
1. 読み取り面が外側にくるように、原稿を中央から 2 つに折り曲げます。

原稿の折り曲げ部分がふくらまない程度まで、しっかりと折り曲げてください。折り曲げ部分がふくらんだまま読み取ると、傾きの原因となります。



2. A3 キャリアシートの表面を開いて、原稿をはさみます。

原稿の上側を A3 キャリアシートの上端、折り目側を右端に、隙間のないようにしっかりと合わせます。

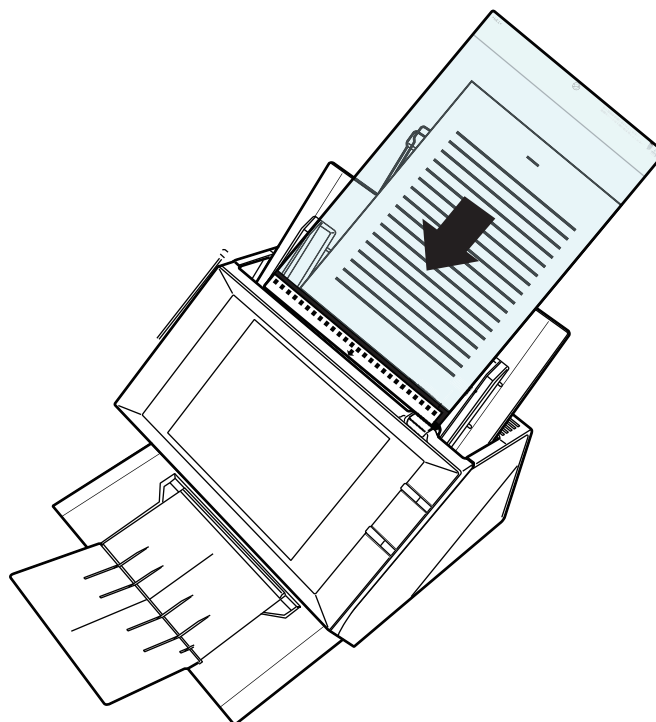


ヒント

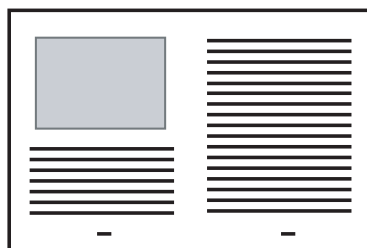
- A3 キャリアシートの白黒のパターンが印刷された部分を上にしたときに、右端に太い縦線のある面が、A3 キャリアシートの表面です。
- 「原稿セット方向」画面で「上向き」を選択した場合は、原稿の下側を A3 キャリアシートの上端、折り目を右端に、隙間のできないようにしっかりと合わせます。

3. A3 キャリアシートの表面を下向きにし、白黒のパターンが印刷された部分を下にして、ADF 給紙シュートにセットします。

A3 キャリアシートをセットしたら、ずれないように、サイドガイドで固定してください。

**4. 読み取りを開始します。**

⇒ 両面読み取りをすると、裏と表の原稿を読み取って、見開き状態にして1つの画像に出力されます。



重要

- 出力されたスキャン画像の見開きの継ぎ目部分に、隙間ができてたり、線が入ったりする場合があります。
また、A3 キャリアシートに厚みのある原稿をセットして読み取ると、見開きの継ぎ目部分を中心にして、スキャン画像がハの字に傾く場合があります。
これらの現象は、以下を行うと改善される場合があります。
 - 原稿をしっかりと折り曲げる
 - A3 キャリアシートに原稿をはさむときに、原稿の端を A3 キャリアシートの端にしっかりと合わせる
 - A3 キャリアシートを読み取るときに、A3 キャリアシートを裏 / 表逆にセットする
- 原稿の折り曲げ部分の検出誤差により、スキャン画像の見開きの継ぎ目部分が欠ける場合があります。その場合には、A3 キャリアシートに原稿をはさむときに、原稿の折り曲げ部分を A3 キャリアシートの端から 1mm ほど内側にずらしてください。

6.2 タッチパネル（利用者）の画面

6.2.1 「メインメニュー」画面

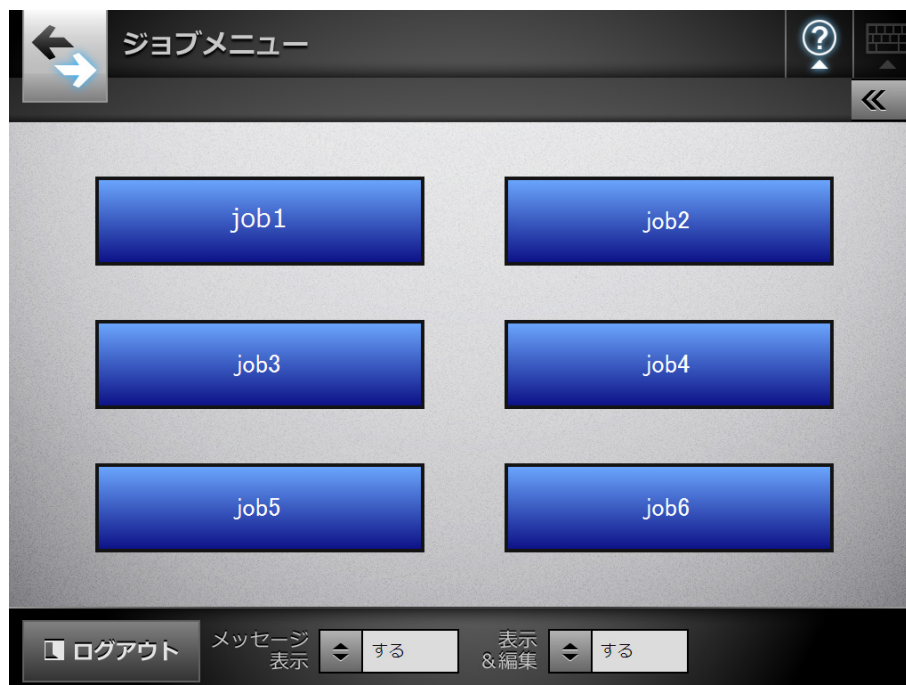
画面に表示されるボタンの種類は、連携するサーバなどの設定内容によって異なります。

以下に、メール、FAX、印刷、保存、および SharePoint に保存の設定を行った場合の表示例を示します。

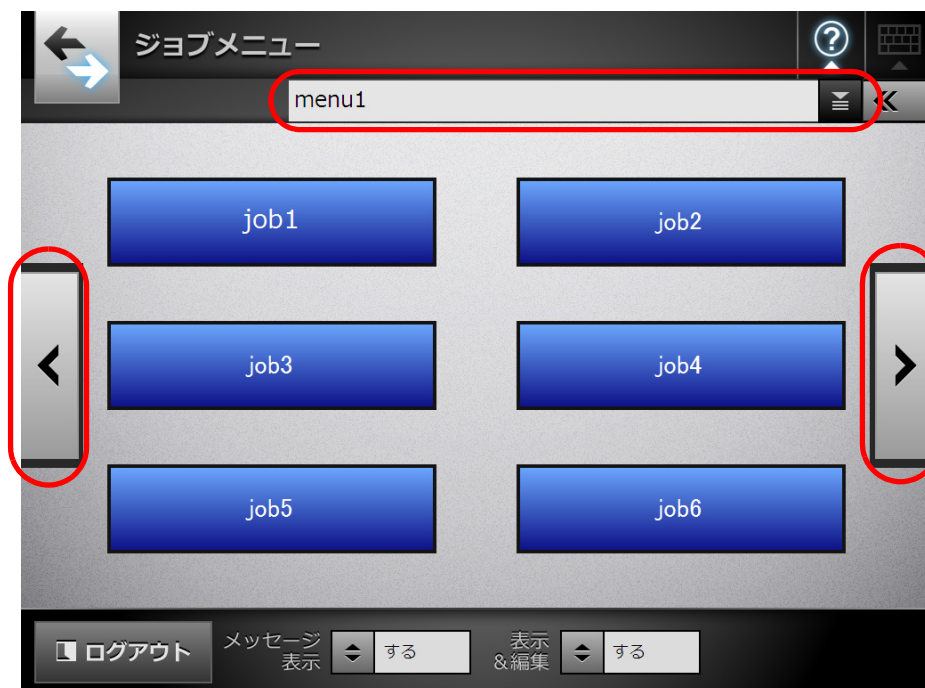


6.2.2 「ジョブメニュー」画面

画面に表示されるボタンの種類は、ジョブの設定内容によって異なります。
以下に、6個のジョブを設定した場合の表示例を示します。



なお、利用者が複数のジョブグループに属している場合は、以下のように、「ジョブメニュー」画面を切り替えるメニューおよびボタンが表示されます。



6.2.3 利用者ごとの設定

以下の項目は、管理者が有効に設定した場合に、利用者ごとに設定できます。

- ログイン方法

電源投入時および再起動時に、「ログイン」画面を表示せずに、自動的にログインするように設定できます。

また、guest アカウントでログインできるようにするかどうかも設定できます。これらの設定を変更したい場合は、管理者に連絡してください。

- メインメニュー表示

「メインメニュー」画面または「ジョブメニュー」画面の表示について設定できます。

利用者ごとに、「メインメニュー」画面または「ジョブメニュー」画面を切り替えられるようにしたり、常に「ジョブメニュー」画面を表示するようにしたりできます。

- ユーザー情報共有

Central Admin Server でユーザー情報を管理することで、利用者ごとの設定を複数のスキャナで共有するように設定できます。

同一の利用者が、別のスキャナからログインしても、利用者ごとの設定を利用できます。

共有できるユーザー情報は、以下のとおりです。

- メールアドレス台帳（My List）
- 読み取り設定
- 選択ネットワーク共有プリンター (*)
- 選択ネットワーク共有フォルダー (*)
- SharePoint フォルダ (*)

(*): スキャナごとに異なるネットワーク共有プリンター、ネットワーク共有フォルダー、および SharePoint フォルダが設定されている場合、選択状態は解除されます。

- ジョブ設定共有

Central Admin Server でジョブ設定を管理することで、利用者ごとに設定されているジョブを、複数のスキャナで共有するように設定できます。

同一の利用者が、別のスキャナからログインしても、利用者ごとの「ジョブメニュー」画面を表示できます。

ヒント

「ネットワーク設定」→「ネットワーク管理」の「Scanner Central Admin Server」画面で、ユーザー情報共有またはジョブ設定共有が有効になっている状態で、ログイン時に Central Admin Server と通信できない場合、確認画面が表示されます。

この画面で [OK] ボタンを押して続行した場合は、スキャナに保存されている設定情報で動作します。[キャンセル] ボタンを押した場合は、「ログイン」画面に戻ります。

「Scanner Central Admin Server」画面については、「[4.8.9 Central Admin Server を設定します](#)」(121 ページ) を参照してください。

6.3 利用者モードでログインします



注意

電源を入れたまま持ち運んだり、衝撃や振動を与えたりしないでください。

スキャナ内部の部品が損傷し、データを消失する原因となります。



ログイン時のユーザー認証では、認証方式や指定したユーザー名に応じて、以下のように認証処理が行われます。

- LDAP サーバに登録されているユーザーの場合

LDAP サーバ上のユーザー情報の定義内容に従って、ユーザー名を指定してください。

- LDAP サーバのサーバ種別が「Active Directory」または「Active Directory Global Catalog」の場合

分類	認証処理
SAM アカウント名 「@」を含まないユーザー名が指定された場合	ユーザーログイン名 (sAMAccountName) で認証処理が行われます。 例 : user
ユーザープリンシパル名 「@」を含むユーザー名が指定された場合	ユーザーログイン名 (userPrincipalName) で認証処理が行われます。 例 : user@example.com

ヒント

SAM アカウント名にドメイン名を指定する場合は、「ドメイン名¥SAM アカウント名」と記述します。

- LDAP サーバのサーバ種別が「その他の LDAP サーバ」の場合

分類	認証処理
uid	ユーザーログイン名 (uid) で認証処理が行われます。 例 : user
cn	ユーザーログイン名 (cn) で認証処理が行われます。 例 : user

- ローカルアカウントに登録されているユーザーの場合

ローカルアカウントの定義内容に従って、ユーザー名を指定してください。

スキャナに保持しているローカルアカウントに対して、指定されたユーザーログイン名で認証処理が行われます。

また、認証されたユーザー情報は、ネットワーク共有フォルダー保存時のユーザー情報としても利用されます。

電源投入時および再起動時、「ログイン」画面を表示せずに、自動的にログインするようにもできます。

Active Directory のアカウントオプションで「ユーザーは次回ログオン時にパスワード変更が必要」となっている場合はログインできません。管理者に連絡してパスワードを設定してからログインしてください。

ヒント

- LDAP サーバが存在しない環境、およびローカルアカウントが登録されていない環境でスキャナを使用する場合、ユーザー名およびパスワードは以下のとおりです。LDAP サーバについては、「[LDAP サーバ](#)」(48 ページ) を参照してください。

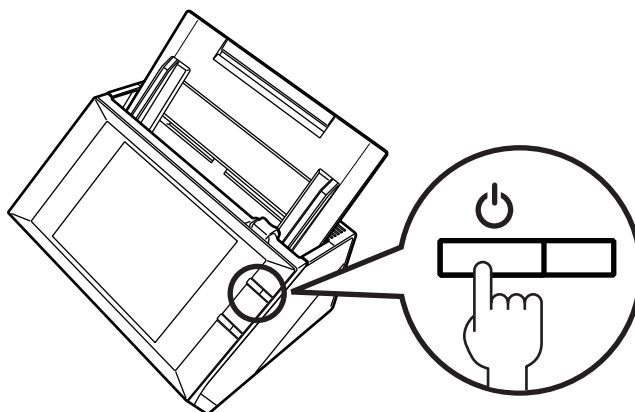
ユーザー名 : guest

パスワード : guest

ただし、guest アカウントが無効になっている場合は使用できません。

- 自動ログインおよび guest アカウントの有効無効を設定する方法については、「[4.7.1 ログイン設定をします](#)」(100 ページ) を参照してください。
- スキャナにログインできるのは、管理者またはユーザーの 1 人だけです。複数人が同時にスキャナにログインできません。
- LDAP サーバのサーバ種別が「その他の LDAP サーバ」の場合、「ログイン」画面でパスワードを省略できません。必ずパスワードを指定してください。

1. 電源ボタンを押します。



⇒ 「ログイン」画面が表示されます。

2. ユーザー名およびパスワードを入力します。



ヒント

ログイン LDAP サーバが Active Directory Global Catalog の場合、UPN サフィックスの入力域が表示されます。

- UPN サフィックスの最大文字数は 64 文字です。入力した UPN サフィックスは保存され、次回ログイン時にもそのまま使用できます。
- UPN サフィックスを入力すると、「ユーザー名」のうしろに、「@」と「UPN サフィックス」を付加して認証されます。例えば、ユーザー名に「user」、UPN サフィックスに「example.com」と入力する場合、「user@example.com」として認証されます。この「user@example.com」が「ユーザープリンシパル名」です。
- UPN サフィックスを使用しない場合は、入力しないでください。
- UPN サフィックスは、guest アカウントでログインする場合、入力する必要はありません。入力しても無効になります。

3. [ログイン] ボタンを押します。

⇒ 認証されると、「メインメニュー」画面が表示されます。

6.4 スキャン画像をメールで送信します


重要

LDAP サーバを設定している場合、LDAP サーバにユーザーのメールアドレスを必ず登録してください。また、ローカルアカウントを設定している場合も、ユーザーのメールアドレスを登録してください。
登録していない場合、メール送信できません。

1. 「メインメニュー」画面で [メール] ボタンを押します。

⇒「メール送信」画面が表示されます。


ヒント

「読み取り設定」の  を押すと、読み取り設定を変更できます。詳細については、「[6.9 読み取り設定をします](#)」(297 ページ) を参照してください。

2. 「あて先」、「Cc」、「Bcc」に、送信先のメールアドレス、同報リスト、またはグループを入力します。

- 同報リストを入力すると、同報リストに登録されているすべての送信先に送信できます。同報リストの設定については、「[6.4.2 メールアドレス台帳にメールアドレスを追加します](#)」(256 ページ)
- グループを入力すると、グループに登録されているすべての送信先に送信できます。

ヒント


- 送信先は、 を押して、メールアドレス台帳から入力できます。詳細については、「[6.4.1 メールアドレス台帳を使ってメールアドレスを入力します](#)」(252 ページ) を参照してください。
メールアドレス台帳が使用できない場合は、管理者に連絡してください。
- グループは、User Editor を使って編集します。同報リストも編集できます。詳細については、「[付録 E User Editor で編集します](#)」(433 ページ) を参照してください。

3. 「送信者」に、送信者のメールアドレスを入力します。

メールアドレスが設定されていない guest アカウントでログインした場合に、入力できます。

メールアドレスの設定値については、「[B.1 メールアドレスの設定値](#)」(421 ページ) を参照してください。

ヒント

送信者は、 を押して、メールアドレス台帳から入力できます。

詳細については、「[6.4.1 メールアドレス台帳を使ってメールアドレスを入力します](#)」(252 ページ) を参照してください。

メールアドレス台帳が使用できない場合は、管理者に連絡してください。

4. 「添付ファイル名」に、メールに添付するスキャン画像の名前を入力します。

重要

- 以下のファイル名は設定できません。
 - CON
 - PRN
 - AUX
 - CLOCK\$
 - NUL
 - COM0 ~ COM9
 - LPT0 ~ LPT9
- 以下の文字は使用できません。
¥ / : * ? " < > |

5. 「件名」にメールの題名を入力します。


ヒント

半角カタカナを入力した場合は、全角カタカナに変換されて送信されます。

6. 「本文」にメールの本文を入力します。


ヒント

半角カタカナを入力した場合は、全角カタカナに変換されて送信されます。

7. 「開封確認」が操作できる場合、を押して、メール送信したときに、送信したメールが開封されたことを通知するメールを、自分に送信するかどうかを設定します。

ヒント

開封確認したい場合は、管理者に連絡してください。

8. 「自分のあて先へ転送する」が操作できる場合、を押して、自分（メール送信者）にも同じ内容のメールを Bcc で送信するかどうかを設定します。

ヒント

自分のあて先にもメールを送信したい場合は、管理者に連絡してください。

9. [スキャン] ボタンを押します。

「表示&編集」が「しない」の場合、[スキャン&送信] ボタンを押します。

⇒ 読み取りが開始されます。

読み取り中は、読み取り状態および読み取り時の設定内容が表示されます。読み取れる最大ページ数は 999 ページです。

「白紙ページ削除」を有効にしている場合、白紙ページ削除されたページ数が表示されます。

白紙ページ削除された分は、最大ページ数まで追加読み取りができます。

⇒ 読み取りが完了すると、「表示&編集」画面が表示されます。

「表示&編集」画面での編集については、「[6.11 スキャン画像を「表示&編集」画面で確認します](#)」（337 ページ）を参照してください。

ヒント

「表示&編集」が「しない」の場合（[スキャン&送信] ボタンを押した場合）は、読み取りが完了したあと、スキャン画像を添付したメールがすぐに送信され、「メインメニュー」画面に戻ります。

詳細については、「[6.10 「表示&編集」画面の表示を設定します](#)」（334 ページ）を参照してください。

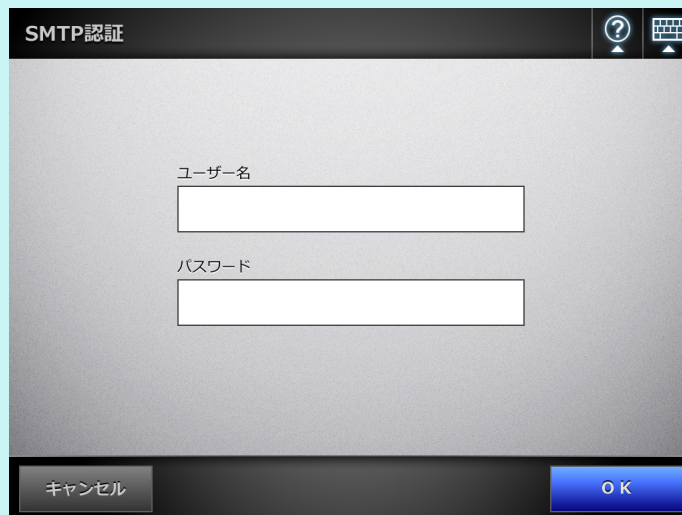
10. スキャン画像を確認します。

「表示&編集」画面での確認については、「[6.11 スキャン画像を「表示&編集」画面で確認します](#)」（337 ページ）を参照してください。

11. 「表示&編集」画面で [送信] ボタンを押します。

ヒント

「SMTP 認証」画面が表示された場合は、SMTP サーバにアクセスするための認証情報を入力して、[OK] ボタンを押します。



SMTP認証画面のスクリーンショット。タイトルバーには「SMTP認証」とあり、右側にはヘルプアイコンとキーボードアイコンがある。中央には「ユーザー名」と「パスワード」の2つの入力フィールドがあり、それぞれに白いテキストが入っている。下部には「キャンセル」と「OK」の2つのボタンがある。

- ⇒ 指定したファイル形式のファイルが添付されたメールが送信されます。
メール分割が有効になっている場合、メールが分割されて送信されます。
送信先の数が指定できる範囲を超えていた場合、警告が表示されます。



- ⇒ 「メインメニュー」画面に戻ります。

ヒント

- 以下は、事前に管理者が設定した値です。
 - あて先に指定できる送信先の数
 - メールを分割して送信するかどうかの設定、および分割サイズ
 - 添付するファイルの最大サイズ
- 設定を変更する場合は、管理者に連絡してください。設定方法については、「[4.10.1 メールサーバを設定します](#)」(135 ページ)を参照してください。
- 写真や図などの原稿の場合は、圧縮率を高くすると、ファイルサイズを小さくできます。詳細については、「[6.9.11 圧縮率を設定します](#)」(320 ページ)を参照してください。
 - ファイル形式が JPEG または TIFF の場合、ページ数分のファイルがメールに添付されます。
 - 「表示&編集」が「する」の場合、ページ数が 10 ページを超えると、「表示&編集」画面で [送信] ボタンを押したあとに確認メッセージが表示されます。
 - 「表示&編集」が「しない」の場合、「メール送信」画面で [スキャン&送信] ボタンを押したあとに確認メッセージが表示されます。
 - メール送信に失敗した場合、「送信者」に入力されたメールアドレスにスキャナからエラー通知のメールが、以下のタイトルで送信されます。
ネットワークスキャナ XXXX からのエラー通知

6.4.1 メールアドレス台帳を使ってメールアドレスを入力します

メール送信時に、送信先のメールアドレスを直接入力せずに、メールアドレス台帳を使用して入力する方法を説明します。

メールアドレス台帳を使用した送信先の入力は、「[6.4 スキャン画像をメールで送信します](#)」(247 ページ)の[手順 2](#)および[手順 3](#)で行えます。

● メールアドレス台帳の種類

メールアドレス台帳には、「My List」と「LDAP List」があります。

● My List

利用者が、自分用に作成できるメールアドレス台帳です。

ヒント

My List は、User Editor を使って編集することもできます。

詳細については、「[付録 E User Editor で編集します](#)」(433 ページ)を参照してください。

● LDAP List

LDAP サーバに登録されているすべての情報を利用したメールアドレス台帳です。編集はできません。

以下の場合、「LDAP List」タブは表示されず、使用できません。

- LDAP サーバを利用しない場合
- guest アカウントでログインした場合
- ローカルアカウントでログインした場合

● メールアドレス台帳を使用して入力できる送信先

メール送信時には、以下の送信先をメールアドレス台帳から選択して入力できます。


送信先	メールアドレス台帳に表示されるアイコン	My List	LDAP List
グループ		○	—(*)
同報リスト		○	—(*)
メールアドレス		○	○

○：選択できます。

—：選択できません。

(*)：LDAP List では、表示されません。

ここでは、LDAP List でメールアドレスを入力する方法を説明します。

1. 「メール送信」画面で、メールアドレスを入力する項目にあるを押します。
⇒「メールアドレス台帳」画面が表示されます。
2. 「LDAP List」タブを押します。
⇒「メールアドレス台帳」画面の LDAP List が表示されます。
3. 検索条件のボタン（左ボタン、中央ボタン、または [メールアドレス] ボタン）を押して、検索する項目を選択します。




ヒント

左ボタンおよび中央ボタンに設定する、検索条件およびボタン名は、管理者がカスタマイズして設定します。
検索条件およびボタン名のカスタマイズ方法については、「[4.9.3 LDAP 検索条件を設定します](#)」（133 ページ）を参照してください。

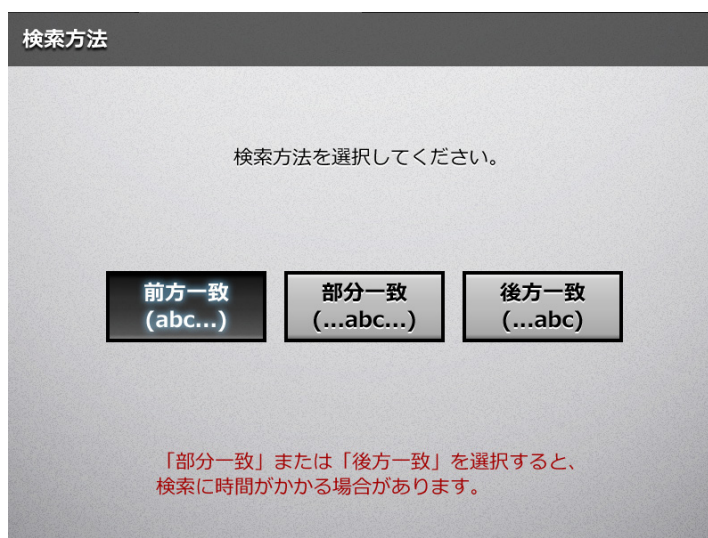
4. 「検索文字列」に、検索するメールアドレスの一部またはすべてを入力します。

ヒント

My List の場合、を押すと、前回入力した検索文字列および検索結果を消去できます。


5. 「検索方法」のを押します。
⇒「検索方法」画面が表示されます。

6. 検索方法を選択します。

**重要**

LDAP サーバ上に数万件以上のデータが登録されている場合、[部分一致 (...abc...)] ボタンまたは [後方一致 (...abc)] ボタンを選択して検索すると、検索に時間がかかります。

⇒ 「メールアドレス台帳」画面の LDAP List に戻ります。選択した内容が「検索方法」に表示されます。

7.  を押します。

⇒ 検索結果が右側に 5 件ずつ表示されます。




ヒント

- 検索結果の表示件数は、管理者が設定します。詳細については、「[4.9.2 メールアドレス LDAP サーバを設定します](#)」(131 ページ)を参照してください。
- 検索結果で表示形式に該当する項目が登録されていない場合、検索結果は「----」で表示されます。
例えば、表示形式が「姓 - 名」で、LDAP サーバに「姓：富士通 名：なし」のユーザーが登録されている場合、検索結果は「富士通 ----」となります。
- My List と LDAP List では、検索内容に以下の違いがあります。

検索文字列	My List	LDAP List
全角、半角 (英数字、カタカナ、記号)	区別しない	区別しない
半角英大文字、半角英小文字	区別しない	区別しない
濁音、半濁音、拗音、促音	区別する	区別しない

また、My List で検索する場合、以下のようになります。


- 現在表示している階層、および階層の配下に含まれるものすべてが検索対象となります。
- 送信先を検索したときの検索結果では、グループを選択しても、が有効にならず、配下の階層に移動できません。

8. 検索結果の中からメールアドレスを選択して、を押します。

⇒「選択済みアドレス」に、メールアドレスが追加されます。

複数のメールアドレスを追加する場合は、同じ操作を繰り返します。

ヒント

メールアドレスを選択して  を押すと、My List に追加できます。

9. [OK] ボタンを押します。

⇒「メール送信」画面にメールアドレスが入力されます。


6.4.2 メールアドレス台帳にメールアドレスを追加します

メールアドレス台帳の My List に、メールアドレスおよび同報リストを追加する方法について説明します。LDAP List には追加できません。

なお、メールアドレス台帳の最大登録件数は、以下のとおりです。

- グループ、同報リスト、メールアドレスを含む場合、合計で 5,000 件です。
- メールアドレスだけの場合、10,000 件です。

1. 以下のどちらかの方法で、「メールアドレス台帳」画面を表示します。

- 「メール送信」画面で、メールアドレスを入力する項目にある  を押します。
- 「メインメニュー」画面または「ジョブメニュー」画面で [メンテナンス] ボタンを押して、「メンテナンス」画面で [メールアドレス編集] ボタンを押します。


2. 「My List」タブを押します。



メールアドレス台帳画面のスクリーンショット。画面は「My List」と「LDAP List」の2つのタブがあり、「My List」が選択されています。検索文字列の入力欄、検索方法（前方一致 (abc...)）のメニュー、選択済みアドレスの入力欄、メールアドレス台帳編集のボタン、キャンセルとOKのボタンが配置されています。右側には検索用の矢印ボタンとページネーション表示 (0/0) が表示されています。

3. [メールアドレス台帳編集] ボタンを押します。
⇒「メールアドレス台帳編集」画面が表示されます。



4.  を押します。
グループにメールアドレスまたは同報リストを追加する場合は、追加先のグループを表示してから、ボタンを押します。
⇒「メールアドレス追加」画面が表示されます。

5. 追加するメールアドレスの情報を入力します。

- メールアドレスを追加する場合
「メールアドレス」タブで、追加するメールアドレスおよび姓名を入力します。
メールアドレスの設定値については、「[B.1 メールアドレスの設定値](#)（421 ページ）を参照してください。

メールアドレス追加

メールアドレス 同報リスト

姓


名

メールアドレス

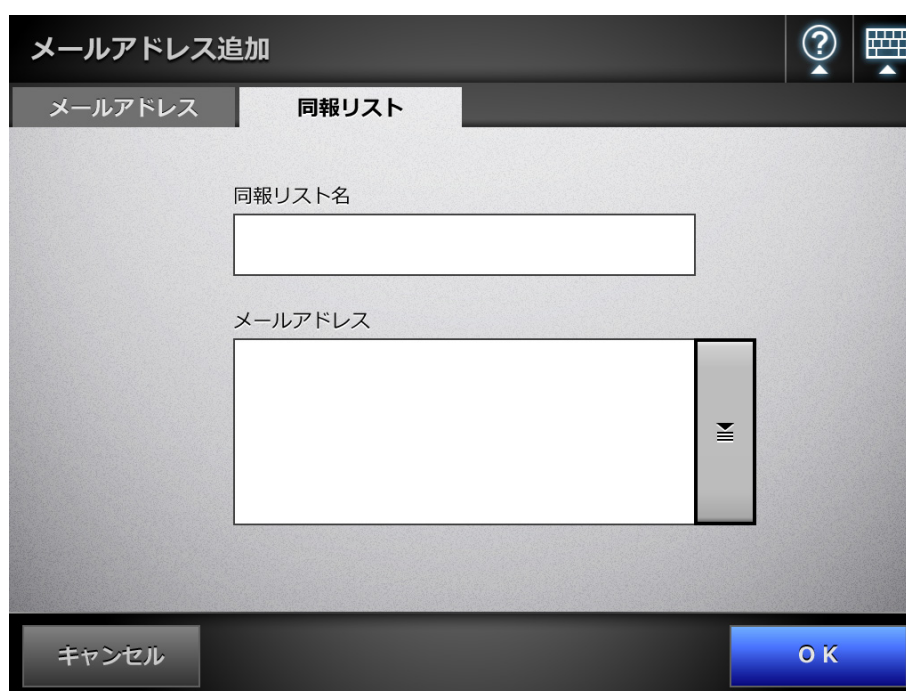
キャンセル OK

- 同報リストを追加する場合
「同報リスト」タブで、同報リスト名、および同報リストに含めるメールアドレスを入力します。
メールアドレスの設定値については、「[B.1 メールアドレスの設定値](#)」(421 ページ)を参照してください。

ヒント

メールアドレスは、を押して、メールアドレス台帳を使用して入力できます。詳細については、「[6.4.1 メールアドレス台帳を使ってメールアドレスを入力します](#)」(252 ページ)を参照してください。

メールアドレス台帳が使用できない場合は、管理者に連絡してください。

**6. [OK] ボタンを押します。**

⇒ My List にメールアドレスおよび同報リストが追加されます。

ヒント


My List は、User Editor を使って編集することもできます。

詳細については、「[付録 E User Editor で編集します](#)」(433 ページ)を参照してください。

6.4.3 メールアドレス台帳を編集します

メールアドレス台帳の My List を編集する方法について説明します。LDAP List は編集できません。

1. 以下のどちらかの方法で、「メールアドレス台帳」画面を表示します。

- 「メール送信」画面で、メールアドレスを入力する項目の横の  を押します。
- 「メインメニュー」画面または「ジョブメニュー」画面で [メンテナンス] ボタンを押して、「メンテナンス」画面で [メールアドレス編集] ボタンを押します。

2. 「My List」タブを押します。

3. [メールアドレス台帳編集] ボタンを押します。

⇒ 「メールアドレス台帳編集」画面が表示されます。

4. 変更するメールアドレスまたは同報リストを選択します。

5.  を押します。

⇒ 「メールアドレス編集」画面が表示されます。

6. 変更する内容に書き換えます。

- メールアドレスを編集する場合
追加するメールアドレスおよび姓名を入力します。
メールアドレスの設定値については、「[B.1 メールアドレスの設定値](#)」(421 ページ) を参照してください。



メールアドレス編集

メールアドレス

姓
富士通


名
名

メールアドレス
user@example.com

キャンセル OK

- 同報リストを編集する場合
同報リスト名、および同報リストに含めるメールアドレスを入力します。
メールアドレスの設定値については、「[B.1 メールアドレスの設定値](#)」(421 ページ) を参照してください。

ヒント

メールアドレスは、を押して、メールアドレス台帳を使用して入力できます。詳細については、「[6.4.1 メールアドレス台帳を使ってメールアドレスを入力します](#)」(252 ページ) を参照してください。
メールアドレス台帳が使用できない場合は、管理者に連絡してください。



7. [OK] ボタンを押します。

⇒ メールアドレス台帳の内容が変更されます。


ヒント

My List は、User Editor を使って編集することもできます。
詳細については、「[付録 E User Editor で編集します](#)」(433 ページ) を参照してください。

6.4.4 メールアドレス台帳からメールアドレスを削除します

My List からメールアドレスおよび同報リストを削除する方法について説明します。
LDAP List からは削除できません。

1. 以下のどちらかの方法で、「メールアドレス台帳」画面を表示します。

- 「メール送信」画面で、メールアドレスを入力する項目にある  を押します。
- 「メインメニュー」画面または「ジョブメニュー」画面で [メンテナンス] ボタンを押して、「メンテナンス」画面で [メールアドレス編集] ボタンを押します。

2. 「My List」タブを押します。

3. [メールアドレス台帳編集] ボタンを押します。

⇒ 「メールアドレス台帳編集」画面が表示されます。

4. 削除するメールアドレスまたは同報リストを選択します。

5.  を押します。

⇒ 「メールアドレス削除」画面が表示されます。

ここでは、メールアドレスを削除した場合の画面を例に説明します。

6. 削除内容を確認して、[OK] ボタンを押します。



メールアドレス削除

以下のデータを削除してよろしいでしょうか？

姓	富士通
名	名
メールアドレス	user@example.com

キャンセル OK

⇒ メールアドレスが削除されます。

ヒント

My List は、User Editor を使って編集することもできます。


詳細については、「[付録 E User Editor で編集します](#)」(433 ページ) を参照してください。

6.5 スキャン画像を FAX で送信します

1. 「メインメニュー」画面で [FAX] ボタンを押します。


⇒ 「FAX 送信」画面が表示されます。

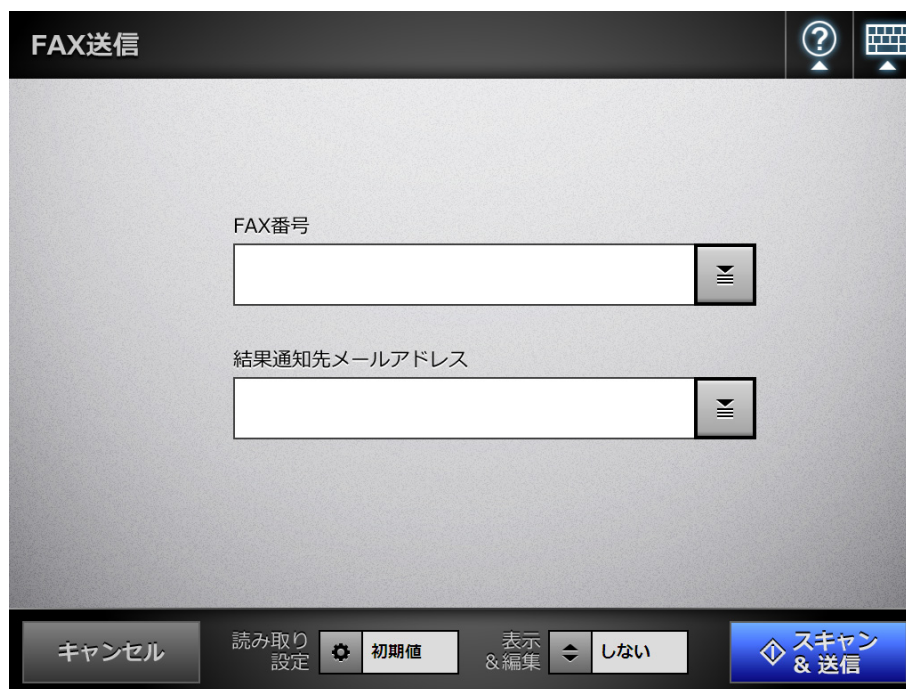
ヒント

「読み取り設定」の  を押すと、読み取り設定を変更できます。詳細については、「[6.9 読み取り設定をします](#)」(297 ページ) を参照してください。

2. 「FAX 番号」に、送信先の FAX 番号を入力します。

ヒント

FAX 番号は、 を押して、FAX 番号台帳から入力することもできます。詳細については、「[6.5.1 FAX 番号台帳を使って FAX 送信先を入力します](#)」(267 ページ) を参照してください。



スクリーンショットは「FAX送信」画面を示しています。画面の上部には「FAX送信」というタイトルと、ヘルプ（？）とキーボードアイコンがあります。中央には「FAX番号」と「結果通知先メールアドレス」の2つの入力欄があり、それぞれプルダウンメニューアイコンが付いています。下部には「キャンセル」、「読み取り設定」（設定アイコン）、「初期値」、「表示 & 編集」（上下矢印）、「しない」というボタンがあり、右側には大きな青い「スキャン & 送信」ボタンがあります。

3. 「結果通知先メールアドレス」に、FAX 送信の結果を通知するメールアドレスを入力します。

メールアドレスの設定値については、「[B.1 メールアドレスの設定値](#)」(421 ページ) を参照してください。

4. [スキャン&送信] ボタンを押します。

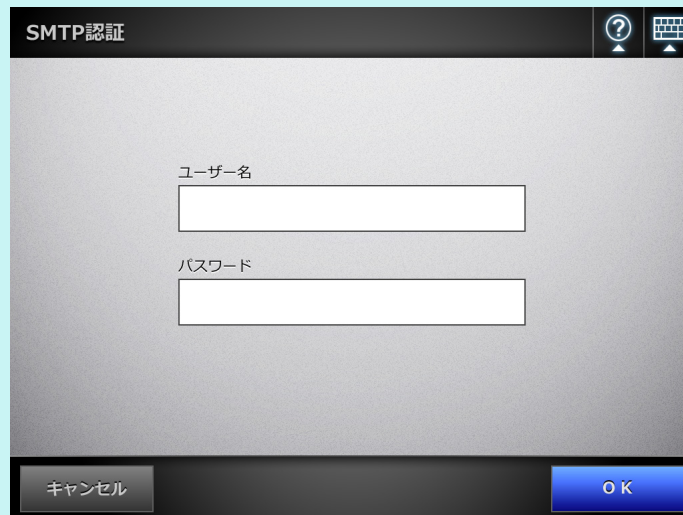
「表示&編集」が「する」の場合は、[スキャン] ボタンを押します。

⇒ 読み取りが開始されます。

⇒ 読み取りが完了したあと、スキャン画像がすぐに FAX 送信され、「メインメニュー」画面に戻ります。

ヒント

「SMTP 認証」画面が表示された場合は、SMTP サーバにアクセスするための認証情報を入力して、[OK] ボタンを押します。



The image shows a screen titled "SMTP認証" (SMTP Authentication). It features two input fields: "ユーザー名" (Username) and "パスワード" (Password). At the bottom, there are two buttons: "キャンセル" (Cancel) and "OK". The screen has a dark header with a question mark icon and a keyboard icon.



ヒント

- 「表示&編集」が「する」の場合（[スキャン] ボタンを押した場合）は、読み取り中は、読み取り状態および読み取り時の設定内容が表示されます。
読み取れる最大ページ数は 999 ページです。
「白紙ページ削除」を有効にしている場合、白紙ページ削除されたページ数が表示されま
す。
白紙ページ削除された分は、最大ページ数まで追加読み取りができます。
読み取りが完了すると、「表示&編集」画面が表示されます。
「表示&編集」画面での編集については、「[6.11 スキャン画像を「表示&編集」画面で確認
します](#)」（337 ページ）を参照してください。
また、「表示&編集」画面の表示については、「[6.10 「表示&編集」画面の表示を設定しま
す](#)」（334 ページ）を参照してください。
- 「結果通知先メールアドレス」には、FAX サーバからの FAX 送信結果が通知されます。
- FAX サーバへの送信に失敗した場合、ログインしている利用者のメールアドレスにスキャ
ナからエラー通知のメールが、以下のタイトルで送信されます。
ネットワークスキャナ XXXX からのエラー通知

6.5.1 FAX 番号台帳を使って FAX 送信あて先を入力します


FAX 送信時に、FAX 番号を直接入力せずに、FAX 番号台帳を使用して FAX 番号を入力する方法について説明します。

FAX 番号台帳を使用した FAX 番号の入力は、「6.5 スキャン画像を FAX で送信します」(264 ページ)の手順 2 で行えます。

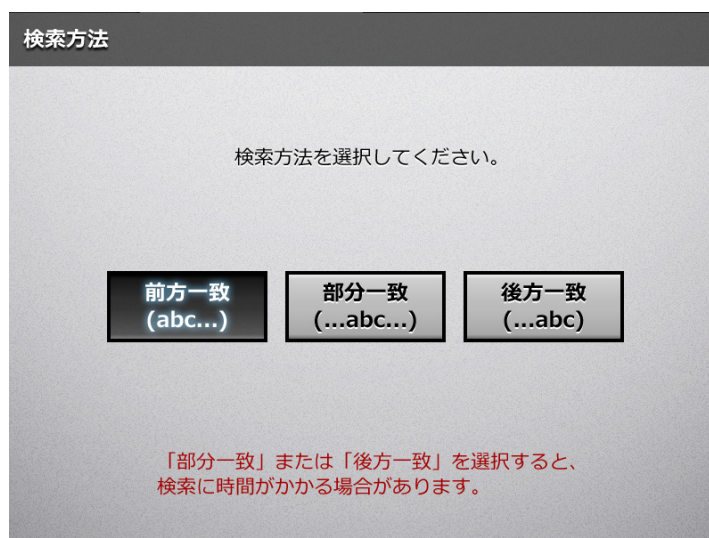
1. 「FAX 送信」画面で、を押します。

⇒ 「FAX 番号台帳」画面が表示されます。



2. 検索条件のボタン（[あて先] ボタンまたは [FAX 番号] ボタン）を押して、検索する項目を選択します。
3. 「検索文字列」に、検索文字列を入力します。
4. 検索方法の  を押します。
⇒ 「検索方法」画面が表示されます。

5. 検索方法を選択します。



⇒ 「FAX 番号台帳」画面に戻ります。選択した内容が [検索方法] ボタンの右に表示されます。

6. を押します。

⇒ 検索結果が右側に名前で 5 件ずつ表示されます。



7. 検索結果の中から、FAX 送信あて先を選択します。

8. [OK] ボタンを押します。

⇒ 「FAX 送信」画面に FAX 番号が入力されます。

一度に入力できる番号は 1 回の送信あたり 1 件です。

6.5.2 FAX 番号台帳に FAX 送信あて先を追加します


FAX 番号台帳に、FAX 送信あて先を追加する方法について説明します。

FAX 番号台帳に登録できる FAX 番号の最大登録件数は、1,000 件です。すでに 1,000 件登録されている場合は、追加できません。

ヒント

追加した FAX 送信あて先は、すべてのユーザーが共有して利用できます。

1. 以下のどちらかの方法で、「FAX 番号台帳」画面を表示します。

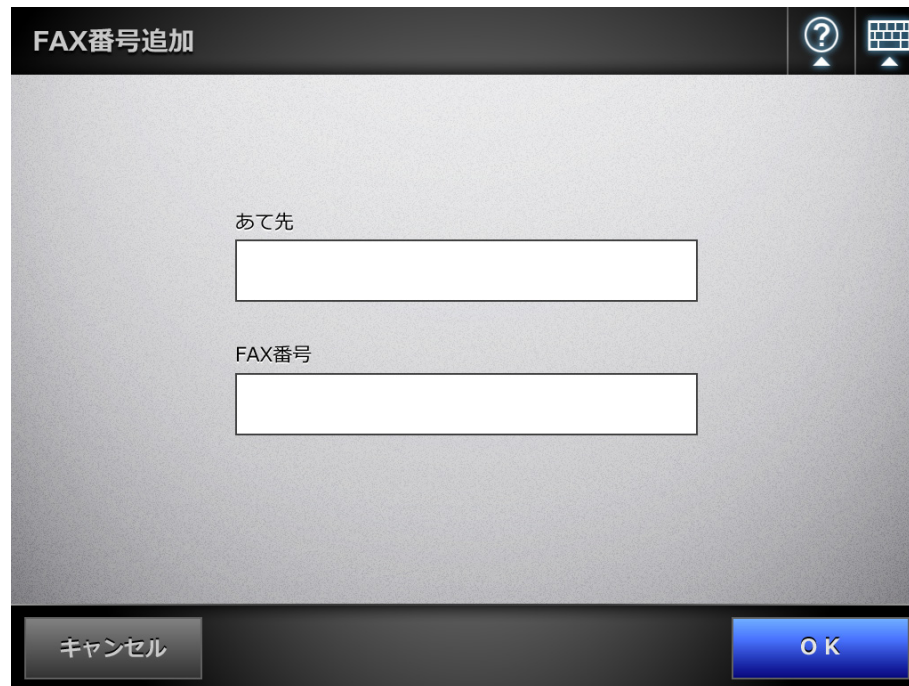
- 「FAX 送信」画面で、を押します。
- 「メインメニュー」画面または「ジョブメニュー」画面で [メンテナンス] ボタンを押して、「メンテナンス」画面で [FAX 番号編集] ボタンを押します。

2. を押します。



⇒ 「FAX 番号追加」画面が表示されます。

3. 追加する FAX 番号の情報を入力します。



The screenshot shows a dialog box titled "FAX番号追加" (Add FAX Number). The dialog has a dark header bar with the title, a question mark icon, and a keyboard icon. The main area is light gray and contains two input fields. The first field is labeled "あて先" (Destination) and the second is labeled "FAX番号" (FAX Number). At the bottom, there are two buttons: "キャンセル" (Cancel) on the left and "OK" on the right.


4. [OK] ボタンを押します。

⇒ FAX 番号台帳に FAX 番号が追加されます。


6.5.3 FAX 番号台帳を編集します

編集した FAX 送信あて先は、すべてのユーザーが共有して利用できます。

1. 以下のどちらかの方法で、「FAX 番号台帳」画面を表示します。

- 「FAX 送信」画面で、を押します。
- 「メインメニュー」画面または「ジョブメニュー」画面で [メンテナンス] ボタンを押して、「メンテナンス」画面で [FAX 番号編集] ボタンを押します。

2. 編集する FAX 送信あて先を選択します。

3. を押します。
⇒ 「FAX 番号編集」画面が表示されます。

4. 変更する内容に書き換えます。



FAX番号編集

あて先
abc

FAX番号
123456789


キャンセル OK

5. [OK] ボタンを押します。
⇒ FAX 番号台帳の内容が変更されます。


6.5.4 FAX 番号台帳から FAX 送信あて先を削除します

削除した FAX 送信あて先は、すべてのユーザーが利用できなくなります。

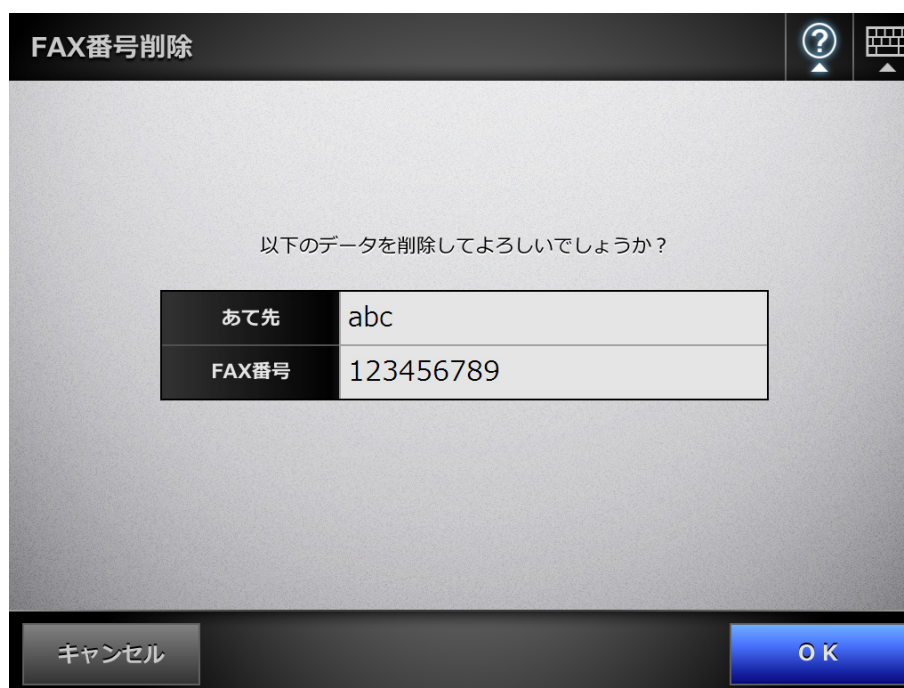
1. 以下のどちらかの方法で、「FAX 番号台帳」画面を表示します。

- 「FAX 送信」画面で、を押します。
- 「メインメニュー」画面または「ジョブメニュー」画面で [メンテナンス] ボタンを押して、「メンテナンス」画面で [FAX 番号編集] ボタンを押します。

2. 削除するあて先を選択します。

3. を押します。
⇒ 「FAX 番号削除」画面が表示されます。

4. 削除内容を確認して、[OK] ボタンを押します。




⇒ FAX 番号が削除されます。


6.6 スキャン画像を印刷します

1. 「メインメニュー」画面で [印刷] ボタンを押します。

⇒「印刷」画面が表示されます。

ヒント

「読み取り設定」の  を押すと、読み取り設定を変更できます。詳細については、「[6.9 読み取り設定をします](#)」(297 ページ) を参照してください。

2. プリンターを変更する場合は、 を押します。



⇒「プリンター一覧」画面が表示されます。

3. 出力先のプリンターを選択して、[OK] ボタンを押します。

ヒント

選択できるプリンターは事前に管理者が登録したプリンターです。登録内容を変更する場合は、管理者に連絡してください。

プリンターの追加方法については、「[4.13 ネットワーク共有プリンターを設定します](#)」(158 ページ) を参照してください。



⇒ 「印刷」画面に戻ります。

ヒント

- 「プリントサーバ認証」画面が表示された場合は、ネットワーク共有プリンターにアクセスするための認証情報を入力して、[OK] ボタンを押します。

- スキャナでは、印刷前にプリントサーバの印刷権限を参照して、事前に印刷可否をチェックしています。ここで、印刷権限を参照するときに、一時的にスプールデータが発生する場合がありますが、異常ではありません。

4. 「部数」を入力します。**重要**

使用しているプリンターによっては、プリントサーバでのプリンター設定が有効になる場合があります。

5. 必要に応じて、印刷設定を変更します。

印刷比率、印刷位置、および印刷面を変更できます。
変更方法については、以下を参照してください。

[「6.6.1 印刷比率を設定します」](#) (278 ページ)

[「6.6.2 印刷位置を設定します」](#) (282 ページ)

[「6.6.3 印刷面を設定します」](#) (284 ページ)

印刷設定を出荷時の設定に戻したい場合は、[初期値] ボタンを押してください。

重要

使用しているプリンターによっては、プリントサーバでのプリンター設定が有効になる場合があります。

6. [スキャン] ボタンを押します。

「表示&編集」が「しない」の場合、[スキャン&印刷] ボタンを押します。

⇒ 読み取りが開始されます。

読み取り中は、読み取り状態および読み取り時の設定内容が表示されます。

読み取れる最大ページ数は 100 ページです。

「白紙ページ削除」を有効にしている場合、白紙ページ削除されたページ数が表示されます。

白紙ページ削除された分は、最大ページ数まで追加読み取りができます。

⇒ 読み取りが完了すると、「表示&編集」画面が表示されます。

「表示&編集」画面での編集については、「[6.11 スキャン画像を「表示&編集」画面で確認します](#)」(337 ページ) を参照してください。

ヒント

- 「表示&編集」が「しない」の場合（[スキャン&印刷] ボタンを押した場合）は、読み取りが完了したあと、スキャン画像がすぐに印刷され、「メインメニュー」画面に戻ります。
詳細については、「[6.10 「表示&編集」画面の表示を設定します](#)」(334 ページ) を参照してください。
- スキャナでは、印刷前にプリントサーバの印刷権限を参照し、事前に印刷可否をチェックしています。ここで、印刷権限を参照するとき、一時的にスプールデータが発生する場合がありますが、異常ではありません。

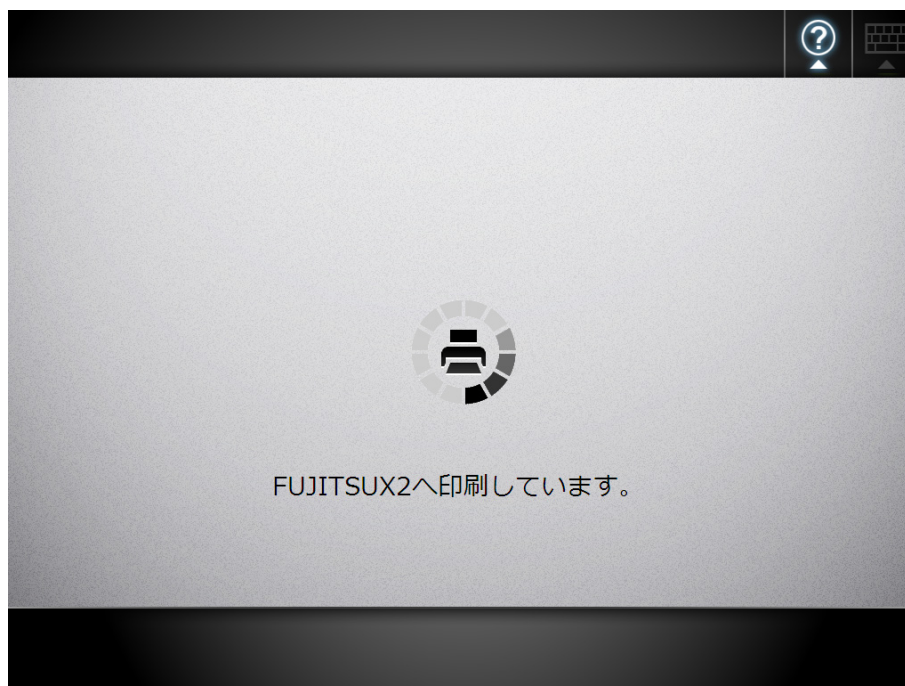
7. スキャン画像を確認します。

「表示&編集」画面での確認については、「[6.11 スキャン画像を「表示&編集」画面で確認します](#)」(337 ページ) を参照してください。

8. 「表示&編集」画面で [印刷] ボタンを押します。

⇒ 印刷データがプリントサーバに送信され、印刷されます。

送信されたスキャンデータのドキュメント名は、スキヤナのスキヤナ名になります。

**重要**

ユーザーログには、プリントサーバへスキャン画像の送信が完了するまでの結果が表示されます。ネットワーク共有プリンターの印刷結果は表示されません。ユーザーログについては、「[6.12 ユーザーログの詳細情報を参照します](#)」(340 ページ)を参照してください。

ヒント

印刷に失敗した場合、LDAP サーバ認証でログインしたユーザーのメールアドレスに、スキヤナから以下のタイトルでエラー通知メールが送信されます。

ネットワークスキヤナ XXXX からのエラー通知

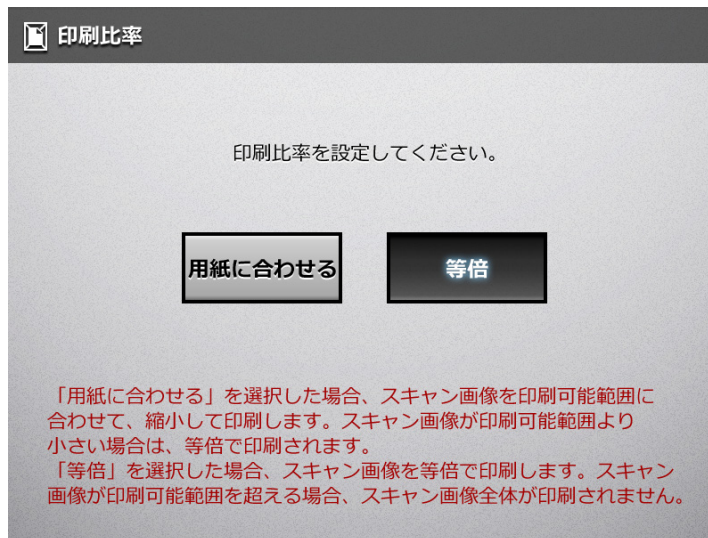
6.6.1 印刷比率を設定します

印刷する用紙サイズに合わせて、スキャン画像を印刷するかどうかを設定します。ここで設定した内容は、ユーザー単位で前回利用した印刷情報が表示されます。

1. 「印刷」画面で [印刷比率] ボタンを押します。

⇒ 「印刷比率」画面が表示されます。

2. スキャン画像の印刷比率を選択します。

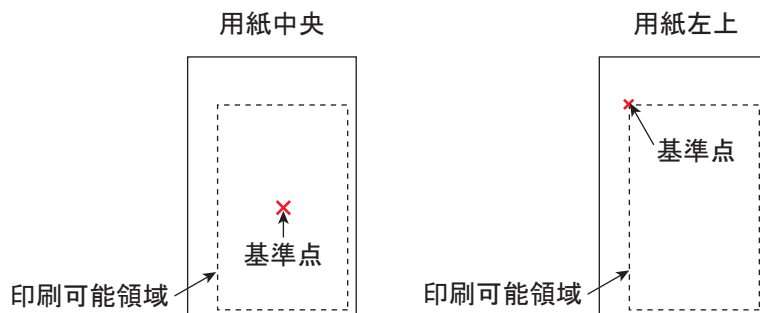













印刷結果は、印刷位置の設定によって、以下のように異なります。印刷位置については、「[6.6.2 印刷位置を設定します](#)」(282 ページ)を参照してください。

- 用紙に合わせる

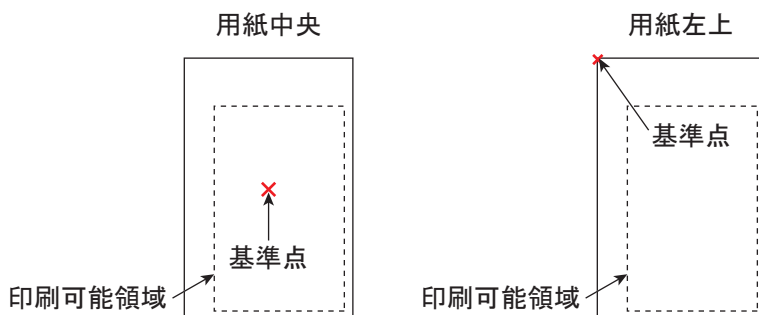
スキャン画像全体が、印刷可能領域（点線内）に納まるように縮小されて、印刷されます。拡大はされません。

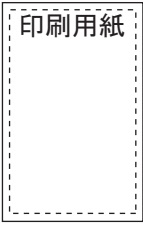



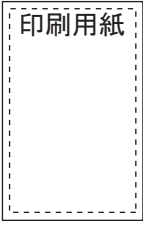



- 印刷位置の設定が「用紙中央」の場合、印刷用紙の印刷可能領域の中央を基準点に印刷されます。
- 印刷位置の設定が「用紙左上」の場合、印刷用紙の印刷可能領域の左上を基準点に印刷されます。





印刷用紙	スキャン画像	印刷位置	印刷結果
小さい 	大きい スキャン画像 	用紙中央	
		用紙左上	
大きい 	小さい スキャン画像 	用紙中央	
		用紙左上	
同じ 	同じ スキャン画像 	用紙中央	
		用紙左上	

- 等倍
スキャン画像は、印刷用紙の大きさに関係なく、そのままの大きさで印刷されます。
- 印刷位置の設定が「用紙中央」の場合、印刷用紙の中央を基準点に印刷されます。
- 印刷位置の設定が「用紙左上」の場合、印刷用紙の左上を基準点に印刷されます。



印刷用紙	スキャン画像	印刷位置	印刷結果
小さい 	大きい 	用紙中央	
		用紙左上	
大きい 	小さい 	用紙中央	
		用紙左上	

印刷用紙	スキャン画像	印刷位置	印刷結果
同じ 	同じ 	用紙中央	
		用紙左上	

⇒「印刷」画面に戻ります。選択した内容が「印刷比率」ボタンの右に表示されず。

重要

- プリンターで設定されている余白部分には印刷されません。
そのため、枠消し設定を行っていても、枠消し設定以上に印刷されない部分が増える可能性があります。枠消し設定については、「[6.9.20 スキャン画像の枠消し幅を調整します](#)」(332 ページ)を参照してください。
- 「用紙に合わせる」を設定した場合、枠消しした部分は印刷データに含まれません。「等倍」を設定した場合、枠消しした部分も印刷データに含まれます。
- 等倍印刷時、使用しているプリンターによって、印刷開始位置および印刷領域が異なるため、原稿と比較した場合、位置がずれて印刷されることがあります。

6.6.2 印刷位置を設定します

スキャン画像を用紙のどこに印刷するかを設定します。
ここで設定した内容は、ユーザー単位で前回利用した印刷情報が表示されます。

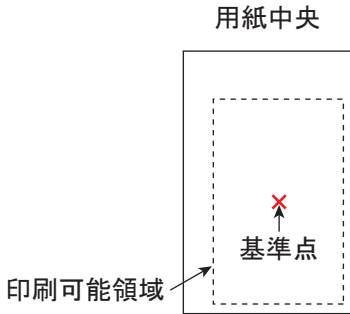
1. 「印刷」画面で [印刷位置] ボタンを押します。

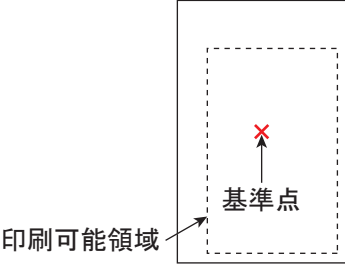
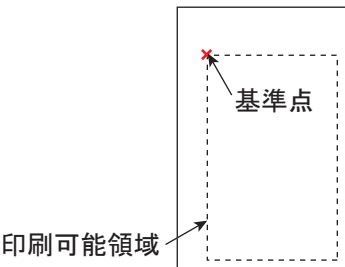
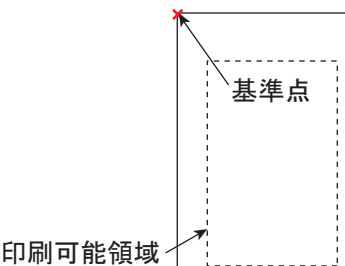
⇒ 「印刷位置」画面が表示されます。

2. 印刷位置を選択します。



印刷結果は、印刷比率の設定によって、以下のように異なります。印刷比率については、「[6.6.1 印刷比率を設定します](#)」(278 ページ) を参照してください。

ボタン	印刷比率	基準点
用紙中央	用紙に合わせる	印刷用紙の印刷可能領域の中央を基準点に印刷されます。 

ボタン	印刷比率	基準点
用紙中央	等倍	<p>印刷用紙の中央を基準点に印刷されます。</p> <p>用紙中央</p>  <p>印刷可能領域</p>
用紙左上	用紙に合わせる	<p>印刷可能領域の左上を基準点に印刷されます。</p> <p>用紙左上</p>  <p>印刷可能領域</p>
	等倍	<p>印刷用紙の左上を基準点に印刷されます。</p> <p>用紙左上</p>  <p>印刷可能領域</p>

⇒「印刷」画面に戻ります。選択した内容が「印刷位置」ボタンの右に表示されま
す。

6.6.3 印刷面を設定します

両面印刷するか、片面印刷するかを設定します。

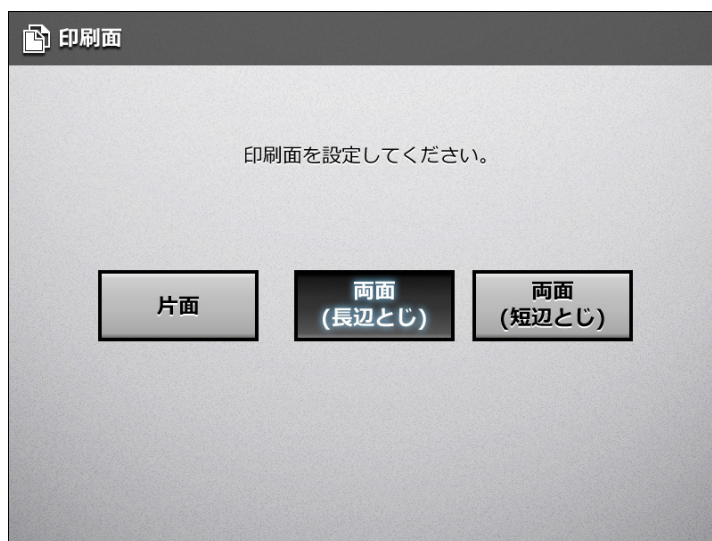
1. 「印刷」画面で [印刷面] ボタンを押します。

⇒ 「印刷面」画面が表示されます。

2. 印刷面を選択します。

重要

使用しているプリンターによっては、長辺とじおよび短辺とじの設定が無効になる場合があります。



⇒ 「印刷」画面に戻ります。選択した内容が [印刷面] ボタンの右に表示されます。


6.7 スキャン画像をフォルダーに保存します

ネットワーク共有フォルダーまたはFTP フォルダーにスキャン画像を保存します。


1. 「メインメニュー」画面で [保存] ボタンを押します。

⇒「保存」画面が表示されます。

ヒント

「読み取り設定」の  を押すと、読み取り設定を変更できます。詳細については、「[6.9 読み取り設定をします](#)」(297 ページ) を参照してください。

2. を押します。



⇒「フォルダー一覧」画面が表示されます。

3. 保存先のフォルダーを選択します。

ヒント

選択できるフォルダーは事前に管理者が登録したフォルダーです。登録内容を変更する場合は、管理者に連絡してください。

ネットワーク共有フォルダーの追加方法については、「[4.12.1 ネットワーク共有フォルダーを設定します](#)」(141 ページ) を参照してください。

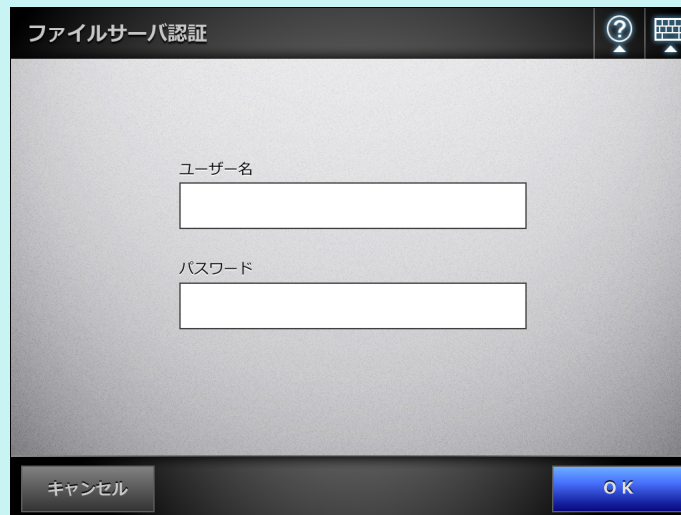
FTP フォルダーの追加方法については、「[4.12.2 FTP フォルダーを設定します](#)」(147 ページ) を参照してください。



4. [OK] ボタンを押します。
⇒「保存」画面に戻ります。


ヒント


「ファイルサーバ認証」画面が表示された場合は、ファイルサーバにアクセスするための認証情報を入力して、[OK] ボタンを押します。



5. 「ファイル名」に、保存するスキャン画像の名前を入力します。

重要

- 以下のファイル名は設定できません。
 - CON
 - PRN
 - AUX
 - CLOCK\$
 - NUL
 - COM0 ~ COM9
 - LPT0 ~ LPT9
- ￥および / は、フォルダーの区切り文字として扱われます。
- 以下の文字は使用できません。
: * ? " < > |
- FTP サーバへ保存する際に、ファイル名に全角文字を使用する場合、ファイル名が長すぎると保存できないことがあります。
- 「読み取り設定」の  を押して表示される画面でファイル形式を変更した場合、「ファイル名」には「保存ファイル名設定」画面で設定したファイル名が再設定されます。

6.  を押して、同名ファイルが指定された場合、上書き保存するかどうかを選択します。

処理が成功したかどうかは、ユーザーログを参照してください。

ユーザーログの参照方法については、「[6.12 ユーザーログの詳細情報を参照します](#)」(340 ページ) を参照してください。

7. [スキャン] ボタンを押します。

「表示&編集」が「しない」の場合、[スキャン&保存] ボタンを押します。

⇒ 読み取りが開始されます。

読み取り中は、読み取り状態および読み取り時の設定内容が表示されます。

読み取れる最大ページ数は 999 ページです。

「白紙ページ削除」を有効にしている場合、白紙ページ削除されたページ数が表示されます。

白紙ページ削除された分は、最大ページ数まで追加読み取りができます。

⇒ 読み取りが完了すると、「表示&編集」画面が表示されます。

「表示&編集」画面での編集については、「[6.11 スキャン画像を「表示&編集」画面で確認します](#)」(337 ページ) を参照してください。

ヒント

「表示&編集」が「しない」の場合（[スキャン&保存] ボタンを押した場合）は、読み取りが完了したあと、スキャン画像がすぐに保存され、「メインメニュー」画面に戻ります。

詳細については、「[6.10 「表示&編集」画面の表示を設定します](#)」(334 ページ) を参照してください。

8. スキャン画像を確認します。

「表示&編集」画面での確認については、「[6.11 スキャン画像を「表示&編集」画面で確認します](#)」(337 ページ)を参照してください。

9. 「表示&編集」画面で [保存] ボタンを押します。

⇒ 指定したファイル形式のファイルがフォルダーに保存されます。



⇒ 「メインメニュー」画面に戻ります。

ヒント


フォルダーへの保存に失敗した場合、LDAP サーバ認証でログインしたユーザーのメールアドレスに、スキャナから以下のタイトルでエラー通知メールが送信されます。
ネットワークスキャナ XXXX からのエラー通知

6.8 スキャン画像を SharePoint フォルダーに保存します

1. 「メインメニュー」画面で [SharePoint に保存] ボタンを押します。

⇒ 「SharePoint に保存」画面が表示されます。

ヒント

「読み取り設定」の  を押すと、読み取り設定を変更できます。詳細については、「6.9 読み取り設定をします」(297 ページ) を参照してください。

2. 「保存先」の  を押します。



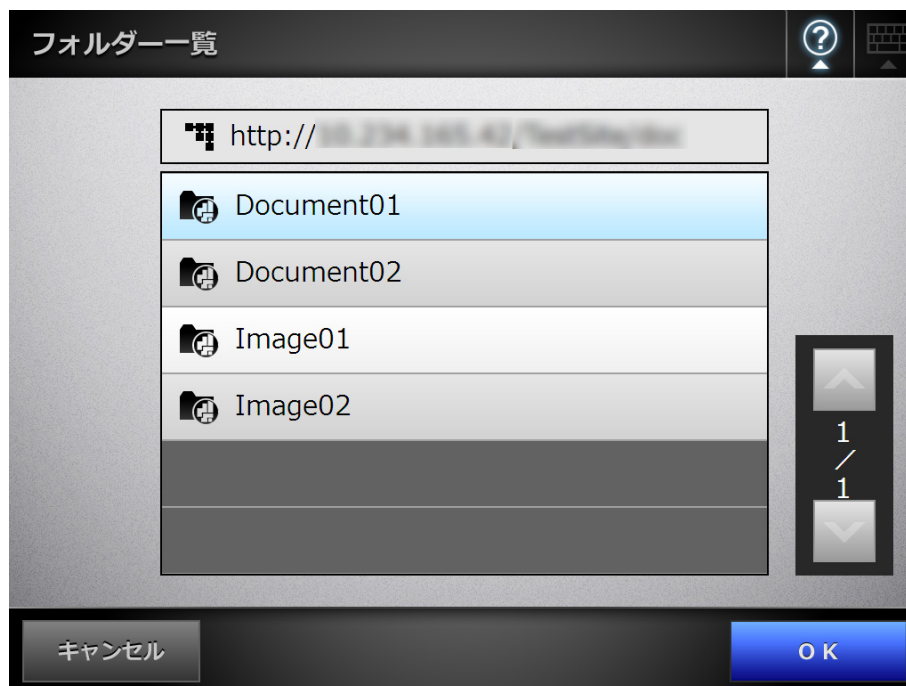
⇒ 「フォルダー一覧」画面が表示されます。

3. 保存先の SharePoint フォルダーを選択して、[OK] ボタンを押します。

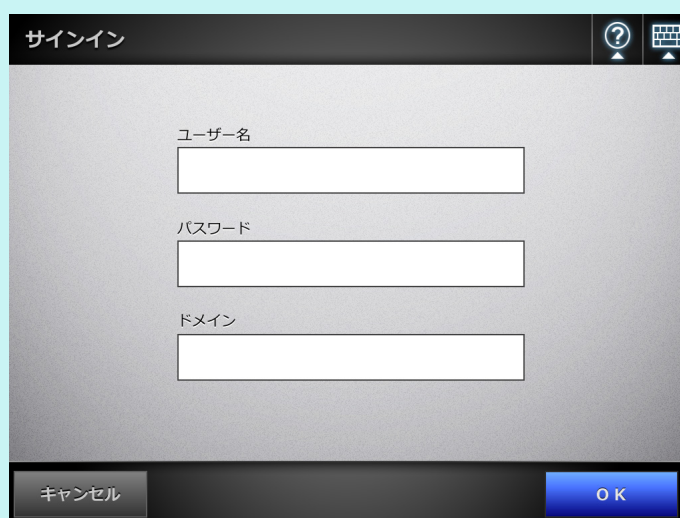
ヒント

選択できる SharePoint フォルダーは事前に管理者が登録したものです。登録内容を変更する場合は、管理者に連絡してください。

SharePoint フォルダーの追加方法については、「[4.12.3 SharePoint フォルダーを設定します](#)」(152 ページ)を参照してください。

**ヒント**


「サインイン」画面が表示された場合は、SharePoint サーバにアクセスするための認証情報を入力して、[OK] ボタンを押します。




⇒ 「SharePoint に保存」画面に戻ります。

4. 「ファイル名」に、保存するスキャン画像の名前を入力します。

重要

- 以下のファイル名は設定できません。
 - CON
 - PRN
 - AUX
 - CLOCK\$
 - NUL
 - COM0 ~ COM9
 - LPT0 ~ LPT9
- ￥および / は、フォルダーの区切り文字として扱われます。
- 以下の文字は使用できません。
~" # % & * : < > ? { | }
- SharePoint サーバへ保存する際に、ファイル名に全角文字を使用する場合、ファイル名が長すぎると保存できないことがあります。
- 「読み取り設定」の  を押して表示される画面でファイル形式を変更した場合、「ファイル名」には「保存ファイル名設定」画面で設定したファイル名が再設定されます。

5.  を押して、同名ファイルが指定された場合、上書き保存するかどうかを選択します。

処理が成功したかどうかは、ユーザーログを参照してください。

ユーザーログの参照方法については、「[6.12 ユーザーログの詳細情報を参照します](#)」(340 ページ) を参照してください。

6.  を押します。

⇒ 「分割設定」画面が表示されます。

スキャン画像のファイルサイズが上限を超えている場合に、ファイルを分割して保存するための設定をします。

7. 「上限ファイルサイズ」に、ファイルを分割するときの1ファイルのファイルサイズの上限を入力して、[OK] ボタンを押します。

分割設定

ファイルサイズが45MBを超える場合、ファイルを分割して格納する必要があります。
分割するファイルサイズを指定してください。

上限ファイルサイズ : MB
1-45

上限ページ数のめやす


カラーモード	ページ
カラー	80
グレースケール	80
白黒	202

キャンセル OK

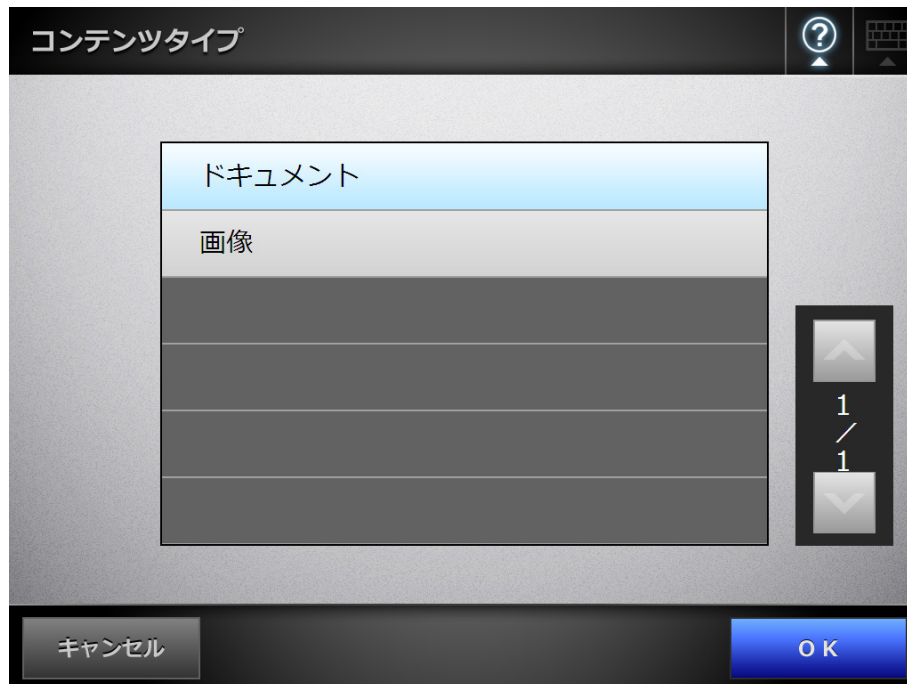
ヒント

- 1ページのファイルサイズが、設定した上限ファイルサイズよりも大きい場合は、1ページずつ保存されます。
- 分割したファイル名の形式は、「元のファイル名 - ファイル番号 - 総ファイル数」です。ファイル番号および総ファイル数は、4桁で付加されます。ファイル番号は、分割された個々のファイルに付く番号を指します。例えば、元のファイル名が「abc」、ファイル番号が「1」、総ファイル数が「5」の場合は「abc0105」となります。

⇒ 「SharePoint に保存」画面に戻ります。


8. 「コンテンツタイプ」の  を押します。
⇒ 「コンテンツタイプ」画面が表示されます。

9. SharePoint サーバでスキャン画像を管理するときのコンテンツタイプを選択して、[OK] ボタンを押します。



- ⇒ コンテンツタイプが設定されます。
選択したコンテンツタイプに応じて、SharePoint サーバ上で定義されているプロパティが「SharePoint に保存」画面に一覧表示されます。

10. 以下のどちらかの方法で、プロパティを設定します。

- 編集するプロパティの入力域で、プロパティを直接入力します。
- 編集するプロパティの  を押して、以下の「プロパティの編集」画面でプロパティを設定します。

**重要**

- 以下のプロパティは、「プロパティの編集」画面からは設定できません。
 - 説明
 - カテゴリ
 - 画像の作成日
- 「プロパティの編集」画面で設定できないプロパティが SharePoint サーバ側で必須入力になっている場合、SharePoint フォルダーにスキャン画像を保存すると、チェックアウト状態で登録されます。チェックアウト状態は、Web ブラウザから必須プロパティを入力すると解除できます。また、チェックアウト状態のファイルは上書きできません。

ヒント

設定できるプロパティは、以下のとおりです。

- 1行テキスト
- 複数行テキスト
- 選択肢
- 数値
- 通貨
- 日付と時刻
- はい/いいえ
- ユーザーまたはグループ
- ハイパーリンクまたは画像

11. [スキャン] ボタンを押します。

「表示&編集」が「しない」の場合、[スキャン&保存] ボタンを押します。

⇒ 読み取りが開始されます。

読み取り中は、読み取り状態および読み取り時の設定内容が表示されます。

読み取れる最大ページ数は 999 ページです。

「白紙ページ削除」を有効にしている場合、白紙ページ削除されたページ数が表示されます。

白紙ページ削除された分は、最大ページ数まで追加読み取りができます。

⇒ 読み取りが完了すると、「表示&編集」画面が表示されます。

「表示&編集」画面での編集については、「[6.11 スキャン画像を「表示&編集」画面で確認します](#)」(337 ページ) を参照してください。

ヒント

「表示&編集」が「しない」の場合（[スキャン&保存] ボタンを押した場合）は、読み取りが完了したあと、スキャン画像がすぐに保存され、「メインメニュー」画面に戻ります。

詳細については、「[6.10 「表示&編集」画面の表示を設定します](#)」(334 ページ) を参照してください。

12. スキャン画像を確認します。

「表示&編集」画面での確認については、「[6.11 スキャン画像を「表示&編集」画面で確認します](#)」(337 ページ) を参照してください。

13. 「表示&編集」画面で [保存] ボタンを押します。

ヒント


- 上書き保存した場合、既存のファイルのプロパティ情報は、すべて新しいファイルのプロパティ情報に置換されます。
- TIFF または JPEG で複数のファイルを保存する場合、保存するすべてのファイルに対して、同一のプロパティ情報が設定されます。
- 保存先にしたフォルダーのコンテンツタイプのプロパティの種別に、「一行テキスト」または「複数行テキスト」以外の入力必須項目が設定されていた場合、SharePoint フォルダーに保存されたファイルはチェックアウト状態になります。チェックアウト状態を解除するには、Web ブラウザを使用して、設定されている必須項目に値を入力してから、チェックインを行ってください。

⇒ 指定したファイル形式のファイルが SharePoint フォルダーに保存されます。

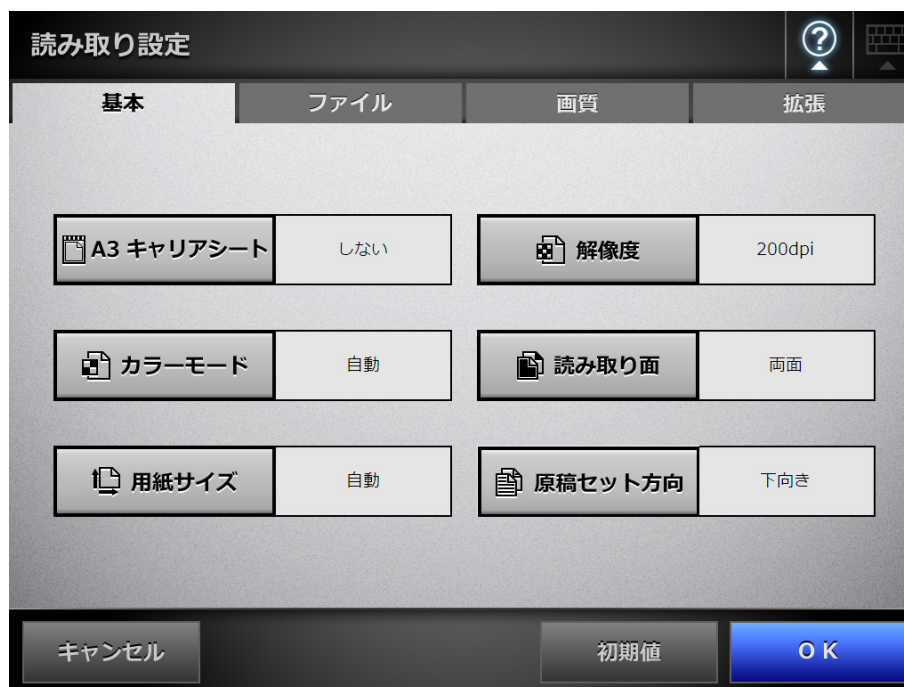


⇒ 「メインメニュー」画面に戻ります。

6.9 読み取り設定をします

以下の画面で「読み取り設定」の  を押すと、「読み取り設定」画面が表示されます。

- 「メール送信」画面
- 「FAX送信」画面
- 「印刷」画面
- 「保存」画面
- 「SharePointに保存」画面



読み取り設定には、以下の設定方法があります。

- 初期値
出荷時の設定に戻す簡易設定です。「初期値」にすると、自動的に推奨の値が設定されます。
- カスタム
初期値の状態からユーザーの利用形態に合わせて変更した状態です。
各設定ボタンを押して個別の値を設定します。

設定した値はユーザーごとに機能単位（メール、FAX、印刷、保存、および SharePoint に保存）で保存され、次回ログイン時も同じ設定で利用できます。

詳細については、「[6.9.1 A3 キャリアシートを設定します](#)」（302 ページ）以降を参照してください。

ヒント

- 設定した値は各ボタンの右に表示されます。
- 設定した値はログインユーザーごとに記憶され、前回の設定から変更した値は、赤い文字で表示されます。
- 「FAX送信」画面および「印刷」画面から「読み取り設定」画面を表示した場合、「ファイル」タブは表示されません。

なお、読み取り設定を変更すると、ほかの読み取り設定の項目に影響を与える場合があります。

それぞれの読み取り設定の影響範囲については、以下のとおりです。

タブ	項目		項目を設定した場合に 設定不可になる項目	項目が設定不可になる 条件
基本	A3 キャリアシート		<ul style="list-style-type: none"> ● 用紙サイズ ● 解像度の「600dpi」 ● 明るさ ● コントラスト ● 裏写り除去 ● マルチフィード検出 	—
	カラーモード	自動	<ul style="list-style-type: none"> ● 用紙サイズの「長尺帳票指定を設定しますか？」 ● 出力ファイル形式の「JPEG」 ● ドロップアウトカラー 	—
		カラー	<ul style="list-style-type: none"> ● ドロップアウトカラー 	—
		グレースケール	<ul style="list-style-type: none"> ● 圧縮の「高圧縮PDF」 ● テキスト認識の「マーカークラス出力」 	—
		白黒	<ul style="list-style-type: none"> ● 出力ファイル形式の「JPEG」 ● 圧縮 ● テキスト認識の「マーカークラス出力」 	—

タブ	項目		項目を設定した場合に 設定不可になる項目	項目が設定不可になる 条件
基本	用紙サイズ	自動	● 解像度の「600dpi」	● A3 キャリアシート
		長尺帳票指定を設定しますか？	● 解像度の「600dpi」、 「300dpi」、「自動」 ● テキスト認識 ● 白紙ページ削除 ● 原稿向き補正 ● マルチフィード検出	● A3 キャリアシート ● カラーモードの「自動」
		「自動」および 「長尺帳票指定を設定しますか？」 以外	—	● A3 キャリアシート
	解像度	600dpi	● テキスト認識の「全 ページ」、「ページ指 定」 ● 圧縮の「高圧縮 PDF」 ● 原稿向き補正の「自 動」以外	● A3 キャリアシート ● 用紙サイズの「自 動」、「長尺帳票指 定を設定しますか？」
		300dpi、自動	● 解像度の「600dpi」、 「300dpi」、「自動」	● 用紙サイズの「長尺 帳票指定を設定しま すか？」
		150dpi、200dpi	—	—
	読み取り面		—	—
原稿セット方向		—	—	

タブ	項目		項目を設定した場合に 設定不可になる項目	項目が設定不可になる 条件
ファイル (*1)	出力ファイル形式	PDF	—	—
		JPEG	● テキスト認識 ● PDF パスワードロック	● カラーモードの「白 動」、「白黒」
		TIFF、 MTIFF	● 圧縮の「高圧縮 PDF」	—
	テキスト認 識 (*2)	先頭ページだけ	—	● 用紙サイズの「長尺 帳票指定を設定しま すか？」 ● 出力ファイル形式の 「PDF」以外
		全ページ、 ページ指定	—	● 用紙サイズの「長尺 帳票指定を設定しま すか？」 ● 出力ファイル形式の 「PDF」以外 ● 解像度の「600dpi」
		先頭マーカーだ け、 全マーカー	● 明るさ ● コントラスト ● 裏写り除去	● カラーモードの「グ レースケール」、「白 黒」 ● 出力ファイル形式の 「PDF」以外 ● 用紙サイズの「長尺 帳票指定を設定しま すか？」
	PDF パスワードロック		—	● 出力ファイル形式の 「PDF」以外
	圧縮	高圧縮 PDF	—	● カラーモードの「グ レースケール」、「白 黒」 ● 解像度の「600dpi」 ● 出力ファイル形式の 「PDF」以外
		高圧縮 PDF 以外	—	● カラーモードの「白 黒」

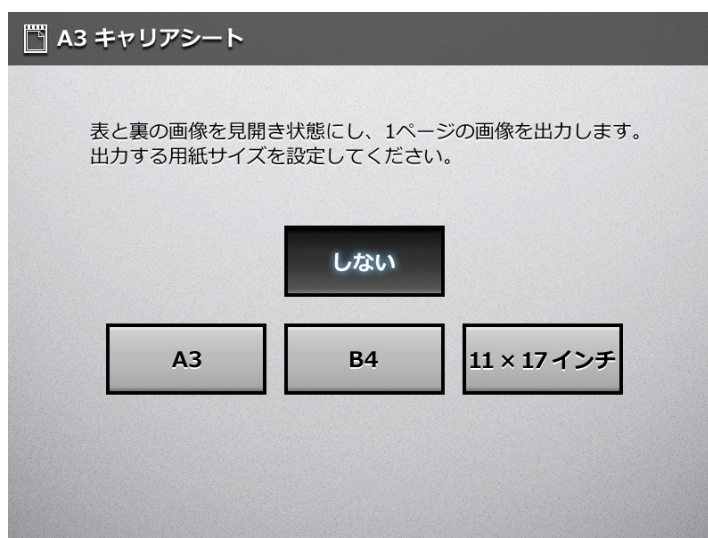
タブ	項目		項目を設定した場合に 設定不可になる項目	項目が設定不可になる 条件
画質	明るさ		—	<ul style="list-style-type: none"> ● A3 キャリアシート ● テキスト認識の「マーカー・インデックス出力」
	コントラスト		—	<ul style="list-style-type: none"> ● A3 キャリアシート ● テキスト認識の「マーカー・インデックス出力」
	シャープネス		—	—
	ドロップアウトカラー	しない	—	● カラーモードの「自動」、「カラー」
		しない以外	—	<ul style="list-style-type: none"> ● A3 キャリアシート ● カラーモードの「自動」、「カラー」
裏写り除去		—	<ul style="list-style-type: none"> ● A3 キャリアシート ● テキスト認識の「マーカー・インデックス出力」 	
拡張	白紙ページ削除		—	<ul style="list-style-type: none"> ● A3 キャリアシート ● 用紙サイズの「長尺帳票指定を設定しますか？」
	原稿向き補正	自動	—	● 用紙サイズの「長尺帳票指定を設定しますか？」
		自動以外	—	<ul style="list-style-type: none"> ● A3 キャリアシート ● 用紙サイズの「長尺帳票指定を設定しますか？」 ● 解像度の「600dpi」
	マルチフィード検出		—	<ul style="list-style-type: none"> ● A3 キャリアシート ● 用紙サイズの「長尺帳票指定を設定しますか？」
枠消し		—	—	

- (*1): 「印刷」画面または「FAX 送信」画面から、「読み取り設定」画面を表示した場合、「ファイル」タブは表示されません。
- (*2): テキスト認識には、「検索可能な PDF 出力」および「マーカー・インデックス出力」の項目が含まれます。

6.9.1 A3 キャリアシートを設定します

A3 キャリアシートを使用するかしないかを設定します。
また、A3 キャリアシートを使用する場合、読み取った原稿を出力するときの用紙サイズを設定します。

1. 「読み取り設定」画面で「基本」タブを押します。
2. [A3 キャリアシート] ボタンを押します。
⇒ 「A3 キャリアシート」画面が表示されます。
3. A3 キャリアシートを使用するかどうかと、使用する場合は出力する用紙サイズを選択します。

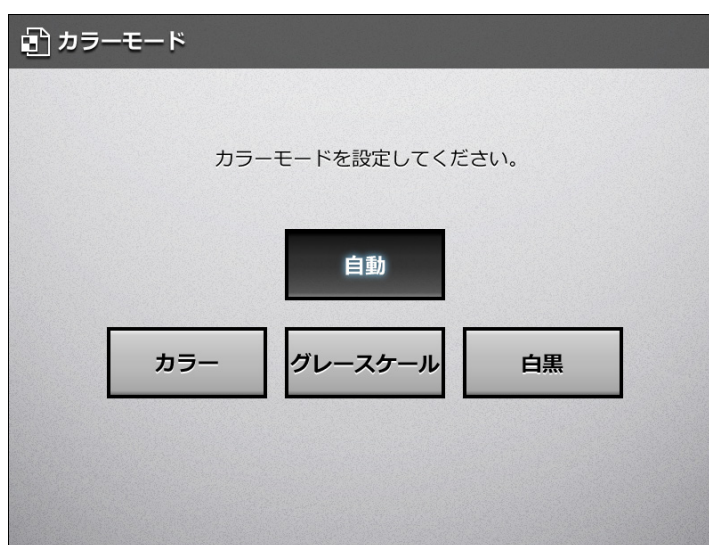


- ⇒ 「読み取り設定」画面に戻ります。選択した内容が [A3 キャリアシート] ボタンの右に表示されます。

6.9.2 カラーモードを設定します

原稿をカラーで読み取るか、白黒で読み取るかを設定します。

1. 「読み取り設定」画面で「基本」タブを押します。
2. [カラーモード] ボタンを押します。
⇒「カラーモード」画面が表示されます。
3. カラーモードを選択します。



⇒「読み取り設定」画面に戻ります。選択した内容が[カラーモード] ボタンの右に表示されます。

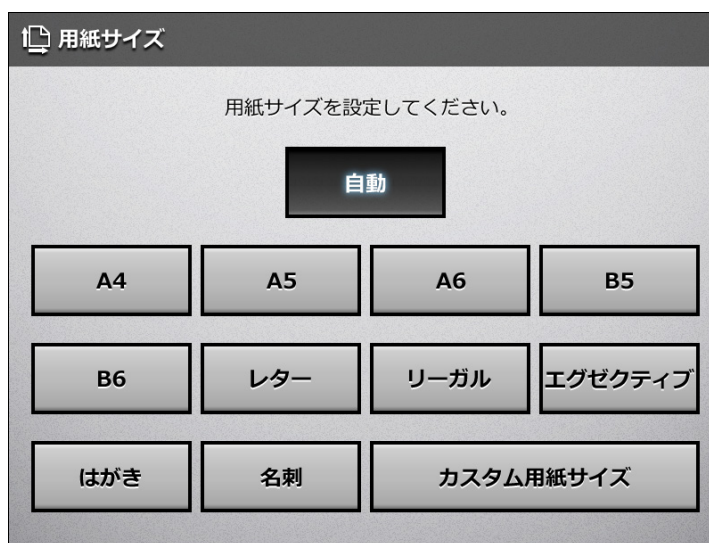
ヒント

- 通常は、「自動」を選択してください。
読み取るたびに原稿に合わせてカラーモードを変更する必要がなくなります。
ただし、原稿によっては、白黒またはグレースケールと判別される場合があります。
 - 全体的に薄い色が付いた原稿
 - 一部分に少しだけカラーがある原稿
 - カラー2色刷りで、使用している色が濃い灰色（グレー）などの黒に近い色を多用している原稿例えば、用紙の端の影およびパンチ穴の背景色の影響などを避けるため、用紙の上下左右の端から16mmの範囲（名刺やはがき、A6、B6の小さい原稿の場合は4mmの範囲）は、カラー判定の対象外となります。
これらの原稿をカラーとして読み取りたい場合は、[カラー] ボタンを押してください。
- 白黒原稿でも、表などが塗りつぶされた原稿は、グレースケールと判断される場合があります。

6.9.3 用紙サイズを設定します

読み取る原稿の用紙サイズを設定します。

1. 「読み取り設定」画面で「基本」タブを押します。
2. [用紙サイズ] ボタンを押します。
⇒「用紙サイズ」画面が表示されます。
3. 用紙サイズを選択します。



⇒「読み取り設定」画面に戻ります。選択した内容が[用紙サイズ] ボタンの右に表示されます。

重要

「自動」の場合は、原稿と同じサイズ（最大 215.9 × 355.6mm）でスキャン画像が出力されます。

ただし、以下のような原稿を読み取ると、用紙サイズが検出できない場合があります。

- 厚さが 52g/m² 未満の原稿
- 長方形ではない原稿
- リーガルより長い原稿

ヒント

- 「自動」以外の用紙サイズを選択した場合、片面原稿を読み取ると、スキャン画像の裏面に表面の印刷内容が写りやすくなります（裏写り）。裏写りすると白紙ページとして認識されにくくなるため、白紙ページを削除する設定にしても削除されない場合があります。白紙ページの削除については、「[6.9.17 スキャン画像から白紙ページを削除します](#)」（328 ページ）を参照してください。
- [カスタム用紙サイズ] ボタンを押すと、「カスタム用紙サイズ」画面で、スキャン画像の用紙サイズをお好みの大きさに指定できます。
なお、長さが 355.6mm 以上の用紙サイズを設定する場合は、長尺帳票指定をする必要があります。詳細については、「[長尺読み取り用紙サイズを設定します](#)」（305 ページ）を参照してください。

■ 長尺読み取り用紙サイズを設定します

規定のサイズより長い原稿を読み取る場合は、長尺帳票指定の設定が必要です。

1. 「読み取り設定」画面で「基本」タブを押します。
2. [用紙サイズ] ボタンを押します。
⇒「用紙サイズ」画面が表示されます。
3. [カスタム用紙サイズ] ボタンを押します。
⇒「カスタム用紙サイズ」画面が表示されます。
4. 「単位」で、用紙サイズの単位を選択します。
5. 「長尺帳票指定を設定しますか？」で「する」を選択します。



6. 用紙サイズを入力します。
7. [OK] ボタンを押します。
⇒ メッセージ画面が表示され、[はい] ボタンを押すと、「読み取り設定」画面に戻ります。[用紙サイズ] ボタンの右に「カスタム用紙サイズ」と表示されます。

6.9.4 出力する解像度を設定します

解像度によって、スキャン画像が以下のように変化します。

項目	解像度が高い場合	解像度が低い場合
読み取り速度	遅い	速い
読み取り品質	高品質	低品質
データサイズ	大きい	小さい

1. 「読み取り設定」画面で「基本」タブを押します。
2. 「解像度」ボタンを押します。
⇒「解像度」画面が表示されます。
3. 解像度を選択します。



⇒「読み取り設定」画面に戻ります。選択した内容が「解像度」ボタンの右に表示されます。

6.9.5 読み取り面を設定します

原稿の読み取り面を設定します。

1. 「読み取り設定」画面で「基本」タブを押します。
2. 「読み取り面」ボタンを押します。
⇒「読み取り面」画面が表示されます。
3. セットした原稿の読み取り面を選択します。

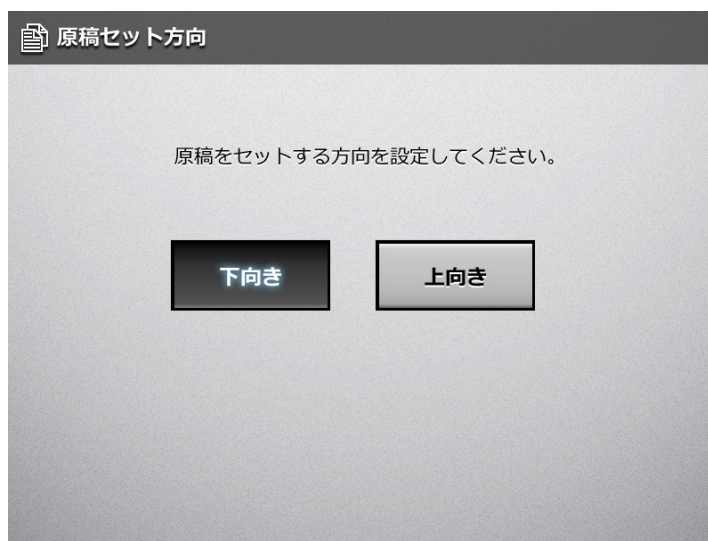


⇒「読み取り設定」画面に戻ります。選択した内容が「読み取り面」ボタンの右に表示されます。

6.9.6 読み取る原稿のセット方向を設定します

スキャナに原稿をセットするときの原稿の向きを設定します。

1. 「読み取り設定」画面で「基本」タブを押します。
2. [原稿セット方向] ボタンを押します。
⇒「原稿セット方向」画面が表示されます。
3. 原稿のセット方向を選択します。



⇒「読み取り設定」画面に戻ります。選択した内容が[原稿セット方向] ボタンの右に表示されます。

6.9.7 ファイル形式を設定します

スキャン画像のファイル形式を設定します。
ファイル形式によって、設定できない読み取り設定項目があります。

設定項目	PDF	JPEG	TIFF	MTIFF
テキスト認識	○	—	—	—
PDF パスワードロック	○	—	—	—
圧縮	○(*1)	○	○(*1)	○(*1)

○：設定可 —：設定不可

*1：カラーモードが「自動」、「グレースケール」、または「カラー」のときに設定できます。

また、ファイル形式によって、圧縮方法が以下のように異なります。

カラーモード	読み取り原稿	出力ファイル形式		
		PDF	JPEG	TIFF/MTIFF
自動	カラー	JPEG または 高圧縮 PDF	JPEG	JPEG
	グレースケール	JPEG	JPEG	JPEG
	白黒	MMR	—	MMR
カラー	カラー グレースケール 白黒	JPEG または 高圧縮 PDF	JPEG	JPEG
グレースケール	カラー グレースケール 白黒	JPEG	JPEG	JPEG
白黒	カラー グレースケール 白黒	MMR	—	MMR

—：設定不可

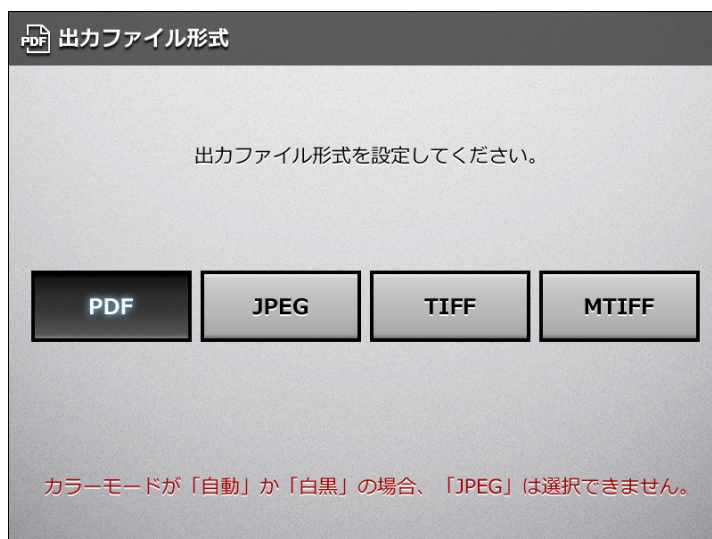
ヒント

PDF を選択した場合、高圧縮にするかどうか選択できます。高圧縮にした場合、文字部分と背景部分を分離して、背景部分を圧縮します。そのため、文字ベースの原稿を読み取ると、文字がきれいなままファイルサイズを小さくできます。

ただし、以下の点に注意してください。

- 写真や図などは、背景とみなされて高圧縮されるため、画像が劣化します。
- 写真などの画像の読み取りには、適していません。
- コントラストが高くなる傾向があります。

1. 「読み取り設定」画面で「ファイル」タブを押します。
2. 「出力ファイル形式」ボタンを押します。
⇒「出力ファイル形式」画面が表示されます。
3. 出力ファイル形式を選択します。



ヒント

PDF を選択した場合、作成された PDF は、Adobe Reader 4.0 以上で表示できます。

⇒「読み取り設定」画面に戻ります。選択した内容が「出力ファイル形式」ボタンの右に表示されます。

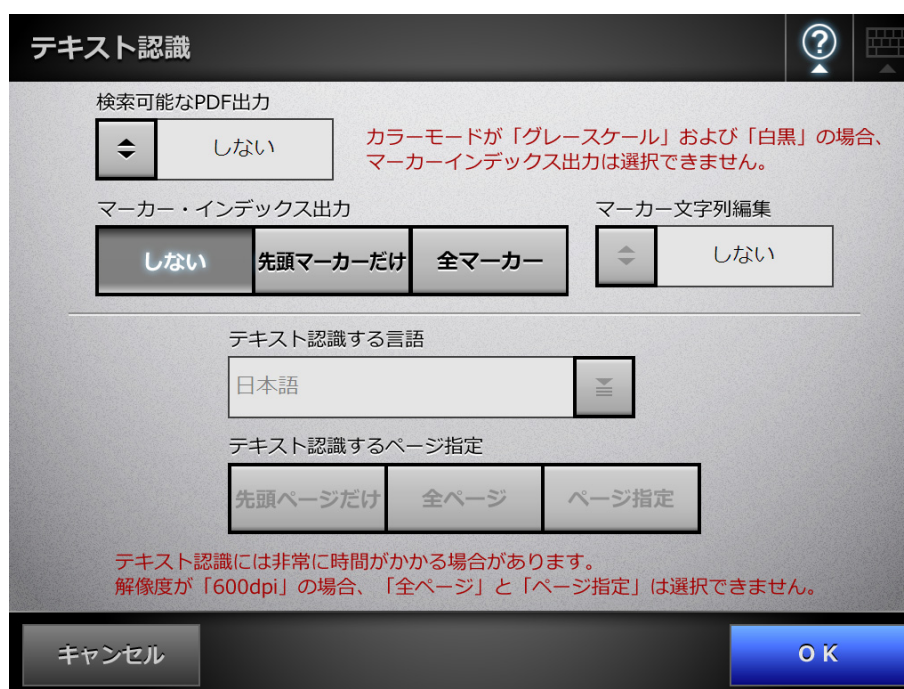
6.9.8 スキャン画像を文字が検索できる PDF ファイルにします

ファイル形式が PDF の場合、読み取る原稿の文字列を自動的に認識して、検索可能な PDF ファイルを作成します。

重要

- 検索可能な PDF ファイルを出力する場合、処理に時間がかかります。
- 以下のような原稿（文字）は、正しくテキスト認識できない場合があります。また、カラーモードを変更したり、解像度を上げて読み取ることで、テキスト認識できる場合があります。
 - 手書き文字の原稿
 - 低解像度で読み取った小さな文字
 - 傾いた原稿
 - イタリック文字で書かれた原稿
 - 上下添え字、複雑な数式
 - 文字の背景が不均一色な原稿、文字の背景に模様がある原稿
例：網掛けされている文字
 - 装飾文字が多い原稿
例：影、白抜きなど装飾がされている文字
- 複雑なレイアウトの原稿および、ノイズの多い原稿（ムラが多い、紙がゆがむ、黒い小さなゴミが混ざっているような原稿）では、認識時間が非常にかかる場合があります。

1. 「読み取り設定」画面で「ファイル」タブを押します。
2. [テキスト認識] ボタンを押します。
⇒「テキスト認識」画面が表示されます。
3. 「検索可能な PDF 出力」で、「する」を選択します。



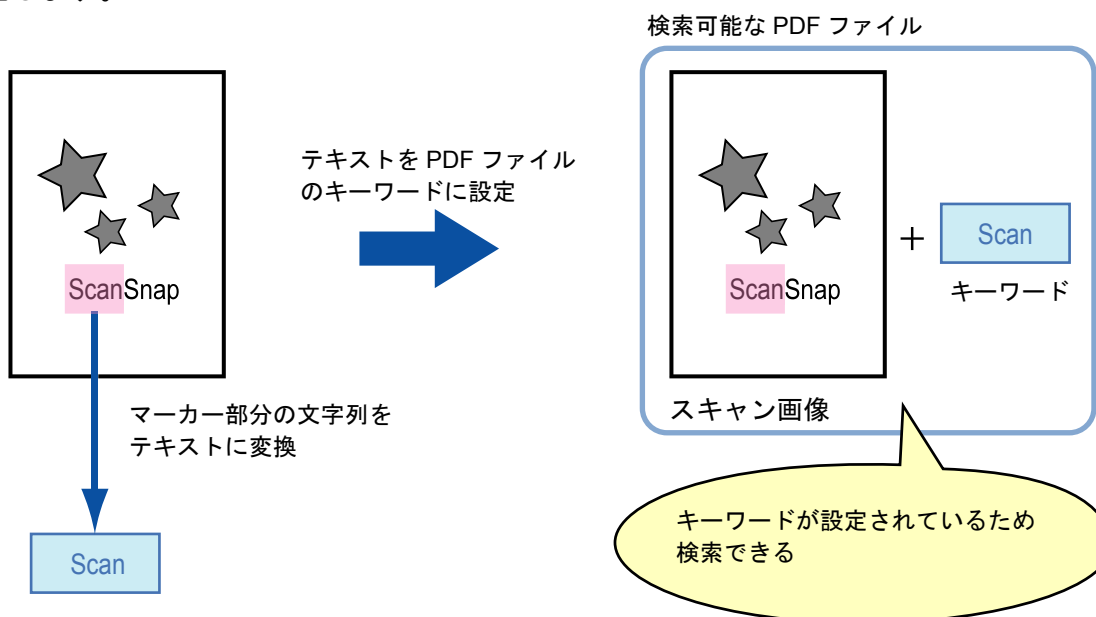
4. 「テキスト認識する言語」で、原稿の文字列をテキスト認識するときの言語を選択します。
5. 「テキスト認識するページ指定」で、検索可能にするページの範囲を選択します。
6. [OK] ボタンを押します。
 - ⇒ 「読み取り設定」画面に戻ります。「テキスト認識するページ指定」で選択した内容が [テキスト認識] ボタンの右に表示されます。

6.9.9 PDF ファイルにキーワードを設定します

白黒原稿のタイトルなどの文字列を PDF ファイルのキーワードに設定して、PDF ファイルの検索に利用できます。

キーワードにしたい文字列を覆うように半透明の水性蛍光ペンで線を引き、その原稿を読み取ると、線を引いた文字列がテキスト認識されて、PDF ファイルのキーワードに設定されます。

以降、水性蛍光ペンで引いた線を「マーカー」、水性蛍光ペンを「マーカーペン」と表記します。



マーカーは、白黒原稿に以下のように引いてください。

- 半透明のマーカーペン（市販品で可）を使用してください。
- 推奨するマーカーの色と濃さは、以下のとおりです。

ピンク	イエロー	ブルー	グリーン
ScanSnap	ScanSnap	ScanSnap	ScanSnap

- 1つのマーカーは、1行（横書き）または1列（縦書き）の文字列に、まっすぐに引いてください。
- サポート範囲のマーカーのサイズは、以下のとおりです。
最小サイズ：短辺 3mm × 長辺 10mm
最大サイズ：短辺 20mm × 長辺 150mm
- 色の薄いマーカーペンを使用すると、マーカーが検出されない場合があります。
- 1ページに使用するマーカーの色は、1色にしてください。
- キーワードにする文字列の上下左右が、完全に覆われるようにマーカーを引いてください。

なお、マーカー全体の色が均一になるように引いてください。

良い例	悪い例 1 (塗り残しがある)	悪い例 2 (色が不均一)
		

- マーカーの数は、1 ページにつき 10 か所以下にしてください。

重要

- 以下の原稿に対しては、マーカー部分の文字列をキーワードとして設定できません。
 - カタログ、パンフレットなどのカラー原稿
 - 2 色以上のマーカーペンが使用されている原稿
 - マーカー以外の色が付いている原稿（マーカーペン以外のペンが使われている場合や、原稿がよごれている場合）
 - 1 ページに多数のマーカーが存在する原稿
- 以下に該当するマーカー部分の文字列は、キーワードとして設定できない場合があります。
 - マーカーのサイズがサポート範囲外の場合
 - 特殊なマーカーの引き方をした場合（斜めに引くなど）
 - 複数のマーカーが密集している場合
 - マーカーペンの色が薄い、または色がかすれている場合

 ScanSnap

- 複数の文字列にマーカーを引く場合は、マーカー同士の間隔を 5mm 以上空けてください。マーカー同士の間隔が狭すぎると、複数のマーカーがつながって、1 つのマーカーとして検出される場合があります。
- 以下の場合、マーカー周辺の文字列がキーワードとして設定される場合があります。
 - マーカーが上下（横書きの場合）または左右（縦書きの場合）の行に重なっている場合
- 以下の場合、マーカーが引かれていない文字列が、キーワードとして設定される場合があります。
 - カタログ、パンフレットなどのカラー原稿
 - 文字 / 図 / 絵 / 表 / 線などに色が付いている原稿
 - キーワードにする文字列以外に、マーカーを引いた部分が存在する原稿
 - よごれている原稿
 - マーカーで囲まれた文字列が存在する原稿

ヒント

- 正しくキーワードを設定できないときは、解像度を上げて読み取ると、キーワードを設定できる場合があります。
- PDF ファイルに設定したキーワードは、Adobe Acrobat の文書のプロパティから確認できます。

PDF ファイルにキーワードを自動設定する場合は、以下の手順で設定を変更します。

重要

- 検索可能な PDF ファイルを出力する場合、処理に時間がかかります。
- 以下のような原稿（文字）は、正しくテキスト認識できない場合があります。また、カラーモードを変更したり、解像度を上げて読み取ることで、テキスト認識できる場合があります。
 - 手書き文字の原稿
 - 低解像度で読み取った小さな文字
 - 傾いた原稿
 - イタリック文字で書かれた原稿
 - 上下添え字、複雑な数式
 - 文字の背景が不均一色な原稿、文字の背景に模様がある原稿
例：網掛けされている文字
 - 装飾文字が多い原稿
例：影、白抜きなど装飾がされている文字
- 複雑なレイアウトの原稿および、ノイズの多い原稿（ムラが多い、紙がゆがむ、黒い小さなゴミが混ざっているような原稿）では、認識時間が非常にかかる場合があります。
- 原稿内の複数箇所で、同じ文字列にマーカーが引かれている場合は、PDF ファイルに同じキーワードが複数追加されます。
- キーワードとして追加する文字数の上限は、複数のキーワード間の区切り文字を含め、255文字です。
- Adobe Acrobat および Adobe Reader でキーワードを確認すると、追加されたキーワードの先頭と末尾に「"」が表示される場合があります。

1. 「読み取り設定」画面で「ファイル」タブを押します。
2. [テキスト認識] ボタンを押します。
⇒ 「テキスト認識」画面が表示されます。

3. 「マーカー・インデックス出力」で、テキスト認識するマーカーの範囲を選択します。

重要

テキスト認識するマーカーの範囲は、カラーモードが「自動」または「カラー」の場合に選択できます。

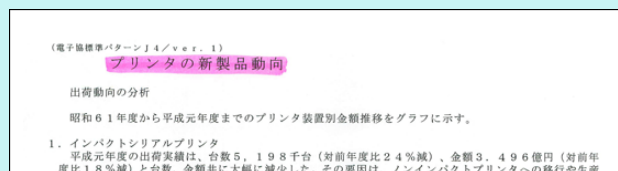
なお、カラーモードを「自動」に設定しても、マーカーの引き方によっては白黒原稿と判別され、マーカー部分の文字列を認識しない場合があります。

原稿のカラー白黒判定については、「[6.9.2 カラーモードを設定します](#)」(303 ページ)を参照してください。

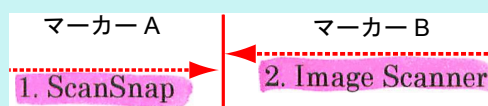
ヒント

「先頭マーカーだけ」の使い方は、以下のとおりです。

- 横書き原稿の表題などを PDF のキーワードにしたい場合に使用してください。
例：文書の表題だけにマーカーを引くと、マーカーを引いた文字列が PDF のキーワードに設定され、表題の文字列で PDF ファイルを検索できるようになります。



- 複数のマーカーが並んでいる場合、原稿の最上部にあるマーカー部分の文字列がキーワードとして設定されます。
例：以下の場合、マーカー A より上部にあるマーカー B の文字列がキーワードに設定されます。



4. **手順3**で「先頭マーカーだけ」または「全マーカー」を選択した場合、「マーカー文字列編集」で、認識したマーカー部分の文字列を、あとで編集できるようにするかを選択します。

ヒント

- 読み取り時に検出されたマーカー部分の文字列を編集できるようにする場合、「表示&編集」画面が読み取り後に表示されるように設定してください。「表示&編集」画面を表示しない設定の場合、編集できません。
- スキャン画像をメール送信 / FAX / 印刷 / 保存するときに、「表示&編集」画面が表示されてから、マーカー部分の文字列を編集するための画面が表示され、キーワードにする文字列を編集できるようになります。

5. 「テキスト認識する言語」で、原稿の文字列をテキスト認識するときの言語を選択します。
6. 「テキスト認識するページ指定」で、テキスト認識の対象とするページを指定します。
7. [OK] ボタンを押します。
⇒ 「読み取り設定」画面に戻ります。「テキスト認識するページ指定」で選択した内容が [テキスト認識] ボタンの右に表示されます。

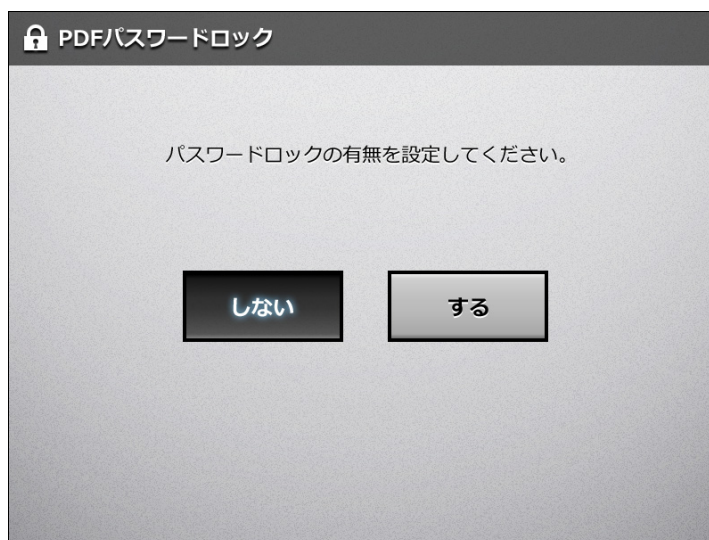
6.9.10 パスワードロックを設定します

ファイル形式が PDF の場合、PDF ファイルにパスワードを設定できます。

重要

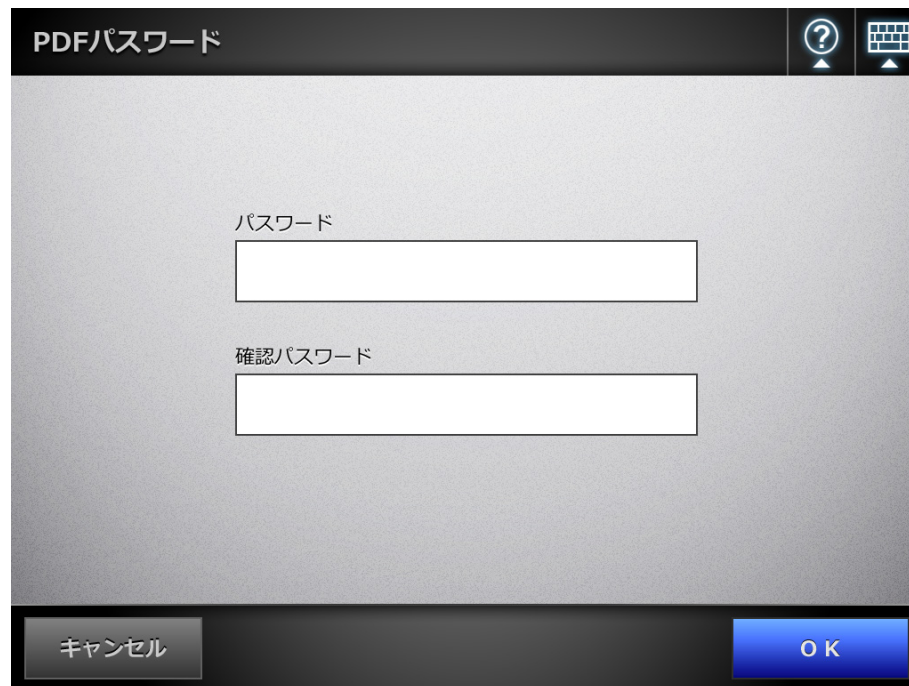
PDF ファイルにパスワードを設定した場合、パスワードを入力しないとファイルを開くことができなくなります。ご注意ください。

1. 「読み取り設定」画面で「ファイル」タブを押します。
2. [PDF パスワードロック] ボタンを押します。
⇒ 「PDF パスワードロック」画面が表示されます。
3. パスワードを設定するかどうかを選択します。



⇒ [する] ボタンを押した場合は、「PDF パスワード」画面が表示されます。

4. パスワードおよび確認パスワードを入力します。



The image shows a dialog box titled "PDFパスワード" (PDF Password). At the top right, there are two icons: a question mark and a keyboard icon. The main area contains two text input fields. The first field is labeled "パスワード" (Password) and the second is labeled "確認パスワード" (Confirm Password). At the bottom, there are two buttons: "キャンセル" (Cancel) on the left and "OK" on the right.

5. [OK] ボタンを押します。

⇒ PDF のパスワードが設定されます。

6.9.11 圧縮率を設定します

「6.9.2 カラーモードを設定します」(303 ページ) で [自動] ボタン、[カラー] ボタン、または [グレースケール] ボタンを押した場合に、スキャン画像の圧縮率を設定できます。

写真や図などの原稿の場合は、圧縮率を高くすると、ファイルサイズを小さくできます。

スキャン画像は、圧縮率によって、以下のように変化します。

	圧縮率が高い場合	圧縮率が低い場合
品質	低品質	高品質
ファイルサイズ	小さい	大きい

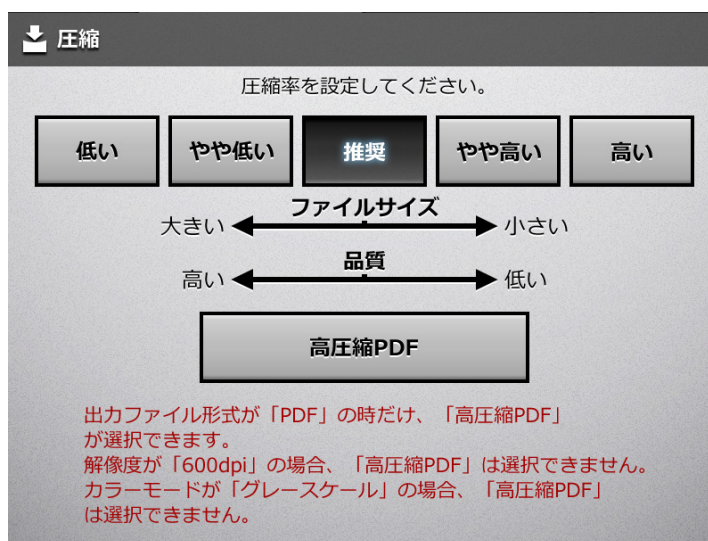
1. 「読み取り設定」画面で「ファイル」タブを押します。

2. [圧縮] ボタンを押します。

⇒「圧縮」画面が表示されます。

3. 圧縮率を選択します。

圧縮率が低いほどファイルサイズが大きく、スキャン画像の品質が高くなります。
「6.9.7 ファイル形式を設定します」(309 ページ) で PDF を選択した場合、[高圧縮 PDF] ボタンが有効になり、高圧縮できます。



⇒「読み取り設定」画面に戻ります。選択した内容が [圧縮] ボタンの右に表示されます。

ヒント

- [高圧縮 PDF] ボタンを押した場合、文字部分と背景部分を分離して、背景部分だけを圧縮します。そのため、文字ベースの原稿を読み取ると、文字がきれいなままでファイルサイズを小さくできます。
ただし、以下の点に注意してください。
 - 写真や図などは、背景とみなされて高圧縮されるため、画像が劣化します。
 - 写真などの画像の読み取りには、適していません。
 - コントラストが高くなる傾向があります。
- [高圧縮 PDF] ボタンを押した場合、原稿によっては標準の圧縮と比べて、ファイルサイズが大きくなる場合があります。
 - 写真や図などが多く、黒い文字が少ない原稿
 - 段組があるなど、レイアウトが複雑な原稿
 - 文字の背景に模様がある原稿
- 文字の多い原稿を、解像度 300dpi で読み取る場合は、高圧縮の PDF にすることで、ファイルサイズをより小さくできます。

ヒント

- カラー原稿 1 枚を、片面で以下のように読み取ったときのファイルサイズの目安を示します。

原稿サイズ：A4（一般カタログ）

ファイル形式：PDF

用紙サイズ指定：A4

- 「カラー」の場合のファイルサイズ（Kバイト）の目安

解像度	圧縮率					
	低い	やや低い	推奨	やや高い	高い	高圧縮 PDF
150dpi	406	232	197	153	94	158
200dpi	647	358	302	238	149	140
300dpi	1319	693	580	448	272	115
600dpi	3827	2034	1736	1377	854	—

- 「グレースケール」の場合のファイルサイズ（Kバイト）の目安

解像度	圧縮率					
	低い	やや低い	推奨	やや高い	高い	高圧縮 PDF
150dpi	380	233	186	153	85	—
200dpi	618	373	293	239	133	—
300dpi	1422	825	606	494	245	—
600dpi	3416	2147	1827	1338	720	—

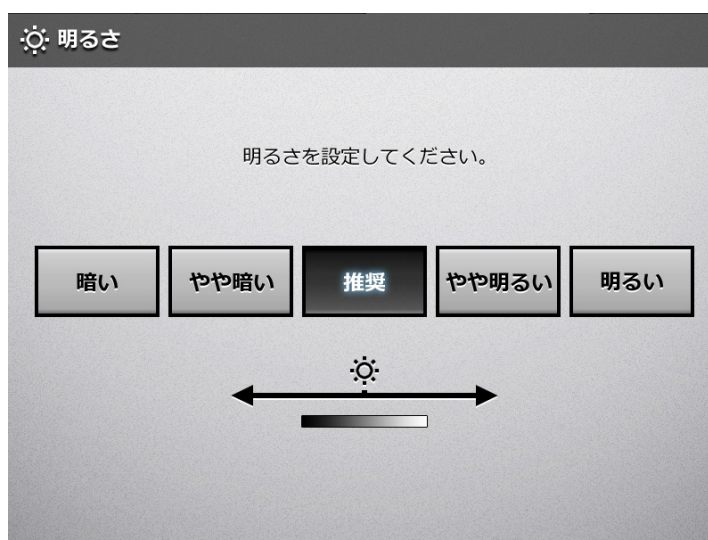
- 「白黒」の場合のファイルサイズ（Kバイト）の目安

解像度	圧縮率は指定できません
150dpi	104
200dpi	176
300dpi	382
600dpi	1430

6.9.12 スキャン画像の明るさを調整します

スキャン画像の明るさを調整して、見やすくできます。

1. 「読み取り設定」画面で「画質」タブを押します。
2. 「明るさ」ボタンを押します。
⇒「明るさ」画面が表示されます。
3. 明るさを選択します。

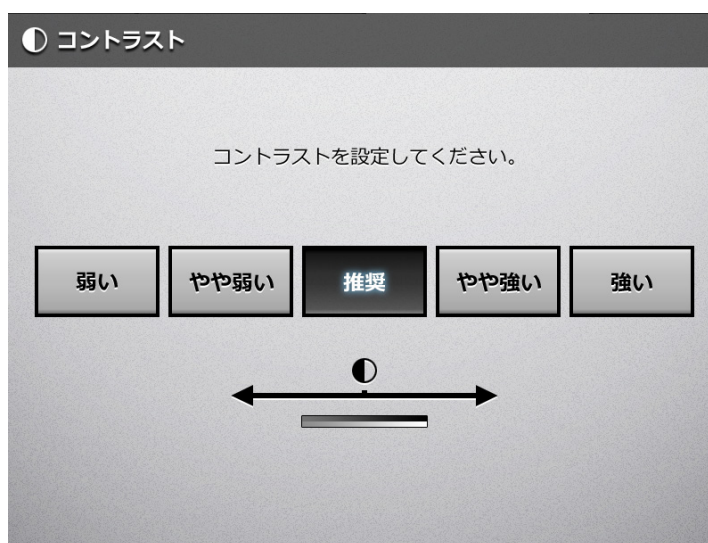


⇒「読み取り設定」画面に戻ります。選択した内容が「明るさ」ボタンの右に表示されます。

6.9.13 スキャン画像のコントラストを調整します

スキャン画像の色の対比を明確にして、見やすくできます。

1. 「読み取り設定」画面で「画質」タブを押します。
2. [コントラスト] ボタンを押します。
⇒「コントラスト」画面が表示されます。
3. コントラストを選択します。

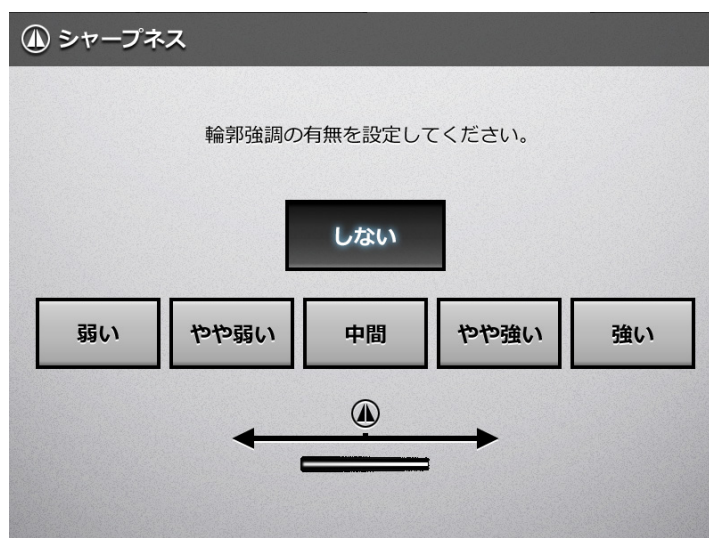


⇒「読み取り設定」画面に戻ります。選択した内容が [コントラスト] ボタンの右に表示されます。

6.9.14 スキャン画像の輪郭強調を調整します

スキャン画像の輪郭を強調することによって、文字を見やすくできます。
ここでは、スキャン画像の輪郭強調をするかしないかと、輪郭強調する場合の調整レベルを設定します。

1. 「読み取り設定」画面で「画質」タブを押します。
2. 「シャープネス」ボタンを押します。
⇒「シャープネス」画面が表示されます。
3. 輪郭強調の有無と、輪郭強調する場合は調整レベルを選択します。



⇒「読み取り設定」画面に戻ります。選択した内容が「シャープネス」ボタンの右に表示されます。

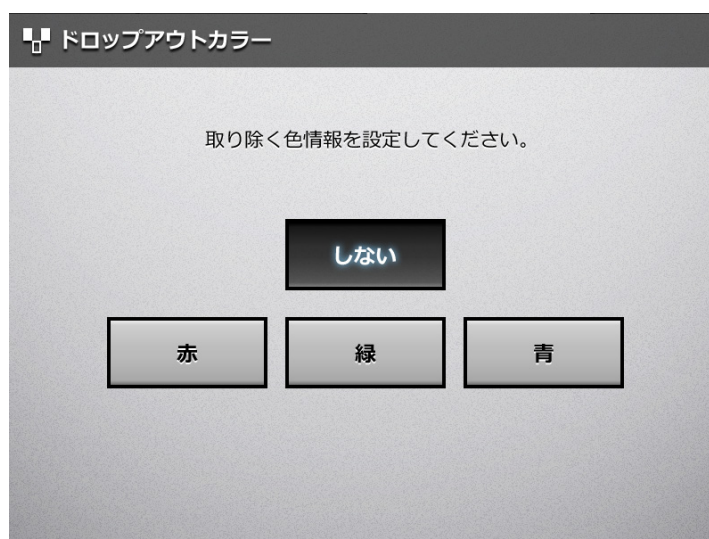
6.9.15 スキャン画像の色情報を取り除きます

読み取り時に、赤、緑、青（光の3原色）の色情報を取り除きます。
例えば、原稿に黒い文字と緑色の枠がある場合、黒い文字だけを読み取ります。
ここでは、色情報を取り除くかどうかと、取り除く場合の取り除く色を設定します。

重要

暗い色（明度が低い色）の色情報は、取り除かれたいことがあります。

1. 「読み取り設定」画面で「画質」タブを押します。
2. [ドロップアウトカラー] ボタンを押します。
⇒「ドロップアウトカラー」画面が表示されます。
3. 色情報を取り除くかどうかと、取り除く場合は取り除く色を選択します。

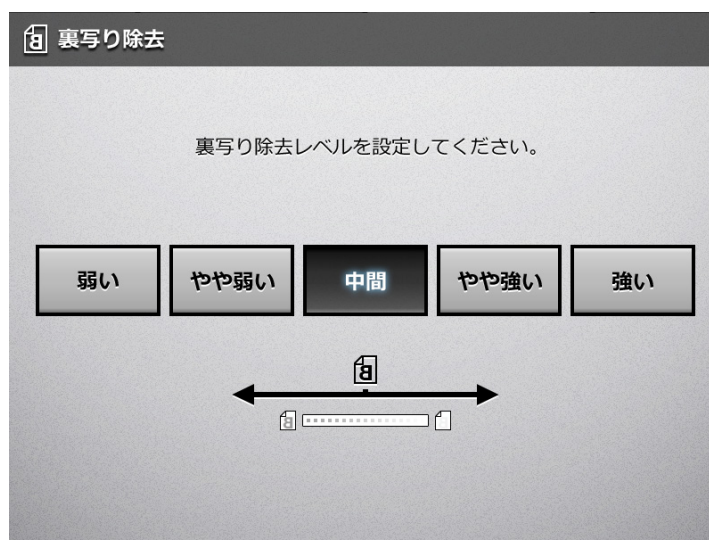


⇒「読み取り設定」画面に戻ります。選択した内容が [ドロップアウトカラー] ボタンの右に表示されます。

6.9.16 スキャン画像の裏写り除去レベルを調整します

スキャン画像の裏写り除去レベルを調整して、裏写りしているスキャン画像を見やすくできます。

1. 「読み取り設定」画面で「画質」タブを押します。
2. 「裏写り除去」ボタンを押します。
⇒「裏写り除去」画面が表示されます。
3. 裏写り除去レベルを選択します。



⇒「読み取り設定」画面に戻ります。選択した内容が「裏写り除去」ボタンの右に表示されます。

ヒント

「スキャナ詳細設定」画面の読み取りモードに「画質重視」が設定されている場合、裏写り除去の調整はできません。詳細については、「[4.6.3 スキャナの詳細設定をします](#)」(99 ページ)を参照してください。

6.9.17 スキャン画像から白紙ページを削除します

読み取ったスキャン画像から、不要な白紙ページを自動的に取り除きます。
例えば、両面原稿と片面原稿が混在した状態で、両面読み取りを行うと、片面原稿の裏面（白紙ページ）だけを取り除いて読み取られます。

重要

- 「6.9.12 スキャン画像の明るさを調整します」（323 ページ）で明るさの設定を「暗い」や「やや暗い」にすると、白紙と認識されない場合があります。
- 読み取った原稿がすべて白紙と認識された場合は、スキャン画像になりません。
- 以下のような原稿は、白紙ページとして判別される場合があります。
読み取った原稿を廃棄する場合は、誤って削除されたページがないかどうかを必ず確認してください。
 - 白紙原稿内に、2、3文字以内の文字だけが書かれている場合。
 - 白色ではなくても、ページ全体が一様色（無地）の場合（黒色も含みます）

1. 「読み取り設定」画面で「拡張」タブを押します。
2. [白紙ページ削除] ボタンを押します。
⇒「白紙ページ削除」画面が表示されます。
3. 白紙ページ削除の有無を選択します。



⇒「読み取り設定」画面に戻ります。選択した内容が[白紙ページ削除] ボタンの右に表示されます。

6.9.18 スキャン画像の向きを補正します

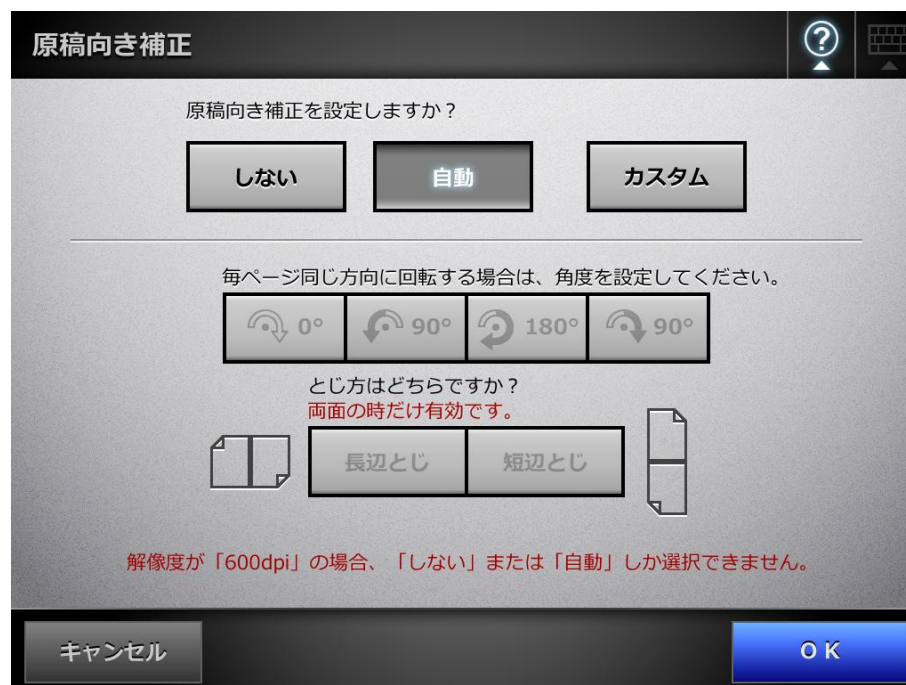
自動的にスキャン画像を回転して、向きがバラバラの原稿の向きを補正できます。

重要

原稿中の文字列を基準にして補正するため、以下のような原稿は正しい向きに補正されない場合があります。このような原稿を読み取る場合は、原稿向き補正を設定しないでください。

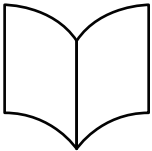
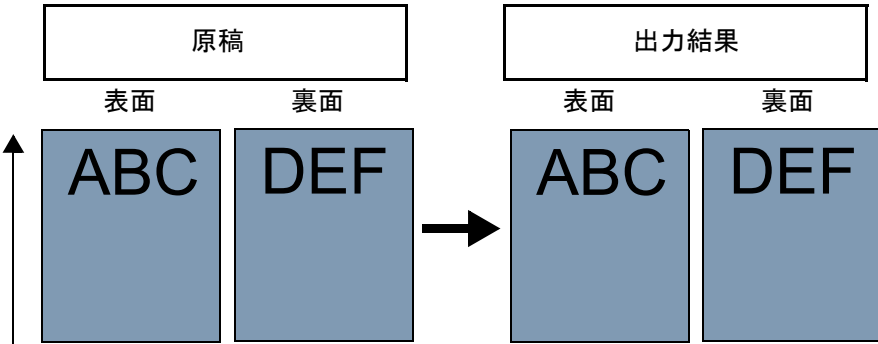

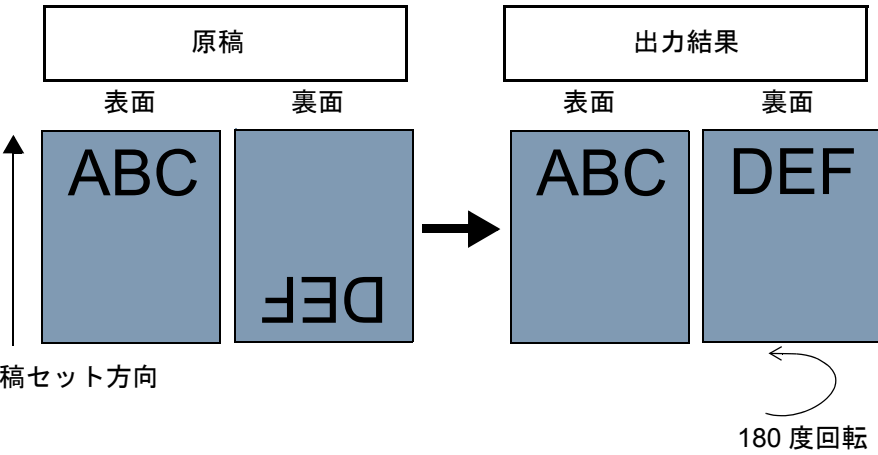
- 極端に大きい文字や小さい文字が多い原稿
- 文字間や行間が、極端に狭かったり、文字が接触している原稿
- 下線や罫線に接触している文字が多い原稿
- 写真や図などが多く、文字の少ない原稿
- 文字の背景に模様がある原稿
- 図面など、文字が一定方向を向いていない原稿
- アルファベット大文字だけで書かれている原稿
- 手書き文字の原稿
- 薄い文字、かすれた文字

1. 「読み取り設定」画面で「拡張」タブを押します。
2. 「原稿向き補正」ボタンを押します。
⇒「原稿向き補正」画面が表示されます。
3. 原稿向き補正を選択します。



両面読み取りをする場合で、ページを回転する角度を設定したときは、とじ方を設定できます。

以下に、とじ方と読み取ったスキャン画像の出力結果について示します。

とじ方	スキャン画像の出力結果
<p>長辺とじ</p> 	<p>左右見開き（長辺を中心とした見開き）で書かれた原稿を、両面読み取りする場合に選択します。 読み取った原稿が、そのままの向きで出力されます。</p> <div style="text-align: center;">  </div>
<p>短辺とじ</p> 	<p>上下見開き（短辺を中心とした見開き）で書かれた原稿を、両面読み取りする場合に選択します。 読み取った原稿が、表面はそのままの向きで出力され、裏面は180度回転して出力されます。</p> <div style="text-align: center;">  </div>

4. [OK] ボタンを押します。

⇒「読み取り設定」画面に戻ります。選択した内容が「原稿向き補正」ボタンの右に表示されます。

ヒント

スキャン画像が誤って補正された場合は、「表示&編集」画面で修正できます。詳細については、「6.11 スキャン画像を「表示&編集」画面で確認します」（337 ページ）を参照してください。

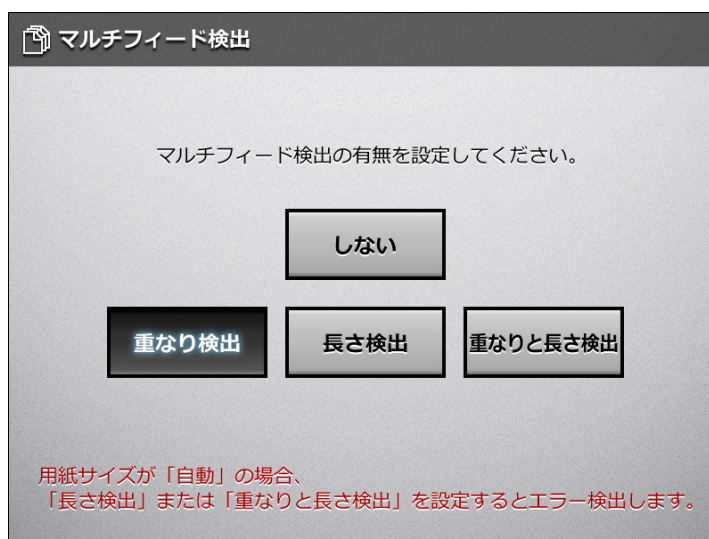
6.9.19 マルチフィードを検出します

マルチフィードとは、一度に2枚以上の原稿が重なってADFに送り込まれてしまう現象のことです。マルチフィードが検出された場合に、読み取りを中止して、エラーメッセージが表示されるように設定できます。

マルチフィードは、原稿の重なり、または長さで検出されます。ここでは、マルチフィード検出をするかしないかと、検出する場合の検出方法を設定します。

マルチフィードを検出する原稿の条件については、「[A.5 マルチフィードの検出条件](#)」(417 ページ)を参照してください。

1. 「読み取り設定」画面で「拡張」タブを押します。
2. [マルチフィード検出] ボタンを押します。
⇒「マルチフィード検出」画面が表示されます。
3. マルチフィード検出の有無と、検出する場合は検出方法を選択します。



重要


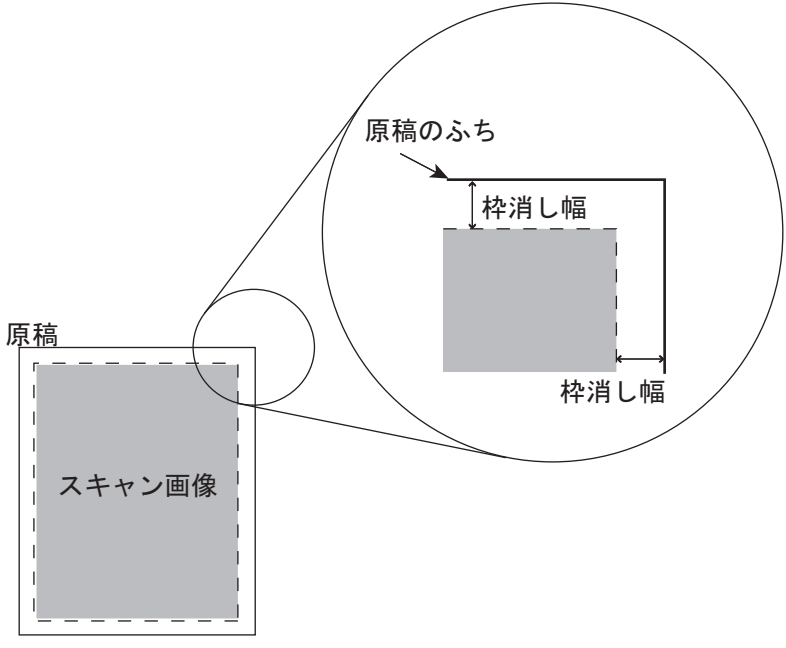
- 「長さ検出」または「重なりと長さ検出」に設定した場合、用紙サイズを「自動」にして、用紙サイズが異なる原稿をまとめて読み取ると、エラーになります。
- 原稿の重なりでマルチフィードが検出された場合、表示されたエラーメッセージで「再試行」ボタンを押すと、原稿の重なりを無視して読み取りを続行できます。

⇒「読み取り設定」画面に戻ります。選択した内容が「マルチフィード検出」ボタンの右に表示されます。

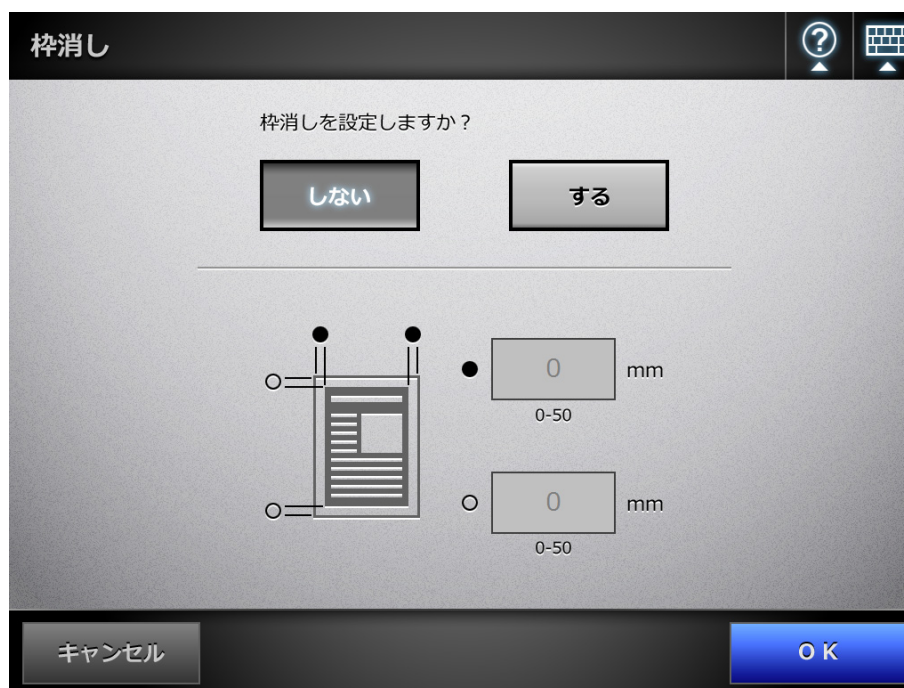
6.9.20 スキャン画像の枠消し幅を調整します

スキャン画像の枠消し幅を調整して、読み取りたくない外側の枠部分を取り除きます。ここでは、スキャン画像の枠消しをするかしないかと、枠消しをする場合の枠消し幅を設定します。

なお、枠消しをする場合としない場合の原稿の読み取り範囲は、以下のとおりです。

枠消し	原稿の読み取り範囲
しない	<p>原稿</p> 
する	 <p>原稿</p> <p>スキャン画像</p> <p>原稿のふち</p> <p>枠消し幅</p> <p>枠消し幅</p>

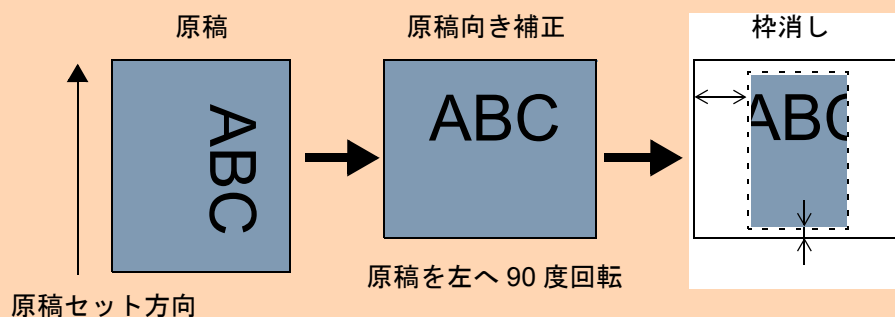
1. 「読み取り設定」画面で「拡張」タブを押します。
2. [悴消し] ボタンを押します。
⇒「悴消し」画面が表示されます。
3. 悴消しの有無と、悴消しをする場合は悴消し幅を設定します。



4. [OK] ボタンを押します。
⇒「読み取り設定」画面に戻ります。選択した内容が [悴消し] ボタンの右に表示されます。

重要

- 悴消し幅（上下・左右の悴消し幅の合計）が原稿よりも大きい場合は、悴消しされません。
- 原稿向き補正が設定されている場合、原稿向き補正したあとに、悴消しが行われます。
例：以下に、「原稿向き補正」画面で「左 90°」を選択した場合の例を示します。



6.10 「表示&編集」画面の表示を設定します

スキャン画像を確認する「表示&編集」画面を表示するかどうかを設定します。「表示&編集」画面では、スキャン画像の確認や編集が行えます。詳細については、「[6.11 スキャン画像を「表示&編集」画面で確認します](#)」(337 ページ)を参照してください。

「表示&編集」画面を表示するかどうかは以下の画面で設定できます。

- 「メール送信」画面
- 「FAX 送信」画面
- 「印刷」画面
- 「保存」画面
- 「SharePoint に保存」画面
- 「ジョブメニュー」画面

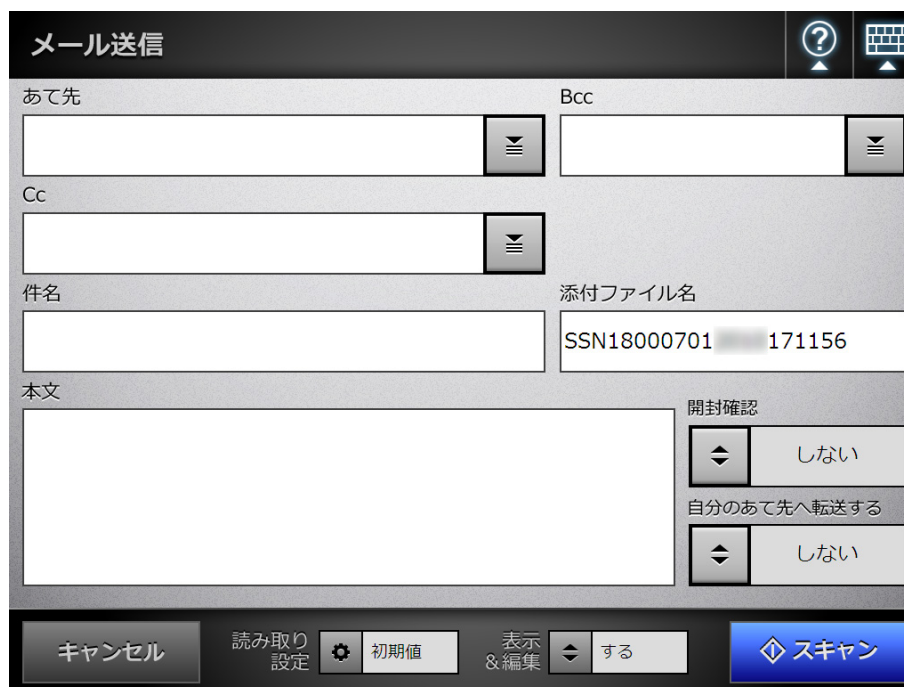
重要

「ジョブメニュー」画面では、「表示&編集」の操作が無効の場合、「表示&編集」画面を表示するかどうかは設定できません。

ここでは、「メール送信」画面で設定する方法について説明します。

1. 「メール送信」画面の「表示&編集」のを押します。

⇒ ボタンを押すたびに、「表示&編集」画面を表示する / しないが切り替わります。



「表示&編集」の「する」と「しない」では、操作の流れが異なります。
メール送信を例に説明します。

「表示&編集」が「する」で
メールを送信する場合

「表示&編集」が「しない」で
メールを送信する場合

「メール送信」画面で [スキャン] ボタ
ンを押します。

「メール送信」画面で [スキャン&送信]
ボタンを押します。

読み取りが開始されます。

読み取った内容が、「表示&編集」画面
に表示されます。



スキャン画像を確認・編集して、[送信]
ボタンを押します。

メールが送信されます。

重要

「表示&編集」を「しない」にしても、以下の場合は「表示&編集」画面が表示されます。

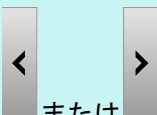
- 読み取り処理が正常に終了しなかった場合
- 「スキャン中」画面で「キャンセル」ボタンを押して、読み取り処理を中止した場合

ヒント

読み取り中には、以下のような画面が表示されます。



- [キャンセル] ボタンは、読み取り中に表示されます。[キャンセル] ボタンを押すと、読み取りを中止する確認メッセージが表示されます。[OK] ボタンを押すと、現在読み取り中の処理まで実施されて、それ以降の読み取り処理は中止されます。中止するまでに読み取った画像が「表示&編集」画面に表示されます。



- または を押すと、読み取り設定の設定値が表示される画面と、読み取り中のスキャン画像が表示される画面が、交互に切り替わります。
- 読み取り中に、画面に表示されるスキャン画像には、以下の処理は行われていません。
 - カラーモード（常にカラーで表示されます）
 - 原稿セット方向（常に下向きで表示されます）
 - 圧縮
 - シャープネス
 - ドロップアウトカラー
 - 白紙ページ削除
 - 原稿向き補正
 - 枠消し
- スキャン画像が表示される画面を表示して読み取りを行うと、読み取る用紙サイズや解像度によっては、読み取り性能が遅くなることがあります。

6.11 スキャン画像を「表示&編集」画面で確認します

読み取り時に「表示&編集」画面を表示する設定になっている場合、スキャン画像を「表示&編集」画面で確認し、編集できます。










6.11.1 スキャン画像を参照します

「表示&編集」画面に表示されたスキャン画像を、原寸表示したり、拡大表示したりできます。表示されたスキャン画像をドラッグすると、移動します。

1. 「表示&編集」画面で、を押して、参照するページを表示します。
2. を押して、表示方法を変更します。

6.11.2 スキャン画像を回転します

「表示&編集」画面に表示されたスキャン画像を、90度単位で回転できます。回転したスキャン画像は、回転した状態のまま、メール送信、FAX送信、印刷、またはネットワーク共有フォルダー保存されます。



1. 「表示&編集」画面で、    を押して、回転させるページを表示します。
2.    を押して、回転します。

ヒント

ページを回転した時点で、スキャン画像は編集された状態となります。

6.11.3 ページを並べ替えます

原稿を2ページ以上読み取った場合に、「表示&編集」画面に表示されたスキャン画像のページを、降順／昇順に並べ替えられます。

1. 「表示&編集」画面で、 を押して、ページを昇順に並べ替えます。
2. ページを昇順にした状態で  を押すと、ページが元の順序（降順）に戻ります。

6.11.4 原稿を追加して読み取ります

「表示&編集」画面が表示されているときに、原稿を追加して読み取れます。

1. ADF 給紙シュートに原稿をセットします。
2. 「表示&編集」画面で [追加読み取り] ボタンを押します。

⇒ 読み取りが開始されます。

読み取り中は、読み取り状態および読み取り時の設定内容が表示されます。表示されるページ数は、追加前のページ数から続きます。

読み取れる最大ページ数は、印刷の場合は100ページ、それ以外の場合は999ページです。






「白紙ページ削除」を有効にしている場合、白紙ページ削除されたページ数が表示されます。

白紙ページ削除された分は、最大ページ数まで追加読み取りができます。

⇒ 読み取りが完了すると、「表示&編集」画面に戻り、スキャン画像が追加されず。

6.11.5 スキャン画像を削除します

「表示&編集」画面に表示されたスキャン画像から、特定のページだけを削除できます。特定のページを削除したスキャン画像は、削除された状態のスキャン画像のまま、メール送信、FAX送信、印刷、またはネットワーク共有フォルダー保存されます。

1. 「表示&編集」画面で、    を押して、削除するページを表示します。
2.  を押します。
⇒ 削除の確認メッセージが表示されます。
3. [OK] ボタンを押します。
⇒ ページが削除されます。

ヒント

- スキャン画像が1ページの場合、ページを削除できません。読み取りをやり直す場合は、[キャンセル] ボタンを押してください。
- ページを削除した時点でスキャン画像は編集されます。元に戻せません。

6.11.6 キーワードとして設定するマーカ一部分の文字列を編集します

マーカ一部分の文字列を、PDF ファイルのキーワードとして設定されるように読み取った場合、テキスト認識されたマーカ一部分の文字列を編集できます。

ヒント

マーカ一部分の文字列を編集できるようにするかどうかの設定については、「[6.9.9 PDF ファイルにキーワードを設定します](#)」(313 ページ) を参照してください。

1. 「表示&編集」画面で、[送信] ボタンや [保存] ボタンなど、処理に応じたボタンを押します。
⇒ マーカ一部分の文字列を編集する画面が表示されます。
2. 画面に表示されているマーカ一部分の文字列を編集します。
3. [OK] ボタンを押します。
⇒ 編集した文字列が PDF ファイルのキーワードとして設定されます。

6.12 ユーザーログの詳細情報を参照します

ログインユーザーのユーザーログ（最新の 100 件）が参照できます。

ユーザーログ一覧は操作順に表示されます。

「タイムゾーン」画面や「日付 / 時刻」画面で設定を変更しても、表示順は変わりません。

1. 「メインメニュー」画面または「ジョブメニュー」画面で、[ユーザーログ] ボタンを押します。

ヒント

「ジョブメニュー」画面の [ユーザーログ] ボタンは、 を押すと表示されます。

⇒ 「ユーザーログ」画面が表示されます。



状態	コード	日付	時刻	操作	ページ
エラー	100D0001	07/08/	10:24:50	FAX	1
正常終了	00000000	07/07/	15:41:56	印刷	2
正常終了	00000000	07/07/	15:40:56	保存	1
エラー	100D0001	07/07/	15:40:04	メール	1

2. 詳細を参照する履歴を選択します。

⇒ 詳細情報が表示されます。


[OK] ボタンを押すと、「ユーザーログ」画面に戻ります。

6.13 メンテナンスします

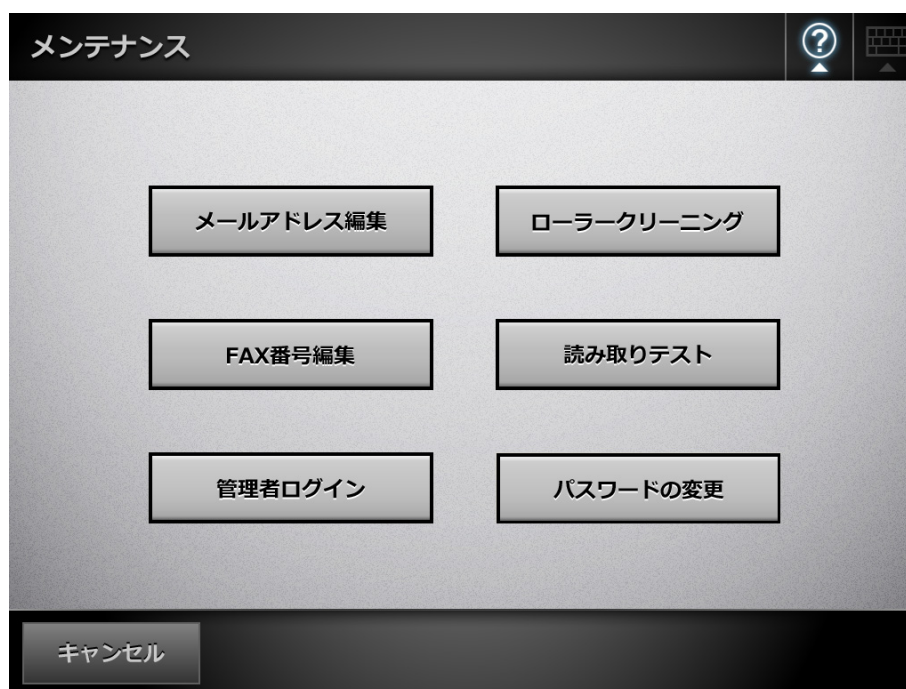
以下のメンテナンスができます。

- メールアドレス台帳の編集
 - FAX 番号台帳の編集
 - ローラークリーニング
 - 読み取りテスト
 - 管理者ログイン（ログイン設定の自動ログインが有効な場合）
 - パスワードの変更（ローカルアカウントでログインした場合）
1. 「メインメニュー」画面または「ジョブメニュー」画面で、[メンテナンス] ボタンを押します。

ヒント

「ジョブメニュー」画面の [メンテナンス] ボタンは、 を押すと表示されます。

⇒ 「メンテナンス」画面が表示されます。



2. 以下のボタンを押して、メンテナンスします。

- [メールアドレス編集] ボタン
「メールアドレス台帳」画面が表示されます。メールアドレスの追加、編集、および削除ができます。
詳細については、以下を参照してください。
[「6.4.2 メールアドレス台帳にメールアドレスを追加します」 \(256 ページ\)](#)
[「6.4.3 メールアドレス台帳を編集します」 \(260 ページ\)](#)
[「6.4.4 メールアドレス台帳からメールアドレスを削除します」 \(262 ページ\)](#)

- [ローラークリーニング] ボタン
「ローラークリーニング」画面が表示されます。スキャナ内部を清掃するときのフィードローラーおよび排出ローラーの回転方法を確認できます。
詳細については、「[フィードローラー（2か所） / 排出ローラー（2か所）](#)」（360ページ）を参照してください。
- [FAX 番号編集] ボタン
「FAX 番号台帳」画面が表示されます。FAX 番号の追加、編集、および削除ができます。
詳細については、以下を参照してください。
「[6.5.2 FAX 番号台帳に FAX 送信あて先を追加します](#)」（269 ページ）
「[6.5.3 FAX 番号台帳を編集します](#)」（271 ページ）
「[6.5.4 FAX 番号台帳から FAX 送信あて先を削除します](#)」（272 ページ）
- [読み取りテスト] ボタン
読み取りテストが行われます。スキャン画像は「表示&編集」画面に表示され、確認できます。
正常に読み取りが行われるかを確認したい場合に、読み取りテストをしてください。
詳細については、「[7.6 読み取りテストをします](#)」（374 ページ）を参照してください。
- [管理者ログイン] ボタン
管理者設定で自動ログインが有効になっている場合に表示されます。
「管理者ログイン」画面が表示され、管理者の画面にログインできます。
詳細については、「[4.2.1 管理者がスキャナからログインします](#)」（73 ページ）を参照してください。
- [パスワードの変更] ボタン
ローカルアカウントのユーザーでログインした場合に表示されます。
「パスワードの変更」画面が表示され、ログインしているユーザーのパスワードを変更できます。
詳細については、「[6.15 ユーザーのパスワードを変更します](#)」（352 ページ）を参照してください。

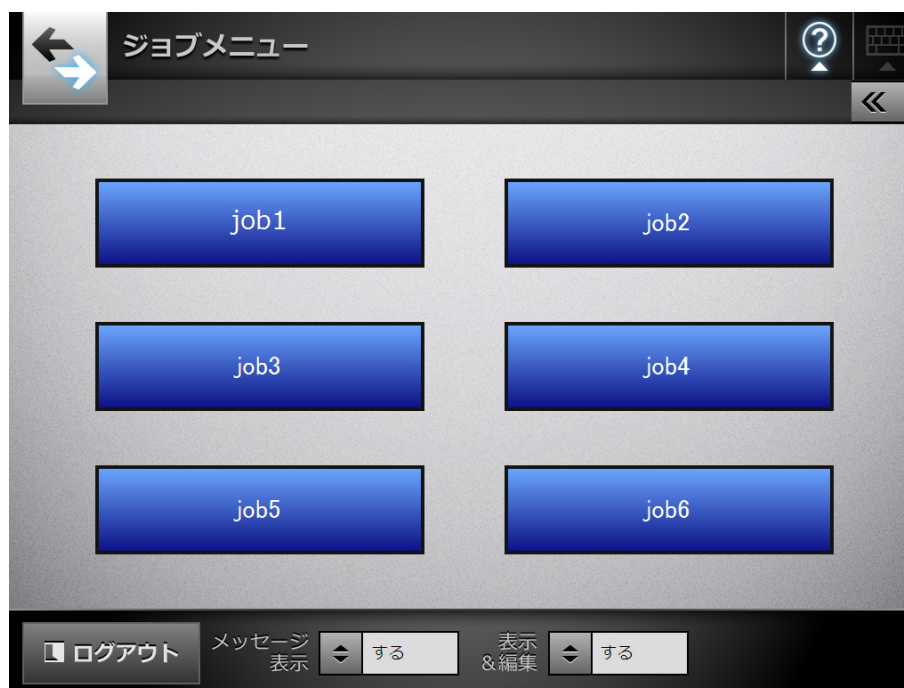
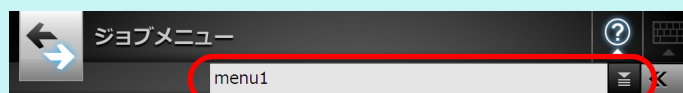
6.14 ジョブを実行します

ここでは、[Job1] ボタン～ [Job6] ボタンのジョブボタンを設定した場合の例を示します。

1. 「ジョブメニュー」画面でジョブボタンを押します。

ヒント

複数のジョブグループに属している場合、リストボタンを押して表示される「ジョブメニューリスト」画面でジョブメニューを選択すると、ジョブメニューを切り替えられます。



⇒ ジョブメッセージ画面が表示されます。

ヒント

- 「ジョブ詳細設定」画面の「メッセージ画面設定」に、タイトルおよびメッセージのどれも設定していない場合、「メッセージ表示」を「する」に設定しても「ジョブメッセージ」画面は表示されません。詳細については、「[4.17.2 ジョブを設定します](#)」(203 ページ)の手順 5 を参照してください。
- 「メッセージ表示」が「しない」の場合は、「ジョブメッセージ」画面を表示せずに、読み取りが開始され、ジョブが実行されます。詳細については、「[6.14.1 「ジョブメッセージ」画面の表示を設定します](#)」(346 ページ)を参照してください。
- 「メッセージ表示」の操作が無効の場合は、管理者が設定した内容によって、「ジョブメッセージ」画面が表示されるかどうか異なります。

2. 「ジョブメッセージ」画面で [スキャン] ボタンを押します。

⇒ 読み取りが開始されます。

読み取りが完了すると「表示&編集」画面が表示されます。

「表示&編集」画面での編集については、「[6.11 スキャン画像を「表示&編集」画面で確認します](#)」(337 ページ) を参照してください。

ヒント

- 「表示&編集」が「しない」の場合、「表示&編集」画面は表示されません。
- ファイル名を変更できる設定になっている場合、読み取り開始前に「ファイル名入力」画面が表示されます。操作については、「[6.14.2 メール送信 / ファイル保存するときのファイル名を変更します](#)」(348 ページ) を参照してください。
- ジョブ設定で、読み取り枚数を変更する設定になっている場合、読み取り開始前に「読み取り枚数入力」画面が表示されます。操作については、「[6.14.3 読み取る枚数を確認します](#)」(349 ページ) を参照してください。

3. スキャン画像を確認します。

「表示&編集」画面での確認については、「[6.11 スキャン画像を「表示&編集」画面で確認します](#)」(337 ページ) を参照してください。


4. 「表示&編集」画面で [OK] ボタンを押します。


⇒ ジョブが実行されます。

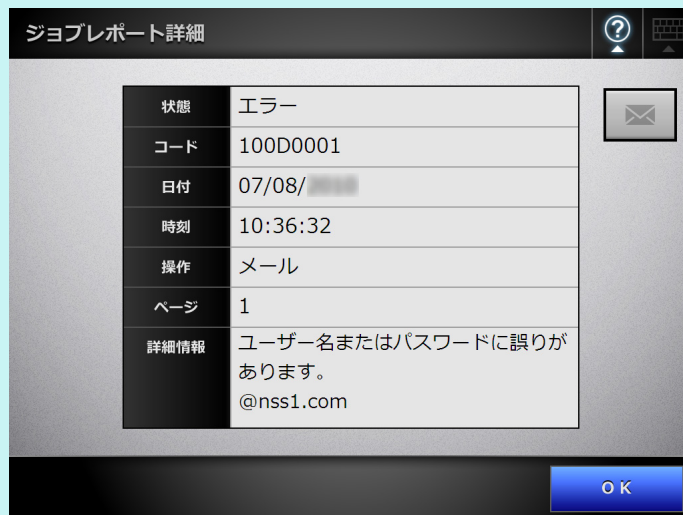
ジョブ実行中は「実行状況」画面がリアルタイムで表示されます。




ヒント

- ジョブレポートを参照したい場合、「実行状況」画面で [ジョブレポート] ボタンを押します。ジョブレポートが表示されます。
- ジョブレポートの詳細情報を参照したい場合、「ジョブレポート」画面で機能名を選択するか、 を押します。ジョブレポートの詳細が表示されます。

選択するか、 を押します。ジョブレポートの詳細が表示されます。



 は、状態が「エラー」だった場合に表示されます。ボタンを押すと、ジョブレポートの詳細情報を管理者（管理者の画面の「異常通知先」画面で設定したメールアドレス）にメール送信できます。

- ⇒ ジョブの実行が成功した場合、「ジョブメニュー」画面に戻ります。
- ジョブの実行が失敗した場合、「実行状況」画面および「ジョブレポート」画面に [OK] ボタンが表示されます。[OK] ボタンを押して、「ジョブメニュー」画面に戻ってください。


6.14.1 「ジョブメッセージ」画面の表示を設定します

ジョブの内容を確認する「ジョブメッセージ」画面を表示するかどうかを設定します。

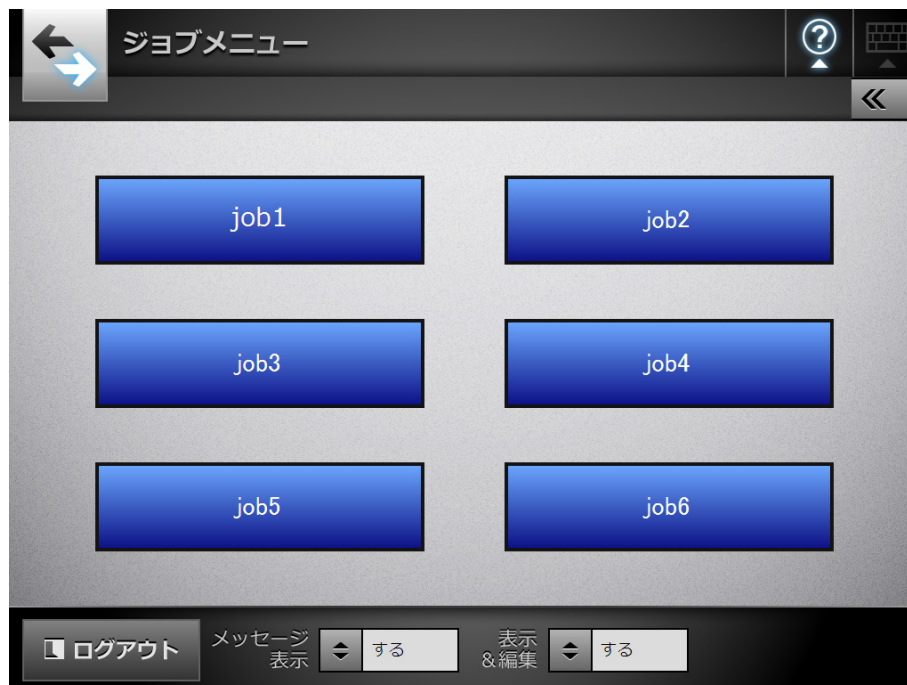
重要

「メッセージ表示」の操作が無効の場合、「ジョブメッセージ」画面を表示するかどうかは設定できません。

ここでは、[Job1] ボタン～ [Job6] ボタンのジョブボタンを設定した場合の例を示します。

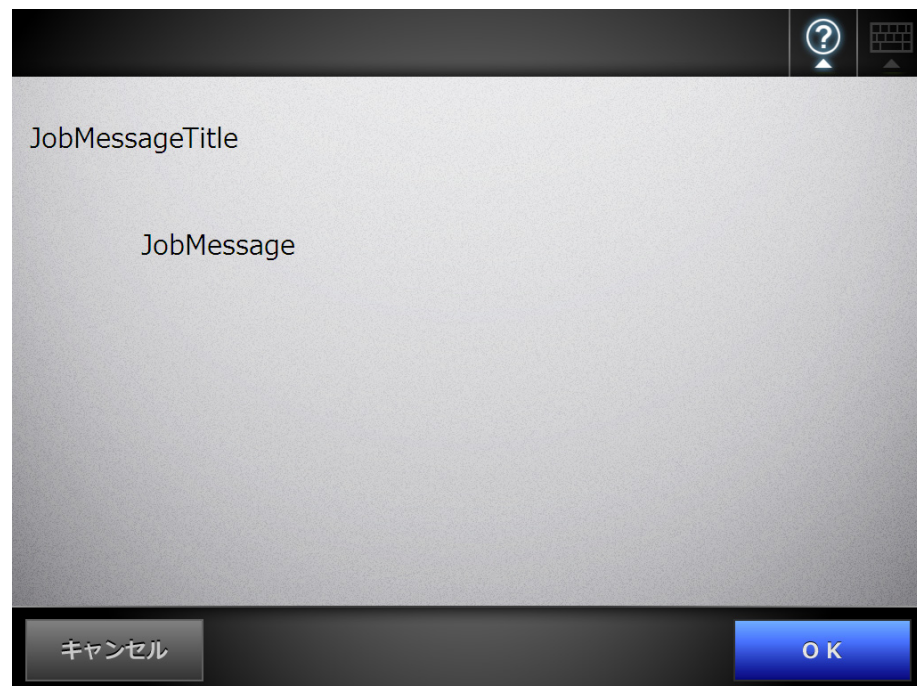
1. 「ジョブメニュー」画面で、「メッセージ表示」の  を押します。

⇒ ボタンを押すたびに、「ジョブメッセージ」画面を表示する / しないが切り替わります。



「メッセージ表示」の「する」と「しない」では、操作の流れが異なります。

- 「メッセージ表示」が「する」でジョブを実行する場合、「ジョブメッセージ」画面が表示されます。



ヒント

メッセージの確認後、次の処理がある場合、画面上の [OK] ボタンを押して処理を続けます。次の処理がない場合、[スキャン] ボタンを押して読み取りを開始します。

- 「メッセージ表示」が「しない」でジョブを実行する場合、「ジョブメッセージ」画面は表示されず、ジョブが実行されます。

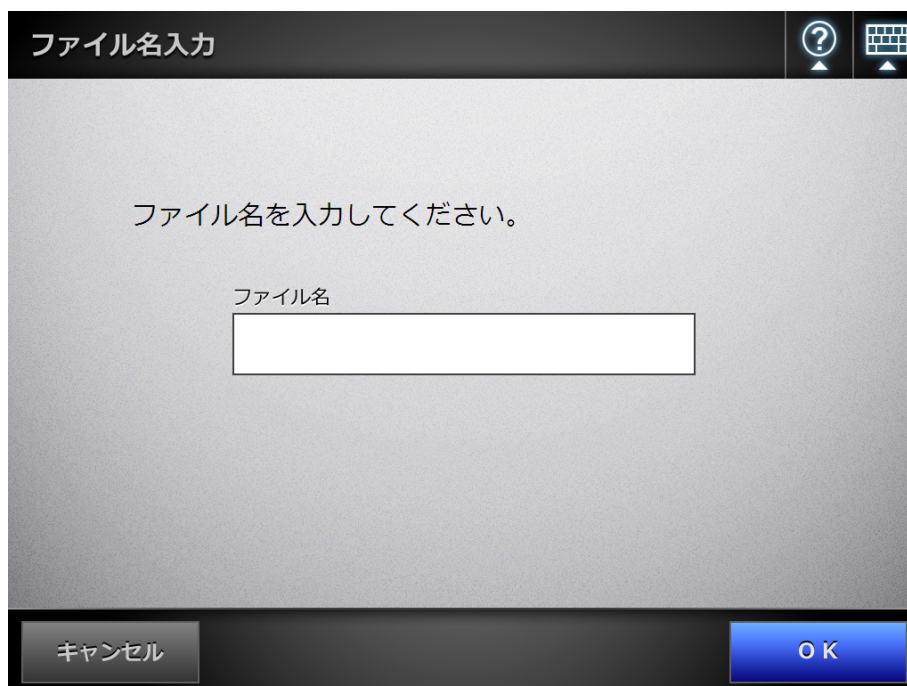
6.14.2 メール送信 / ファイル保存するときのファイル名を変更します

ジョブ実行時に、スキャン画像をメール送信、またはファイル保存するときの名前を変更します。

ヒント

「ファイル名入力」画面を表示しない設定になっている場合はファイル名を変更できません。

1. 「ジョブメニュー」画面でジョブボタンを押します。
2. 「ファイル名入力」画面が表示されたら、スキャン画像をメール送信またはファイル保存するときの名前を入力します。



ファイル名入力

ファイル名を入力してください。

ファイル名

キャンセル OK

ヒント

- 連番の設定がされている場合、初期表示されているファイル名のあとに連番が付与されます。また、画面には「ファイル名のうしろに連番が付与されます。」のガイダンスが表示されます。
- ファイル名を編集した場合、連番は付与されません。
- ファイル名の入力後、次の処理がある場合、画面上の [OK] ボタンを押して処理を続けます。次の処理がない場合、[スキャン] ボタンを押して読み取りを開始します。

6.14.3 読み取る枚数を確認します

ジョブ実行時に、読み取る原稿の枚数を指定して、読み取った枚数に誤りがないかを確認します。

ヒント

ジョブ設定で、以下のどれかの設定になっている場合、「読み取り枚数入力」画面は表示されません。

- 読み取り枚数をチェックしない
- 読み取り枚数をチェックするが、「読み取り枚数入力」画面を表示しない設定になっている（「ジョブ詳細設定」画面の「読み取り枚数チェック」の「ジョブごとに変更可能」チェックボックスにチェックが付いていない状態）

1. 「ジョブメニュー」画面でジョブボタンを押します。
2. 「読み取り枚数入力」画面が表示されたら、読み取る原稿の枚数を 1 ～ 999 の範囲で入力します。

重要

- ジョブのアクションに「印刷」が含まれる場合、設定できる読み取り枚数は「1 ～ 999」ではなく、「1 ～ 100」の範囲になります。
- 読み取れる最大ページ数は、印刷の場合は 100 ページ、それ以外の場合は 999 ページです。このため、両面読み取りを行う場合、これらの最大ページ数を超えない範囲で、読み取り枚数を設定してください。

読み取り枚数入力

読み取る用紙枚数を入力してください。

読み取り枚数 : 枚 (1-999)

キャンセル スキャン

3. [スキャン] ボタンを押します。

⇒ 読み取りが開始されます。

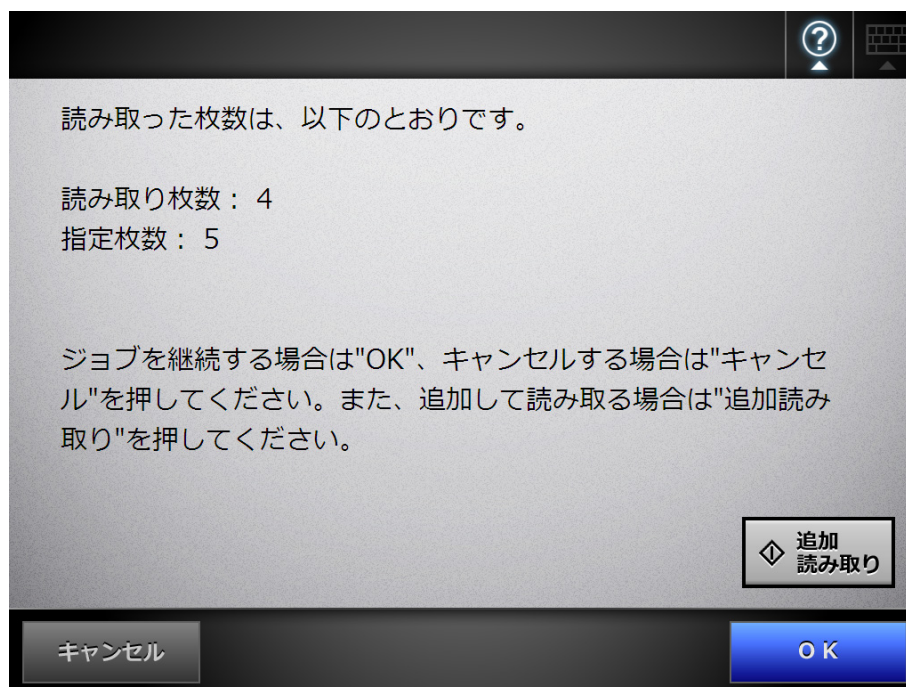
ヒント

読み取り完了後、「表示&編集」画面が表示される場合、「読み取り枚数入力」画面で指定した読み取り枚数と、実際に読み取った枚数が一致しているかどうかを、以下の部分で確認できます。



「表示&編集」画面でページを削除した場合や、白紙ページ削除された場合でも、読み取った枚数は変更されません。

読み取り完了後、読み取り枚数を確認する設定になっている場合、以下の確認画面が表示されます。読み取り枚数を確認するかどうかを変更する場合は、管理者に連絡してください。詳細については、「[4.17.2 ジョブを設定します](#)」(203 ページ) を参照してください。



ヒント

[追加読み取り] ボタンが表示されている場合、継続して追加で原稿を読み取れます

ジョブを実行する場合は、[OK] ボタンを押してください。

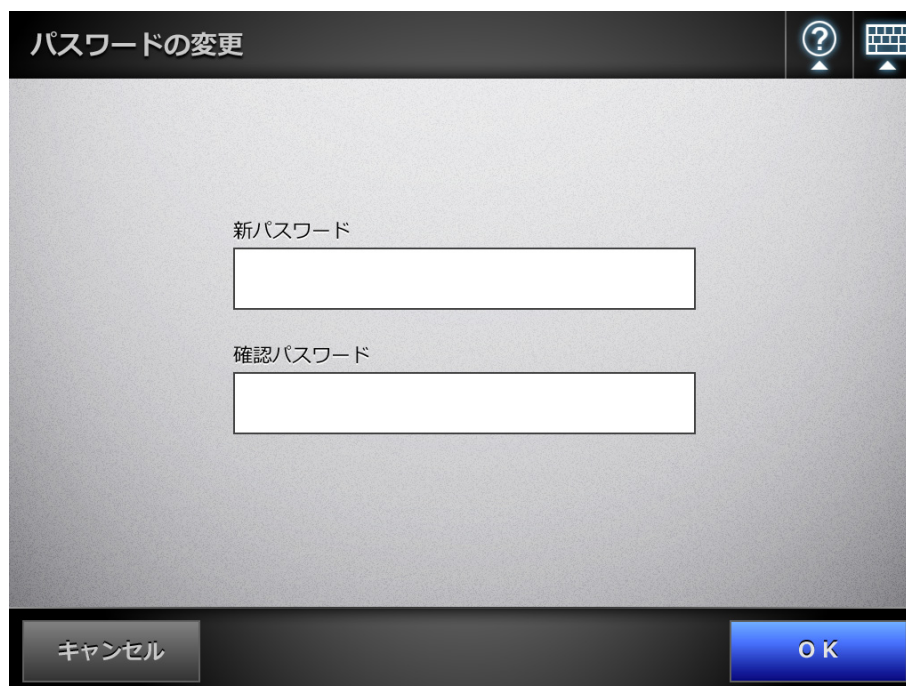
ジョブを中止してスキャン画像を削除する場合は、[キャンセル] ボタンを押してください。

6.15 ユーザーのパスワードを変更します

ローカルアカウントに登録されているユーザーでログインした場合に、ユーザーのパスワードを変更できます。

1. 「メンテナンス」画面の「パスワードの変更」ボタンを押します。

⇒ パスワードの変更画面が表示されます



The screenshot shows a dialog box titled "パスワードの変更" (Change Password). The dialog has a dark header bar with the title and two icons: a question mark and a keyboard icon. The main area is light gray and contains two text input fields. The first field is labeled "新パスワード" (New Password) and the second is labeled "確認パスワード" (Confirm Password). At the bottom of the dialog, there are two buttons: "キャンセル" (Cancel) on the left and "OK" on the right.

2. 新しいパスワードと確認パスワードを入力します。

3. [OK] ボタンを押します。

⇒ ユーザーのパスワードが変更されます。

第 7 章

スキャナのお手入れ

管理者

利用者

スキャナの清掃方法、消耗品 / オプション品の交換時期と交換方法について説明しています。

警告



清掃などの目的でエアスプレーおよびアルコールなどを含むスプレーは使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、ほこりなどがスキャナ内部に侵入し、故障や装置異常の原因となる場合があります。
また、静電気などによるスパーク（火花）により引火するおそれがあります。

注意


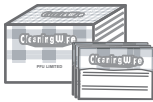


スキャナ使用時は ADF 内部のガラスは高温になります。
内部の清掃および消耗品の交換を行うときは、電源を切断し、AC アダプターをコンセントから抜いて 15 分以上待つて温度が下がってから行ってください。
フィードローラーと排出ローラーの清掃をするときは、電源を投入した状態で行います。
また、消耗品の交換は、電源を切断し、AC アダプターをコンセントから抜いて 15 分以上待つて温度が下がってから行ってください。

7.1 清掃用品および清掃が必要な場所	354
7.2 スキャナ外部を清掃します	356
7.3 スキャナ内部を清掃します	357
7.4 A3 キャリアシートを清掃します	363
7.5 消耗品を交換します	364
7.6 読み取りテストをします	374
7.7 タッチパネルを調整します	377

7.1 清掃用品および清掃が必要な場所

■ 清掃用品

清掃用品	型名	備考
クリーナ F1 	FI-C100CF1	1 ボトル (100 ml) 布に少量しみこませて清掃します。 大量に使用すると、乾きにくい場合があります。適量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナ F1 が残らないように布で本剤をよくふき取ってください。
クリーニングペーパー	FI-C100CP	1 冊 (10 枚入り) クリーナ F1 と共に使用します。
クリーニングワイプ 	FI-C100CW	1 箱 (24 包入り) クリーナ F1 をしみこませたウェットティッシュタイプのクリーナです。クリーナ F1 を布にしみこませる代わりに、本品を使用できます。
乾いた布	市販のもの	
ScanAid (*)	FI-611SA	—

(*): ScanAid の詳細については、「[ScanAid の購入](#)」(467 ページ) を参照してください。

清掃用具の詳細については、「[消耗品 / 清掃用品の購入先](#)」(466 ページ) を参照してください。

■ 清掃箇所と清掃頻度

清掃箇所	清掃頻度
パッドユニット	1,000 枚の読み取りごとに清掃してください。
フィードローラー	
排出ローラー	
ピックアップユニット	
プラスチックローラー	
ガラス	
超音波センサー	

重要

原稿の状態によっては、清掃周期が短くなる場合があります。

また、以下のような原稿を使用している場合は、頻繁に清掃する必要があります。

- コート紙のように表面が滑らかな原稿
- ほぼ全面に印刷されている原稿
- ノーカーボン紙のように特殊加工してある原稿
- カルシウムを多く含む原稿
- 鉛筆書きの原稿を多数読み取る場合
- トナーが十分定着していない原稿

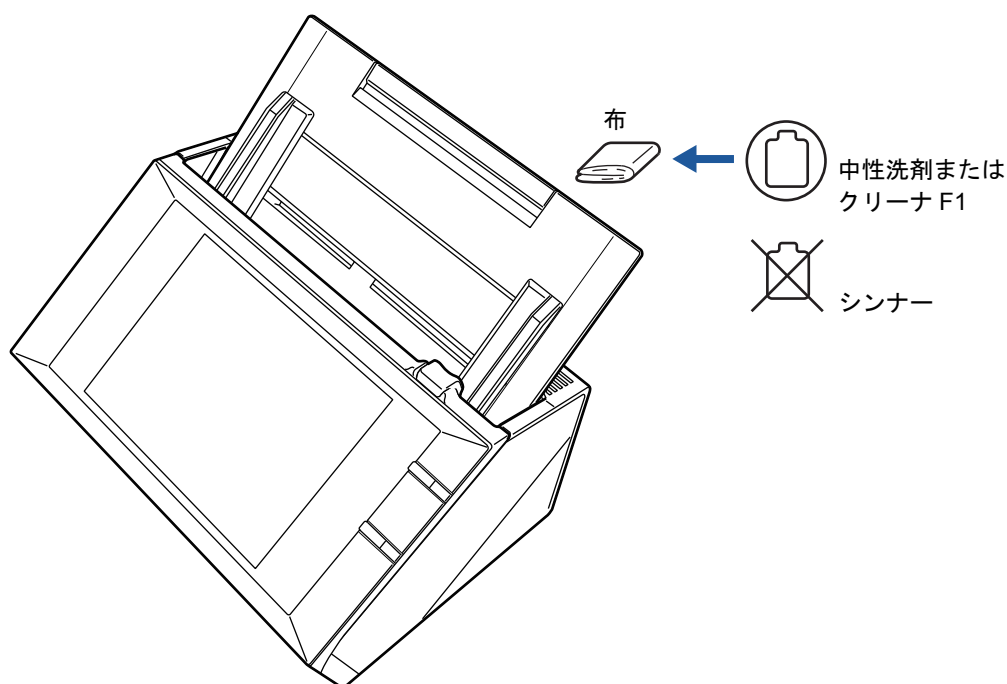
7.2 スキャナ外部を清掃します

■ スキャナ本体の清掃

スキャナ外部（タッチパネルを除く）、ADF 給紙シュート、およびスタッカーなどは、乾いた布や、少量のクリーナ F1 または中性洗剤をしみこませた布や、クリーニングワイプで清掃します。

重要

- シンナーなどの有機溶剤は、決して使用しないでください。
- 清掃中に、内部に水分が入らないように注意してください。
- クリーナ F1 を大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。適量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナー液が残らないようによくふき取ってください。



■ タッチパネルの清掃

タッチパネルの表面に、ほこりやよごれがある場合は、乾いた柔らかい布で定期的に軽くふいてください。

タッチパネルは、慎重に取り扱ってください。表面は傷付きやすいので、硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

重要

水分を含んだ布などで、タッチパネルをふかないでください。タッチパネルと画面の境目に、タッチパネル表面に付着したほこりが固まって入り込み、タッチパネルが誤動作する原因となります。

7.3 スキャナ内部を清掃します

スキャナ内部は、少量のクリーナ F1 をしみこませた布またはクリーニングワイプで清掃します。

原稿の読み取りを繰り返していると、スキャナ内部に、紙粉やほこりなどがたまり、読み取り不良の原因となる場合があります。

スキャナ内部の清掃は、目安として 1,000 枚の読み取りごとに行ってください。ただし、この目安は読み取る原稿によって変わります。例えば、トナーが十分定着していない原稿の場合、より少ない枚数で清掃が必要となる場合があります。



注意

- スキャナ使用時は、ADF 内部のガラスは高温になります。内部の清掃を行う場合は、電源を切断し、AC アダプターをコンセントから抜き、15 分以上待つてから清掃を行ってください。
- 清掃時は、スキャナ内部を確認しながら、ピックバネ（金属部）に手や布が引っかからないように注意してください。ピックバネ（金属部）が変形して、けがの原因となる場合があります。

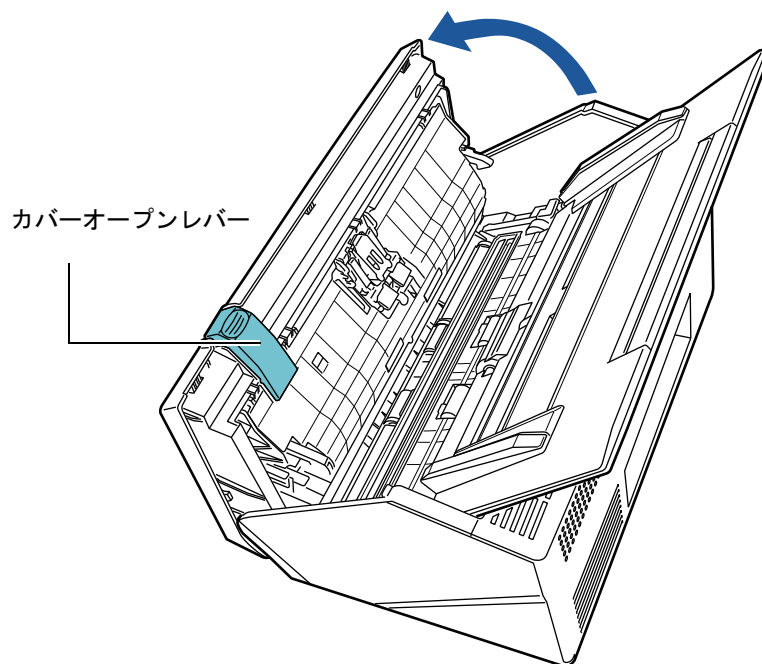
重要

- スキャナ内部を清掃する際は、水や中性洗剤を使用しないでください。
- クリーナ F1 を大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。適量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナー液が残らないようによくふき取ってください。

1. スキャナの電源を切断し、15 分以上待ちます。

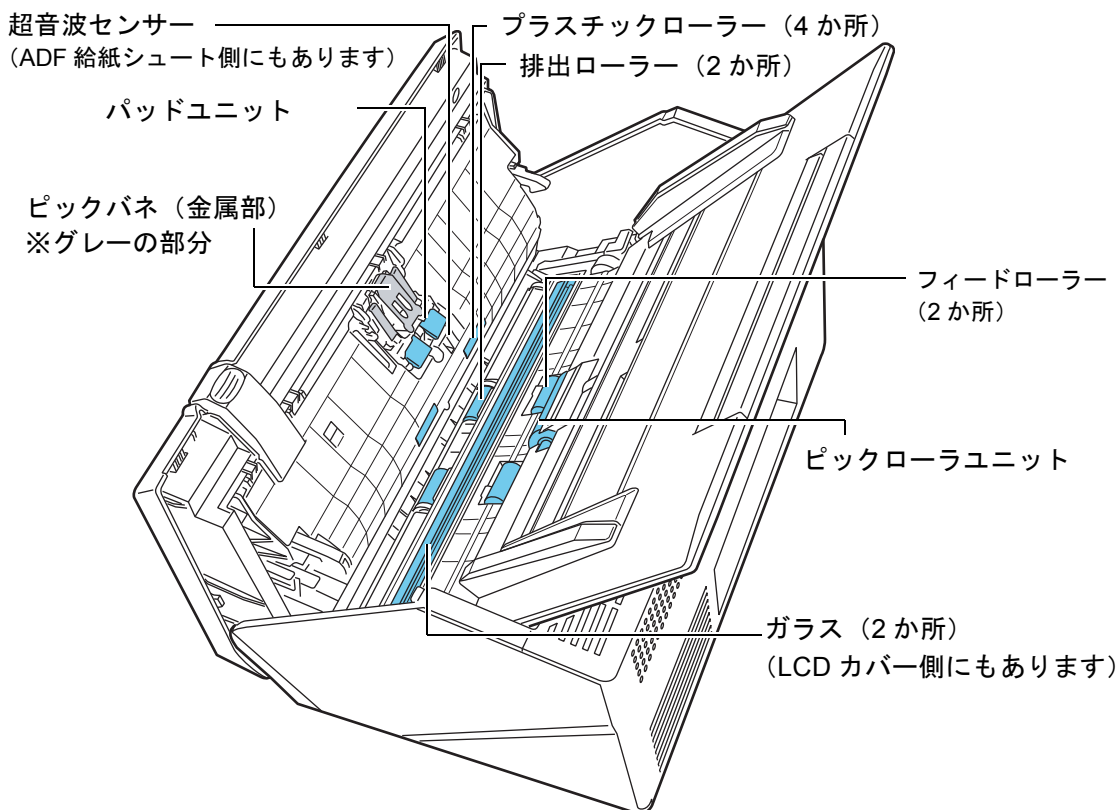
電源を切断する方法については、「[2.1 電源の投入 / 切断](#)」（54 ページ）を参照してください。

2. カバーオープンレバーを手前に引いて、LCD カバーを開きます。



LCD カバーが閉まり、指などをはさむおそれがあります。注意してください。

3. 少量のクリーナ F1 をしみこませた布またはクリーニングワイプで、以下の場所を清掃します。



- **パッドユニット (1 か所)**
ゴム製のパッド表面に付着したよごれやほこりを、上から下に向かってふき取ります。このとき、ピックバネ (金属部) に、手や布が引っかからないように注意してください。
- **超音波センサー (2 か所)**
超音波センサー表面に付着したよごれやほこりを、軽くふき取ります。
- **プラスチックローラー (4 か所)**
手動で少しずつ回転させながら、よごれやほこりを軽くふき取ります。ローラーの表面をいためないように注意してください。異物が付着している場合、給紙性能に影響が出ますので、十分に清掃を行ってください。
- **ガラス (2 か所)**
ガラス表面に付着したよごれやほこりを、軽くふき取ります。


ヒント

ガラスがよごれていると、スキャン画像に縦線が出ることがあります。

- **ピックローラユニット (1 か所)**
手動で上から下に向かって回転させながら、よごれやほこりを軽くふき取ります。ローラーの表面をいためないように注意してください。異物が付着している場合、給紙性能に影響が出ますので、十分に清掃を行ってください。

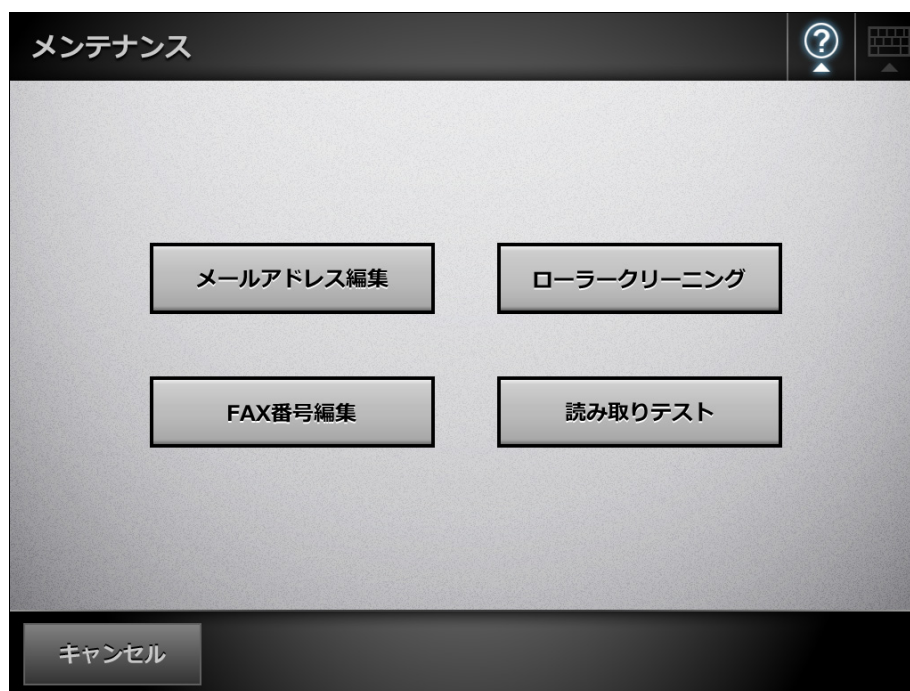
- フィードローラー（2か所）/ 排出ローラー（2か所）
フィードローラー/ 排出ローラーは、電源を入れて回転させながら清掃します。
 - 1) 「メインメニュー」画面または「ジョブメニュー」画面で、[メンテナンス] ボタンを押します。

ヒント

「ジョブメニュー」画面の [メンテナンス] ボタンは、 を押すと表示されます。

⇒ 「メンテナンス」画面が表示されます。

- 2) [ローラークリーニング] ボタンを押します。



⇒「ローラークリーニング」画面が表示されます。



- 3) LCD カバーを開きます。
- 4) 少量のクリーナ F1 をしみこませた布またはクリーニングワイプを、ローラー表面に押し当てます。
- 5) 「ローラークリーニング」画面の [クリーニング] ボタンを押します。ボタンを押すと、フィードローラー / 排出ローラーが少し動きます。ボタンを押し続けると、フィードローラー / 排出ローラーが数秒おきに一定量回転します。ローラーを回転させながら、ローラーの表面を軽く清掃してください。ボタンを押すのを止めると、回転が停止します。特に黒い異物が付着している場合、給紙性能に影響が出ますので、清掃を十分に行ってください。

ヒント

- 目安として、ボタンを押し続けると、ローラーが少しずつ動き、7回の動作で、1周回転します。
- ヘルプを表示している場合は、ヘルプを閉じてからボタンを押してください。

- 6) ローラーの清掃が完了したら、[OK] ボタンを押して、「ローラークリーニング」画面を終了します。

重要

フィードローラーまたは 排出ローラーを清掃する場合、回転中のローラーに手が触れないように、注意してください。

4. LCD カバーを閉じます。

⇒ カチンという音がします。

重要

- LCD カバーを閉じる際に、手などをはさまないように注意してください。
- LCD カバーが完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと、原稿づまりや読み込み不良を起こすおそれがあります。
- タッチパネルを押して LCD カバーを閉じないでください。タッチパネルが破損するおそれがあります。

7.4 A3 キャリアシートを清掃します

A3 キャリアシートは、乾いた柔らかい布や、少量のクリーナ F1 または中性洗剤をしみこませた布や、クリーニングワイプで清掃します。

A3 キャリアシートの表面や内部のよごれやほこりを、軽くふき取ります。

A3 キャリアシートを繰り返し使用しているうちに、表面や内部によごれやほこりが付着する場合があります。

そのまま使い続けると、読み取り不良の原因となる場合がありますので、定期的に清掃してください。

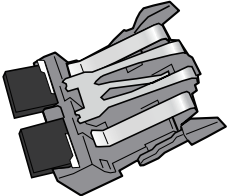
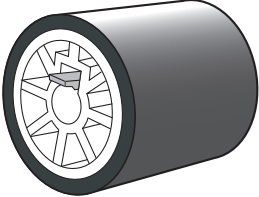
重要

- シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 強くこすらないでください。A3 キャリアシートが傷付いたり、変形したりするおそれがあります。
- A3 キャリアシートの内部を、クリーナ F1 または中性洗剤で清掃したあとは、十分乾かしてから A3 キャリアシートを閉じてください。
- A3 キャリアシートは、目安として、500 回読み取るごとに交換することを推奨します。A3 キャリアシートの購入については、[「7.5.5 A3 キャリアシートを購入します」](#) (373 ページ)

7.5 消耗品を交換します

7.5.1 消耗品の番号と交換周期

消耗品の型名と交換周期の目安は、以下のとおりです。

品名	型名	交換周期（目安）
パッドユニット 	FI-C611P	読み取った原稿の枚数が 50,000 枚 または 1 年ごと
ピックローラユニット 	FI-C611PR	読み取った原稿の枚数が 100,000 枚 または 1 年ごと
ScanAid (*)	FI-611SA	—

(*): ScanAid の詳細については、「[ScanAid の購入](#)」(467 ページ) を参照してください。

交換周期は、A4 原稿 (80g/m²) の上質紙または中質紙を使用した場合の目安であり、使用する原稿、お客様の使用頻度、および清掃の頻度によって異なります。

重要

- 消耗品の状態が橙色または赤色になったら管理者に連絡して、消耗品を交換してください。
- 当社指定の消耗品以外は使用しないでください。


消耗品の状態を確認する方法については、「[7.5.2 消耗品の状態を確認します](#)」(365 ページ) を参照してください。

消耗品のご購入については、「[消耗品 / 清掃用品の購入先](#)」(466 ページ) を参照してください。

7.5.2 消耗品の状態を確認します

1. 「メインメニュー」画面または「ジョブメニュー」画面で、[消耗品状態] ボタンを押します。

ヒント

「ジョブメニュー」画面の [消耗品状態] ボタンは、 を押すと表示されます。

⇒ 「消耗品」画面が表示されます。

2. 交換部品を確認し、[OK] ボタンを押します。

「カウンター」が「交換の目安」を超えている部品は交換が必要です。

「カウンター」には、500 枚単位で読み取り枚数が表示されます。

管理者の画面で交換部品の確認をする場合は、「[4.14.2 消耗品統計情報を参照します](#)」(171 ページ) を参照してください。



部品	カウンター	交換の目安	状態
パッドユニット 	0	50,000	
ピックアップユニット 	0	100,000	

3. 部品を交換します。

以下を参照してください。

- パッドユニットの交換
「[7.5.3 パッドユニットを交換します](#)」(366 ページ)
- ピックローラユニットの交換
「[7.5.4 ピックローラユニットを交換します](#)」(368 ページ)

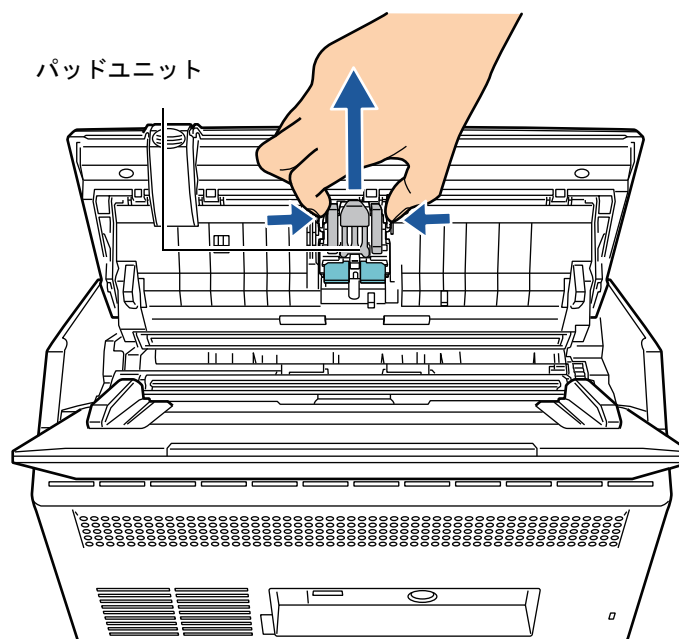
7.5.3 パッドユニットを交換します

1. ADF 給紙シュートに原稿がある場合は、原稿を取り除きます。
2. カバーオープンレバーを手前に引いて、LCD カバーの側面に手を添えて、LCD カバーを開きます。

**注意**

LCD カバーが閉まり、指などはさむおそれがあります。注意してください。

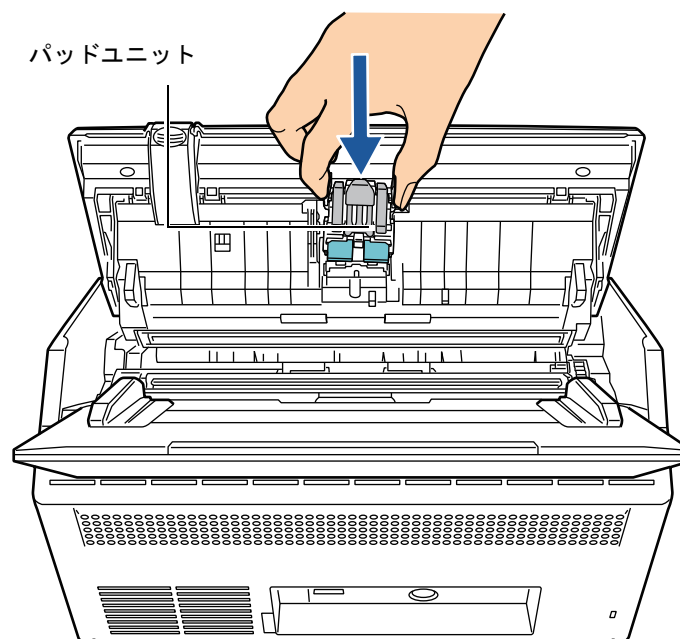
3. パッドユニットを取り外します。
パッドユニットの両端をつまんで、矢印の方向に取り外します。



4. 新しいパッドユニットを取り付けます。

パッドユニットの両端を持ち、元の位置に戻します。

このとき、金属部分に手を引っかかないように注意してください。

**重要**

パッドユニットが完全に取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりなどの給紙エラーを起こすおそれがあります。

5. LCD カバーを閉じます。

⇒ カチンと音がします。

**注意**

LCD カバーが閉まり、指などはさむおそれがあります。注意してください。

6. パッドユニットのカウンターをリセットします。

カウンターのリセットは管理者が行います。詳細については、「[カウンターをリセットします](#)」(171 ページ) を参照してください。

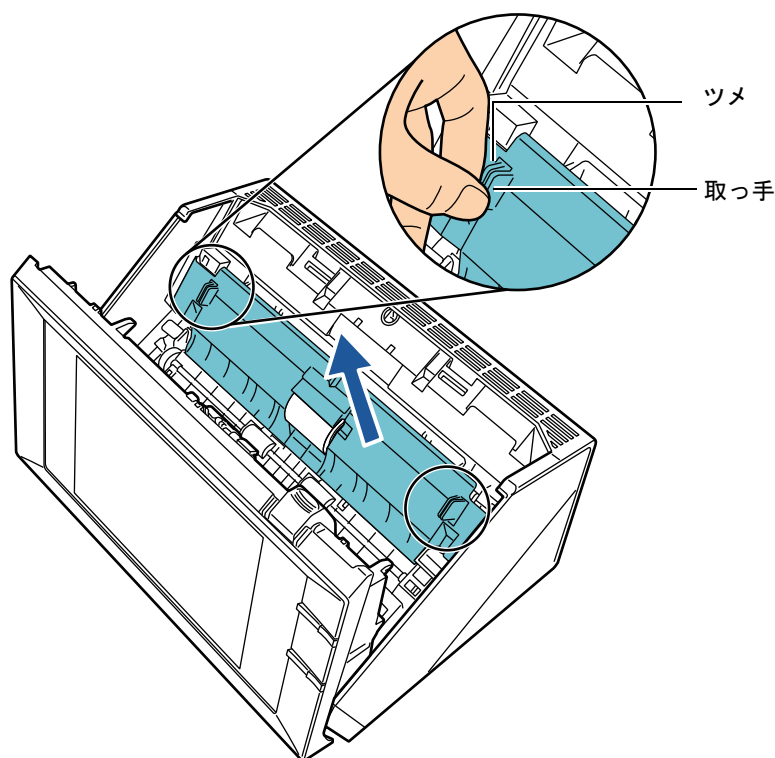
7.5.4 ピックローユニットを交換します

1. ADF 給紙シュートに原稿がある場合は、原稿を取り除きます。
2. ADF 給紙シュートを取り外します。
ADF 給紙シュートの両端を持ち、少し手前に倒しながら、引き上げてください。
3. カバーオープンレバーを手前に引いて、LCD カバーの側面に手を添えて、LCD カバーを開きます。

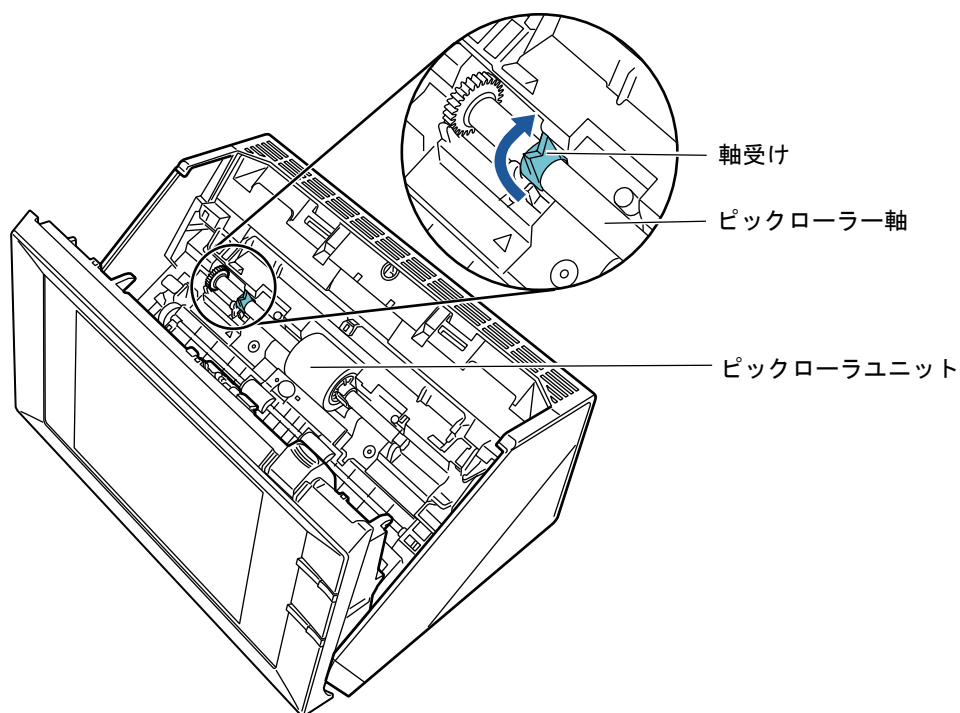
**注意**

LCD カバーが閉まり、指などはさむおそれがあります。注意してください。

4. シートガイドを取り外します。
シートガイドの両端の取っ手をつまんで、ツメを内側に押しながら、持ち上げて取り外します。

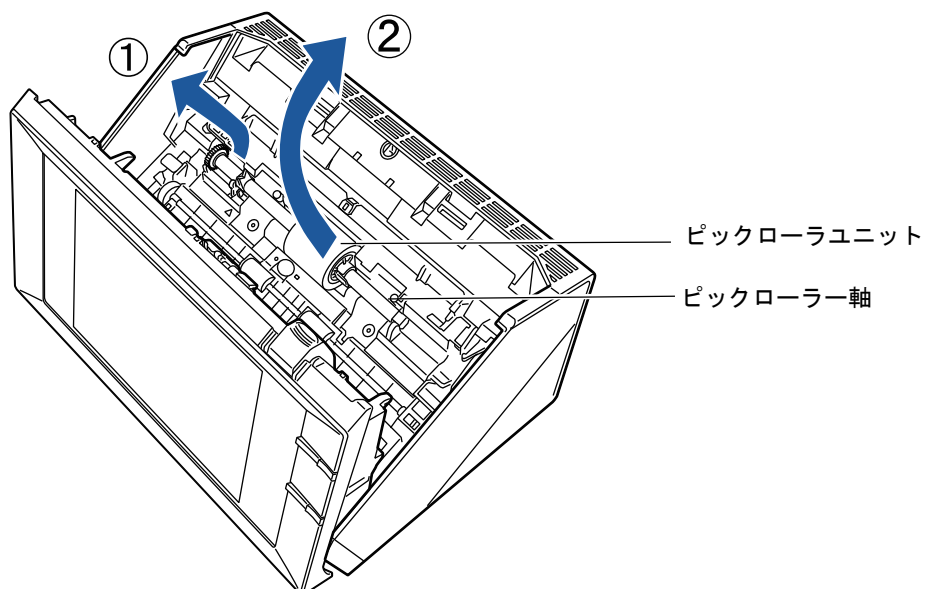


5. 軸受け（左側）を回転させます。



6. ピックローラ軸を取り外します。

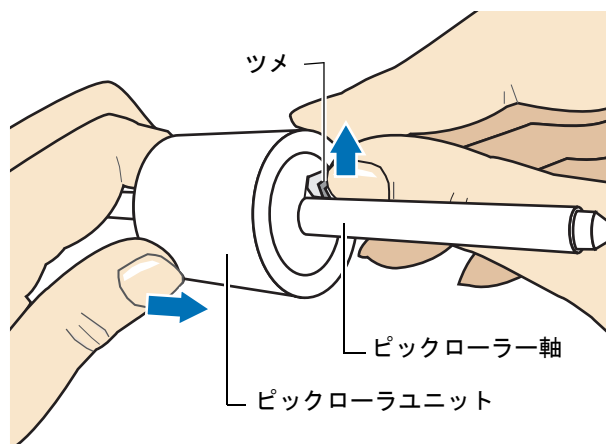
ピックアップローラ軸の左側を軽く引き上げ（5mm程度）、左側にずらしてから、上に持ち上げて取り外します。

**重要**

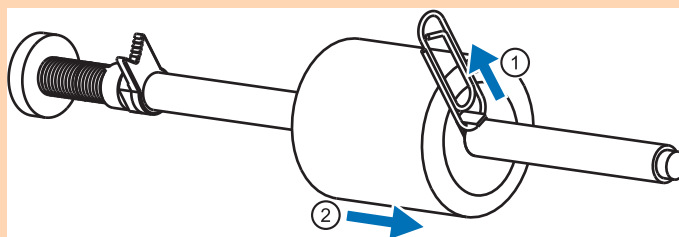
ピックアップローラ軸受けは堅いため、指のつめでピックアップローラ軸受けを回転させることはおやめください。指でうまく回転させることができない場合は、クリップなどを使って回転させてください。

7. ピックローラユニットを、ピックアップローラー軸から外します。

ピックアップローラユニットのツメを持ち上げながら、ピックアップローラー軸を引き抜きます。

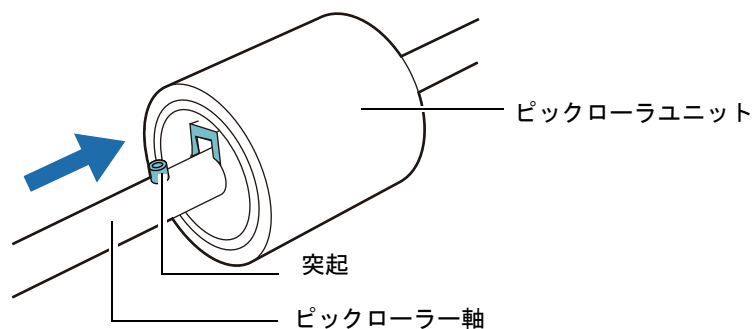
**重要**

指のつめを使って持ち上げると、指のつめが傷付いたり、欠けたりする可能性があります。うまく持ち上げられない場合は、クリップなどを使ってピックアップローラユニットのツメを持ち上げてください。



8. 新しいピックアップローラユニットを、ピックアップローラー軸に取り付けます。

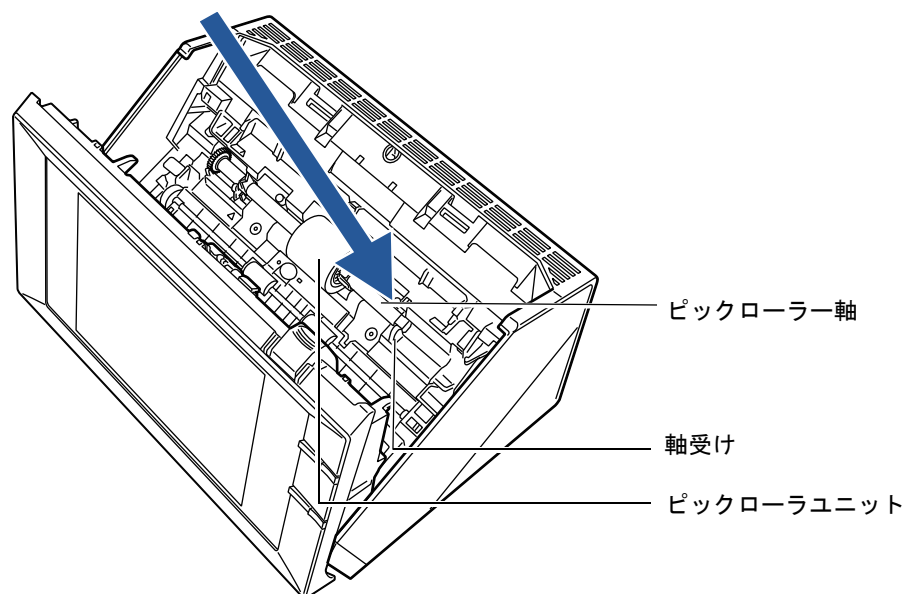
ピックアップローラー軸の突起部分をピックアップローラユニットの溝にはめ込みます。

**重要**

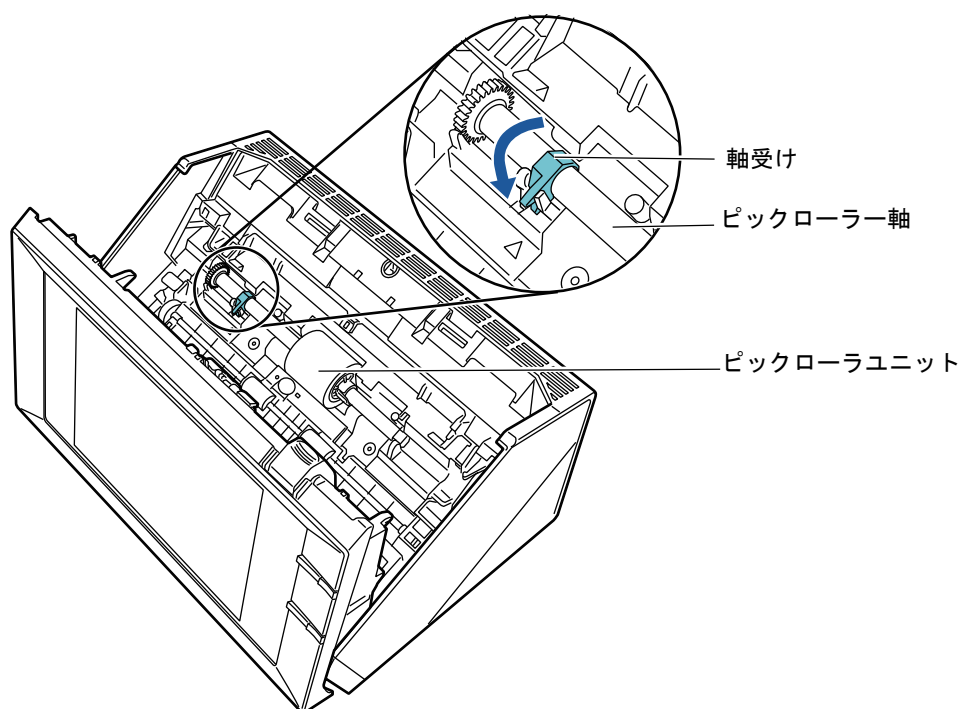
ピックアップローラユニットが完全に取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりなどの給紙エラーを起こすおそれがあります。

9. ピックローラー軸をスキャナに取り付けます。

正面から見て右側の軸受けに斜め上方からピックアップローラー軸の先端をはめ、軸を寝かせながら、徐々にはめ込みます。

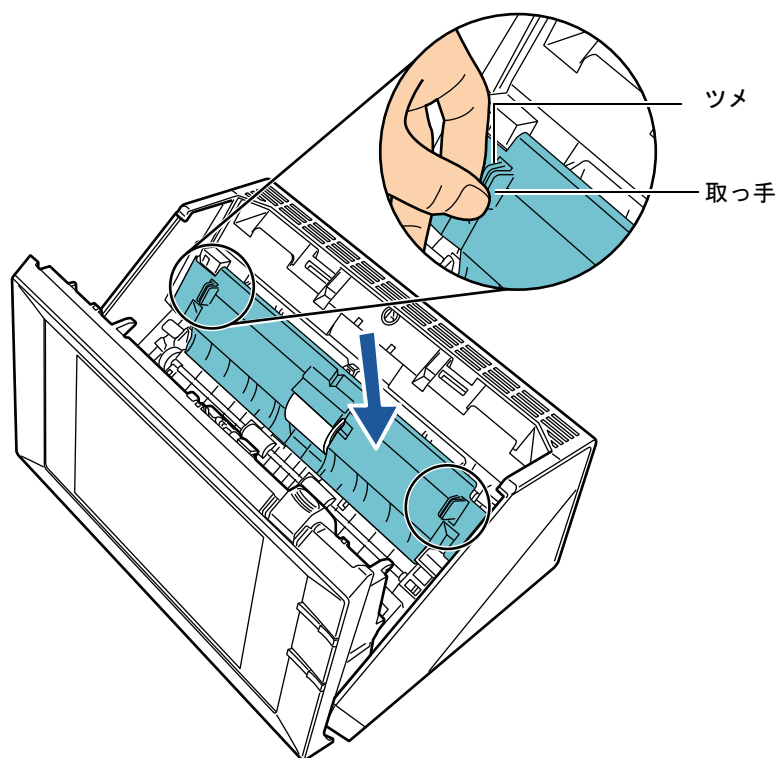
**10. 軸受け（正面から見て左側）を固定します。**

ピックアップローラー軸受けを、矢印の方向に回転させます。



11. シートガイドを取り付けます。

シートガイドの両端の取っ手をつまんで、元の位置に取り付けます。



⇒「パチン」と音がして、ツメが外側に開きます。

重要

シートガイドがしっかりと取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりなどの給紙エラーを起こすおそれがあります。

12. LCD カバーを閉じます。

⇒ カチンと音がします。



注意

LCD カバーが閉まり、指などをはさむおそれがあります。注意してください。

13. ADF 給紙シュートを取り付けます。

ADF 給紙シュートを、スキャナ背面にある穴に ADF 給紙シュートのツメが入るように差し込み、押し込むようにしてしっかり固定します。
サイドガイドのある面が上になるように取り付けます。

14. ピックローラユニットのカウンターをリセットします。

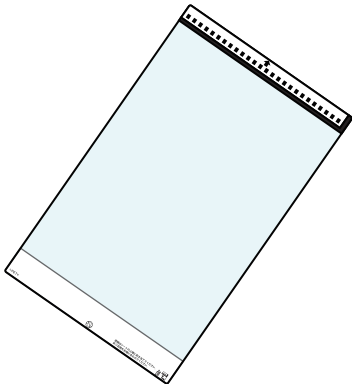
カウンターのリセットは管理者が行います。詳細については、「[カウンターをリセットします](#)」(171 ページ) を参照してください。

7.5.5 A3 キャリアシートを購入します

本製品に添付されている A3 キャリアシートが、破損、磨耗などによって、読み取りができなくなった場合は、A3 キャリアシートだけを別途ご購入いただけます。

A3 キャリアシートは、目安として、500 回読み取るごとに交換することを推奨します。ただし、傷やよごれが目立つ場合は、必要に応じて交換してください。

A3 キャリアシート（別売）の品名と型名は、以下のとおりです。

品名	型名	数量
ScanSnap A3 キャリアシート 	FI-511ES	5 枚

A3 キャリアシートのご購入については、以下のホームページを参照していただくか、スキャナを購入された販社 / 販売店、または当社 PFU ダイレクトにお問い合わせください。

<http://imagescanner.fujitsu.com/jp/purchase/>

株式会社 PFU PFU ダイレクト

TEL: 0120-14-4541

お問い合わせ内容の正確な把握ならびに当社における対応内容の管理のため、お問い合わせ内容を録音させていただく場合があります。

E-mail: shop@pfu.fujitsu.com

電話お問い合わせ受付時間 :9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

(土・日・祝祭日・年末年始・当社休業日を除く)


7.6 読み取りテストをします

スキヤナの清掃や消耗品交換のあとに、スキヤナの読み取りテストをします。

■ 利用者の場合

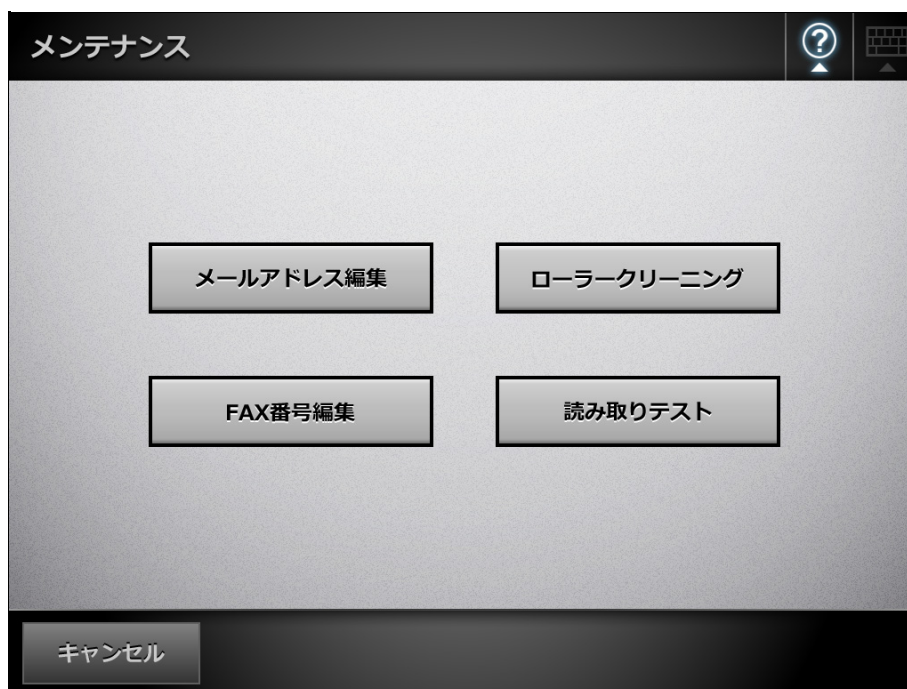
1. 「メインメニュー」画面または「ジョブメニュー」画面で、[メンテナンス] ボタンを押します。

ヒント

「ジョブメニュー」画面の [メンテナンス] ボタンは、 を押すと表示されます。

⇒ 「メンテナンス」画面が表示されます。

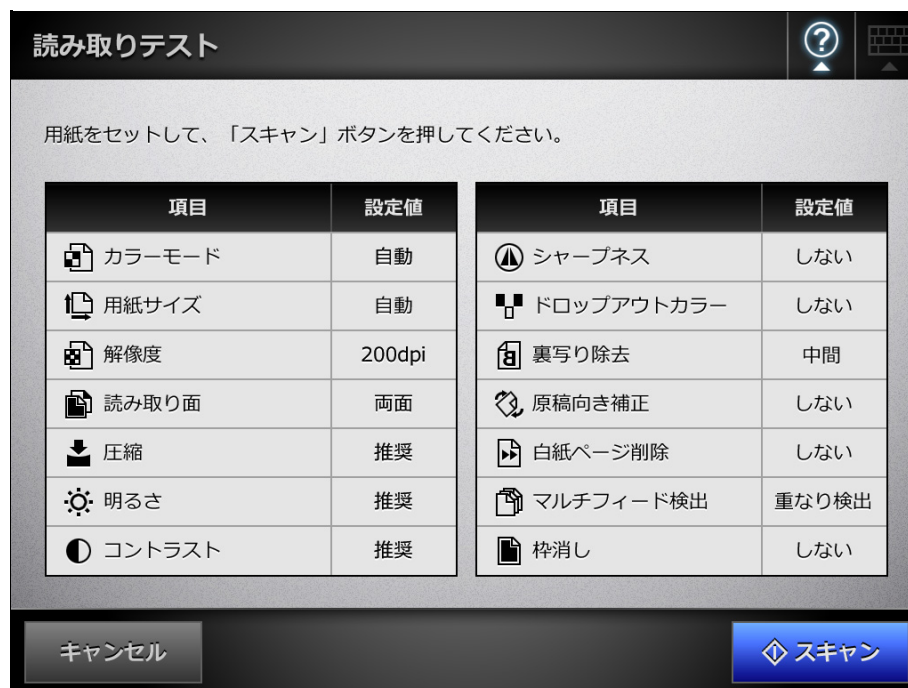
2. [読み取りテスト] ボタンを押します。



⇒ 「読み取りテスト」画面が表示されます。

3. 読み取りテストのための原稿を、ADF 給紙シュートにセットします。

4. [スキャン] ボタンを押します。



⇒ 読み取りが開始されます。

⇒ 読み取りが完了すると、「表示&編集」画面が表示されます。

うまく読み取れなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。必要に応じて対処してください。

5. スキャン画像を確認します。

「表示&編集」画面については、以下を参照してください。

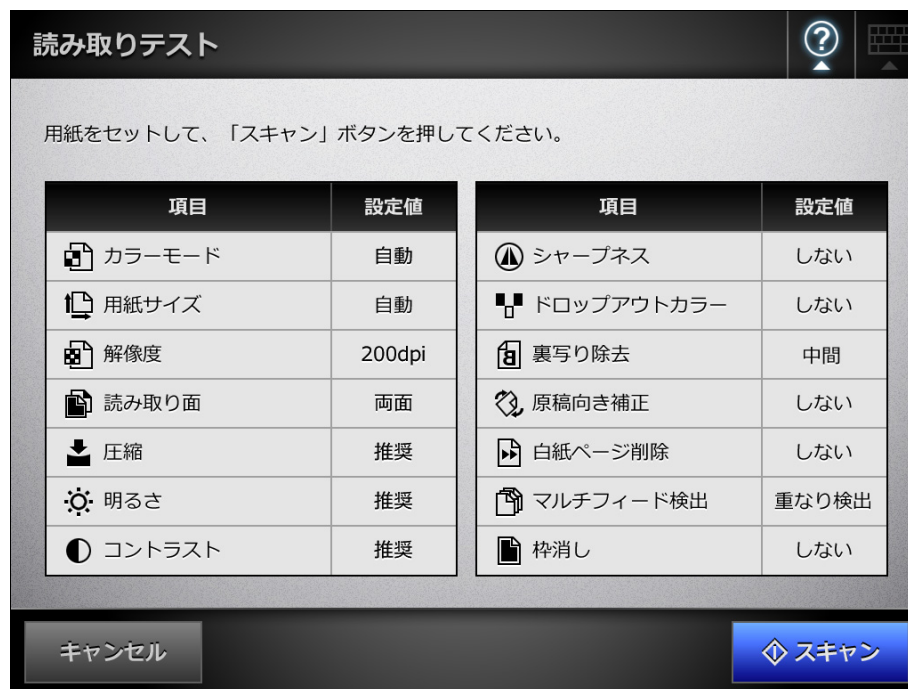
[「6.11 スキャン画像を「表示&編集」画面で確認します」\(337 ページ\)](#)

6. [OK] ボタンを押します。

⇒ 「メンテナンス」画面に戻ります。

■ 管理者の場合

1. 「管理メニュー」画面で、「装置診断」→「読み取りテスト」を選択します。
⇒「読み取りテスト」画面が表示されます。
2. 読み取りテストのための原稿を、ADF 給紙シュートにセットします。
3. [スキャン] ボタンを押します。



⇒ 読み取りが開始されます。

⇒ 読み取りが完了すると、「表示&編集」画面が表示されます。

うまく読み取れなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。必要に応じて対処してください。

4. スキャン画像を確認します。
「表示&編集」画面については、以下を参照してください。
[「6.11 スキャン画像を「表示&編集」画面で確認します」\(337 ページ\)](#)
5. [OK] ボタンを押します。
⇒「管理メニュー」画面に戻ります。

7.7 タッチパネルを調整します タッチパネル

タッチパネルの押す位置がずれている場合は、タッチパネルを調整します。

1. 「管理メニュー」画面で、「装置診断」→「タッチパネル調整」を選択します。

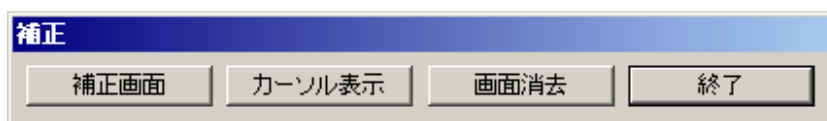
⇒「タッチパネル調整」画面が表示され、赤十字（補正点）が表示されます。

2. 赤十字（補正点）を指先などで押します。

押すと、+が移動します。止まったところで再度+を押します。



以下の「補正」画面が表示されるまで繰り返し行ってください。



3. 補正したあと、確認のため画面上を指の先などでなぞります。

⇒ 画面上をなぞったとおりに線が表示されます。

なぞったとおりの線が表示されない場合は、「補正」画面で [補正画面] ボタンを押し、[手順 2](#) からもう一度操作してください。

4. 「補正」画面で [終了] ボタンを押します。

⇒ タッチパネルの調整が完了します。

重要

赤十字（補正点）を正確に押していない場合、「補正点が不正です。再入力してください。」というメッセージが表示されます。

エラーメッセージが表示された場合は、[手順 2](#) からやり直してください。

第 8 章

困ったときには

管理者

利用者

原稿ぶまりの対処方法、トラブルの対処方法、サービスセンターに連絡する前にお調べいただきたい項目、およびスキヤナのラベル確認方法について説明します。

8.1 原稿ぶまりが発生したときは	379
8.2 ネットワーク通信ができないときには.....	382
8.3 スキヤナの使用中にトラブルが発生したときには.....	396
8.4 サービスセンターに連絡する前に	406
8.5 ラベルの確認	409
8.6 スキヤナを保守に出すときの処置	410

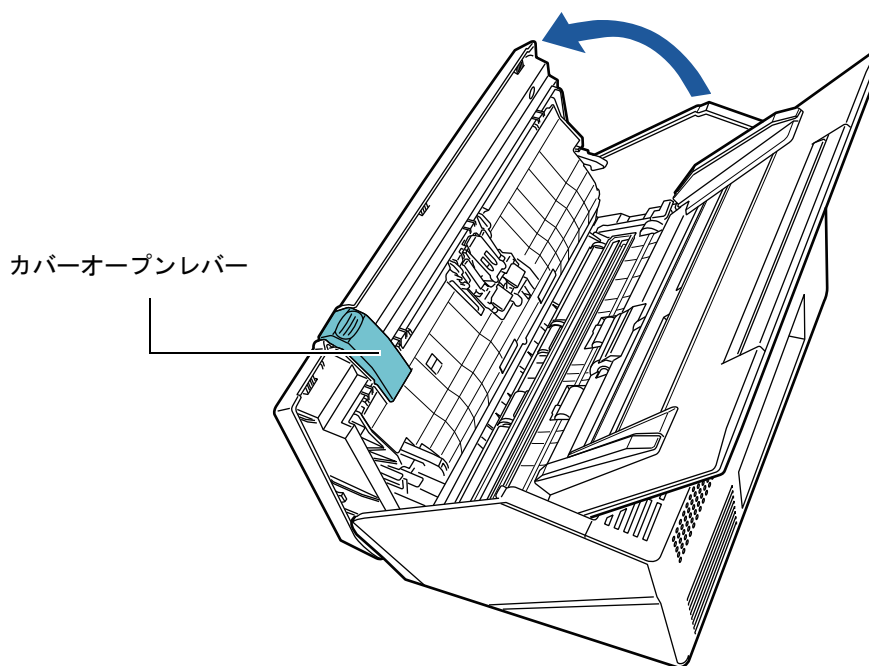
8.1 原稿づまりが発生したときは

原稿が詰まった場合は、以下の要領で原稿を取り除いてください。

警告

- つまった原稿は無理に引き抜かず、LCD カバーを開けてから取り除いてください。
- つまった原稿を取り除くときは、鋭利な部分に触れないように注意してください。けがをするおそれがあります。
- つまった原稿を取り除くときは、ネクタイ、ネックレス、または髪の毛などがスキャナ内部に巻き込まれないように注意してください。
- ガラスの表面が高温になっている場合があります。やけどに注意してください。

1. ADF 給紙シュートの上にある原稿を取り除きます。
2. カバーオープンレバーを手前に引いて、LCD カバーの側面に手を添えて、LCD カバーを開きます。



注意

LCD カバーが閉まり、指などをはさむおそれがあります。注意してください。

3. つまっている原稿を取り除きます。

重要

- ステープラーの針やクリップなどは原稿づまりの原因となりますので、原稿と搬送路をよく調べて必ず取り除いてください。
- ステープラーの針やクリップなどの付いた原稿を取り除くときに、ガラスやシートガイドを傷付けるおそれがありますので注意してください。


4. LCD カバーの側面に手を添えて、LCD カバーを閉じます。

重要

- LCD カバーを閉じる際に、手などをはさまないように注意してください。
- LCD カバーが完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと、原稿づまりや読み込み不良を起こすおそれがあります。
- タッチパネルを押して LCD カバーを閉じないでください。タッチパネルが破損するおそれがあります。

⇒ カチンという音がします。

ヒント

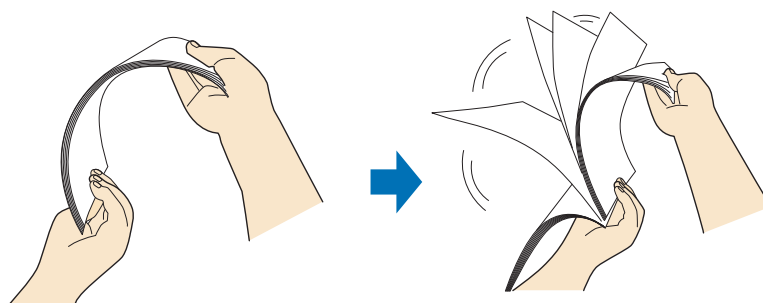
- 読み取り終了時または読み取りをキャンセルしたとき、エラーメッセージが表示されずに原稿が ADF 内部に残る場合があります。原稿が ADF 内部に残った場合は、上記の**手順 1～手順 4**に従って取り除いてください。
- 原稿がつまった場合、スキャン画像を確認してください。読み取りの途中で原稿がつまった場合、正しく読み取れなかったスキャン画像が残ることがあります。この場合は、「表示&編集」画面ので、正しく読み取れなかったスキャン画像を削除してください。「表示&編集」画面での削除操作については、「[6.11.5 スキャン画像を削除します](#)」(339 ページ)を参照してください。

なお、原稿づまりやマルチフィードが多発する場合は、以下の手順で原稿をセットしてください。

1. 原稿の先端をそろえます。

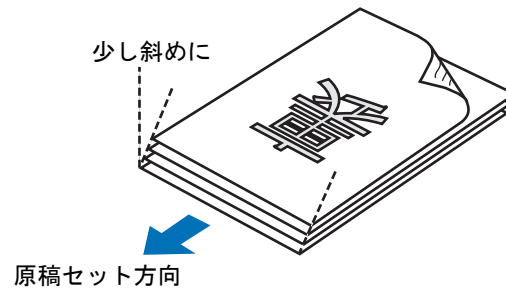
2. 原稿をさばきます。

1. 両手で原稿の両端を軽くつかみ、2～3回さばきます。



2. 原稿の向きを 90 度回転し、同じようにさばきます。

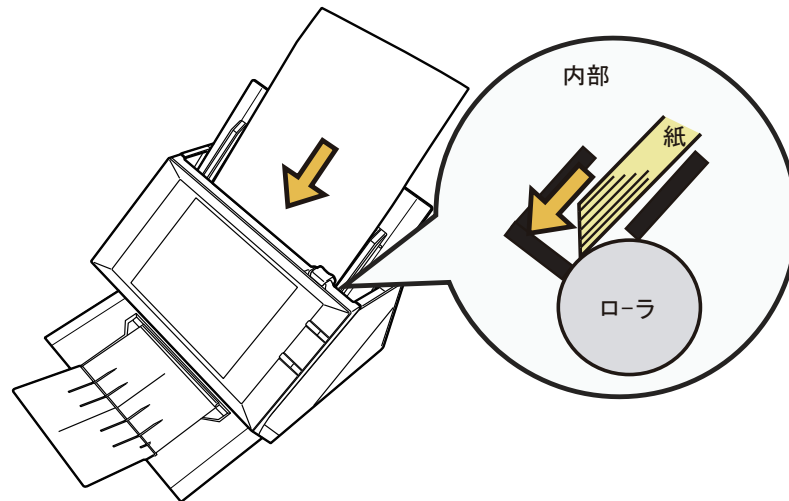
3. セットする原稿の両端をそろえて、原稿の先端を少し斜めにずらします。



重要

原稿の両端をそろえずに読み取ると、原稿づまり、または原稿の破損の原因となります。

3. 図のように ADF 給紙シュートに原稿をセットします。



8.2 ネットワーク通信ができないときには

ネットワーク通信ができない場合は、スキャナの動作状況や環境設定内容を見直してください。

以下に、発生すると考えられる代表的なトラブルについて説明します。

原因の特定ができない場合や現象が解消されない場合は、「[8.4 サービスセンターに連絡する前に](#)」(406 ページ) の各項目を確認して、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンターに連絡してください。

8.2.1 ネットワーク動作テスト

ネットワーク設定が完了したら、管理者の画面で以下のネットワーク動作テストをしてください。

- Ping によるネットワークの基本動作確認
- ネットワーク動作状態の確認
- 時刻同期による NTP サーバ環境の確認 (NTP サーバを使用する場合)
- テストメールによるメールサーバ環境の確認 (スキャン画像のメール送信、FAX 送信、またはメールによる異常通知機能を使用する場合)

■ Ping によるネットワークの基本動作確認

ネットワーク連携を行う以下のサーバとコンピュータのネットワーク接続状態を確認します。

確認手順については、「[4.8.6 Ping でネットワークへの接続状態を確認します](#)」(115 ページ) を参照してください。

- Admin Tool をインストールしたコンピュータ
- Central Admin Console をインストールしたコンピュータ
- Central Admin Server をインストールしたコンピュータ
- User Editor をインストールしたコンピュータ
- DNS サーバ
- WINS サーバ
- NTP サーバ
- LDAP サーバ
- SMTP サーバ
- フォルダー保存を行うサーバ
- FTP サーバ
- プリントサーバ
- SharePoint サーバ
- ドメインコントローラー
- プロキシサーバ

重要

サーバの設定によっては、Ping の応答を返さない場合があります。

Ping を使ってネットワーク接続状態を確認した場合は、以下の結果になります。それぞれの対処に従ってください。

「Ping Statistics」情報の Lost 値 「Lost=0 (0% loss)」

■ 意味

正常に接続されています。

「Ping Statistics」情報の Lost 値 「Lost=4 (100% loss)」

■ 意味

Ping 先に指定した接続確認先との通信ができません。

■ 対処方法

- Ping 先が正しく指定されていない可能性があります。Ping 先に指定した IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名が正しく指定されているかを確認してください。
- ネットワークの伝送方式が接続相手と一致していない可能性があります。「[4.8.7 ネットワークの動作状態を確認します](#)」(117 ページ) で、「Link Speed/Duplex Mode」を「自動検出」から、固定の Link Speed / Duplex Mode に変更してください。
- Ping 先が正しく指定されていて、ネットワークの伝送方式も適切な場合は、「[IP アドレス指定でスキャナから各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法](#)」(387 ページ) を参照して、対処してください。

「Ping Statistics」情報の Lost 値 「Lost=N(1 ~ 99% loss)」

■ 意味

Ping 先に指定した接続確認先との通信が安定していません。

■ 対処方法

- LAN ケーブルの品質に問題がある可能性があります。LAN ケーブルを交換して再度実行してください。
- ネットワークの伝送方式が接続相手と一致していない可能性があります。「[4.8.7 ネットワークの動作状態を確認します](#)」(117 ページ) で、「Link Speed/Duplex Mode」を「自動検出」から、固定の Link Speed/Duplex Mode に変更してください。

Hardware error

■ 意味

ハードウェア上の伝送路異常が発生した可能性があります。例えば、Ping 中に LAN ケーブルが抜けた場合などを示しています。

■ 対処方法

LAN ケーブルの接続状態を確認して、再度実行してください。

「Ping request could not find host xxxxxxxxx. Please check the name and try again.」

■ **意味**

Ping 先に指定された接続確認先の名前解決 / アドレス解決に失敗した可能性があります。

■ **対処方法**

- Ping 先のホスト名または FQDN 名の指定が誤っていないか確認してください。
- DNS サーバまたは WINS サーバの設定が誤っていないかを確認してください。
- Ping 先に指定したホスト名または FQDN 名が正しく指定されている場合は、「[ホスト名または FQDN 名指定で、スキャナから各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法](#)」(389 ページ) を参照して、対処してください。

■ **ネットワーク動作状態の確認**

「ネットワーク状態」画面で、ネットワーク状態を確認します。

確認手順については、「[4.8.7 ネットワークの動作状態を確認します](#)」(117 ページ) を参照してください。

それぞれの対処に従ってください。

各情報に妥当な値が表示されている。

■ **対処方法**

正常に接続されています。

正常に接続されています。

■ **対処方法**

- DHCP を使用しない場合
IP アドレスの設定が正しく行われているかを確認してください。
- DHCP を使用する場合
 - DHCP サーバまでの物理的なネットワーク接続が正しく行われているかを確認してください。
 - DHCP サーバが正常に動作していない、または DHCP サーバ側の設定（リース数制限や MAC アドレス認証など）により、正しく IP アドレスが割り当てられていないことが考えられます。DHCP サーバを確認してください。

各情報に妥当な値が表示されていても、Ping によるネットワーク通信が正常に行えない。

■ **対処方法**

「[4.8.7 ネットワークの動作状態を確認します](#)」(117 ページ) で、「Link Speed/Duplex Mode」を「自動検出」から、固定の Link Speed/Duplex Mode に変更してください。
それでも解決しない場合は、「[IP アドレス指定でスキャナから各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法](#)」(387 ページ) を参照して、対処してください。

■ 時刻同期による NTP サーバ環境の確認

「NTP サーバ」画面の [今すぐ同期] ボタンを押して、NTP サーバと即時に時刻同期ができるか確認してください。

[今すぐ同期] ボタンを押したあとに表示されるメッセージごとに、それぞれの対処に従ってください。

メッセージとその対処方法は、以下のとおりです。

正常に時刻同期を完了しました。

■ 対処方法

正常に接続されています。

時刻同期に失敗しました。

■ 対処方法

以下のどれかの対処を行ってください。

- NTP サーバの IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名の指定に誤りがないか見直してください。
- スキャナと NTP サーバとのネットワーク経路に問題があり、NTP サーバまでネットワーク通信が到達できません。ネットワーク環境を確認してください。
- NTP サーバが混みあっています。時間をおいてから、再度時刻同期を行ってください。それでも発生する場合は、指定したサーバは NTP サーバとして動作していません。違う NTP サーバを指定してください。
- 指定した NTP サーバの日付時刻が信頼できる時刻を保持していないため、NTP サーバが上位階層の NTP サーバに時刻同期を試みましたが、失敗しました。違う NTP サーバを指定するか、ネットワーク管理者に調査してもらってください。
- 時間が大きくずれていないか確認してください。時間が大きくずれている場合は、本システムの日付時刻を大まかに合わせてから、再度時刻同期を行ってください。
- [「4.5.3 日時を設定します」\(92 ページ\)](#) で本システムの日付時刻を大まかに合わせてから、再度時刻同期を行ってください。

■ テストメールによるメールサーバ環境の確認

「Scanner Central Admin Server 動作環境設定」画面または「異常通知先」画面の「テスト送信」ボタンを押して、指定したメールアドレスにメールが送信されているか確認してください。

[テスト送信] ボタンを押したあとに表示されるメッセージごとに、それぞれの対処に従ってください。

メッセージとその対処方法は、以下のとおりです。

テスト実行中

■ 対処方法

エラーメッセージが何も表示されずにインジケータ表示が消えた場合は、テストメールがメールサーバに正常に送信されています。

通知先メールアドレスにテストメールが届いていることを確認してください。通知先メールアドレスにテストメールが届かない場合は、通知先のメールアドレスの @ の前の文字列が誤っていないかを確認してください。

テストメールの送信に失敗しました。

■ 対処方法

- メールサーバ側のコンピュータが動作しているかを確認してください。
- 別のコンピュータから、通知先メールアドレスにメール送信できるかを確認してください。
- SMTP サーバに対して Ping によるネットワーク通信を行い、SMTP サーバが正常に動作しているか、または SMTP サーバまでのネットワーク経路が正常に動作しているかを確認してください。
- SMTP サーバから Ping の応答がない場合は、Ping で SMTP サーバ以外のコンピュータにネットワーク通信の確認を行い、本システムのネットワークが正常に動作していることを確認してください。
- 本システムのネットワークが正常に動作していない場合は、「[IP アドレス指定でスキャナから各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法](#)」(387 ページ) を参照して、対処してください。
- SMTP サーバに対するネットワーク通信だけができない場合は、SMTP サーバが正常に動作しているか、または SMTP サーバまでのネットワーク経路が正常に動作しているかを、ネットワーク管理者に調査してもらってください。
- 「[4.10.1 メールサーバを設定します](#)」(135 ページ) または Central Admin Console で設定した、スキャナと SMTP サーバとの通信に使用するポート番号が正しいか確認してください。Central Admin Console の操作については、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

8.2.2 ネットワーク通信トラブル現象ごとの対処方法

通信ができない場合、現象によって様々な原因が考えられます。以下に、発生すると考えられる代表的なトラブルについて説明します。それでも原因の特定ができない場合や現象が解消されない場合は、「[8.4 サービスセンターに連絡する前に](#)」(406 ページ)の各項目を確認して、スキャナを購入された販売店 / 販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンターに連絡してください。

■ IP アドレス指定でスキャナから各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法

スキャナから各サーバへ IP アドレスを指定しても接続できない場合、またはスキャナから Ping を使って、IP アドレスを指定してネットワーク通信テストをしても、各サーバから応答がない場合は、以下の対処を行ってください。

各サーバとスキャナとの接続に誤りがある。または LAN ケーブルに問題がある。

■ 対処方法

スキャナまたは各サーバに、LAN ケーブルが正しく差し込まれているかを確認してください。また、各サーバとの接続にストレート仕様の LAN ケーブルを使用している場合は、Auto MDI/MDI-X (自動選択) 未サポートのため、スキャナと各サーバとの間に、クロス LAN ケーブル、スイッチ機器またはルータ機器のどれかが介在する必要があります。上記のどれでもない場合は、LAN ケーブルの不良が考えられます。正常に動作した実績がある LAN ケーブルで再度確認してください。

IP アドレスやサブネットマスクが間違っている。

■ 対処方法

「IP アドレス」画面で、IP アドレスやサブネットマスクが正しく設定されているかを確認してください。「IP アドレス」画面については、「[4.8.1 IP アドレス /DHCP を設定します](#)」(109 ページ)を参照してください。

DHCP を使用する場合に、DHCP サーバが正常に動作していない。または、DHCP サーバ側の設定に問題がある。

■ 対処方法

DHCP を使用する場合は、スキャナの「ネットワーク状態」画面で、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが正しい値になっているかを確認してください。これらの値が正しく表示されていない場合は、DHCP サーバが正常に動作していない、または DHCP サーバ側の設定 (リース数制限や MAC アドレス認証など) により正しく IP アドレスが割り当てられていないことが考えられます。DHCP サーバの接続状態と DHCP サーバの設定内容を確認してください。「ネットワーク状態」画面については、「[4.8.7 ネットワークの動作状態を確認します](#)」(117 ページ)を参照してください。

スキャナと同じ IP アドレスを持つホストまたは通信機器が接続されている。

■ 対処方法

スキャナと同じ IP アドレスを持つホストまたは通信機器と通信した直後に、各サーバの電源を切断しないままスキャナへ接続し、環境設定を変更した場合は、通信できなくなります。各サーバを再起動してください。

スキャナと IP アドレスが重複しているホストまたは通信機器が LAN 上に存在すると正しく通信できません。

存在している場合は、重複しているホストまたは通信機器の LAN ケーブルを外し、各サーバを再起動してください。

各サーバとスキャナの間にはファイアウォール装置が設置され、アクセスが禁止されている。

■ 対処方法

各サーバとスキャナの間にはファイアウォール装置が設置されている場合は、ファイアウォール装置でアクセスが禁止されていないか確認してください。

スキャナと各サーバとのネットワークの「Link Speed/Duplex Mode」が異なっている。または、各サーバ側が自動検出に対応していない。

■ 対処方法

- スキャナのネットワークの「Link Speed/Duplex Mode」が、初期値の「自動検出」になっています。
- 「自動検出」で正しく動作しない場合は、スキャナと各サーバの Link Speed/Duplex Mode を固定にして再度確認してください。
- 「ネットワーク状態」画面については、[「4.8.7 ネットワークの動作状態を確認します」](#)（117 ページ）を参照してください。

■ ホスト名または FQDN 名指定で、スキャナから各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法

ホスト名または FQDN 名指定でスキャナから各サーバに、ネットワーク通信しても接続できない場合、またはスキャナから Ping を使って、ホスト名または FQDN 名指定でテストしても各サーバから応答がない場合は、以下の対処を行ってください。

「IP アドレス指定でスキャナから各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法」(387 ページ)と同じ原因。

■ 対処方法

「IP アドレス指定でスキャナから各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法」(387 ページ)と同じ対処で、ネットワークの通信が可能になっているかを確認してください。

スキャナの DNS サーバまたは WINS サーバの設定が誤っている。

■ 対処方法

スキャナの DNS サーバまたは WINS サーバの設定が、正しく行われているか確認してください。

DNS サーバまたは WINS サーバが正常に動作していない。または、DNS サーバまたは WINS サーバまでのネットワーク経路に異常が発生した。

■ 対処方法

DNS サーバまたは WINS サーバが正常に動作しているかを、Ping で確認してください。DNS サーバまたは WINS サーバが動作していない場合は、ネットワーク管理者にサーバの状況を確認してください。

■ ドメインに参加できない、またはドメインへのログインに失敗する場合の対処方法

スキャナをドメインに参加させるときに、権限エラーとなり追加できない。

■ 対処方法

- スキャナをドメインに参加させる場合は、ドメインの管理者権限を持つユーザー、またはドメインへコンピュータを追加する権限を持ったユーザーで認証してください。ユーザー名およびパスワードがわからない場合は、ドメインのシステム管理者に問い合わせてください。
- LAN Manager 認証レベルがドメインのサーバーの設定値と一致しているか確認してください。

administrator 権限を持つユーザーでドメインにスキャナを登録したあと、スキャナ名を変更しようとして administrator 権限を持たないドメインユーザーで認証すると、ドメインへのログインに失敗する。

■ 対処方法

administrator 権限でドメインにスキャナを登録した場合、次回の認証も administrator 権限を持つユーザーで行ってください。

■ ネットワーク共有プリンターが追加できない場合の対処方法

スキャナからネットワーク共有プリンターの追加ができない場合は、以下の対処を行ってください。また、プリンターの設定方法、ネットワーク共有プリンターの追加方法や留意事項が書かれているプリンターのマニュアルを事前によくお読みください。

プリントサーバに Windows XP 用のプリンタードライバがインストールされていない。

■ 対処方法

プリントサーバに Windows XP 用のプリンタードライバをインストールしてください。プリントサーバに Windows XP 用のプリンタードライバがインストールされていることを確認してください。確認方法については、「[4.13 ネットワーク共有プリンターを設定します](#)」(158 ページ)を参照してください。

ネットワーク共有プリンターの共有名が変更された。

■ 対処方法

プリントサーバで、ネットワーク共有プリンターの共有名を確認してください。

直接入力で指定したネットワーク共有プリンターのパス名に誤りがある。

■ 対処方法

直接入力で指定したネットワーク共有プリンターのパス名を確認してください。

ネットワーク共有プリンターの共有名に「|」(パイプ)文字を使用している。

■ 対処方法

プリントサーバ側で、共有名に「|」(パイプ)文字を使用しない共有プリンターを作成して、再度ネットワーク共有プリンターを登録してください。

LAN Manager 認証レベルがネットワーク共有プリンターのサーバの設定値と一致していない。

■ 対処方法

LAN Manager 認証レベルは、ネットワーク共有プリンターのサーバの設定値と一致させてください。

■ ネットワーク共有プリンターから印刷できない場合の対処方法

スキャナで設定したネットワーク共有プリンターから印刷できない場合は、以下の対処を行ってください。また、プリンターの設定方法、ネットワーク共有プリンターの追加方法や留意事項が書かれているプリンターのマニュアルを事前によくお読みください。

「IP アドレス指定でスキャナから各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法」(387 ページ)と同じ原因。

■ 対処方法

「IP アドレス指定でスキャナから各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法」(387 ページ)と同じ対処で、ネットワークの通信が可能になっているかを確認してください。

用紙切れ、用紙づまりなどの原因で、プリンターが印刷可能な状態ではない。

■ 対処方法

プリンターが印刷可能な状態になっているかを確認し、プリンターのエラー要因を取り除いてください。

ネットワーク共有プリンターへの印刷権限がない。

■ 対処方法

ネットワーク管理者にネットワーク共有プリンターへの印刷権限を確認してください。

プリンター本体またはスプーラの異常で印刷できない。

■ 対処方法

以下のどれかの対処を行ってください。

- プリントサーバ上のアプリケーションから印刷できることを確認してください。
- プリントサーバのスプーラが正常に動作しているか確認してください。

■ ネットワーク共有フォルダーが追加できない場合の対処方法

スキャナからネットワーク共有フォルダーの追加ができない場合は、以下の対処を行ってください。

ネットワーク共有フォルダーの共有名が変更された。

■ 対処方法

サーバ側で、ネットワーク共有フォルダーの共有名を確認してください。

直接入力で指定したネットワーク共有フォルダーのパス名に誤りがある。

■ 対処方法

直接入力で指定したネットワーク共有フォルダーのパス名を確認してください。

LAN Manager 認証レベルがネットワーク共有フォルダーのサーバーと一致していない。

■ 対処方法

LAN Manager 認証レベルは、ネットワーク共有フォルダーのサーバの設定値と一致させてください。

■ ネットワーク共有フォルダーに保存できない場合の対処方法

FTP サーバのネットワーク共有フォルダーにスキャン画像を保存するときに、「ネットワークがビジー状態です。時間をおいてから再実行してください。」のメッセージが表示されて保存できない。

■ 対処方法

FTP サーバの空きポート番号が一時的になくなると発生する場合があります。しばらく時間（3分程度）をおいてから、再度実行するか、またはFTPの設定をパッシブモードに変更してください。

FTP プロキシを使用して大容量サイズのデータをFTPサーバのネットワーク共有フォルダに保存するときに、途中でエラーとなり保存できない。

■ 対処方法

プロキシサーバに DeleGate を使用している環境で、データの転送時間が10分以上かかる場合、保存処理に失敗する場合があります。この場合は、DeleGateの設定に「TIMEOUT io=0」を追加すると、正常に保存できる場合があります。

FTP/FTPS による保存を繰り返していると、「ネットワーク共有フォルダーへの保存処理でエラーが発生しました。」のメッセージが表示されることがある。

■ 対処方法

FTP サーバ側の空きポート番号が枯渇した場合に、この現象が発生することがあります。しばらく時間（3分程度）をおいてから、再度保存処理を実行してください。

8.2.3 Web ブラウザ・Admin Tool・Central Admin Server からスキャナにアクセスできない場合の対処方法

Web ブラウザ・Admin Tool・Central Admin Server からスキャナにアクセスできない場合、および Central Admin Console から Central Admin Server にアクセスできない場合は、以下の対処を行ってください。

「IP アドレス指定でスキャナから各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法」(387 ページ)と同じ原因。

■ 対処方法

「IP アドレス指定でスキャナから各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法」(387 ページ)と同じ対処で、ネットワークの通信が可能になっているかを確認してください。

DNS サーバ、WINS サーバが正常に動作していない。または、DNS サーバや WINS サーバにスキャナのスクナ名が登録されていない。

■ 対処方法

IP アドレスを指定して接続確認してください。

IP アドレスを指定してネットワーク接続できた場合は、スキャナのスクナ名の IP アドレスを DNS サーバ、または WINS サーバに登録してください。

Web ブラウザおよび Admin Tool の、DNS サーバおよび WINS サーバの設定が正しいか確認してください。

Web ブラウザまたは Admin Tool (LAN 接続) がインストールされたコンピュータと、スキャナの間にはファイアウォール装置が設置され、HTTP/HTTPS プロトコルでのスキャナへのアクセスが禁止されている。

■ 対処方法

Web ブラウザまたは Admin Tool がインストールされたコンピュータと、スキャナの間にはファイアウォール装置が設置されている場合は、ファイアウォール装置でアクセスが禁止されていないか確認してください。

対象スキャナの URL が信頼済みサイトに設定されていない。

■ 対処方法

Web ブラウザの信頼済みサイトに、対象スキャナの URL を設定してください。

1. Internet Explorer で、「ツール」メニュー→「インターネットオプション」を選択します。
2. 「セキュリティ」タブの「信頼済みサイト」を選択して、[サイト] ボタンを押します。
3. 「この Web サイトをゾーンに追加する」に対象スキャナの URL を入力して、[追加] ボタンを押します。

Internet Explorer で、「ツール」メニューの「インターネットオプション」にある「セキュリティ」タブで、該当するゾーンのセキュリティレベルが「高」に設定されている。
 または、「レベルのカスタマイズ」で「設定」の「スクリプト」の「アクティブスクリプト」が「ダイアログを表示する」または「無効にする」に設定されている。

■ 対処方法

スキャナ名で接続した場合は、イントラネットゾーンでの接続になります。また、IP アドレスで接続した場合は、インターネットゾーンでの接続になります。

以下の方法で、対象のゾーンを設定してください。

1. Internet Explorer で、「ツール」メニュー→「インターネットオプション」を選択します。
2. 以下のどれかの方法で、アクティブスクリプトを有効にします。
 - 「セキュリティ」タブの [既定のレベル] ボタンを押して、「このゾーンのセキュリティのレベル」を「中」にします。
 - 「セキュリティ」タブの [レベルのカスタマイズ] ボタンを押して、「設定」の「スクリプト」の「アクティブスクリプト」を「有効にする」にします。
3. インターネットゾーンの場合は、「プライバシー」タブで、設定を「中 - 高」以下にします。
4. 以下のどれかの方法で、インターネット一時ファイルを削除します。
 - Internet Explorer 6.0 の場合
「全般」タブの「インターネット一時ファイル」の [ファイルの削除] ボタンを押します。
 - Internet Explorer 7 の場合
「全般」タブの「閲覧の履歴」の [削除] ボタンを押して、「インターネット一時ファイル」の [ファイルの削除] ボタンを押します。
 - Internet Explorer 8 または Internet Explorer 9 の場合
「全般」タブの「閲覧の履歴」の [削除] ボタンを押して、「インターネット一時ファイル」チェックボックスにチェックを付けて、[削除] ボタンを押します。
 - Internet Explorer 10 の場合
「全般」タブの「閲覧の履歴」の [削除] ボタンを押して、「インターネット一時ファイルおよび Web サイトのファイル」チェックボックスにチェックを付けて、[削除] ボタンを押します。

スキャナが省電力モードになっている。

■ 対処方法

電源ボタンを押して、スキャナを起動してください。

プロキシサーバを使用している。

■ 対処方法

プロキシサーバを使用しない設定にしてください。

1. Internet Explorer で、「ツール」メニュー→「インターネットオプション」を選択します。
2. 「接続」タブの [LAN の設定] ボタンを押します。
3. 「LAN にプロキシサーバを使用する（これらの設定はダイヤルアップまたは VPN 接続には適用されません）」チェックボックスのチェックを外します。

接続プロトコルの指定に誤りがある。

■ 対処方法

「接続設定」画面で SSL 通信の使用の有無を確認してください。
詳細については、「[4.8.8 接続設定をします](#)」(119 ページ)を参照してください。

ポート番号の指定に誤りがある。

■ 対処方法

「接続設定」画面で指定したポート番号を指定してください。
詳細については、「[4.8.8 接続設定をします](#)」(119 ページ)を参照してください。

Internet Explorer で、「ツール」メニューの「インターネットオプション」にある「詳細設定」タブで、「設定」の「セキュリティ」の「SSL 3.0 を使用する」のチェックが外れている。

■ 対処方法

1. Internet Explorer で、「ツール」メニュー→「インターネットオプション」を選択します。
2. 「詳細設定」タブで、「設定」の「セキュリティ」の「SSL 3.0 を使用する」チェックボックスにチェックを付けます。

8.3 スキャナの使用中にトラブルが発生したときには

スキャナの使用中に発生するトラブルとその対処方法について説明します。修理を依頼される前に、次の項目を点検してください。

項目を点検しても直らない場合は、「[8.4 サービスセンターに連絡する前に](#)」（406 ページ）の各項目を確認して、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

発生するトラブル事例は以下のとおりです。

症状一覧

■ 電源が入らない

- 「電源が入らない。」（397 ページ）

■ スキャナが起動しない

- 「画面に「The last attempt to restart ...」のメッセージが表示されて、スキャナが起動しない。」（397 ページ）
- 「省電力モードから復帰しない。」（397 ページ）
- 「「起動時にスキャナの初期化に失敗しました」のメッセージが表示され、起動しない。」（398 ページ）

■ スキャナを初期状態に戻したい

- 「スキャナの設定を初期状態に戻したい」（398 ページ）
- 「管理者のログインパスワードを忘れた」（398 ページ）

■ 読み取りがうまくできない

- 「読み取りが開始されない。」（399 ページ）
- 「Scan ボタンを押しても読み取りが開始されない。」（399 ページ）
- 「マルチフィードが頻繁に検出される。」（400 ページ）
- 「原稿が送り込まれない（ピックアップが頻繁に発生する、または原稿が途中で止まる）。」（401 ページ）
- 「A3 キャリアシートの読み取りで、「原稿ジャムが発生しました。ADF から残っている原稿を取り除いてください。」のメッセージが表示されてエラーが発生する。」（401 ページ）

■ 読み取り結果がおかしい

- 「スキャン画像が間延びする。」（402 ページ）
- 「スキャン画像の先端に影がある。」（402 ページ）
- 「スキャン画像に縦線が出る。」（402 ページ）
- 「スキャン画像の出力結果がずれる、またはゆがむ。」（402 ページ）
- 「読み取り結果が良くない。」（402 ページ）
- 「スキャン画像が一部が切れる」（403 ページ）
- 「スキャン画像が傾く」（403 ページ）

■ ログインできない

- 「管理者パスワードでログインできない。」（403 ページ）
- 「ネットワーク経由で接続した場合に「ログイン」画面が表示されない。」（404 ページ）

■ 操作がうまくできない

- 「文字の入力域にキーボードで入力した内容が反映されない。」（404 ページ）
- 「「ファイルのダウンロード」画面で [保存] ボタンを押しても、保存できない。」（404 ページ）
- 「「XXX へ印刷しています。」画面の状態で止まってしまう。」（404 ページ）

- 「Admin Tool をインストールしようとする時、エラーになる。」(405 ページ)
- 「FAX 送信時に、スキャン中画面が表示された状態で止まってしまう。」(405 ページ)

■ 電源が入らない

電源が入らない。

■ 確認事項

電源ボタンを押しましたか？

■ 対処方法

電源ボタンを押してください。

■ 確認事項

AC アダプターおよび AC ケーブルが正しく接続されていますか？

■ 対処方法

- AC アダプターおよび AC ケーブルを正しく接続してください。
- AC ケーブルを抜いて一度電源を切断し、再び挿入してください。電源を切断したあと、電源を入れる場合は、10 秒以上時間を空けてください。
この方法を試しても電源が入らない場合は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

■ スキャナが起動しない

画面に「The last attempt to restart ...」のメッセージが表示されて、スキャナが起動しない。

■ 確認事項

電源投入後、すぐに電源を切っていませんか？

■ 対処方法

- 電源ボタンを押してください。
- AC ケーブルを抜いて一度電源を切断し、再び挿入してください。電源を切断したあと、電源を入れる場合は、10 秒以上時間を空けてください。
この方法を試しても電源が入らない場合は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

省電力モードから復帰しない。

■ 確認事項

電源を切断したあと、すぐに電源を入れていませんか？

■ 対処方法

電源ボタンを押してください。

「起動時にスキャナの初期化に失敗しました」のメッセージが表示され、起動しない。

■ 確認事項

スキャナの電源を切断してから、再度電源を入れても同じ現状ですか？

■ 対処方法

AC ケーブルを抜いて一度電源を切断し、再び挿入してください。電源を切断したあと、電源を入れる場合は、10 秒以上時間を空けてください。

この方法を試しても電源が入らない場合は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

■ スキャナを初期状態に戻したい

スキャナの設定を初期状態に戻したい

■ 対処方法

「工場出荷時の状態に戻します」(185 ページ) を参照して、スキャナを初期化してください。

管理者のログインパスワードを忘れた

■ 対処方法

スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

■ 読み取りがうまくできない

読み取りが開始されない。

■ 確認事項

原稿は ADF 給紙シュートに正しくセットされていますか？

■ 対処方法

原稿を ADF 給紙シュートに正しくセットしてください。

■ 確認事項

LCD カバーは完全に閉まっていますか？

■ 対処方法

LCD カバーを完全に閉めてください。

■ 確認事項

スキャナの電源を切ってから再び電源を入れ、ログインし直しても、同じ症状が出ますか？

■ 対処方法

AC ケーブルを抜いて一度電源を切断し、再び挿入してください。電源を切断したあと、電源を入れる場合は、10 秒以上時間を空けてください。

この方法を試しても電源が入らない場合は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

Scan ボタンを押しても読み取りが開始されない。

■ 確認事項



が付いたボタンが表示されていますか？

■ 対処方法

Scan ボタンが有効なのは、以下の画面がタッチパネルに表示されている場合です。

- 「メール送信」画面
- 「FAX 送信」画面
- 「印刷」画面
- 「保存」画面
- 「表示&編集」画面
- 「読み取りテスト」画面
- 「ジョブメッセージ」画面
- 「読み取り枚数入力」画面
- 読み取りが完了したときの読み取り枚数確認画面
- 「ファイル名入力」画面

マルチフィードが頻繁に検出される。

■ 確認事項

「[A.2 原稿の紙質](#)」(413 ページ) の条件を満たしていますか？

■ 対処方法

「[A.2 原稿の紙質](#)」(413 ページ) を満たしている原稿を使用してください。

■ 確認事項

原稿は ADF 給紙シュートに正しくセットされていますか？

■ 対処方法

読み取りの前に原稿の束をさばいて、きちんと端をそろえてから ADF 給紙シュートにセットしてください。

■ 確認事項

原稿の束の厚さが 5mm を超えていませんか？

■ 対処方法

原稿の束の厚さを 5mm まで減らしてください。

■ 確認事項

パッドユニットがよごれていませんか？

■ 対処方法

パッドユニットを清掃してください。
詳しくは、「[7.3 スキャナ内部を清掃します](#)」(357 ページ) を参照してください。

■ 確認事項

パッドユニットが磨耗していませんか？

■ 対処方法

パッドユニットを交換してください。
詳しくは、「[7.5 消耗品を交換します](#)」(364 ページ) を参照してください。

原稿が送り込まれない（ピックアップエラーが頻繁に発生する、または原稿が途中で止まる）。

■ 確認事項

「A.2 原稿の紙質」（413 ページ）の条件を満たしていますか？

■ 対処方法

「A.2 原稿の紙質」（413 ページ）を満たしている原稿を使用してください。

■ 確認事項

ピックアップユニットがよごれていませんか？

■ 対処方法

ピックアップユニットを清掃してください。

詳しくは、「7.3 スキャナ内部を清掃します」（357 ページ）を参照してください。

■ 確認事項

ピックアップユニットが磨耗していませんか？

■ 対処方法

ピックアップユニットを交換してください。

詳しくは、「7.5 消耗品を交換します」（364 ページ）を参照してください。

■ 確認事項

搬送路に異物が入り込んでいませんか？

■ 対処方法

搬送路から異物を取り除いてください。

A3 キャリアシートの読み取りで、「原稿ジャムが発生しました。ADF から残っている原稿を取り除いてください。」のメッセージが表示されてエラーが発生する。

■ 確認事項

A3 キャリアシートの読み取りに失敗した場合、「キャリアシートの読み取りに失敗しました。原稿の折り目側を、太い縦線のある方の端へぴったりと合わせて、再度読み取りを行ってください。」のメッセージが表示されたあと、「原稿ジャムが発生しました。ADF から残っている原稿を取り除いてください。」のメッセージが表示され、エラーとなる場合があります。

■ 対処方法

メッセージに応答してから、再度読み取ってください。

■ 読み取り結果がおかしい

スキャン画像が間延びする。

■ 確認事項

フィードローラーがよごれていませんか？

■ 対処方法

フィードローラーを清掃してください。
詳しくは、「[7.3 スキャナ内部を清掃します](#)」(357 ページ) を参照してください。

スキャン画像の先端に影がある。

■ 確認事項

フィードローラーがよごれていませんか？

■ 対処方法

フィードローラーを清掃してください。
詳しくは、「[7.3 スキャナ内部を清掃します](#)」(357 ページ) を参照してください。

スキャン画像に縦線が出る。

■ 確認事項

ガラス部がよごれていませんか？

■ 対処方法

「[第7章 スキャナのお手入れ](#)」(353 ページ) を参考にして、ガラス部を清掃してください。

スキャン画像の出力結果がずれる、またはゆがむ。

■ 確認事項

原稿は正しくセットされていますか？

■ 対処方法

原稿を正しくセットしてください。

読み取り結果が良くない。

■ 確認事項

ガラス部がよごれていませんか？

■ 対処方法

よごれている箇所を清掃してください。

スキャン画像が一部が切れる

■ 確認事項

用紙の色によっては、用紙の境界線が正しく読み取れず、画像の一部が切り取られる場合があります。

■ 対処方法

用紙サイズ設定を定型サイズにして、読み取ってください。

■ 確認事項

用紙が正しくセットされていますか？

■ 対処方法

用紙を正しくセットしてください。

スキャン画像が傾く

■ 確認事項

サイドガイドが用紙幅にありますか？

■ 対処方法

サイドガイドを用紙幅に合わせてください。

また、ピックアップユニットが原因の場合もあります。「原稿が送り込まれない（ピックアップが頻繁に発生する、または原稿が途中で止まる）」（401 ページ）の確認事項および対処方法も確認してください。

■ ログインできない

管理者パスワードでログインできない。

■ 確認事項

パスワード入力時に Caps Lock がかかっていますか？

■ 対処方法

Caps Lock を解除してもう一度ログインしてください。

万一、パスワードを紛失してしまった場合は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

ネットワーク経由で接続した場合に「ログイン」画面が表示されない。

■ 確認事項

SSL 通信の設定は正しいですか？

■ 対処方法

画面を終了し、設定を見直してから再度接続してください。

■ 確認事項

HTTPS 接続時に表示される「セキュリティの警告」画面で [はい] ボタンを押しましたか？

■ 対処方法

画面を終了させてから再度接続してください。接続時に表示される「セキュリティの警告」画面では [はい] ボタンを押してください。

■ 操作がうまくできない

文字の入力域にキーボードで入力した内容が反映されない。

■ 確認事項

文字の入力域が選択されていますか？

■ 対処方法

- 再度入力域を選択してください。
- [キャンセル] ボタンを押して、再入力してください。
- タッチパネルの場合は、画面の入力域を直接触ってから再入力してください。

「ファイルのダウンロード」画面で [保存] ボタンを押しても、保存できない。

■ 確認事項

保存先のパス長がファイル名を含めて 259 文字以上になっていませんか？

■ 対処方法

保存先のパス長が短くなるよう保存先を変更してください。

「XXX へ印刷しています。」画面の状態で止まってしまう。

■ 確認事項

プリントサーバのスプールフォルダーが存在するドライブに空き容量がありますか？

■ 対処方法

プリントサーバのスプールフォルダーが存在するドライブに十分空き容量を確保してください。

Admin Tool をインストールしようとする、エラーになる。

■ **確認事項**

オペレーティングシステムの言語と異なる言語の Admin Tool がインストールされていませんか？

■ **対処方法**

すでにインストールされている Admin Tool をアンインストールしてください。そのあとで、オペレーティングシステムの言語と同じ言語の Admin Tool を再度インストールしてください。

FAX 送信時に、スキャン中画面が表示された状態で止まってしまう。

■ **確認事項**

読み取り中に、スキャナの Scan ボタンを何度も押していませんか？

読み取りが終わる直前にスキャナの Scan ボタンを押さないでください。

■ **対処方法**

AC ケーブルを抜いて一度電源を切断し、再び挿入してください。電源を切断したあと、電源を入れる場合は、10 秒以上時間を空けてください。

この方法を試しても同じ現象が発生する場合は、スキャナを購入された弊社 / 販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンターに連絡してください。

8.4 サービスセンターに連絡する前に

当社のサービスセンター（PFU イメージング サービス&サポートセンター）に連絡する前に、以下の項目をお調べ願います。

8.4.1 概要

調べる項目	調査結果
装置名 (MODEL)	ScanSnap N1800
製造番号 (SER. NO.)	例 : ***** 製造番号については、「8.5 ラベルの確認」(409 ページ) を参照してください。
製造年月 (DATE)	年 月 例えば、ラベルの 2012-12 は 2012 年 12 月のことです。 製造年月日については、「8.5 ラベルの確認」(409 ページ) を参照してください。
購入年月日	年 月 日
システムバージョン	
症状	
故障頻度	
総読み取りページ数 (ADF)	
保証書の有無	該当するものに丸を付けてください。 有 ・ 無

8.4.2 エラー状況

■ コンピュータ接続時の問題

調べる項目	調査結果
OS (Windows) の種類	
Admin Tool のバージョン	
画面のエラーメッセージ	

■ 搬送系の問題

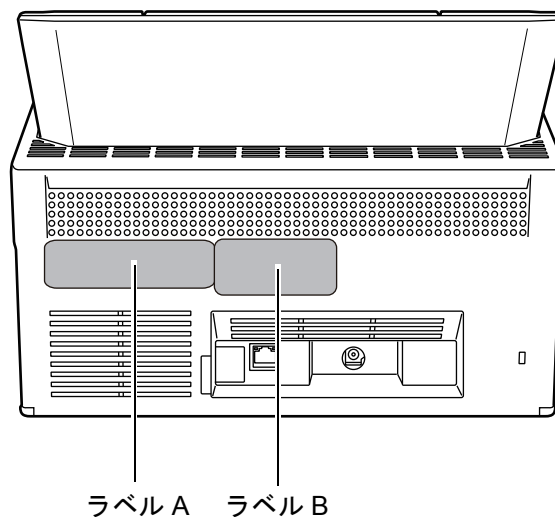
調べる項目	調査結果
原稿の種類	
主な使用目的	
最新の清掃年月日	年 月 日
消耗品の交換年月日	年 月 日
エラーメッセージの内容	

■ 原稿と出力結果の送付

調べる項目	調査結果
原稿と出力結果の両方を、メールまたはFAXで送信することは可能ですか？	該当するものに丸を付けてください。 可能 不可能

8.5 ラベルの確認

ラベルの位置を以下に示します。
ラベルは、スキャナの背面にあります。



以下に、ラベルの例を示します。

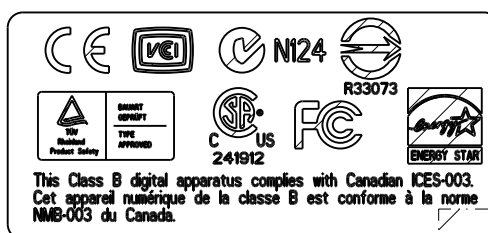
- ラベル A

例：スキャナの情報を示しています。

型名	FI-N1800	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
MODEL	N1800	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
PART NO.	PA03609-B***	
SER. NO.	*****	
DATE	YYYY-MM	
PFU Limited		*XXXXXXXXXX*
		V --- *A *** kg
		MADE IN *****

- ラベル B

例：スキャナが適合する規格について示しています。



8.6 スキャナを保守に出すときの処置

スキャナを保守に出すときは、以下を参照してユーザー情報とシステム設定情報の退避を行ってください。

- 「4.15.1 ユーザー情報をメンテナンスします」(177 ページ) の「ユーザー情報を退避します」(179 ページ)
- 「4.15.2 システム設定情報の保守を行います」(182 ページ)

退避後、以下を参照してユーザー情報とシステム設定情報を削除してください。ハードディスク交換を行うと設定は出荷時の状態になります。

- 「4.15.1 ユーザー情報をメンテナンスします」(177 ページ) の「ユーザー情報をすべて削除します」(181 ページ)
- 「4.15.2 システム設定情報の保守を行います」(182 ページ) の「工場出荷時の状態に戻します」(185 ページ)

重要

ユーザー情報には、メール送信先や FAX 番号などの個人情報のデータが含まれます。取り扱いには十分注意してください。

付録 A

読み取りできる原稿

管理者

利用者

原稿を正しく読み取るために必要な原稿のサイズと原稿の紙質について説明します。

A.1 原稿のサイズ	412
A.2 原稿の紙質	413
A.3 セットできる原稿の枚数	415
A.4 穴をあけてはいけない領域・原稿を貼り付けてはいけない領域	416
A.5 マルチフィードの検出条件	417
A.6 A3 キャリアシートを使用する場合の条件	418

A.1 原稿のサイズ

読み取り可能な原稿のサイズは以下のとおりです。

幅 :52 ~ 216mm (2.1 ~ 8.5 インチ)

長さ :74 ~ 355.6mm (2.9 ~ 14.0 インチ) (*)

*: カスタム用紙サイズで長尺帳票指定を設定する場合、原稿の長さは 3,048mm (120 インチ) まで読み取れます。

A.2 原稿の紙質

原稿の種類

推奨される原稿の種類は以下のとおりです。

- 上質紙
- 中質紙

上記以外の種類の原稿を読み取る場合には、読み取り操作を実行する前に、読み取りできるかどうかを同質の原稿で確認してください。

原稿の紙厚

使用可能な原稿の厚さは以下のとおりです。

- 52 ~ 127 g/m²
- A8 サイズは 127 g/m² だけ

事前の注意

以下の原稿は、うまく読み取れない場合があります。

- 紙厚が一定していない原稿（封筒や切り貼りされた原稿など）
- しわがよっていたり、カールしている原稿（次ページのヒントを参照）
- 折れたり、裂けたりしている原稿
- 写真やメモ用紙などが貼り付けられた原稿
- 和紙などのコシの弱い薄紙およびコシの強すぎる厚紙
- トレーシングペーパー
- コート紙
- カーボン紙
- ノーカーボン紙
- 感光紙、感熱紙、静電プロッタ用紙
- 端にミシン目や穴あけのある原稿
- 四角形ではない原稿
- 非常に薄い（52 g/m² 未満）原稿

また、以下の原稿は読み取らないでください。

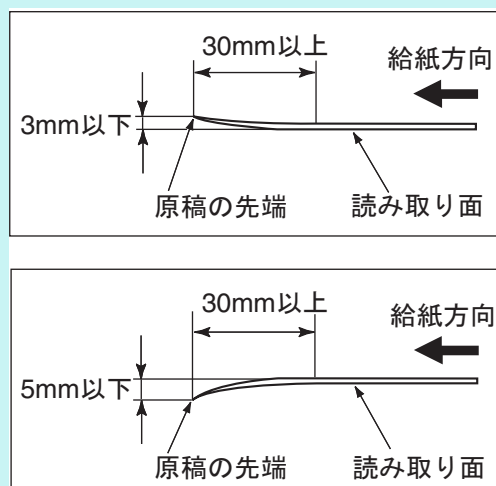
- クリップまたはステープラーの針が付いた原稿
- インクが乾いていない原稿
- A8（縦置き）サイズより小さい原稿
- 幅が 216mm（8.5 インチ）より大きい原稿
- 紙以外のもの（布、金属箔、OHP フィルム、プラスチックカードなど）
- 証書や金券など、媒体が傷付いたり、よごれたりしてはならない重要書類

重要

- ノーカーボン紙は、パッドユニットや原稿を送るローラー類（ピックローラユニットなど）を損なうような化学物質を含んでいるため、以下のことに注意してください。
 - 清掃
原稿づまりが頻繁に起きるときは、パッドユニットとピックローラユニットを清掃してください。
清掃方法については、「第7章 スキャナのお手入れ」(353 ページ) を参照してください。
 - 部品の交換
パッドユニットとピックローラユニットの寿命は、中質紙の原稿を読み取る場合に比べて短くなる可能性があります。
- 中質紙の原稿を読み取った場合、パッドユニットとピックローラユニットの寿命は、上質紙の原稿を読み取った場合に比べて短くなる場合があります。
- 写真を読み込んだ場合は、写真の表面が傷付くことがあります。

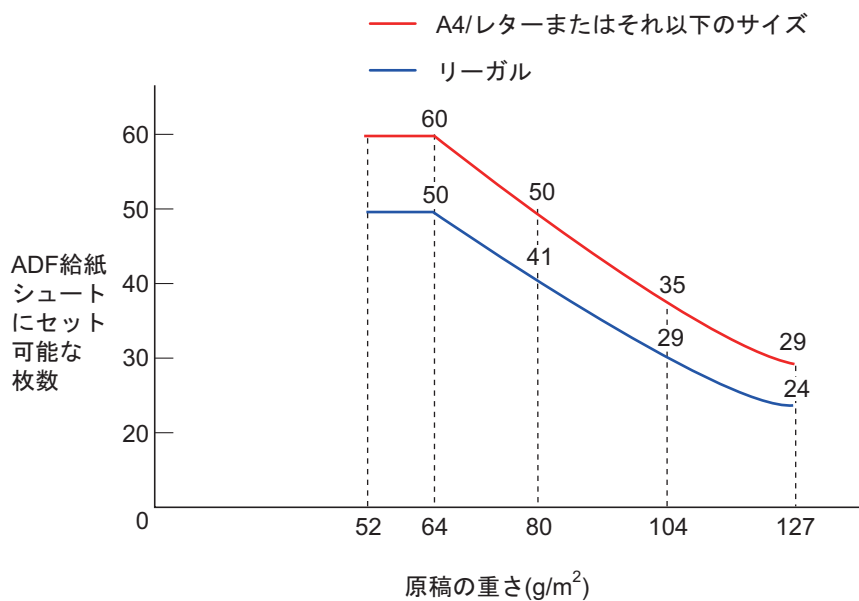
ヒント

- 半透明の原稿を読み取るときは、裏写りを防止するために「明るさ」を明るめに設定してください。
- 鉛筆書きの原稿を読み取る際は、原稿に黒い跡が転写される可能性があるため、できる限り頻繁にローラーを清掃してください。ローラー類のよごれ、原稿送り不良の原因となります。
清掃方法については、「第7章 スキャナのお手入れ」(353 ページ) を参照してください。
- すべての原稿の先端が平らである必要があります。原稿先端のカールは、以下の数値を満たしている必要があります。



A.3 セットできる原稿の枚数

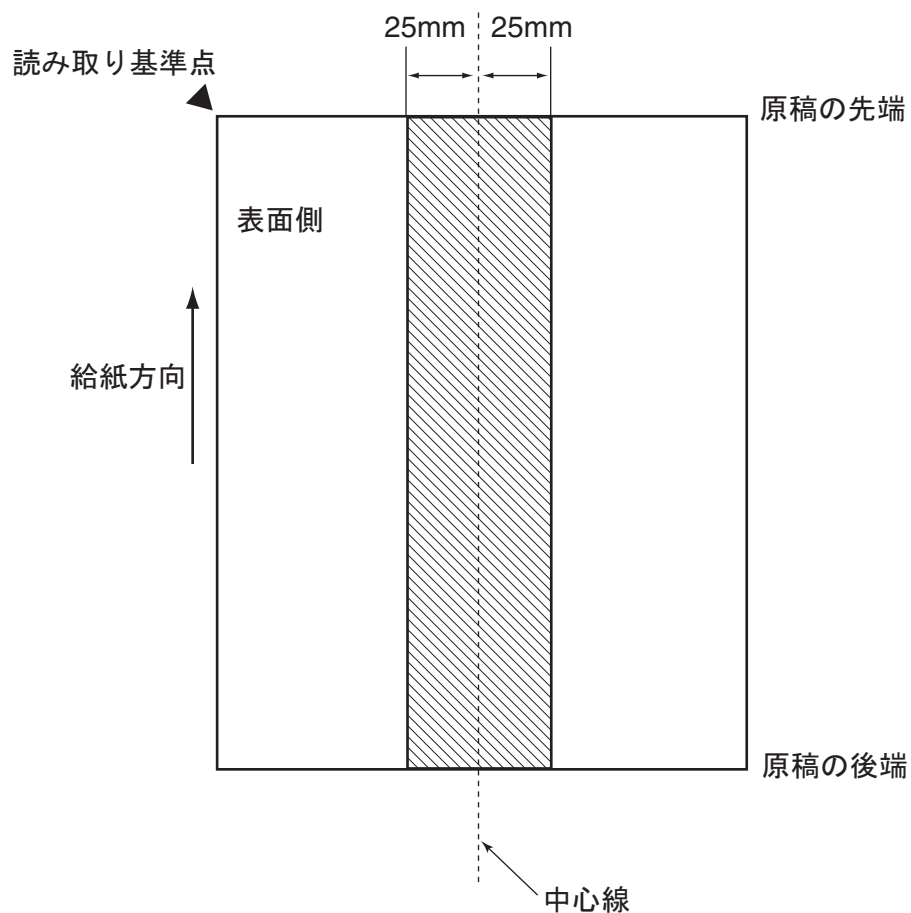
ADF 給紙シュートにセットできる原稿の枚数は、原稿のサイズと重さで決まります。以下のグラフを参照してください。



重さの単位	変換表						
g/m ² (坪量)	52	64	75	80	90	104	127
lb	14	17	20	21	24	28	34
kg (連量)	45	55	64.5	69	77.5	90	110

A.4 穴をあけてはいけない領域・原稿を貼り付けてはいけない領域

以下の図の斜線の領域に穴があいてる、またはほかの原稿が貼り付けられていると、エラーの原因になることがあります。



A.5 マルチフィードの検出条件

マルチフィード検出は、原稿の重なり、原稿の長さ、または原稿の重なりと長さの両方をチェックして検出します。

原稿の重なり、原稿の長さ、または原稿の重なりと長さの両方でマルチフィードを検出する場合、「[6.9.19 マルチフィードを検出します](#)」(331 ページ)で「重なりと長さ検出」を設定します。

検出を正しく行うには、以下の条件が必要です。

原稿の重なりを検出する場合

- ADF 給紙シュートにセットして一度に読み取る原稿の厚さは、同じものを使用してください。
- 原稿の厚さ : 52 ~ 127g/m² (45 ~ 110kg/ 連) (0.065 ~ 0.15mm)
- 原稿の中心線から両側に幅 25mm の領域には、穴をあけないでください。(*)
- 原稿の中心線から両側に幅 25mm の領域には、のりなどで、ほかの原稿を貼り付けないでください。(*)

(*): 「[A.4 穴をあけてはいけない領域・原稿を貼り付けてはいけない領域](#)」(416 ページ)を参照してください。

原稿の長さを検出する場合

- ADF 給紙シュートにセットして一度に読み取る原稿の長さは、同じものを使用してください。
- 原稿の長さのばらつき : 1%、またはそれ以下
- 原稿の中心線から両側に幅 25mm の領域には、穴をあけないでください。(*)

(*): 「[A.4 穴をあけてはいけない領域・原稿を貼り付けてはいけない領域](#)」(416 ページ)を参照してください。

原稿の重なりと長さの両方を検出する場合

- ADF 給紙シュートにセットして一度に読み取る原稿の厚さ、および長さは同じものを使用してください。
- 原稿の厚さ : 52 ~ 127g/m² (45 ~ 110kg/ 連) (0.065 ~ 0.15mm)
- 原稿の長さのばらつき : 1% またはそれ以下
- 原稿の中心線から両側に幅 25mm の領域には、穴をあけないでください。(*)
- 原稿の中心線から両側に幅 25mm の領域には、のりなどで、ほかの原稿を貼り付けないでください。(*)

(*): 「[A.4 穴をあけてはいけない領域・原稿を貼り付けてはいけない領域](#)」(416 ページ)を参照してください。

重要

- 原稿の重なりを検出する場合、厚い原稿を使用すると、常にマルチフィードと誤検出されてしまいます。
このような場合は、マルチフィード検出の設定を「しない」にして読み取ってください。
- 原稿の条件によっては、マルチフィードの検出率が落ちる場合があります。
- 原稿の先端および後端から 30mm は、マルチフィードを検出できない場合があります。

A.6 A3 キャリアシートを使用する場合の条件

A.6.1 原稿のサイズ

読み取り可能な原稿のサイズは以下のとおりです。

- A3 (297 × 420mm) (*)
- B4 (257 × 364mm) (*)
- 11 × 17 インチ (279.4 × 431.8mm) (*)

(*):2 つ折りにして読み取ります。

A.6.2 原稿の紙質

原稿の種類

推奨される原稿の種類は以下のとおりです。
一般的なオフィス用紙

原稿の紙厚

使用可能な原稿の厚さは以下のとおりです。

- 127g/m² まで
- 2 つ折りにして読み取る場合、63.5g/m² まで

事前の注意

以下のことに注意してください。

- A3 キャリアシートと A3 キャリアシートに入れていない原稿を混載して読み取れません。
- A3 キャリアシートは同時に最大 3 枚までセットできます。
- A3 キャリアシート先端に印刷された白黒のパターン部分に、文字を書いたり、色を塗ったり、よごしたり、切り取ったりしないでください。A3 キャリアシートが正しく認識できなくなります。
- A3 キャリアシートを逆向きにして、スキャナにセットしないでください。原稿づまりが発生して、A3 キャリアシートおよび A3 キャリアシート内の原稿が破損するおそれがあります。
- 原稿を、A3 キャリアシートに入れたまま長期間放置しないでください。印刷が A3 キャリアシートに転写する場合があります。
- A3 キャリアシートを、直射日光の当たる場所や暖房機の近くなど、高温になる場所に長時間放置しないでください。また、高温環境下で A3 キャリアシートを使用しないでください。A3 キャリアシートが変形するおそれがあります。
- A3 キャリアシートを折り曲げたり、無理に引っ張ったりしないでください。
- 破損した A3 キャリアシートは使用しないでください。スキャナが破損、または故障する可能性があります。
- A3 キャリアシートは、変形を避けるため、できるだけ水平な場所で、重量のかからない状態で保管してください。

-
- A3 キャリアシートの端を、指で勢いよくこすらないでください。指を切るおそれがあります。
 - 原稿づまりが頻繁に発生するときは、PPC 用紙（再生紙）を 50 枚ほど連続給紙したあとに、A3 キャリアシートの読み取りを行ってください。
PPC 用紙（再生紙）は、印刷済みのものでも無地のものでも構いません。

付録 B

設定値と上限値 管理者 利用者

メールアドレスの設定値および設定項目の上限値について説明します。

B.1 メールアドレスの設定値.....	421
B.2 設定項目の上限値.....	422

B.1 メールアドレスの設定値

1 メールアドレスの最大文字数は、半角 256 文字です。
設定できるメールアドレスの書式は、以下のとおりです。

- XXXXXXX@IP アドレス
- XXXXXXX@ホスト名
- XXXXXXX@ドメイン名

XXXXXXXX	使用可能な文字は、半角英数字と以下の記号です。 !#\$%&'*+,-/=/?^_`{ }~. ただし、以下の場合には「.」を使用できません。 <ul style="list-style-type: none">● 先頭に「.」がある場合● 後方に「.」がある場合● 連続した「.」がある場合
IP アドレス	使用可能な文字は、半角数字と「.」です。 入力できる IP アドレスの範囲は以下のとおりです。 1.0.0.1 ~ 126.255.255.254 128.0.0.1 ~ 191.255.255.254 192.0.0.1 ~ 223.255.255.254
ホスト名	使用可能な文字は、半角英数字と「-」です。ただし、ホスト名の先頭には「-」を使用できません。
ドメイン名	使用可能な文字は、半角英数字と以下の記号です。 -. 「.」で区切った各要素の最大文字数は半角 63 文字です。ただし、最後の要素には英字だけ使用できます。

B.2 設定項目の上限値

分類		上限値
メール	送信先とするメールアドレスの数	最大 30 件 (あて先、Cc、Bcc のそれぞれ)
	メール分割サイズ	64 ~ 10,240 KB (分割したメール 1 件分のメールサイズ上限)
	添付ファイル最大サイズ	1 ~ 20 MB
	警告表示アドレス数	2 ~ 1,000 件
	メールアドレス台帳への登録件数	<ul style="list-style-type: none"> ● メールアドレスだけの場合 最大 10,000 件 ● メールアドレス、グループ、および同報リストの場合 合計で最大 5,000 件
	同報リストへのメールアドレス登録件数	最大 100 件
FAX	FAX 番号台帳への登録件数	最大 1,000 件
	FAX 送信先	1 回の送信につき 1 件
保存	フォルダーの登録件数	最大 100 件 (ネットワーク共有フォルダーと FTP フォルダーの合計)
	フォルダーおよびツリーの表示件数	最大 10,000 件 (ドメイン、コンピュータ、ネットワーク共有フォルダーの合計)
印刷	プリンター登録件数	最大 100 件
	プリンターおよびツリーの表示件数	最大 10,000 件 (ドメイン、コンピュータ、ネットワーク共有プリンターの合計)
SharePoint に保存	SharePoint フォルダーの登録件数	最大 100 件

分類		上限値
ジョブ管理	ジョブ登録件数	最大 1,000 件 (1 つのジョブに登録できるアクションは最大 10 個)
	ジョブメニュー登録件数	最大 100 件
	ジョブグループ登録件数	最大 100 件
	ジョブグループへのメンバー登録件数	最大 1,000 件 (ユーザー、LDAP グループの合計)
	LDAP グループの有効範囲	5 階層以内のユーザー
ユーザー管理	ユーザー情報の登録件数	最大 1,000 件
	ローカルユーザー件数	最大 100 件
集中管理	スキャナ管理台数	最大 1,000 台
ログ管理	ユーザーログ件数	最大 1,000 件
	システムログ件数	最大 1,000 件
装置保守	異常通知先のメールアドレス数	最大 5 件
	Add-in 登録件数	最大 6 件 (「メインメニュー」画面には、Add-in および Add-in 以外の機能を併せて、最大 6 件のボタンを表示できる)
	インポートできる証明書の件数	最大 100 件

付録 C

接続性

管理者

利用者

ルート証明機関、および Web メールを使用するときの SMTP サーバの設定について説明します。

C.1 ルート証明機関一覧 425

C.2 Web メールを使用する場合の SMTP サーバの設定 427

C.1 ルート証明機関一覧

本スキャナは、ユーザー認証や、FTP サーバへの保存および SharePoint フォルダーへの保存を行う場合、SSL (Secure Socket Layer) を使用した暗号通信ができます。SSL では通信相手を認証し、正当性を確認するために電子証明書を交換しています。スキャナには、以下のルート証明機関が登録されています。また、ルート証明書はインポートすることもできます。証明書のインポート方法については、「[4.5.4 証明書を管理します](#)」(93 ページ) を参照してください。

発行者	有効期限
CA 1	2019/3/11
Certiposte Classe A Personne	2018/6/24
Certiposte Serveur	2018/6/24
Certisign - Autoridade Certificadora - AC2	2018/6/27
Certisign - Autoridade Certificadora - AC4	2018/6/27
Certisign Autoridade Certificadora AC1S	2018/6/27
Certisign Autoridade Certificadora AC3S	2018/7/10
Class 1 Primary CA	2020/7/7
Class 2 Primary CA	2019/7/7
Class 3 Primary CA	2019/7/7
Class 3 Public Primary Certification Authority	2028/8/2
Class 3P Primary CA	2019/7/7
Class 3TS Primary CA	2019/7/7
Deutsche Telekom Root CA 1	2019/7/10
Deutsche Telekom Root CA 2	2019/7/10
DST (ANX Network) CA	2018/12/10
DSTCA E1	2018/12/11
DSTCA E2	2018/12/10
DST-Entrust GTI CA	2018/12/9
Entrust.net Secure Server Certification Authority	2019/5/26
Equifax Secure Certificate Authority	2018/8/23
Equifax Secure eBusiness CA-1	2020/6/21
Equifax Secure eBusiness CA-2	2019/6/23
Equifax Secure Global eBusiness CA-1	2020/6/21

発行者	有効期限
EUnet International Root CA	2018/10/3
FESTE, Public Notary Certs	2020/1/2
FESTE, Verified Certs	2020/1/2
First Data Digital Certificates Inc. Certification Authority	2019/7/4
FNMT Clase 2 CA	2019/3/19
GlobalSign Root CA	2014/1/28
GTE CyberTrust Global Root	2018/8/14
http://www.valicert.com/	2019/6/26
Microsoft Root Authority	2020/12/31
Microsoft Root Certificate Authority	2021/5/10
NetLock Expressz (Class C) Tanusitvanykiado	2019/2/20
NetLock Kozjegyzoi (Class A) Tanusitvanykiado	2019/2/20
NetLock Uzleti (Class B) Tanusitvanykiado	2019/2/20
PTT Post Root CA	2019/6/26
Saunalahden Serveri CA	2019/6/26
SecureSign RootCA1	2020/9/15
SecureSign RootCA2	2020/9/15
SecureSign RootCA3	2020/9/15
SIA Secure Client CA	2019/7/9
SIA Secure Server CA	2019/7/9
Swisskey Root CA	2016/1/1
Thawte Premium Server CA	2021/1/1
Thawte Server CA	2021/1/1
UTN - DATACorp SGC	2019/6/25
UTN-USERFirst-Hardware	2019/7/10
UTN-USERFirst-Network Applications	2019/7/10
VeriSign Trust Network	2028/8/2

重要

ルート証明機関の有効期限を過ぎた場合は、SSL 接続はできなくなります。

C.2 Web メールを使用する場合の SMTP サーバの設定

メール送信時に Web メールを使用する場合、使用する Web メールに応じて、以下のよう
に SMTP サーバを設定します。

Web メール	サーバ アドレス	ポート番号	SSL 通信	SMTP 認証	認証方式
Gmail	smtp.gmail. com	587	有効 (STARTTL S)	選択	AUTH LOGIN, AUTH PLAIN
Yahoo! メール	smtp.mail. yahoo.com (*1)	465	有効 (SSL)	自動選択	AUTH LOGIN, AUTH PLAIN
AOL メール	smtp.aol.co m	587	有効 (STARTTL S)	自動選択	AUTH LOGIN, AUTH PLAIN
Windows Live Hotmail	smtp.live.co m	587	有効 (STARTTL S)	選択	AUTH LOGIN, AUTH PLAIN

(*1): 「.com」の部分は、各国のドメインに従って設定します。

SMTP サーバの設定方法については、「[4.10.1 メールサーバを設定します](#)」(135 ページ)を参照してください。

付録 D

本製品の仕様

管理者

利用者

本製品の仕様について説明します。

D.1 設置諸元	429
D.2 スキャナ基本仕様	430
D.3 ソフトキーボードの入力方法の変更	431

D.1 設置諸元

項目		仕様
外形寸法（幅×奥行×高）		300 × 226 × 172mm
質量		6.0kg
タッチパネル LCD		8.4 インチ XGA TFT LCD モニタ アナログ抵抗膜方式タッチパネル
キーボード		ソフトキーボード
インターフェース		LAN（10Base-T/100Base-TX）
入力電圧	電圧	100-240V ± 10%
	周波数	50/60Hz
消費電力（AC）		50W 以下

ヒント

スキャナには、Wake On LAN 対応の LAN カードを標準装備しています。なお、Wake On LAN 機能は、前回の電源切断時に停電などの理由で異常な電源切断が行われた場合には機能しません。

D.2 スキャナ基本仕様

項目		仕様	備考
スキャナタイプ		ADF（自動給紙機構）	
イメージセンサー		カラー CCD × 2	
光源		白色冷陰極蛍光放電管 × 2	（表面 × 1、裏面 × 1）
読み取り範囲	最大	A4（縦）（210 × 297mm）、 リーガル（8.5 × 14inch）	3,048mm（120inch）までの カスタムサイズ指定読み取りが可能です。
	最小	A8（縦）（52 × 74mm）	
原稿の厚さ		0.06 ~ 0.15mm （52 ~ 127 g/m ² 、45 ~ 110kg/ 連）	
読み取り速度 （A4、縦）（*1）	白黒	片面 20 枚 / 分、両面 40 面 / 分	200dpi
	グレースケール		
	カラー		
原稿搭載容量		50 枚（A4、80g/m ² ）	
光学解像度		600 dpi	
出力解像度		150dpi、200dpi、300dpi、600dpi	



（*1）： 読み取り速度は、ハードウェアの最大速度であり、実際の読み取り時間にはデータ転送時間などのソフトウェアの処理時間が付加されます。

D.3 ソフトキーボードの入力方法の変更

スキャナでは、ソフトキーボードを使用して、文字を入力します。
ソフトキーボードの表示方法については、「[2.4 ソフトキーボードの使い方](#)」(60 ページ)を参照してください。

D.3.1 キーの配列の変更

ソフトキーボードのキーの配列には、英字配列、および数字記号配列があります。
キーの配列は、以下のように変更できます。

キーの配列	変更方法
数字記号配列	 を押す
英字配列	 を押す
英字配列の英大文字と英小文字の切り替え	[Caps] ボタンまたは [Shift] ボタンを押す <ul style="list-style-type: none">● [Caps] ボタンを押した場合、切り替えが解除されず、連続して文字を入力できます。● [Shift] ボタンを押した場合、1文字入力するごとに、切り替えが解除されます。

D.3.2 入力モードの変更

ソフトキーボードでは、半角英数、全角英数、ひらがな、およびカタカナの入力モードがあります。

入力モードは、以下のように変更できます。

- 数字記号配列の場合

入力モード	変更方法
全角数字記号	 を押す
半角数字記号	 を押す

- 英字配列の場合

入力モード	変更方法
全角英字	 を押す
全角カタカナ (*)	 を押す
ひらがな (*)	 を押す
半角英字	 を押す

(*): ひらがな、カタカナは、ローマ字入力だけ行えます。

付録 E

User Editor で編集します

管理者

利用者

User Editor を使用してメールアドレス台帳およびローカルアカウントを編集する方法を説明します。

利用者が操作する場合、設定内容などわからないことがありましたら、管理者に連絡してください。

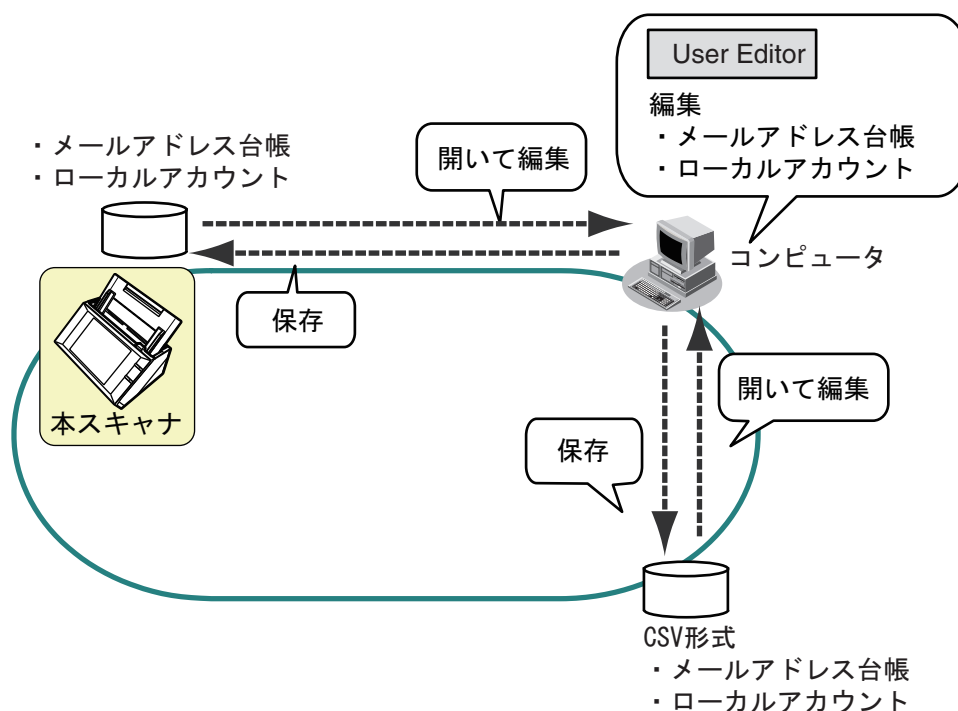
E.1 User Editor とは	434
E.2 事前設定	435
E.3 User Editor の画面.....	439
E.4 User Editor を起動 / 終了します	441
E.5 メールアドレス台帳 / ローカルアカウントを開きます	442
E.6 メールアドレス台帳を編集します	445
E.7 ローカルアカウントを編集します	451
E.8 編集内容を破棄します	453
E.9 メールアドレス台帳 / ローカルアカウントを保存します	454
E.10 ユーザーログに表示される User Editor の詳細情報	456
E.11 システムログに表示される User Editor の詳細情報	457

E.1 User Editor とは

User Editor とは、スキヤナのメールアドレス台帳（My List）およびローカルアカウントを編集するためのアプリケーションです。

User Editor をインストールしたコンピュータからネットワーク経由でスキヤナに接続することで、スキヤナのメールアドレス台帳またはローカルアカウントを、コンピュータ上で編集できます。

また、スキヤナのメールアドレス台帳またはローカルアカウントをファイル（CSV形式）に出力したり、ファイル（CSV形式）から大量のメールアドレスやローカルアカウントをスキヤナに取り込んで保存する、といった操作が簡単に行えます。



● メールアドレス台帳の編集

利用者は User Editor を使用して、メールアドレス台帳（My List）を編集できます。User Editor では、メールアドレス台帳にグループを作成できるため、グループごとに、メールアドレスを目的別に分類して、管理できます。

● ローカルアカウントの編集

管理者は User Editor を使用して、スキヤナに保持するローカルアカウントを作成し、スキヤナに保存できます。ローカルアカウントは、スキヤナへの認証時に使用できます。

E.2 事前設定

User Editor を使用するために必要な動作条件については、「[1.4.1 Admin Tool・User Editor の動作環境](#)」(45 ページ) を参照してください。

使用するポート番号については、「[1.4.3 使用するポート番号一覧](#)」(51 ページ) を参照してください。

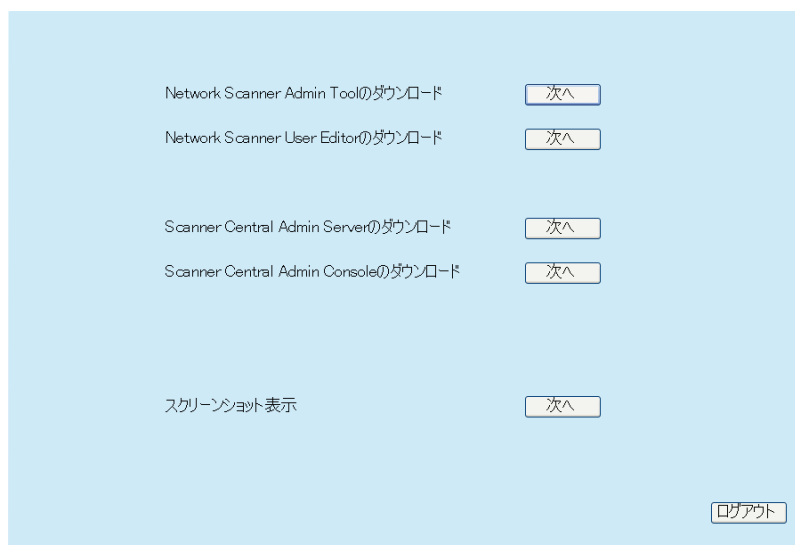
E.2.1 User Editor をインストールします

ネットワーク経由でスキャナのメールアドレス台帳またはローカルアカウントを編集するには、User Editor をコンピュータにインストールします。

1. 「[Admin Tool をインストールします](#)」(77 ページ) の手順 1 ～手順 3 までの操作をします。

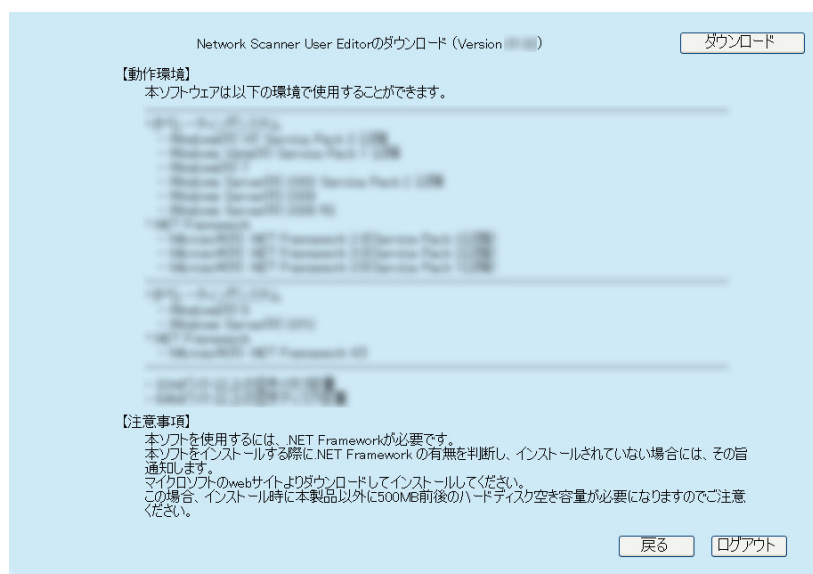
⇒ ダウンロード画面が表示されます。

2. 「[Network Scanner User Editor のダウンロード](#)」の[次へ]ボタンを押します。



⇒ Network Scanner User Editor のダウンロード画面が表示されます。

3. [ダウンロード] ボタンを押します。

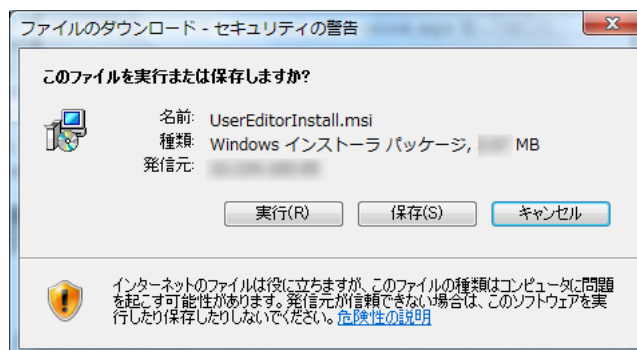


重要

管理者または利用者がスキャナで操作中の場合、ダウンロードできません。

⇒「ファイルのダウンロード」画面が表示されます。

4. [実行] ボタンを押します。



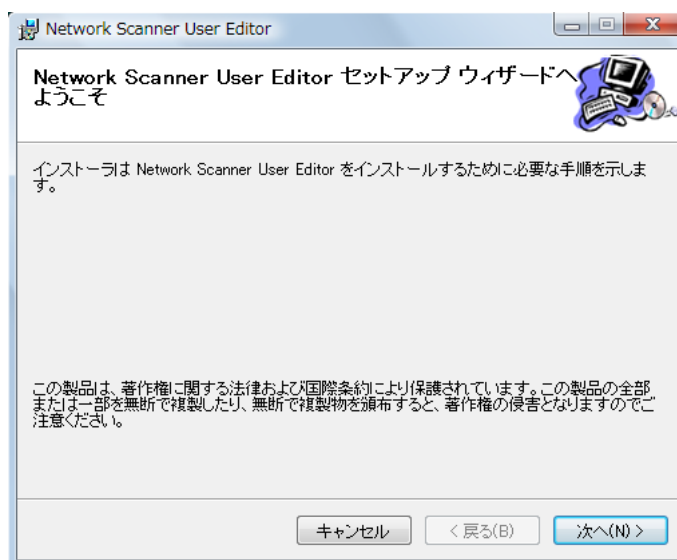
⇒ User Editor のインストール画面が表示されます。

ヒント

.NET Framework がインストールされていない場合は、.NET Framework のインストールを確認する画面が表示されます。

[はい] ボタンを押して、.NET Framework をインストール後、再度手順 1 から行ってください。

5. [次へ] ボタンを押します。



⇒ 「インストールフォルダの選択」画面が表示されます。

6. User Editor をインストールするフォルダー、およびインストールユーザーを選択して、[次へ] ボタンを押します。

[参照] ボタンを押すとフォルダーを選択できます。

指定したフォルダーの空き領域が知りたい場合は [ディスク領域] ボタンを押してください。

重要

フォルダーのパス長がファイル名を含めて 259 文字以上の場合、正常にインストールできません。パス長が短くなるようインストールするフォルダーを指定してください。



⇒ 以降は、画面の指示に従って操作を進めてください。

「インストールが完了しました。」と表示されればインストール終了です。[閉じる] ボタンを押してください。

⇒ インストールが完了すると、「スタート」メニュー → 「すべてのプログラム」 → 「Network Scanner」 → 「Network Scanner User Editor」 から User Editor を起動できます。

E.2.2 User Editor のアンインストール方法

ここでは、Windows Vista の例で説明します。

User Editor のアンインストールは、インストールしたコンピュータの「コントロールパネル」から「プログラム」の「プログラムと機能」を選択して行います。

重要

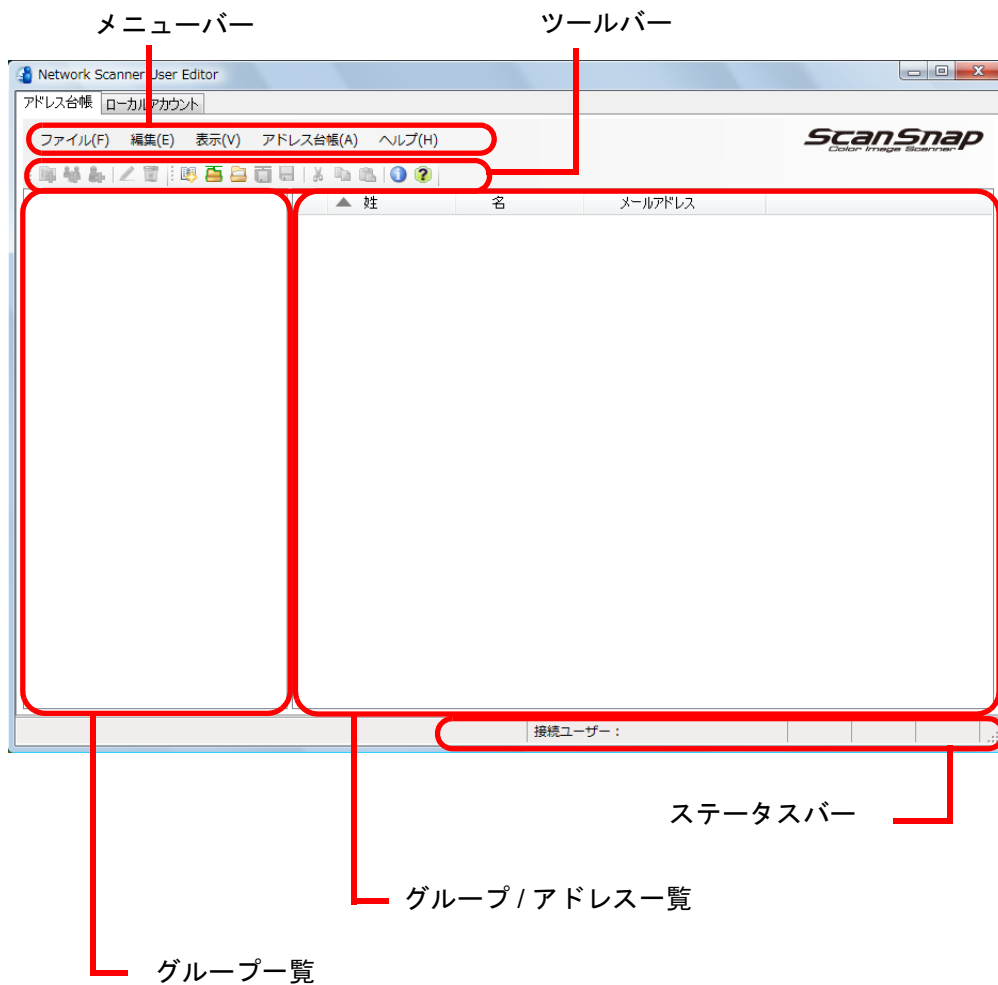
アンインストールする前に、User Editor を終了してください。

User Editor を起動したままアンインストール処理を完了した場合、起動されている User Editor の動作は保証できません。

E.3 User Editor の画面

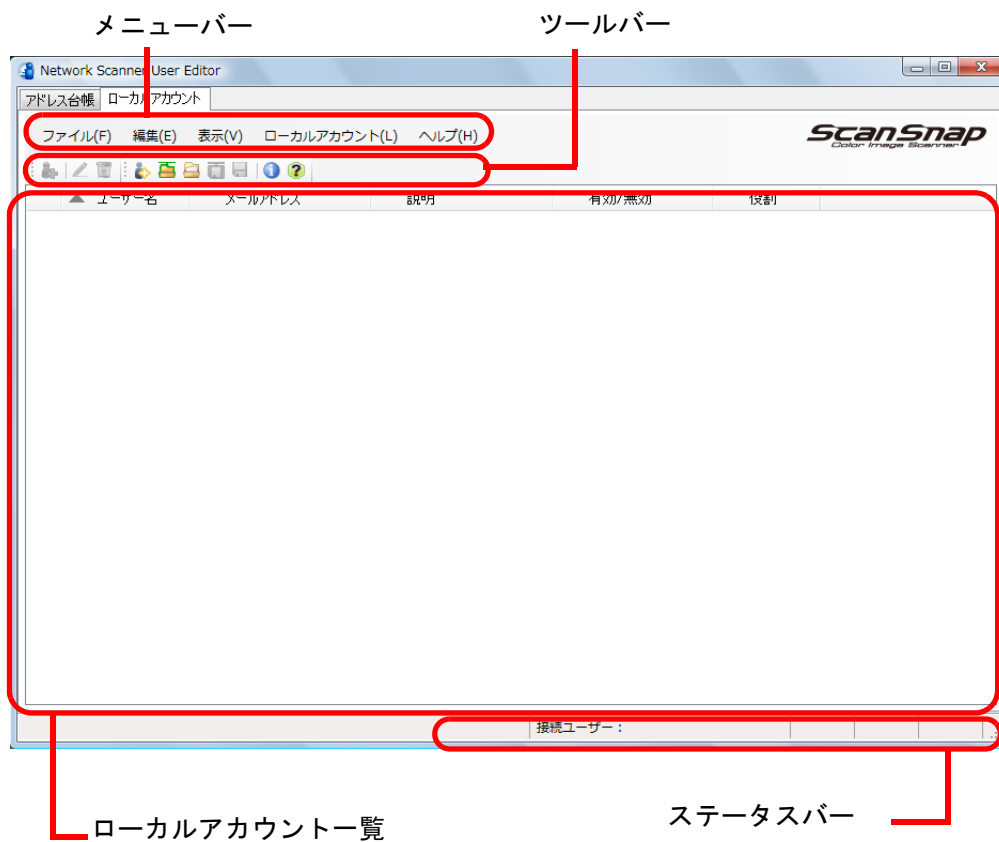
User Editor の画面には、「アドレス台帳」タブと「ローカルアカウント」タブがあります。
各画面の詳細は、以下のとおりです。

- 「アドレス台帳」タブ
メールアドレス台帳を編集します。



- 「ローカルアカウント」タブ

スキャナに保持するローカルアカウントを編集します。

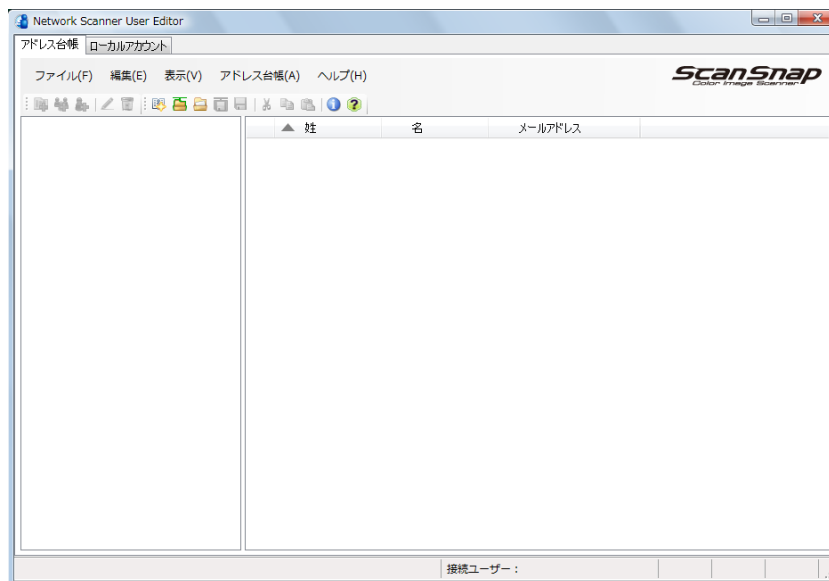


E.4 User Editor を起動 / 終了します

■ User Editor を起動します

1. 「スタート」メニュー → 「すべてのプログラム」 → 「Network Scanner」 → 「Network Scanner User Editor」 を選択します。

⇒ User Editor の画面が表示されます。



■ User Editor を終了します

1. 「ファイル」メニュー → 「終了」 を選択します。

⇒ 終了確認の画面が表示されます。

2. [OK] ボタンを押します。

⇒ User Editor が終了します。

E.5 メールアドレス台帳 / ローカルアカウントを開きます

メールアドレス台帳またはローカルアカウントを開いて、表示します。

■ スキャナから開きます

スキャナから、メールアドレス台帳またはローカルアカウントを開きます。

1. メールアドレス台帳を開く場合、「アドレス台帳」タブを選択します。
ローカルアカウントを開く場合、「ローカルアカウント」タブを選択します。
2. 以下のどちらかの操作をします。
 - 「ファイル」メニュー → 「スキャナから開く」を選択します。
 - ツールバーの [スキャナから開く] ボタンを押します。
⇒ 「スキャナから開く」画面が表示されます。
3. スキャナに接続するための情報を入力します。

- 「接続先」に、スキャナの IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名を入力します。
 - IP アドレスを入力する場合、「xxx.xxx.xxx.xxx」(xxx は 0 ~ 255 の値) の形式で入力します。
 - ホスト名または FQDN 名を入力する場合、最大文字数は半角 255 文字です。
- 「接続先ポート番号」に、スキャナとの通信に使用するポート番号を、1 ~ 65535 の範囲で入力します。初期値は 80 です。
また、スキャナからの通信で HTTPS を使用する場合に、「https」チェックボックスにチェックを付けます。
- 「ユーザー名」に、スキャナにログインするユーザー名を指定します。
- 「パスワード」に、スキャナにログインするユーザーのパスワードを入力します。

ヒント

スキャナにログインできるユーザーで接続してください。

- メールアドレス台帳を編集する場合、利用者権限のユーザーで接続します。
- ローカルアカウントを編集する場合、管理者 (admin) または User Editor で作成したローカルアカウントの管理者で接続します。なお、新規作成の場合は、管理者 (admin) で接続します。

4. [開く] ボタンを押します。
⇒ メールアドレス台帳またはローカルアカウントが表示されます。

■ ファイルから開きます

ファイルから、メールアドレス台帳またはローカルアカウントを開きます。

1. メールアドレス台帳を開く場合、「アドレス台帳」タブを選択します。
ローカルアカウントを開く場合、「ローカルアカウント」タブを選択します。
2. 以下のどちらかの操作をします。
 - 「ファイル」メニュー→「ファイルから開く」を選択します。
 - ツールバーの「ファイルから開く」ボタンを押します。
⇒ ファイルを開くための画面が表示されます。
3. ファイルを選択して、「開く」ボタンを押します。
⇒ メールアドレス台帳またはローカルアカウントが表示されます。

■ ファイルから開けるメールアドレス台帳のファイル形式

ファイルから開けるメールアドレス台帳のファイル形式について説明します。
User Editor では、CSV 形式のメールアドレス台帳を開いて編集できます。

- ファイルの文字コードはシフト JIS (Shift_JIS) です。
- CSV 形式で以下のように記述してください。
"ユーザー名","グループ","同報リスト名","名","姓","メールアドレス"
各項目の内容は、以下のとおりです。

項目名	値の形式
ユーザー名	ユーザー名を指定します。
グループ	グループ名を指定します。(*) グループ名の先頭には「¥」を指定します (例 : ¥group01)。 グループの階層を指定する場合「¥」で区切ります (例 : ¥group01¥group02)。 「;」および「@」は、「_」に置き換えられます。
同報リスト名	同報リスト名を指定します。(*) メールアドレスを複数指定する場合、「;」で区切ります。 「;」および「@」は、「_」に置き換えられます。
名	名を指定します。(*)
姓	姓を指定します。(*)
メールアドレス	「メールアドレス」の設定値については、 「B.1 メールアドレスの設定値」(421 ページ) を参照してください。 同報リストには、最大 100 件のメールアドレスを設定できます。

- (*): 指定できる最大文字数は 64 文字です。
語頭および語尾の空白は省略されます。

■ ファイルから開けるローカルアカウントのファイル形式

ファイルから開けるローカルアカウントのファイル形式について説明します。
User Editor では、CSV 形式のローカルアカウントを開いて編集できます。

- ファイルの文字コードはシフト JIS (Shift_JIS) です。
- CSV 形式で以下のように記述してください。
"ユーザー名","パスワード","メールアドレス","説明","有効/無効","役割"
各項目の内容は、以下のとおりです。

項目名	値の形式
ユーザー名	ユーザー名を指定します。
パスワード	パスワードを指定します。
説明	アカウントの説明を指定します。
メールアドレス	「メールアドレス」の設定値については、 「B.1 メールアドレスの設定値」(421 ページ) を参照してください。
有効 / 無効	ローカルアカウントが有効かどうかを指定します。 「0」: ローカルアカウントが無効であることを示します。 「1」: ローカルアカウントが有効であることを示します。
役割	ローカルアカウントに管理者権限があるかどうかを指定します。 「0」: 管理者権限がない標準ユーザーを示します。 「1」: 管理者権限があるユーザーを示します。

E.6 メールアドレス台帳を編集します

メールアドレス台帳を編集します。

メールアドレス台帳には、最大 5,000 件のグループ、同報リスト、およびメールアドレスを登録できます。

E.6.1 グループを設定します

メールアドレス台帳にグループを設定します。

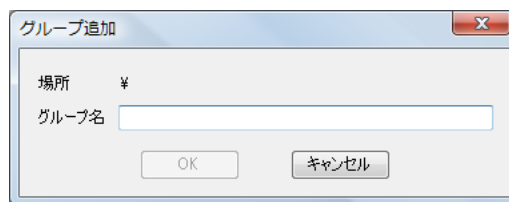
グループには、同報リストおよびメールアドレスを複数登録できるため、メールの送信先を目的別に分類して管理できます。グループの配下にグループを作成することもできます。

また、メールの送信先にグループを指定すると、グループに登録されているすべての同報リストおよびメールアドレスに、同じ内容のメールを同時に送信できます。

グループは 5 階層まで作成できます。

■ グループを追加します

1. 「アドレス台帳」タブを選択します。
2. グループ一覧で、追加先のグループを選択します。
3. 以下のどちらかの方法で、「グループ追加」画面を表示します。
 - 「アドレス台帳」メニュー → 「グループ追加」を選択します。
 - ツールバーの [グループ追加] ボタンを押します。
4. 「グループ名」を入力します。
最大文字数は 64 文字です。以下の文字は使用できません。
¥ ; @



5. [OK] ボタンを押します。
⇒ グループが追加されます。

■ グループ名を変更します

1. 「アドレス台帳」タブを選択します。
2. グループ一覧で、変更するグループ名を選択します。
3. 以下のどちらかの方法で、「グループ編集」画面を表示します。
 - 「アドレス台帳」メニュー → 「プロパティ」を選択します。
 - ツールバーの [プロパティ] ボタンを押します。
4. 「グループ名」を入力します。
5. [OK] ボタンを押します。
 - ⇒ グループ名が変更されます。

■ グループを削除します

重要

グループを削除すると、グループに属している配下のグループおよびメールアドレスも削除されます。

1. 「アドレス台帳」タブを選択します。
2. グループ一覧で、削除するグループを選択します。
3. 以下のどちらかの操作をします。
 - 「アドレス台帳」メニュー → 「削除」を選択します。
 - ツールバーの [削除] ボタンを押します。⇒ 削除確認の画面が表示されます。
4. [OK] ボタンを押します。
 - ⇒ グループが削除されます。

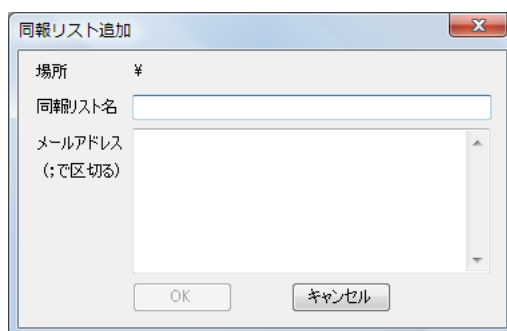
E.6.2 同報リストを設定します

メールアドレス台帳に同報リストを設定します。
同報リストには、複数のメールアドレスを登録できます。
また、メールの送信先に同報リストを指定すると、同報リストに登録されているすべてのメールアドレスに、同じ内容のメールを同時に送信できます。

■ 同報リストを追加します

1. 「アドレス台帳」タブを選択します。
2. 追加先のグループを選択します。
3. 以下のどちらかの方法で、「同報リスト追加」画面を表示します。
 - 「アドレス台帳」メニュー → 「同報リスト追加」を選択します。
 - ツールバーの [同報リスト追加] ボタンを押します。
4. 追加する同報リストの情報を入力します。

「同報リスト名」および同報リストに含める「メールアドレス」を入力します。
「同報リスト名」の最大文字数は 64 文字です。半角および全角文字が使用できます。以下の文字は使用できません。
; @
「メールアドレス」の設定値については、「[B.1 メールアドレスの設定値](#)」(421 ページ) を参照してください。
同報リストには、最大 100 件のメールアドレスを設定できます。メールアドレスを複数指定する場合、「;」で区切ります。



5. [OK] ボタンを押します。
⇒ 同報リストが追加されます。

■ 同報リストを変更します

1. 「アドレス台帳」タブを選択します。
2. 変更する同報リストを選択します。
3. 以下のどちらかの方法で、「アドレス編集」画面を表示します。
 - 「アドレス台帳」メニュー→「プロパティ」を選択します。
 - ツールバーの「プロパティ」ボタンを押します。
4. 変更する内容に書き換えます。
5. [OK] ボタンを押します。
⇒ 同報リストの内容が変更されます。

■ 同報リストを削除します

1. 「アドレス台帳」タブを選択します。
2. 削除する同報リストを選択します。
3. 以下のどちらかの操作をします。
 - 「アドレス台帳」メニュー→「削除」を選択します。
 - ツールバーの「削除」ボタンを押します。⇒ 削除確認の画面が表示されます。
4. [OK] ボタンを押します。
⇒ 同報リストが削除されます。

E.6.3 メールアドレスを設定します

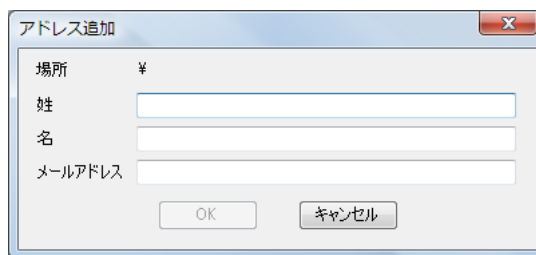
メールアドレス台帳にメールアドレスを設定します。

■ メールアドレスを追加します

1. 「アドレス台帳」タブを選択します。
2. 追加先のグループを選択します。
3. 以下のどちらかの方法で、「アドレス追加」画面を表示します。
 - 「アドレス台帳」メニュー → 「アドレス追加」を選択します。
 - ツールバーの [アドレス追加] ボタンを押します。
4. 追加するメールアドレスの情報を入力します。

「姓」および「名」の最大文字数は64文字です。半角および全角文字が使用できません。なお、「姓」、「名」は省略できます。

「メールアドレス」の設定値については、[「B.1 メールアドレスの設定値」\(421ページ\)](#)を参照してください。



アドレス追加

場所	▼
姓	<input type="text"/>
名	<input type="text"/>
メールアドレス	<input type="text"/>

OK キャンセル

5. [OK] ボタンを押します。

⇒ メールアドレスが追加されます。

■ メールアドレスを変更します

1. 「アドレス台帳」タブを選択します。
2. 変更するメールアドレスを選択します。
3. 以下のどちらかの方法で、「アドレス編集」画面を表示します。
 - 「アドレス台帳」メニュー→「プロパティ」を選択します。
 - ツールバーの「プロパティ」ボタンを押します。
4. 変更する内容に書き換えます。
5. 「OK」ボタンを押します。
 - ⇒ メールアドレスの情報が変更されます。

■ メールアドレスを削除します

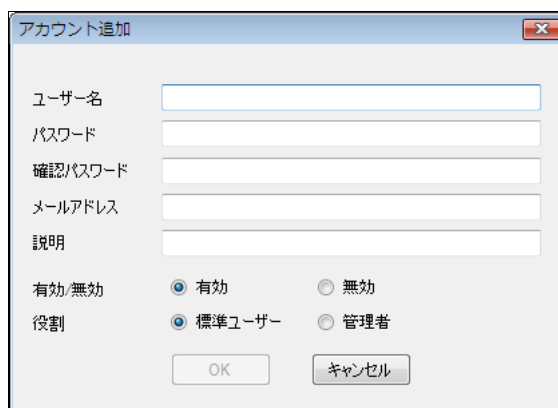
1. 「アドレス台帳」タブを選択します。
2. 削除するメールアドレスを選択します。
3. 以下のどちらかの操作をします。
 - 「アドレス台帳」メニュー→「削除」を選択します。
 - ツールバーの「削除」ボタンを押します。
 - ⇒ 削除確認の画面が表示されます。
4. 「OK」ボタンを押します。
 - ⇒ メールアドレスが削除されます。

E.7 ローカルアカウントを編集します

スキャナ内部に保持するローカルアカウントを編集します。
ローカルアカウントは、最大 100 件登録できます。

E.7.1 ローカルアカウントを追加します

1. 「ローカルアカウント」タブを選択します。
2. 以下のどちらかの方法で、「アカウント追加」画面を表示します。
 - 「ローカルアカウント」メニュー → 「アカウント追加」を選択します。
 - ツールバーの [アカウント追加] ボタンを押します。
3. 追加するローカルアカウントの情報を入力します。



- 「ユーザー名」、「パスワード」、および「確認パスワード」の最大文字数は 64 文字です。半角および全角文字が使用できます。なお、パスワードの英大文字と英小文字は区別されます。
- 「メールアドレス」の設定値については、[「B.1 メールアドレスの設定値」\(421 ページ\)](#)を参照してください。
- 「説明」に、アカウントの説明を入力します。最大文字数は 256 文字です。英大文字と英小文字は区別されます。
- 「有効/無効」で、アカウントを有効にするかどうかを選択します。「無効」にした場合、そのユーザーでログインできません。
- 「役割」で、利用者にする場合は「標準ユーザー」を選択し、管理者にする場合は「管理者」を選択します。

重要

- 以下のユーザー名は使用できません。
guest、admin、fi-maintenance、fi-maintenance-ad、scanner、scanner-ad
- ユーザー名の先頭および末尾に空白を入れた場合、削除されます。
- パスワードおよび説明は、空白を使用できます。

4. [OK] ボタンを押します。
⇒ ローカルアカウントが追加されます。

E.7.2 ローカルアカウントを変更します

1. 「ローカルアカウント」タブを選択します。
2. 変更するローカルアカウントを選択します。
3. 以下のどちらかの方法で、「アカウント編集」画面を表示します。
 - 「ローカルアカウント」メニュー → 「プロパティ」を選択します。
 - ツールバーの [プロパティ] ボタンを押します。
4. 変更する内容に書き換えます。
5. [OK] ボタンを押します。
 - ⇒ ローカルアカウントの内容が変更されます。

E.7.3 ローカルアカウントを削除します

1. 「ローカルアカウント」タブを選択します。
2. 削除するローカルアカウントを選択します。
3. 以下のどちらかの操作をします。
 - 「ローカルアカウント」メニュー → 「削除」を選択します。
 - ツールバーの [削除] ボタンを押します。
 - ⇒ 削除確認の画面が表示されます。
4. [OK] ボタンを押します。
 - ⇒ ローカルアカウントが削除されます。

E.8 編集内容を破棄します

編集中のメールアドレス台帳またはローカルアカウントの編集内容を破棄して、起動時の状態にします。

1. メールアドレス台帳の編集内容を破棄する場合、「アドレス台帳」タブを選択します。
ローカルアカウントの編集内容を破棄する場合、「ローカルアカウント」タブを選択します。
2. 「ファイル」メニュー → 「編集を破棄」を選択します。
⇒ 破棄確認の画面が表示されます。
3. [OK] ボタンを押します。
⇒ 編集内容が破棄され、起動時の状態になります。

E.9 メールアドレス台帳 / ローカルアカウントを保存します

編集したメールアドレス台帳またはローカルアカウントを保存します。

■ スキャナに保存します

編集したメールアドレス台帳を、スキャナに保存します。

メールアドレス台帳をスキャナに保存すると、編集内容が My List に反映されます。

1. メールアドレス台帳を保存する場合、「アドレス台帳」タブを選択します。
ローカルアカウントを保存する場合、「ローカルアカウント」タブを選択します。
2. 以下のどちらかの操作をします。
 - 「ファイル」メニュー → 「スキャナへ保存」を選択します。
 - ツールバーの [スキャナへ保存] ボタンを押します。⇒ 「スキャナへ保存」画面が表示されます。
3. スキャナに接続するための情報を入力します。

- 「接続先」に、スキャナの IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名を入力します。
 - IP アドレスを入力する場合、「xxx.xxx.xxx.xxx」(xxx は 0 ~ 255 の値) の形式で入力します。
 - ホスト名または FQDN 名を入力する場合、最大文字数は半角 255 文字です。
- 「接続先ポート番号」に、スキャナとの通信に使用するポート番号を、1 ~ 65535 の範囲で入力します。初期値は 80 です。
また、スキャナからの通信で HTTPS を使用する場合に、「https」チェックボックスにチェックを付けます。
- 「ユーザー名」に、スキャナにログインするユーザー名を指定します。
- 「パスワード」に、スキャナにログインするユーザーのパスワードを入力します。

ヒント

スキャナにログインできるユーザーで接続してください。

- メールアドレス台帳を編集する場合、利用者権限のユーザーで接続します。
- ローカルアカウントを編集する場合、管理者権限のユーザーで接続します。

4. **[保存] ボタンを押します。**

⇒ メールアドレス台帳またはローカルアカウントがスキャナに保存されます。

■ **ファイルに保存します**

編集したメールアドレス台帳を、ファイル（CSV 形式）に保存します。

1. メールアドレス台帳を保存する場合、「アドレス台帳」タブを選択します。
ローカルアカウントを保存する場合、「ローカルアカウント」タブを選択します。
2. 以下のどちらかの操作をします。
 - 「ファイル」メニュー → 「ファイルへ保存」を選択します。
 - ツールバーの [ファイルへ保存] ボタンを押します。⇒ ファイルを保存するための画面が表示されます。
3. 保存先やファイル名を指定して、[保存] ボタンを押します。
⇒ メールアドレス台帳またはローカルアカウントが CSV 形式で保存されます。

E.10 ユーザーログに表示される User Editor の詳細情報

管理者の画面および利用者の画面の「ユーザーログ」画面では、User Editor のユーザーログを参照できます。

ユーザーログに表示される User Editor の項目は、以下のとおりです。

項目名	表示形式	説明
操作	Remote	User Editor からメールアドレス台帳が取得されました。または、User Editor からメールアドレス台帳を更新しました。
ページ	0	必ず、0 が表示されます。

上記以外の項目やユーザーログの詳細情報を参照する方法については、以下を参照してください。

- 管理者が「ユーザーログ」画面で参照する場合
「[ユーザーログの詳細情報を参照します](#)」(173 ページ)
- 利用者が「ユーザーログ」画面で参照する場合
「[6.12 ユーザーログの詳細情報を参照します](#)」(340 ページ)

E.11 システムログに表示される User Editor の詳細情報

管理者の画面の「システムログ」画面では、User Editor のシステムログを参照できません。

システムログに表示される User Editor の項目は、以下のとおりです。

項目名	表示形式	説明
種別	情報	User Editor からローカルアカウント情報が取得されました。または、User Editor からローカルアカウント情報を更新しました。

上記以外の項目やシステムログの詳細情報を参照する方法については、「[システムログの詳細情報を参照します](#)」(175 ページ) を参照してください

付録 F

用語解説

管理者

利用者

明るさ

本書中では、読み取った画像の明るさを指します。

インターフェース

コンピュータとスキャナの通信に使用される接続規格です。

エグゼクティブサイズ

184.2×266.7mm の定型原稿サイズです。

解像度

画像のクオリティ（精細さ）を示す基準です。1インチあたりのピクセル数によって表します。画像データは、微小な点（ピクセル）の集まりです。同じ画像の場合、ピクセル数が多い方が、細部分まで表現できます。そのため、解像度が大きいほど、高精細な画像となります。

片面読み取り

原稿の指定面（片面）だけ読み取るモード（⇔両面読み取り）です。

原稿づまり

搬送路内で原稿がつまった場合、または紙すべりにより給紙が中断された場合に表示されるエラーのことです。

初期値

出荷時に設定されている各種設定値のことです。

縦向き

原稿の長辺を給紙方向と平行にセットする方法です。
原稿が縦にセットされ、画像が縦に表示されます。

超音波センサー

超音波によりマルチフィードを検出するセンサーです。原稿を透過する超音波の差異を監視し、マルチフィードを検出します。

ノイズ

白い（黒い）領域に黒い（白い）点として表示される孤立点です。

排出ローラー

ADF からスタッカーへ原稿を搬送するローラーです。

はがきサイズ

100×148mm の定型原稿サイズです。
スキャナでは縦型とします。

パッドユニット

ADF 内部に繰り込む前に、原稿同士を分離する部品の 1 つです。
ピックアップユニットに原稿を押し当てるためのゴム製部材です。

ピックアップユニット

ADF 内で原稿を搬送するローラーです。

フィードローラー

ADF 内で原稿を搬送するローラーです。

プラスチックローラー

ADF 内で原稿を搬送するローラーです。

マルチフィード検出

ADF で読み取る場合に、原稿が複数枚重なった状態で搬送されてしまうのを防止するための機能です。マルチフィード検出する / しないの設定が可能です。

名刺サイズ

55×91mm の定型原稿サイズです。
スキャナでは縦型とします。

リーガルサイズ

215.9×355.6mm の定型原稿サイズです。

両面読み取り

原稿の両面を一度に読み取るモード（⇔片面読み取りモード）です。

レターサイズ

215.9×279.4mm の定型原稿サイズです。

横向き

原稿の短辺を給紙方向と平行にセットする方法です。

A3 キャリアシート

原稿搬送用シートです。

A4 サイズ

210×297mm の定型原稿サイズです。

A5 サイズ

148×210mm の定型原稿サイズです。

A6 サイズ

105×148mm の定型原稿サイズです。

ADF（自動給紙機構）

ADF（Automatic Document Feeder）です。

複数枚の原稿を、自動的に一枚ずつ搬送しながら読み取るための搬送機構です。

B5 サイズ

182×257mm の定型原稿サイズです。

B6 サイズ

128×182mm の定型原稿サイズです。

dpi (dots per inch)

1 インチあたりのドット数です。スキャナやプリンターの解像度の単位として使用されます。dpi の値が高いほど、解像度は高くなります。

LDAP (Lightweight Directory Access Protocol)

TCP/IP ネットワークで、ディレクトリデータベースにアクセスするためのプロトコルです。

MMR

ITU-T(CCITT) T.6 圧縮方式です。
読み取り設定でカラーモードを「白黒」にした場合に使用される圧縮方式です。

修理・お問い合わせ

当社では、お客様に安心して本製品をご使用いただけるよう、万全のサポート体制を整えています。

購入時にご加入いただく契約サービスと、必要なときにその都度ご利用いただけるスポットサービスにより、お客様を強かにバックアップいたします。

■契約サービス

契約サービスには、以下の3種類のサービスメニューがあります。

定額センドバック保守サービス

お客様がご使用の機器に修理が必要な場合、当社の修理センターで修理を行います。

定額訪問修理サービス

万一の障害発生時には、サービスエンジニアがお客様のところにお伺いして保守修理作業を実施します。全国のサービスネットによる迅速な保守対応を行います。

定額定期保守サービス

お客様に安心して機器を使用していただくために、年に1度サービスエンジニアが点検に伺います。万一の障害発生時には、サービスエンジニアがお客様のところにお伺いして保守修理作業を実施します。

オプション装着時は、スキャナ本体価格と搭載オプション製品の合計金額となります。 消耗品はお客様の費用負担となります。

■スポットサービス

スポットサービスには、以下の2種類のサービスがあります。

持込 / センドバック修理

修理窓口まで機器を持ち込んでいただき修理を行います。

持込 / センドバック修理	基本料 + 部品費 * 送料：発送元負担
引き取り修理サービス (付加)	指定日に修理機を引き取ります。
代替機サービス (付加) (*1)(*2)	修理中に代替機を貸出します (引き取りと併用)。

*1: 代替機サービスは、引き取りサービスとの併用でのみご利用できます。

代替機サービスのみのご利用はできません。ご了承ください。

*2: PFU から送付された代替機のネットワーク設定等はお客様自身で行っていただく必要があります。

診断料	診断後、交換部品が高価などの理由で修理をキャンセルされた場合などにかかります。
-----	---

訪問修理

機器の故障発生時にご連絡いただき、その後、サービスエンジニアが直接修理に伺います。部品を交換する場合は、システム管理者の同席が必要な場合があります。

訪問修理	訪問基本料金 (作業時間 = 1 時間まで) + 部品費
------	------------------------------

スポットサービスの場合の故障・修理、および各種お問い合わせ	
受付窓口	株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター
E-mail	scanners@pfu.fujitsu.com

スポットサービスの場合の故障・修理、および各種お問い合わせ	
電話	050-3786-0811 <ul style="list-style-type: none"> ● 上記の電話番号は、050 IP 電話サービスを利用しております。050 IP 電話については弊社のサポートホームページをご覧ください。 上記の電話番号がご利用いただけない場合は、NTT 東日本または NTT 西日本の一般加入電話からおかけいただくか、042-788-7755 にお問い合わせください。 ● 電話番号をお間違えにならないようお願いいたします。 ● トーン信号が出ない電話機でおかけの場合は、そのまましばらくお待ちください。オペレーターが応答します。 お問い合わせの内容・発信者番号は、対応状況の確認と対応品質向上のため、録音・記録をさせていただいております。
受付時間	9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・年末年始・当社休業日を除く)
ホームページ	http://scansnap.fujitsu.com/jp/support/

なお、本サービス内容は、予告なく変更される場合があります。
 詳細につきましては、当社ホームページでご確認いただくか、または PFU イメージングサービス&サポートセンターまでお問い合わせください。

■消耗品 / 清掃用品の購入先

消耗品（ピックアップユニットなど）、清掃用品のご購入については、本製品を購入された販社 / 販売店、または当社 PFU ダイレクトにお問い合わせください。

ご購入先	
受付窓口	株式会社 PFU PFU ダイレクト
E-mail	shop@pfu.fujitsu.com
電話	0120-14-4541 お問い合わせ内容の正確な把握ならびに当社における対応内容の管理のため、お問い合わせ内容を録音させていただく場合があります
受付時間	9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00 (土・日・祝祭日・年末年始・当社休業日を除く)
ホームページ	http://www.pfu.fujitsu.com/direct/


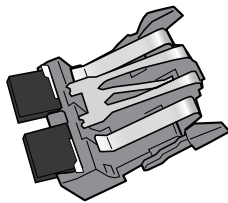
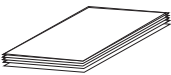
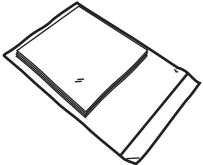
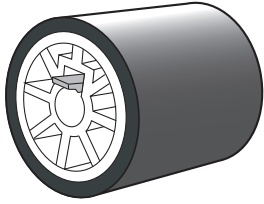
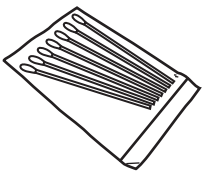
- 本製品の修理はお客様自身では行わないでください。
- 本製品の保証条件については、製品に同梱の当社の保証書の規定をご覧ください。保証書には所定事項をご記入のうえ、大切に保管願います。
- 本製品の修理部品の最低供給期間は、製品の製造打ち切り後 5 年間です。

ScanAid の購入

ScanAid は、スキャナに必要な消耗品・清掃用品（パッドユニット、クリーナーなど）をまとめた製品です。ScanAid を購入することで、必要な消耗品・清掃用品が一度にそろいます。ScanAid の品名および型名は、以下のとおりです。

品名	型名
ScanAid	FI-611SA

ScanAid の梱包品の品名は、以下のとおりです。

清掃用品		消耗品	
品名	備考	品名	備考
クリーナ F1 (1本) 	容量 : 50ml	パッドユニット (2個) 	5万枚または 1年ごとに交換
クリーニングペーパー (1パック) 	10枚入り / 1パック		
クリーニングクロス (1パック) 	20枚入り / 1パック	ピックローラユニット (1個) 	10万枚または 1年ごとに交換
綿棒 (2パック) 	50本入り / 1パック		

ScanAid のご購入については、「[消耗品 / 清掃用品の購入先](#)」(466 ページ) を参照してください。

索引

あ

明るさ	323
圧縮	309, 320
圧縮率の設定	320
アップデート公開チェック	188
アップデートチェック	188
アップロード (Add-in 設定情報)	192
穴をあけてはいけない領域	416
アンインストール (Add-in)	191
アンインストール (Admin Tool)	81
アンインストール (User Editor)	438

い

印刷	273
印刷位置	282
印刷比率	278
印刷面	284
印刷面の設定	284
インストールウィザード	85
インストール (Add-in)	190
インストール (Admin Tool)	77
インストール (User Editor)	435

う

裏写り除去	327
-------	-----

え

エクステンション	32
----------	----

お

お手入れ	353
お問い合わせ	463
オプション機能の適用状況	172
オフセット	98

か

解像度	306
解像度の設定	306
カウンターのリセット	171
カスタム	297
カバーオープンレバー	32
カラーモードの設定	303
ガラス	359
環境設定	69, 228
管理	69, 228
管理者	35, 228
管理者権限	35
管理者の画面	70
管理者パスワード	107

き

キーの配列の変更	431
キーワード	313
機能別の設定項目	65

く

グループの設定	445
---------	-----

け	
原稿	235
原稿セット方向	308
原稿の厚さ	413
原稿のサイズ	412
原稿の種類	413
原稿の枚数	415
原稿向き補正	329
原稿を貼り付けてはいけない領域	416

こ	
交換周期	364
工場出荷時の状態に戻す	185
コントラスト	324

さ	
サイドガイド	32

し	
シートガイド	34
システム設定	89
システム設定情報の復元	184
システム設定情報の保守	182
システム設定情報を CSV 形式で保存	182
システムログの管理	175
システムログの削除	176
システムログの詳細情報の参照	175
システムログのダウンロード	176
事前設定 (Admin Tool でログインする場合)	75
事前設定 (User Editor)	435
自動ログアウト	105
自動ログアウトの設定	105
シャープネス	325
修理	463

出力ファイル形式	310
仕様	428
省電力モード	56, 105
省電力モードの設定	105
証明書管理	93
消耗品	365
消耗品の交換	364
消耗品の状態確認	365
消耗品の状態の参照	171
初期値	297
ジョブグループに属さないユーザー	
のジョブメニュー設定	223
ジョブグループの削除	222
ジョブグループの詳細設定の参照	223
ジョブグループの設定	218
ジョブグループの追加	218
ジョブグループの編集	222
ジョブ設定	199
ジョブ設定の流れ	201
ジョブ設定メニュー	72
ジョブの削除	210
ジョブの参照追加	209
ジョブの実行	343
ジョブの絞り込み	210
ジョブの設定	203
ジョブの追加	203
ジョブの編集	209
ジョブメニュー	242
ジョブメニューの削除	217
ジョブメニューの参照追加	216
ジョブメニューの詳細設定の参照	217
ジョブメニューの設定	212
ジョブメニューの追加	212
ジョブメニューの編集	216

す	
スキャナ外部の清掃	356
スキャナ詳細設定	99
スキャナ調整	98
スキャナ内部の清掃	357
スキャナ名の設定	89
スキャン画像の回転	338
スキャン画像の削除	339
スキャン画像の参照	337
スキャン画像の追加	338
スタッカー	32

せ	
清掃	354
清掃箇所	355
清掃頻度	355
清掃用品	354
セキュリティケーブルスロット	33
接続設定	119
設定値	420

そ	
操作	228, 234
操作一覧	35
装置管理情報の参照	170
ソフトキーボードの使い方	60

た	
タイムゾーンの設定	91
ダウンロード (Central Admin Console)	231
ダウンロード (Central Admin Server)	229
タッチパネル	32, 59, 63
タッチパネル調整	377

タッチパネルに表示されている画面の採取	196
タッチパネルの清掃	356

ち	
中質紙	414

つ	
通気孔	33

て	
テキスト認識	309, 311
電源切断時間	105
電源の投入 / 切断	54
電源ボタン	32, 56, 245
添付ファイル名の設定	138

と	
動作モード	63
動作モードの設定	87
同報リストの設定	447
特長	29
ドロップアウトカラー	326

に	
日時の設定	92
入力モードの変更	432

ね	
ネットワーク共有フォルダーの削除	145
ネットワーク共有フォルダーの詳細情報の 参照	146
ネットワーク共有フォルダーの登録 (直接入力)	144

ネットワーク共有フォルダーの登録 (ツリー選択)	142
ネットワーク共有フォルダー名	143, 144
ネットワーク共有フォルダー名の変更	145
ネットワーク共有プリンターの削除	168
ネットワーク共有プリンターの詳細情報の 参照	169
ネットワーク共有プリンターの登録 (直接入力)	166
ネットワーク共有プリンターの登録 (ツリー選択)	163
ネットワーク共有プリンター名	165, 167
ネットワーク共有プリンター名の変更	167
ネットワーク状態の確認	117
ネットワーク設定	109

の

ノーカーボン紙	414
---------------	-----

は

排出ローラー	360
倍率	98
白紙ページ削除	328
パスワードの変更	107
パスワードロックの設定	318
パッドユニット	34, 359, 364
パッドユニットの交換	366
半透明の原稿	414

ひ

ピックアップユニット	34, 359, 364
ピックアップユニットの交換	368
表示&編集	337

ふ

ファイル形式の設定	309
ファイルサーバ	49
フィードローラー	360
フォルダー一覧	285, 289
フォルダー保存	285
プラスチックローラー	359
プリンター一覧	273
プリントサーバ	49
プロキシサーバの設定	114

ほ

ポート番号一覧	51
保守情報の採取	194
保守情報の採取レベル	193
保存	285
保存ファイル名の設定	155

ま

マルチフィード	95
マルチフィード検出	331
マルチフィードの検出条件	95

め

名称	32
メインメニュー	241
メール	247
メールアドレス台帳	252, 256, 260, 262
メールアドレス台帳の最大登録件数	256
メールアドレス台帳の編集	260
メールアドレス台帳の編集内容の破棄	453
メールアドレス台帳の保存	454
メールアドレス台帳を開く	442
メールアドレスの削除	262
メールアドレスの設定	449

メールアドレスの設定値	421
メールアドレスの追加	256
メールアドレスの入力	252
メールアドレス LDAP サーバの設定	131
メールサーバの設定	135
メール送信	247
メール送信時の動作設定	137
メール送信 / ファイル保存するときの ファイル名	348
メッセージ表示	346
メニュー	70, 71

も

文字が検索できる PDF	311
--------------------	-----

ゆ

ユーザー情報	177
ユーザー情報の削除	181
ユーザー情報の退避	179
ユーザー情報の復元	180
ユーザープリンシパル	130
ユーザーログ	340
ユーザーログ一覧	173
ユーザーログの管理	173
ユーザーログの削除	174
ユーザーログの参照	340
ユーザーログの詳細情報の参照	173
ユーザーログのダウンロード	174

よ

用語解説	458
用紙サイズ	304, 305
用紙サイズの設定	304
読み取り設定	297
読み取り枚数の確認	349

読み取り面の設定	307
----------------	-----

り

利用者	35, 234
利用者権限	35
利用者ごとの設定	243
利用者の画面	241

る

ルート証明機関一覧	425
-----------------	-----

ろ

ログイン	73, 82, 244
ログイン設定	100
ログイン LDAP サーバの設定	124

わ

枠消し	333
-----------	-----

A

AC アダプター用コネクタ	33
Add-in	190
Add-in 情報の参照	191
ADF 給紙シュート	32, 34
Admin Tool	63, 77
Admin Tool からのログイン	75
Admin Tool の画面	71
Admin Tool の動作環境	45
Advanced モード	63
A3 キャリアシート	238, 302
A3 キャリアシートの購入	373
A3 キャリアシートの清掃	363
A3 キャリアシートの設定	302

B	
Basic モード	63

C	
Central Admin Console	63, 231
Central Admin Server の設定	121
CSV 形式	174

D	
DHCP	109
DHCP サーバ	50
DNS サーバ	49
DNS サーバの設定	111

F	
FAX サーバ	50
FAX 送信	264
FAX 送信あて先の削除	272
FAX 送信あて先の追加	269
FAX 送信あて先の入力	267
FAX 送信サーバの設定	140
FAX 番号台帳	267, 269, 272
FAX 番号台帳の編集	271
FAX 番号の最大登録件数	269
FTP サーバ	49
FTP フォルダーの削除	150
FTP フォルダーの詳細情報の参照	151
FTP フォルダーの設定変更	150
FTP フォルダーの登録	148
FTPS サーバ	49

I	
IP アドレス	109

L	
LAN コネクタ	33
LCD カバー	32
LDAP List	252
LDAP 一覧の絞り込み	211, 225
LDAP 検索条件の設定	133
LDAP サーバ	48, 245
LDAPS サーバ	48
Link Speed/Duplex Mode の設定	118

M	
My List	252

N	
NTP サーバ	50
NTP サーバの設定	113

P	
PDF パスワードロック	309, 318
Ping	115

S	
SAM アカウント	130
Scan ボタン	32, 58
Scanner Central Admin	228
SharePoint サーバ	49
SharePoint に保存	289
SharePoint フォルダーの設定	152
SMTP サーバ	48

U	
URL	77, 196
User Editor	434
User Editor の画面	439

W

Wake On LAN の設定	118
WINS サーバ	49
WINS サーバの設定	112

ScanSnap N1800 ネットワークスキャナ

オペレーターガイド

P3PC-3182-04Z0

発行日 2013年2月

発行責任 株式会社 PFU

-
- 本書の内容は、改善のため予告なく変更することがあります。
 - 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社は一切その責任を負いません。
 - 無断転載を禁じます。